

みんなのポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

The Annals of the Kaqchikels

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 八杉, 佳穂 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00009378

第2部

古典カクチケル語の文法

はじめに	505	8.8 道具句焦点化文	
1 音韻と表書法	505	8.9 受動	
1.1 正書法		8.10 命令法	
1.2 子音		8.11 動詞の名詞化	
1.3 母音		8.12 移動詞・方向詞	
1.4 アクセント		8.13 aj 動詞	
1.5 スペイン語の取り込み方		8.14 間接構成素	
2 人称体系	512	9 不変化詞	636
2.1 辞順		9.1 k'a	
3 名詞	517	9.2 wi	
3.1 名詞の構成		9.3 kan と xa の違い	
3.2 名詞の分類		9.4 ja について	
3.3 名詞類別詞		9.5 chik について	
3.4 所有関係		9.6 oq について	
3.5 名詞複数		10 副詞、副詞句	657
3.6 名詞句		10.1 時	
4 形容詞	528	10.2 場所	
4.1 名詞の修飾		10.3 様態	
4.2 強調		10.4 肯定	
4.3 複数		10.5 否定	
4.4 述語的に用いられる構文		10.6 量	
5 指示・限定詞	530	10.7 不確実	
6 関係名詞	533	10.8 限定	
6.1 関係名詞		10.9 副詞句	
6.2 場所や時を表わす句で使われる関係名詞について		11 疑問詞	667
6.3 前置詞とともに使われる関係名詞		11.1 naq, chinaq「誰」, 「何」	
7 数詞	542	11.2 疑問詞に間接名詞が接続	
7.1 数の数え方		11.3 b'a「どこ」	
7.2 未来と過去		11.4 inche'el「どのように」	
7.3 派生		11.5 「いつ」「どれくらい」	
7.4 配分詞		11.6 平叙文の疑問文化	
7.5 助数詞		12 連結文	674
7.6 語順		12.1 時の従属節 top / oq	
8 動詞	552	12.2 条件節 we	
8.1 基本語順		12.3 原因・理由節 ruma / rumal	
8.2 自動詞		12.4 接続詞の不在	
8.3 他動詞		13 文解釈の曖昧性	679
8.4 時相		13.1 コンマとピリオド	
8.5 単動詞(絶対／単項化／略項化動詞)		13.2 言語外情報による文の曖昧性の解消	
8.6 行為者焦点化		附録	687
8.7 抱合逆受動		文献	715

引用語、引用文の最後にある括弧内の数字は『カクチケル年代記』の章分けしたテキストの章番号を表わす。『カクチケル年代記』以外の例文は、出典を略号または筆者名で、そして引用頁をしるす。

はじめに

本篇は、『カクチケル年代記』を理解するために必要な文法を記述する。古典カクチケル語の文法書を大いに利用したが、カクチケル人自身の手で書かれた資料が、古典カクチケル語の文法書の記述で理解できるのかを検証する作業でもある。というのも、古典文法書は、ラテン語文法の枠を押しはめた記述であり、言語現象を正確に反映していないのではないかという見方があるからである。たしかに、そうした面があることは否定できないものの、『カクチケル年代記』を分析する上で、興味深い文法現象を数多く記述しており、大いに役立つものであった。

カクチケル語は、世界では数パーセントといわれる動詞前置のVOS(他動詞文)、VS(自動詞文)型の類型に属する。そして能格言語であり、主要部有徴言語である。基本語順はVOS、VSであるが、主語や目的語などの文法的な情報は、能格、絶対格にあたる人称辞が動詞のほうにつき、それと照応する名詞には何もつかない。単純な文は、時相詞や人称辞がついた動詞句だけでも成り立つが、主語や目的語を表わす名詞句が動詞のあとに生起する。こうした特徴は、ラテン語やスペイン語とはまったく異なる類型であり、ラテン語やスペイン語文法の枠組みで記述された古典文法の再検討の意味を含め、文法を記述する際に、これまでにない見方をする必要があろう。それは特に8章で取り扱う。

なお、16世紀末の言語を反映する『カクチケル年代記』を主資料にするため、資料の解釈が困難な場合が多々あった。それについては13章で述べる。

なお引用文の最後には、括弧に数字だけを入れたものと、略号、または略号に数字を入れたものをつけている。数字だけのものは、『カクチケル年代記』の章番号である。略号を入れたものは、略号の項の文献をさす。出版年を省き、略号の後にページ数を入れている。ただし辞書の場合は、必要以外、略号のみにした。文法書のFloresとTorresanoは年号を省き、ページ数を入れるだけにした。

1 音韻と表記法

本稿で扱う『カクチケル年代記』やその時代の正書法は、アルファベットで表わしにくい音に特別な文字をあてている。現代カクチケル語を参照しながら、音韻と文字について検討する。

1.1 正書法

古典カクチケル語の正書法は、1545年にFrancisco de la Parraによって定められたという(Brinton 1884: 358, Villacorta 1934: 47。ちなみに『カクチケル年代記』でもFrancisco de la Parraは184章に登場するが、正書法の確立者としては触れられてはいな

い)。『カクチケル年代記』や古典文法書にみられる書法もそれに則っている。以下に、現代カクチケル語の正書法と、それとは異なる場合の古典カクチケル語の表記を括弧に入れて示す (Comisión de Oficialización de los Idiomas Indígenas de Guatemala 1999)。ただし母音のうち緩み母音は現代正書法だけにみられるものである。長短や緊緩は、現代言語学に則って決められた正書法以外、ふつう正書法では区別されることはまれであるが、古典カクチケル語でも区別はなされていない。

p	t	tz	ch	k(= c, qu)	q(= k)
b'	t'(= tt)	tz'(= 4')	ch'(= 4 h)	k'(= 4)	q'(= 3)
	s(= s, z, ç)		x		j(= h, fj)
	r		l		
m			n		
	w(= hu, uh, v)		y(= i, j)		

張り母音 i e a o u

緩み母音 ĩ ẽ ä ö ü

(ii, ij) = i' (ee) = e' (aa) = a' (oo) = o' (uu) = u'

1.2 子音

閉鎖音系には清音と声門化音の対立がある。声門化音は' で示される。tz は /tʃ/, ch は /ç/, x は /x/ である。テキストで次のような文字で書かれている文字は、その転写で 4' 4 h 4 3 tz としたが、tz' を表わす 4, はコンマと紛らわしいので、テキストでは 4' とアポストロフィーで転写した。そして本稿の形態素分析の行で採用した表記は、上で示したように、tz' ch' k' q' tz と記した。

4, 4h 4 ɛ ɰ

j の音に対して、古典カクチケル語では h と fj という 2 つの違う文字が使われているが、fj は語末、音節末に現れ、その他に現れる h と相補分布をしめし、また現代では区別されない (Flores: 4), j だけで表記した。ただし、表記に揺れがみられる場合や特定の語彙においては語末以外でも fj が観察される場合がある。同一語で h と fj の両方がみられるところから、同一音素の異音の表記とみなして問題ない。fj による表記は、音声的により強い摩擦と若干の声門閉鎖を感じたために使われたものと思われる。そして h は、たとえば lajuj(「10」) に lahu fj と laufj の書き方がみられるところから、より弱い摩擦音であったことが推察される。

h と fj の表記に揺れがみられる例をあげてみよう。以下括弧内の数字は、「はじめに」

で注記したように、『カクチケル年代記』の章分けしたテキストの章番号を表わす。そして > より右の語表記は、本稿で採用した表記法である。

cablahufj (108) ~ cablaufj (224)	「12」 > kab'lajuj
xofj (5) ~ xoh (5)	「我々は～した」 (x-ofj-pe 「我々は来た」 x-oh-ik'o 「我々は過ぎた」 子音が続くときと母音が続くときで区別されているが、どちらも人称Bの1人称複数形 oj)
ofer (5) ~ oher (228)	「以前、昔」 > ojer
cafi (4) ~ cahi (4)	「4」 > kaj-i
tohofjil (20) ~ tohohil (41, 90)	「トホヒル (神名)」 > tojojl
4ofje (42) ~ 4ohe (27)	「いる」 > k'oj-e
xafjan (43) ~ xahan (43)	「禁忌」 > xajan
afjavar (73) ~ ahavar (73)	「支配する」 > ajaw-är
a-fjay (10) ~ a-hay (11)	「汝の家」 > a-jay
afj 4'iquinafjay (137) ~ afj 4'iquinahay (38)	「ツイキナハイ (鳥の家 tz'ikin-a-jay) の人」 > Aj Tz'ikinajay

語頭、語中にかかわらず、テキストでは fj だけで表わされている例

fjox (44)	「松皮」 > jox
fjomet (44)	「樹皮」 > jome't
ru-fjalebal (21, 41)	「変身」 > ru-jal-eb'al
xitayulfjax (69)	「シタユルハシュ (王名)」 > Xitayuljax
chafjom	「チャホム (アクァハル人の自称)」 > Chajom
naft	「遠い」 > najt

fj は ufj と書かれ語末の w を表わす場合にも使われる。ただし語頭、語中の w は v または u で表記されている。

utiufj (5)	「コヨテ」 > utiw
cacaufj (6)	「カカオ」 > kakaw
paloufj (15)	「海」 > palow
vleufj (41) ~ uleufj (5)	「大地」 > ulew
vacami (38)	「いま」 > wakami
4abovil (38)	「カボウイル (神像名)」 > k'ab'owil
ahava (12) ~ ahaua (35)	「王たち」 > ajaw-a'

1.3 母音

母音は現在、張り母音 fortis(i e a o u) と緩み母音 lenis(i ë ä ö ü) の対立があるが、

古典カクチケル語では、その区別は表記上では表わされることはない。それらは、系統的に非常に近いキチェ語やツトゥヒル語にみられる長音と短音の反映形である。キチェ語やツトゥヒル語では、単音節語と、多音節語の最終母音においてしかその対立はない。カクチケル語も同じである。すなわち、単音節語では緊緩の対立はあるが、多音節語では最終母音にしか緊緩の対立はない。これは最終母音にアクセントが落ちることと関係しているものと思われる。

『カクチケル年代記』のテキストには一見長音を表わしているかのようなVV(母音-母音)の例があるが、それはV'(母音のあとに声門閉鎖)を表わしたものと解釈できる。テキストでVVがV'である例をいくつかあげる。なお>の前がテキストに現れる表記で、>のあとは本稿での表記である。

chee (14)> che'	「木」
Iximchee (97)> Iximche'	「イシムチェ」
quij (18)> ki'	「彼ら自身」
ree 4uval (38)> re' k'uwal	「この宝石」(現代語では、reのはずであるが、テキストでは、reであったり、reeであったり、一定していない。reeと書かれているときでもreであったり、reとかかれていてもre'と考えられる場合もあり、現代表記にできるだけ基づくことにした。)

母音の連続は通常声門閉鎖が間に入る形で記述される。テキストでは声門閉鎖 /' / は表記されないが、現代語からできる限り補った。声門閉鎖を伴わなくても発音されうるところから、必要ないと思われるが、現代正書法に則り、声門閉鎖 (') を入れることにした。そしてそのマーク /' / は、最初の母音のあとにつけることにした。形態素の分かれ目 (-) であることがほとんどである。なお人称のグロスには、複数の場合はPLをつけるが、単数の場合はSGをつけないこととする。

- (1.3-1) xucheex>x-Ø-uche'-ë-x (7)
CMP-B3-call-SF-PAS
「呼ばれた, 知らされた, 言われた」
- (1.3-2) xeiqan>x-e'-iq-a-n (7)
CMP-B3PL-burden-SF-AP
「彼らが運んだ」
- (1.3-3) xqoik'o>xq-o'-ik'o (15)
POT-B1PL-pass
「我らは渡るだろう」

- (1.3-4) xeul>x-e'-ul (17)
CMP-B3PL-arrive.here
「彼らは着いた」

1.3.1 張り母音と緩み母音

カクチケル語の母音は、現在、方言により、10母音から6母音まであり、変化に富んでいる。古典カクチケル語の母音の数は、テキスト上では5母音と思われるが、本稿では、現代カクチケル語の標準文法の表記法に従った転写形を文法分析の基礎にして、張り母音と緩み母音の区別を設けている。ちなみに、現在、緩み母音の *ī*, *ē*, *ö*, *ü* は消失の傾向にあるが、*ä* はすべての方言にあり、*[i]* *[ə]* と中舌化している。

張り母音と緩み母音の区別は、次の通りである (GK: 42-49; GN: 43-51)。

- (1) 根他動詞 (root transitives) CVC は緩み母音 (*ä ē ī ö ü*) で表わす。
- (2) 最後の母音にしか緩み母音は現れないので、それ以前の母音は張り母音となる。
x-Ø-u-b'än 「彼は (それを) した」 (他動形) : x-Ø-b'an-o 「彼はした」 (単動形 / 行為者焦点化形)

- (3) 次のような接尾辞の母音は緩み母音である。

受動 -*Ÿx*, 受動完了 -*Vtāj*, 状態・体勢動詞の形容詞化 -*Ÿl*, 中程度を表わす形容詞の接尾辞 *C₁ VC-C₁ öj*, 形容詞の最上級 -*Vlāj*, 名詞や形容詞の動詞化接尾辞 -*är/ir*, 自動完了 -*Vnäq*, 行為者 -*öy/üy*, -*öl/ül*, 自動詞の名詞化 -*ik*, 道具や場所を表わす -*Vb'al* など。

- (4) 不変化詞は、実際には緩み母音がふつうに聞かれるが、正書法の規則に則り、張り母音で表わす。(例) *chik* > *chik* 「ふたたび, すでに, もっと」, *töq* > *toq* 「～とき」

その他の表記は Otzoy(1999) や Maxwell and Hill(2006) や現代カクチケル語の辞書や文法書を参考にした。

母音の長短 (または緊音と緩音) は、現代言語学に則った記述以外は、どの言語でも表わされることはほとんどなく、古典カクチケル語でも表わされていない。これは音韻的に無視できるかということ、キチェ語やツトゥヒル語などとの比較からみても、妥当とはいえないが、書記法からみると、記す必要がないことを表わしている。書記法は決まりであり、古典カクチケル語の書記法で、正確には記述できないものの、充分文法記述はでき、わざわざ変える必要もないが、現代表記法を民族意識の問題の大切な一つととらえている現代カクチケル人の考えを尊重して、現代表記法に従って変えることにした (IIN 1988; Yasugi 2001; Yasugi ed. 2003; 八杉 2003)。

1.3.2 母音調和について

接尾辞が前の語根の母音 *V* と調和する場合、*o* と *u* について、つぎの2つがみられる。

- (1) 語根の母音がä, ë, iのとき接尾辞の母音はoであるが, 語根母音がöのときはo, 語根母音がüのときは接尾辞の母音がuと母音調和する。

・他動詞の完了接尾辞 -om/-um

b'an-om(した), tz'et-om(見た), il-om(見つけた), loq'-om(愛した), muq-um(埋めた)

・他動詞の単動 (絶対・単項) 化接尾辞 -o/-u

chap-o(取る), tz'et-o, il-o, loq'-o, muq-u

・他動詞の名詞化 -öy/-üy

b'an-öy(する人), tz'et-öy(見る人), mich'-öy(抜く人), loq'-öy(愛する人), yuj-üy(混ぜる人)

- (2) 語根母音がä, ë, iのとき接尾辞の母音がa, 語根母音がöとüのときは, 接尾辞の母音がそれぞれoとuと母音調和する。

t-a-chap-a'(つかめ!); k'ex-a'(換える), jix-a'(壊す), loq'-o'(買う), chup-u'(消す)

・移動詞 (下例ではb'e, ul) のあとや命令形の場合の根他動詞 (下例ではchäp, b'an, köl, tük) の接尾辞 -a/-o/-u。接尾辞のあとは声門閉鎖'となる。

- (1.3.2-1) t-i-b'e-nu-chap-a' (Flores: 165)

ICP-B1-go-A1-grab-SUF

「私は取りに行こう」

- (1.3.2-2) x-Ø-ul-ru-b'an-a' (190)

CMP-B3-arrive-A3-do-SUF

「彼はしに来た」

- (1.3.2-3) x-Ø-b'e-nu-kol-o' (20)

CMP-B3-go-A1-save-SUF

「私は救いに行った」

- (1.3.2-4) oj-an-qa-tuk-u' ru-pam qa-juyub'-al qa-taq'aj-al (20)

go-certainly-A1PL-dig-IMP A3-inside A1PL-hill-POS A1PL-plain-POS

「我らの山と野の中を掘りに行こう」(ojはb'e「行く」の一人称複数の不規則命令形)

1.3.3 母(子)音縮約

語末の母音と語頭の子音や母音を縮約する現象が『カクチケル年代記』に観察される。とくに多くみられるのが, chi u-pam(前置詞PR 人称Aの3人称単数u—中: PR A3-in「~の中に」)をchupam, chi ru(前置詞PR 人称Aの3人称単数: PR A3)をchuとするものである。また語末の子音の省略もみられる。chik wi (again INT) > chi wi (80,

Flores: 298), chik taj (again/more IRR) > chitaj (79, Flores: 145): chik pe (again coming) (231) > chi pe (20), chik k'a (again then) > chi k'a (4), oq qi (when true) (1) > oqi (42)

1.4 アクセント

古典カクチケル語の文法書にアクセントの記述をみることはできない。現代カクチケル語をはじめ、キチェ・グループやケクチ語など高地マヤ諸語の多くは、語の最後の母音に強アクセントがある。それゆえ記述する必要がなかったと推測される。ただツトゥヒル語では、単音節形容詞が、名詞を修飾する場合に、キチェ語など異なり、-Vがつくが、その場合、根の方にアクセントが残り、接尾辞に移動しないという例外がある。たとえば, saq-a jaay[sáqa xá:y]「白い家」(Dayley 1985: 29-30)。古典カクチケル語も、名詞を修飾する場合に単音節形容詞に -a/-i がつく。おそらく同じ現象があったと考えられる。

1.5 スペイン語の取り込み方

スペイン語をそのまま取り入れる場合もあるが、カクチケル語には摩擦音 f や有声音がないので, p や無声音で代用したり, gi[xi] を si で置き換えたりして, 変化している場合が多い。また省略形もたくさんみられる。たとえば母音+子音の場合, an や ar を ã のように記したり, よく知られている人名や神父などに, たとえば Pedro を p°, Juan を ju°, Francisco を fran°, padre を p° のように, 省略表記がみられる。なお, k を表わす c/qu はカクチケル語では k に改めているが, スペイン語の借用語の場合は, c/qu はそのままにして, できる限り原本に近い形を本稿では採用している (ただし声門閉鎖音の tz', ch', k', q' 以外にも, ç は c や s に改めている)。

qa-pirma (229)	「我らの署名」(スペイン語の表記は firma)
residores, coresidor (207)	「参事, 代官」(regidores, corregidor)
Fran° Tiaz (229)	「フランシスコ・ディアス」(Francisco Diaz)
Domingo Bernātino (225)	「ドミンゴ・ベルナルディーノ」(Domingo Bernardino)

逆に, t を d で書いたり, c[k] を g で書いた場合もある。

desorero (212)	「財務官」(tesorero)
presidente (207)	「議長」(presidente)
segretario (207)	「秘書」(secretario)
goresidor (214)	「代官」(corregidor)

またスペイン語の表記がおかしいものもある。

pullatanos (227) は「バナナ」platanos と思われる。

スペイン語の動詞を借用する場合は, 動詞の前に b'an「する」を前置する。b'an は名

詞を借用する場合にも使われる。

- (1.5-1) ja k'a tan ti-Ø-b'an wi notificar ch-i-wäch ch-iw-onojel (231)
 EMP then ACT ICP-B3-do(PAS) FM notify PR-A2PL-face PR-A2PL-all
 「それは汝らの前で汝らみんなに知らされている」(動詞 notificar の借用)
- (1.5-2) kani k'a x-Ø-u-b'an recusar Alonso Barientos (226)
 soon then CMP-B3-A3-do accuse Alonso Barientos
 「すぐにアロンソ・バリエントスは忌避申し立てた」(動詞 recusar の借用)
- (1.5-3) x-Ø-in-b'an taj petición chi r-e ru-k'ut-u-x-ik (231)
 CMP-B3-A3-do IRR petition PR A3-to A3-ask-SF-PAS-N
 「私は頼まれたことに対して嘆願書をだそうとした」(名詞 petición の借用)
- (1.5-4) x-Ø-ul-ru-b'an-a' justicia oidor (227)
 CMP-B3-arrive-A3-do-SUF justice oidor
 「聴訴官が裁判をやりに来た」(名詞 justicia の借用)
- (1.5-5) ja x-Ø-b'an-o arco ch-u-chi' r-ochoch dios (232)
 EMP CMP-B3-do-AP arch PR-A3-mouth A3-house God
 「彼こそが教会の入り口のアーチを造った」(名詞 arco の借用)
- (1.5-6) x-Ø-b'e-qa-b'an-a' concierto (232)
 CMP-B3-go-A1PL-do-SUF agreement
 「我らは取り決めに行った」(名詞 concierto の借用)

2 人称体系

人称と数の表示は、現代カクチケル語と同じで、人称辞 A と人称辞 B がある。人称辞 A は「能格」ともいわれてきたが、主に他動詞の主語（行為者）と所有を表わす。子音初頭幹につくか母音初頭幹につくかで、少し形を変える。以下に挙げている人称 A の／の前が子音初頭幹につく形態で、／のあとが母音初頭幹につく形態である。なお「～」は「または」を表わす。一方人称辞 B は「絶対格」と称されることもあるが、他動詞の目的語と自動詞の主語、状態文（いわゆる be 動詞文）の主語を表わす。このほかに独立人称がある。それを人称 C と呼ぶことにする。

	人称 A	人称 B	人称 C(現代カクチケル語)
1 人称単数	in- ~ nu-/w-	in- ~ i-	in(rin)
2 人称単数	a-/aw-	at- ~ a-	at(rat)
3 人称単数	ru-/r-	Ø-	ja(rija')
1 人称複数	qa-/q-	oj- ~ o-	öj(röj)
2 人称複数	i-/iw-	ix-	ix(rix)

3 人称複数 ki-/k- e- je ~ e(rije')

古典カクチケル語では、人称 C は人称 B の利用である。ただし 3 人称は ja と je ~ e であるが、これは強調の限定詞の単数と複数を利用したものである (9.4 参照)。現代カクチケル語では 1 人称単複, 2 人称複数の母音は緩音であり、記述ではそれにしたがった。最終母音にアクセントが置かれるにもかかわらず、そこにしか緩音が現れないことを 1.3.1 で述べたが、この不思議な現象は、人称 C が強調のために使われるのにもかかわらず、in や oj と緩音になっていることと関連する現象のように思われる。

現代カクチケル語の独立人称は、形から判断すると、ri + 人称辞 B の結合形とみることができる。この形もテキストに散見する。

- (2-1) in in aj-pop (39)
C1 B1 AG-mat
「私はアフポップ (王) である」
- (2-2) öj oj k'o q-iq-a'n (18)
C1PL B1PL exist A1PL-bear-N
「我らは我らの荷がある」
- (2-3) ri in gobernador (232)
D B1 governor
「私が総督である」
- (2-4) ja rat ri Saktekaw (48)
EMP C2 D Saktekaw
「汝はサクテカウである」
- (2-5) ri oj kaqchikel winäq (3)
D B1PL kaqchikel people
「我らはカクチケル人である」
- (2-6) ri ix nu-k'ajol (84)
D B2PL A1-son
「汝ら我が子よ」
- (2-7) r-etäl rije' (132)
A3-sign C3PL
「彼らの足跡」

人称辞 B は接辞とともに語としても機能するようである。古典カクチケル語においても現代カクチケル語においても、状態文 (いわゆる be 動詞文) で人称辞 B は独立して表記されているが、それはそのあとの語との間にポーズがあるためにとられた処置と考えられる。すなわち人称辞 B は接語 (clitic) とみるべきである。であるから前の語につい

て, ri in > rĭn, ri oj > rōj, ri ix > rĭx となるのであろう。=in=, =oj=, =ix= と表記すべきであろうが, 現代語の表記に従い in-, oj-, ix- とすることにした。

1 人称単数の人称 A が所有を表わすときは nu-/w- であるが, 他動詞主語として使われるとき, in- または nu-/w- が使われる。

(2-8) nu-k'ajol (1) w-ochoch (25)

A1-son A1-house

「私の息子」 「私の家」

(2-9) xa x-Ø-in-köl w-i' ch-u-pam aqaj (20)

just CMP-B3-A1-save A1-self PR-A3-in nest

「私は蜂の巣の中で自分を救った」

(2-10) xt-Ø-in-k'am ru-samaj chi r-ij wa'e' (216)

POT-B3-A1-take A3-work PR A3-back here

「私は彼にここで仕事を持ってこよう」

(2-11) ja k'a xti-Ø-nu-ya' wi nu-firma (232)

EMP then POT-B3-A1-give FM A1-sign

「私は署名をしよう」

(2-12) wa'e' xti-Ø-nu-tz'ib'-a-j jalal ki-tzij je nab'ey

now POT-B3-A1-write-SF-TV little A3PL-word EMPL first

qa-tata' qa-mama' (1)

A1PL-father A1PL-grandfather

「いまここに私は最初の我らの父, 我らの祖父達の言葉を少しばかり書き記そう」

(2-13) xa xti-Ø-w-ak'ax-a-j a-tzij (38)

just POT-B3-A1-hear-SF-TV A2-word

「私は汝のことばを聞こう」

1 人称単数の人称 B は, 母音の前だと in-, 子音の前だと i- となる (in-V, i-C)。ただし子音の前でも in となる場合がある。2 人称単数でも同様 at- が子音の前に生起するとき a となる場合があるが, 生起例は少ない (at-V, a-C)。その規定環境条件は不明であるが, すくなくとも状態文のときは in, at である。

(2-14) ĭn k'a k-in-ok ch-u-pam juyu', kaq-(j)ay (28)

C1 then ICP-A1-enter PR-A3-in mountain Kaqjay

「私はカクハイの山に入る」(母音の前だから in)

(2-15) ĭn k-i-b'e aw-uk'in (31)

C1 ICP-B1-go A2-with

「私はあなたとともに行く」(子音の前だから i)

- (2-16) in kaqolajay (154)
B1 thunder
「私は雷である」(状態文であるので、子音の前でも in)
- (2-17) wawe' x-in-ki-ch'äy wi ala-b'on Laq-i' chi r-ochoch
here CMP-B1-A3PL-hit FM child-PL Laqi PR A3-house
don Ambrosio (224)
Don Ambrosio
「ここドン・アンブロシオの家で、ラキの子供達が私をたたいた」(子音の前だが in)
- (2-18) x-i-ru-pixab'-a-j k'a pe ajaw fiscal rey (232)
CMP-B1-A3-advice-SF-TV then coming lord fiscal king
「王室の検察官が私に命令した」(子音の前なので i)
- (2-19) mi-x-at-ul q-uk'in (24)
REC-CMP-B2-arrive.here A1PL-with
「汝は我らのもとにやってきた」(母音の前だから at)
- (2-20) k-a-jitz'-ä-x k-a-pej (216)
ICP-B2-hang-SF-PAS ICP-B2-cut.in.pieces(PAS)
「汝は首をくぐられ、ばらばらにされる」(子音の前だから a)
- (2-21) k-at-pa'-e' kan ch-u-wi' kaq-(j)ay (28)
ICP-B2-stand-IV remaining PR-A3-top Kaqjay
「カクハイの上で立っていなさい」(子音の前だが at)
- 1 人称複数の人称 B は oj- とともに o- がある。下例でみるように、完全相 (x-) では oj, 不完全相 (q-), 未然相 (xq-) では o であるが、例外もみられ、母音幹が続くときは、母音連続を避けるため -oj となりやすい (時相については 8 章で扱う)。
- (2-22) chi ri' x-oj-k'uk'um-aj wi el (20)
PR D CMP-B1PL-feather-IV FM out
「あちらで我々は羽根をつけた」(el は「去る」という自動詞から派生した方向詞)
- (2-23) q-o-k'uk'um-aj (18)
H-B1PL-feather-IV
「羽根飾りで飾ろう」
- (2-24) xa pe kani xq-o-wär, xq-o-ch'ak-atäj (15)
just perhaps soon POT-B1PL-sleep POT-B1PL-defeat-CPAS
「すぐ我らは眠るだろう、我らは打ち負かされるだろう」

- (2-25) chinaq q-oj-uche-e-n (15)
 who ICP-B1PL-call-SF-AP
 「誰が我らを呼ぶのか」
- (2-26) we ta xq-o-ik'o kani ti-Ø-qa-tz'ët ru-wäch q-iq-a'n (15)
 if IRR POT-B1PL-pass soon ICP-B3-A1PL-see A3-face A1PL-bear-N
 「もし我らが渡ることができるなら、我らは我らの荷の中味を見よう」
- (2-27) q-oj-ik'o pa juyu' q-onojel (28)
 H-B1PL-pass PR hill A1PL-all
 「我らみんなで山を越えよう」
- (2-28) xq-oj-ik'o wakami (15)
 POT-B1PL-pass now
 「我々は今過ぎよう>さきに行こう」
- (2-29) xa q-oj-iq-a-n a-tem a-ch'akät (27)
 just ICP-B1PL-bear-SF-AP A2-throne A2-chair
 「我らが汝の玉座、汝の椅子を運びます」

2.1 辞順

人称辞 A/B と名詞 (N) や自動詞 (IV), 他動詞 (TV) との辞順は A-N, B-N, Aspect-B-IV, Aspect-B-A-TV となる。

2.1.1 所有表現 (A-N)

- (2.1.1-1) a-tap a-kar (39)
 A2-crab A2-fish
 「汝の蟹, 汝の魚」
- (2.1.1-2) ru-b'i (2)
 A3-name
 「その名」
- (2.1.1-3) r-ulew (227)
 A3-land
 「彼の土地」

2.1.2 名詞構文 (状態文, いわゆる be 動詞文。B Nでbe 動詞にあたる動詞は必要ではない)

- (2.1.2-1) in gobernador (231)
 B1 governor
 「私は首長 (支配者) である」
- (2.1.2-2) at ajaw at nu-chaq' nu-nimal (38)
 B2 lord B2 A1-brother A1-brother
 「汝は王であり, 私の弟であり, 兄である」

2.1.3 自動詞句 (Aspect-B-IV)

- (2.1.3-1) k-at-oq' (14)
 ICP-B2-cry
 「汝は泣く」
- (2.1.3-2) x-oj-ul (15)
 CMP-B1PL-arrive
 「我らは着いた」
- (2.1.3-3) xq-o-wär (15)
 POT-B1PL-sleep
 「我らは眠るだろう」

2.1.4 他動詞句 (Aspect-B-A-TV)

- (2.1.4-1) k-in-a-kam-isa-j (21)
 ICP-B1-A2-die-CAUS-TV
 「汝は私を殺す」
- (2.1.4-2) x-e-q-ül (15)
 CMP-B3PL-A1PL-find
 「我らは彼らを見出した」
- (2.1.4-3) xt-Ø-in-ya' el i-q'inom-al iw-ajaw-ar-em (9)
 POT-B3-A1-give out A2PL-wealth-POS A2PL-lord-IV-N
 「私は汝らの富, 汝らの王権を与えよう>私は汝らに富と王権を与えよう」

3 名詞

名詞は, 意味するものをもとに, 具体物を表わす名詞や抽象物を表わす名詞などに分類できるのであろうし, 構成の仕方から, 本来的な名詞に加え, 派生名詞, 複合名詞, 合

成名詞があげられようが、カクチケル語の場合は、所有化による分類が、文法的に意味がある。

3.1 名詞の構成

3.1.1 派生名詞

名詞や動詞から作られる名詞（動詞の名詞化の項8.11を参照）

- (3.1.1-1) ru-b'an-ik winäq (5)
A3-do(PAS)-N people
「人間が造られたこと＞人間の創造」
- (3.1.1-2) tz'ib'-a-n-ik, k'ot-o-n-ik (6)
write-SF-AP-N carve-SF-AP-N
「書いたもの、彫ったもの」
- (3.1.1-3) ri mich'-b'äl k-ichin ri che' ab'äj (7)
D pull.off-I A3-for D tree stone
「木と石を引き抜く道具」
- (3.1.1-4) kam-isa-b'äl r-ichin q'aq' (31)
die-CAUS-I A3-for fire
「火を殺す場所・道具」
- (3.1.1-5) samaj-el (14)
work-AG
「仕事人、使者」

3.1.2 複合名詞

2つの異なる名詞一対で一つ概念を表わす。どちらにも所有人称接辞Aがつく。

- qa-tata' qa-mama' (1) 「我らの父, 我らの祖父＞我らの父祖」
- qa-te' qa-tata' (2) 「我らの母, 我らの父＞我らの両親」
- i-ch'a' i-pokob' (9) 「汝らの矢, 汝らの楯＞汝らの武器」
- nu-chaq' nu-nimal (21) 「私の弟, 私の兄＞私の兄弟」(2.1.2-2でわかるように, at
がこの2つの語彙を受けているので, ひとまとまりであるこ
とがわかる)
- a-tem a-ch'akät (21, 34) 「汝の座具, 汝の座台＞汝の玉座」

3.1.3 合成名詞

異なる品詞の結合により一つ概念を表わす。

- chi r-el-eb'al q'ij (4) 「太陽の出るところで＞東で」

ch-u-qaj-ib'al q'ij (4)	「太陽の沈むところで>西で」
ch'ol-q'ij, may-q'ij (9)	「神聖暦, 太陽暦」
ach-kayupil (19)	「両刃の槍」(Saenz de Santa Maríaの辞書では「両刃の槍 lanza de dos filos」, Filiberto Patalの辞書も lanza「槍」であるが, Maxwell and Hill (2006: 29) は, ナワトル語 ichcayupil「綿鎧」の借用語としている。)
saq-koro-wäch (29)	「ウズラ」(白-ゆるんだ-顔)
r-ix-jay-il Pedro Ramirez (202)	「ペドロ・ラミレスの妻」ix-jay-il(女性標識-家-接尾辞)
rax-a ab'äj (32)	「翡翠」(緑の石)
nim-a q'ij (206)	「祭り」(大きな日)

3.2 名詞の分類

名詞は, 人称 A により所有化されるかされないかによって形が異なる場合がある。それによって分類できる。

3.2.1 所有化されてもされなくても形は変わらない名詞

wuj (223)「本, 書類」	ki-wuj (231)	「彼らの書類」
äk' (217)「鶏(もとは七面鳥)」	k-äk'(20)	「彼らの七面鳥」
ulew (226)「土地」	r-ulew Simon Q'inom (227)	「シモン・クイノムの土地」

3.2.2 所有化によって緩音が緊音になる名詞

『カクチケル年代記』には緩音と緊音の区別が表わされていないので, 現代カクチケル語を手引きにして, その違いが明らかにできたのは, 次の例である。

(3.2.2-1) xa maki x-Ø-u-ya' wäy ixöq chi r-e k'ak'al (82)
just NEG CMP-B3-A3-give tortilla woman PR A3-to vassal
「女はトルティリヤを臣下に与えなかった」

(3.2.2-2) xa k'a x-Ø-raj-qup ru-way ixöq (82)
just then CMP-B3-want-uproot(PAS) A3-tortilla woman
「しかし女のトルティリヤが力尽くで奪われそうになった」

上の例でみられるように, wäy は所有化で ru-way と緊音となる。

(3.2.2-3) ki-samaj-el k'a ti-Ø-b'e-ya'-o kār, täp chi Iximche'
A3PL-work-AG then ICP-B3-go-give-AP fish crab PR Iximche
ojer (228)
ago
「昔使者が魚と蟹をイシムチェへやりに行った」

a-tap a-kar (39) 「汝の蟹, 汝の魚」

次のような名詞は, 辞書や文法書を参考にして現代表記に改めた。

jäl (232) 「トウモロコシの穂」, jül (178) 「穴」, kinäq' (228) 「フリホル豆」

動詞 (自動詞 neutro, 受動詞 pasivo, 単動詞 absoluto) の名詞化接尾辞 -ik も所有化されると緩音が緊音 -ik になる。

kam-ik (45) 「死ぬこと」 (自動) > ru-kam-ik ajaw Sitan K'atu' (66)

「シタン・カトゥ王の死」

ru-kam-is-a-x-ik ri Tolk'om (37) (受動) 「トルコンの虐殺」

al-a-x-ik (130) 「生まれること」 (受動) > r-al-a-x-ik (36) 「彼の誕生」

tz'ib'-a-x-ik (230) 「書かれること」 (受動) > ru-tz'ib'-a-x-ik (206)

「その書かれること」

tz'ib'-a-n-ik (6) 「書くこと」 (単動)

chap-ik (228) 「捕まること」 (受動) > ch-u-chap-ik Tolk'om (35)

「トルコンが捕まるために」

pax-ik (155) 「分裂」 (受動) > ru-pax-ik Aqajal winäq (64) 「アカハルの人の分裂」

場所や道具を表わす接尾辞 -(V)b'al も所有化で -(V)b'al となる。

to-b'al (229) 「支援」 > ki-to-b'al (227)

loq'-ob'al (231) 「愛すべきもの」 > ru-loq'-ob'al (216)

ajil-ab'al (217) 「計算されたもの, 暦」 > r-ajil-ab'al (189)

kam-ib'al (98) 「死に場」 > ki-kam-ib'al (86)

etam-ab'al (216) 「知識」 > r-etam-ab'al (82)

saq-er-ib'al (39) 「白くなる場所, 夜明け」 > ru-saq-er-ib'al (41)

q'al-ib'al (9) 「現れるところ, 玉座」 > i-q'al-ib'al (9)

しかし ch'ab'al (< ch'a-「言う」-b'al) 「言語」の場合は所有化されても変わらない。

qa-ch'ab'al (175) 「我々のことば」

3.2.3 所有化によって接尾辞が落ちる名詞

親族名称や体の部分名称など譲渡不可能な名詞は, 所有化される場合は, 単立 (絶対/独立) 接尾辞 absolutive といわれるものが脱落する。たとえば, k'ajol-axel (209) では単立接尾辞の -axel がついているが, 所有形になると, ru-k'ajol Tepew (52) 「テペウの息子」のように, 単立接尾辞はつかない。

親族語彙には, 男方と女方では語彙が異なるものがある。同等または目下の場合は男女の話者の区別があり, 目上の場合はその区別がないようである。『カクチケル年代記』に現れる語とその関連語のみを記すことにする。同書にみられない語彙はイタリックで表わし, Guzmán, Torresano, Flores, Varea, Filiberto から補った。

	男方(男が話す) 単立(絶対)形		女方(女が話す) 単立(絶対)形	
息子	-k'ajol	k'ajolaxel, k'ajolatz	-al	
娘	-mial/me'al	<i>mealaxel, mialatz,</i>	<i>(-ixoqal) -al</i>	<i>meelaxel, ixoqal</i>
兄	-nimal	<i>nimalaxel, nimalatz,</i>	-xib'al	<i>xib'alon, nimalaxel</i>
姉	-ana'	<i>anabixel</i>	-nimal	
弟	-chaq'	<i>chaq'alaxel, chaq'ixel</i>	<i>(-ch'uti-xibal)</i>	
妹	<i>-ch'uti-ana</i>		-chaq'	<i>chaq'ixel</i>
従兄	<i>-najtinimal</i>	<i>najtinimalaxel</i>	-najtinimal	
従弟	<i>-najtichaq'</i>	<i>najtichaq'ixel</i>	-najtichaq'	
従姉	<i>-najtiana'</i>	<i>najtianabixel</i>		
義父	-jinam	<i>jinamuxel</i>	-alinam	<i>alinamuxel</i>
義母	<i>-jite'</i>	<i>jiteexel</i>	-alite'	<i>aliteexel</i>
義兄弟	<i>-b'aluk</i>	<i>b'alukixel</i>	-echam	echamuxel
義姉妹	-ixnam	<i>ixnamuxel</i>	-achalkam	
妻, 夫	-ixjayil	<i>ixjailaxel</i>	<i>-achajil, -achijil</i>	<i>achijilaxel</i>
孫	-mam	<i>mamaxel</i>	-iy	
ひ孫	<i>-xikin mam</i>			
婿／嫁	-ji'	<i>ji'ätz, jiaxel</i>	-ali	<i>alib'ätz, alib'axel</i>
甥／姪	-ikaq'/yajk'ajol	<i>ikaq'ixel</i>	<i>-yajmeal/-meal</i>	
おじ(母方)	-ikan			
おじ(父方)	-tata'/-nimal-tata'	(父の兄), -ch'uti-tata' (父の弟)		
父	-tata'	<i>tata'aj, tataatz, tataixel, tatatz</i>		
母	-te'	<i>te'ej teexel</i>		
祖父	-mama'/-ma	<i>mama'aj</i>		
祖母	-atit			
曾祖父	-xikin mama'			
曾祖母	<i>-xikin atit</i>			
高祖父	-mok			
高祖母	<i>-mokoy</i>			

『カクチケル年代記』中に現れる例

ki-k'ajol ajaw-a (80)	「王たちの子供たち」
ru-xib'al (223)	「彼女の兄」
a-chaq' (21)	「あなたの弟」
a-nimal (21)	「あなたの兄」
w-ana' (38)	「私の姉」

ru-mial Pedro Ramirez (204)	「ペドロ・ラミレスの娘」
w-ikan nu-mama' (94)	「私の母方のおじ, 私の祖父」
q-ati't (43)	「我らが祖母」
je nab'ey qa-tata' qa-mama' (1)	「最初の我らの父, 我らの祖父達>我らの先祖」
qa-te' qa-tata' (2)	「我らの母, 我らの父>我らの両親」
qa-tata' (132)	「我らの叔父」
e ojer tata' mama' (40)	「昔の父, 祖父」
i-xikin mama' (129)	「汝らの曾祖父」

体の部分名称も所有化で単立接尾辞 -aj が落ちる。

qa-jolom (32) , ru-jolom (212)	jolom-aj	「頭」
qa-wi' (32)	wi'-aj	「髪」
ki-tza'm (190) , ru-tz'am (227)	tzam-aj	「鼻」
ru-wäch (12)	wach-aj	「顔, 目」
ru-pam (215)	pam-aj	「腹」
ru-q'a' (231) , ki-q'a' (223)	q'ab'-aj	「腕, 手」
ki-qul (31)	qul-al	「首」
ru-chi' (5)	chi'-aj	「口」
i-xikin (129)	xikin-aj	「耳」

(3.2.3-1)	mi-x-Ø-q'at	chi(k)	el	ru-jolom,	ru-wi'	tesorero
	REC-CMP-B3-behead(PAS)	again	out	A3-head	A3-top	treasurer
	ch-u-wäch	Pekuta (212)				
	PR-A3-face	Pecuta				
	「ペクタの前で, 財務官の首と頭が刎ねられた」					

そのほかの文献から補える体の部分名称につぎのようなものがある。

r-aq'「彼の舌」(aq'-aj「舌」), ru-tz'um「彼の胸」(tz'um-aj「胸」), ru-ti'「彼の肉」(ti'-ij/ti'-oj「肉」), ru-tele'm「彼の肩」(telem-aj「肩」), w-aqän「私の足」(aqan-aj「足」), nu-ch'akul「私の体」(ch'akul-aj「体」), w-ey「私の歯」(ey-aj「歯」), w-ij「私の背中」(ij-aj「背中」)
--

3.2.4 所有化によって接尾辞がつく名詞（所有できないものの所有関係）

体の部分名称など, 所有により接尾辞 -Vl(-el/-il) がつく名詞がある。kik' のように, 通常, 体の一部であるものが, 所有されても接尾辞 -Vl がつかない場合は, 体から分離された血を表わす。

kik'	「血」	ti'oj	「肥えた, 肉」
ki-kik'-el, ki-ti'oj-il (5)	「彼ら血, 彼らの肉」		

xajpota kik' xajab'i' kik' (22) 「血のついた胸当て, 血のついた靴」

ru-kik'-el tixli kumätz (5) 「野豚と蛇の血」

ki-ti'oj-il ixoq-i' (102) 「女たちの肉」

ものの一部やものとの関係性, 抽象性を表わす場合。-il/-al という接尾辞がつく。

ru-wuj-il jay (223) 「家の書類」

ru-poqon-al k-itzij (42) 「彼らのことばの痛み」 <> poqön (42)

ki-kow-il ajaw-a' (66) 「王たちの力」

ru-saq-il (216) 「その白さ」

3.2.5 所有化されない名詞

「太陽」や「月」など, 所有されることがふつうはない名詞。

q'ij (4) 「太陽」 palow (2) 「海」 kaq'iq' (38) 「風」

sutz' (12) 「雲」 ik' (216) 「月」 ik' noviembre (216) 「11月」

3.2.6 所有化された場合は語彙が異なる名詞

jay 「家」は所有化される場合は -ochoch という語が使われる。

(3.2.6-1) oq x-Ø-pe ul ch-u-kojol jay (20)

when CMP-B3-come collapse PR-A3-among house

「家の間で地滑りがあったとき」

(3.2.6-2) mani k'a x-Ø-qa jay wawe' (196)

NEG then CMP-B3-fall house here

「ここでは家が崩壊しなかった」

chi k-ochoch (138) 「彼らの家に」

r-ochoch ajaw Ch'ikb'al ri' (148) 「チクバルの王の家」

chi q-ochoch (175) 「我らの家に」

しかしながら『カクチケル年代記』にはjayが所有化された例がみられる。しかし必ずそのあとにchinamitがついて対句として出て, 抽象的な意味になる。なおchinamitはナワトル語のchinamitlの借用語と考えられる。

nu-jay nu-chinamit (21) 「私の家族, 私の氏族>私の世代」

ru-jay ru-chinamit (41) 「彼の家族, 彼の氏族>彼の世代」

家に関する語彙がいくつかあるが, 規模の大きさにより次のような区別がある。不等号記号<の右に行くに従い規模が大きくなることを示す。

jay < chinamit < amaq' < winäq

家 < 氏族, 氏地 < 部族, 領地, 領民 < 族, クニ (人間)

3.3 名詞類別詞

名詞を類別する語が名詞の前に現れることがある。現代語では, tat(老人男性), nan(老人女性), a(男性若者, 子供), xta(女性若者, 子供), ma(成人男性), te/ya(成人女性, 既婚) があるが, 『カクチケル年代記』では, 職能や出身, 身分などを表わす aj(男性) / ix(女性) のほか, 動物 chiköp, 山 juyu', 王 ajaw, 老人 mama' なども同様な振る舞いをする。

ma Francisco Díaz (220)	「フランシスコ・ディアス氏」
aj lab'al (8)	「戦う人>戦士」
aj Nonowalkat, aj Xupilti (20)	「ノノワルカットの人とシュピルティの人」
in aj kej in aj kab' (28)	「私は鹿守りであり, 蜂蜜守り」
chiköp utiw (5)	「動物のコヨテ」
chiköp tiwtiw (5)	「動物のハイタカ」
ajaw Nakxit (25)	「ナクシット王」
juyu' Meme' juyu' Takna' (24)	「メメ山, タクナ山」
mama' Francisco Pakal (222)	「フランシスコ・パカル老」

3.4 所有関係

所有関係は被所有名詞 (N_1 と表示) に所有詞 (人称 A) がつき, そのあとに所有者名詞 (N_2 と表示) が生起する。それを図式化すると, A- N_1 N_2 となる。所有人称辞 A は所有者名詞 (N_2) と照応する。

ru-b'i juyu' (2)	「山の名前」(その-名前 山)
ki-tzij ri Q'aq'awitz Saktekaw (4)	「クァクァウィツとサクテカウのことば」
ru-mam ajaw ru-k'ajol ajaw (164)	「王の孫, 王の子供」
chi r-el-eb'al q'ij (4)	「太陽の出るところで>東で」
ch-u-qaj-ib'al q'ij (4)	「太陽の沈むところで>西で」
qa-tinamit de Santa María Asunción Tzolola' (216)	
qa-tinamit Santa María Asunción Tzolola' (216)	
「サンタ・マリア・アスンシオン・ツォロラの我らの町」	

最後の2例は「我らが町サンタ・マリア・アスンシオン・ツォノラ」という意味であるが, 一つはスペイン語の de という所有関係を示す前置詞が使われている。正確に言えば, qa と Santa Maria de Asunción の関係は所有関係ではないので, 呼応関係はないといえるが, それに近い意識が反映しているから, このような構文が生まれたと推測される。

次の例は A- N_1 N_2 という所有構文が, 通常の「 N_2 (所有者) の N_1 (所有物)」とならない例である。前後の文や他の情報を考慮せず, 文法通りに解釈すると, 誤訳をうむ。言語がいかに文法通りに一義的でないかを示す例の一つといえよう。なお数詞 (例では jun)

は所有を表わす人称 A(ここでは ru-) の前に生起する

(3.4-1) ja Don Xpowal jun ru-k'ajol Don Juan Cortés (200)

EMP Don Christobal one A3-son Don Juan Cortes

「ドン・クリストバルは、一人の彼の息子、ドン・フアン・コルテス＞ドン・クリストバルといえば、息子一人で、ドン・フアン・コルテスといった」(196章でドン・クリストバルはドン・ホルへの息子と書かれているので、構文的に解釈される「ドン・クリストバルはドン・フアン・コルテスの息子」という意味にとってはならない)

(3.4-2) ja ri Luis Pérez jun ru-k'ajol Agustín (200)

EMP D Luis Perez one A3-son Agustin

「そのルイス・ペレスといえば、彼のひとり息子がアグスティン」

これらは196章の人物の関係を参考にして訳したものである。同様な構造をもつが、所有詞が一人称 nu- であるがため、所有関係になく並列関係にあることがわかる例を次に挙げる。

(3.4-3) mi-x-Ø-al-ä-x nu-k'ajol Gaspar Q'anel (217)

REC-CMP-B3-son-SF-PAS A1-son Gaspar Q'anel

「私の息子ガスバル・クァネルが生まれた」

次の例は、マグダレナは女性名であることから、構文から訳される「マグダレナの妻」ではなく、並列文であることがわかる。

(3.4-4) r-ixjayil Magdalena (202)

A3-wife Magdalena

「彼の妻、マグダレナ」

次の2例は、所有関係は通常のもの (ru-k'ajol Pedro Ramírez や r-ixjayil Pedro Ramírez はどちらも A-N₁ N₂) であり、所有関係（厳密には親族関係）を表わし、「親族 所有者」の表現を含んでいる。さらに、親族の名前も含んでいる。(3.4-5) では息子である Julianio は「A-N₁ N₂」の前にあり、(3.4-6) では妻である Ana は「A-N₁ N₂」の後について、対称的である。

(3.4-5) Julianio ru-k'ajol Pedro Ramírez (202)

Juliano A3-son Pedro Ramirez

「ペドロ・ラミレスの息子のフリアノ」

(3.4-6) r-ixjayil Pedro Ramírez Ana (202)

A3-wife Pedro Ramirez Ana

「ペドロ・ラミレスの妻であるアナ」

3.5 名詞複数

名詞の複数形は、それを受ける人称 A、人称 B の単複によって判明するので必要がないが、人間や動物などの生物は複数接尾 -a' または -i' または -e' をつけて複数を表わす。しかし現代カクチケル語では -a' または -i' しかなく (GK: 103-104), -e' は使われないようである。-a' は名詞の最終母音が i/e のとき, -i' は a/o/u のときにつく傾向がみられるが、たくさん例外があり、その使い分けの規則を立てることはできない。

単数	複数	
achi(j) (82)	achij-a' (102)	「男達, 戦士達」
Xajil (36)	Xajil-a' (30)	「シャヒル (人)」
Tz'utujil (103)	Tz'utujil-e' (9)	「ツトゥヒル (人)」
aj mes	aj mes-a' (Flores: 22)	「清掃夫」
Kaweq (29)	Kaweq-i' (29)	「カウェク (人)」
xtan	xtan-i' (231)	「女の子」
ajaw	ajaw-a' (29)	「王」
Rab'inal	Rab'inal-e' (41)	「ラビナル (人)」
B'ak'ajol (10)	B'ak'ajol-a' (3)	「バカホル (人)」
k'ajol (170)	k'ajol-a' (224)	「息子」
q'opoj (170)	q'opoj-i' (224)	「娘」
ixöq (82)	ixöq-i' (102)	「女達」
raxon (39)	Raxon-e' (39)	「緑鳥, ラション (地名)」
mun	mun-i' (Flores: 24)	「奴隷」
tz'unun	tz'unun-a' (38)	「ハチドリ」

-i'-a', -e' とは異なる接尾辞をもつ語もある。

ala (Flores: 21)	ala-b'on (224)	「男の子」
ajsamaj (Flores: 21)	ajsamaj-oma' (179)	「労働者」
ajpatan (232)	ajpatan-oma' (Flores: 21)	「貢納者」

また je または e を前置する場合や、複数を表わす不変化詞 taq がつく場合もある。

je ab'äj 「石」, e che' 「木」 (Flores: 18), je ajtz'aq-i' 「石工」, e oxi winäq 「3 人」 (Flores: 25)	
je nab'ey qa-tata' qa-mama' (1)	「最初の我らの父, 我らの祖父>我らの始祖」
je amaq' (3), taq amaq' (52)	「部族の人達, 領民」
taq b'ey (170)	「道々」

複数形にくわえ taq がついた例もみられる。

taq achij-a' (97)	「戦士達, 男達」
-------------------	-----------

3.6 名詞句

名詞を修飾する語の語順は、限定詞-数詞-形容詞-名詞、限定詞-序数詞-所有詞-名詞という生起順となる。

- (3.6-1) jun ch'uti ka'aj (229)

one little hut

「ひとつの小さな小屋」

- (3.6-2) ri nab'ey ru-k'ajol (88)

D first A3-son

「最初の彼の息子」

- (3.6-3) xa set-es-ik che', xa q'i-om aj r-iqu'n (6)

just round-DUP-ADJ wood just straight-ADJ cane A3-burden

「ただ丸い木とまっすぐな葎が彼の荷であった」(set-es は $C_1 V_1 C_2 - V_1 C_1$ で母音と最初の子音の繰り返しということで DUP と分析した。4.1-9~4.1-11 参照)

等位接続詞は用いられず、二つの名詞の並列で表わされる。

- (3.6-4) juyu' taq'aj (1) 「山と野」

umül tz'ikin (1) 「ウサギと鳥」

3.4ですでに触れているが、上例と同じように名詞が並置されて、同格関係を示す場合を挙げると、次のようになる。

- (3.6-5) mi-x-Ø-käm Doña María r-ixjayil Don Juan Xwarez (197)

REC-CMP-B3-die Doña María A3-wife Don Juan Juárez

「ファン・ファレスの妻のマリアが死んだ」

- (3.6-6) mi-x-Ø-al-ä-x ru-man Pedro Ramírez Gabriel (202)

REC-CMP-B3-son-SF-IV A3-grandchild Pedro Ramirez Gabriel

「ペドロ・ラミレスの孫ガブリエルが生まれた」

- (3.6-7) x-Ø-al-ä-x María ru-mi'al Pedro Ramírez (204)

CMP-B3-son-SF-PAS Maria A3-daughter Pedro Ramirez

「ペドロ・ラミレスの娘マリアが生まれた」

修飾関係の場合、後置される方が前置の名詞より意味の主要部をなし、前置される名詞が後置される名詞の材料や特徴を示している。

ab'äj b'ey 「石-道>石の道」, ajaw winäq 「王-男>重要人物」, ulew läq 「土-皿>土器皿」 (Flores: 32)

ri chay ab'äj (5) 「その-黒曜石-石>その黒曜石」

4 形容詞

形容詞は名詞を修飾する場合と述語になる場合がある。

4.1 名詞の修飾

名詞を修飾する場合、名詞の前に生起し、通常 -a または -i がつく。それぞれの語によって異なり、その使い分けの条件を明示することはできない。

(4.1-1) kaq-a che ' (14)

red-ADJ tree

「赤い木」

(4.1-2) nim-a q'aq'-al nim-a xaj-øj (26)

big-ADJ fire-N big-ADJ dance-N

「大きな力, 大きな踊り」

(4.1-3) rax-a ab'äj (32)

green-ADJ stone

「ヒスイ (緑の石)」

(4.1-4) q'an-a chul-uj (127)

yellow-ADJ urine-N

「黄色い尿」

(4.1-5) saq-i juyu' (20)

white-ADJ mountain

「白い山」

色も名詞とみることができようが、明らかに名詞が名詞を修飾する場合も、-V がつく場合がある。それは名詞の並列より結びつきが強いと解釈すべきであろう。というのも最初の例 (4.1-6) はどちらも人名であり、一語とみるほうがよいためである。

(4.1-6) q'eq-a-küch, sib'aq-i-jay (38)

black-ADJ-vulture resin-ADJ-house

「クエクァクッチ, シバクィハイ」

(4.1-7) sutz'-u-kumätz (38)

cloud-ADJ-snake

「雲の蛇」

(4.1-8) q'uq'-u-kot (41)

quetzal.feather-ADJ-eagle

「羽毛の鷺」

位置や状態を示す動詞から派生した形容詞 positional adjective は -V₁ ~ -an ~ -om, -V₁ C₁ -

ik という接尾辞をつける。-V₁ C₁ は前の母音と最初の子音の繰り返しであり、繰り返しや強調の意味が付加される。

- (4.1-9) oq mi-x-Ø-k'at r-ochoch Dios pa nim-a-q'ij
 when REC-CMP-B3-burn(PAS) A3-house God PR big-ADJ-day
 tik'-il q'ij (206)
 fill-POADJ day

「祭りの日の正午に教会が燃えたとき」

- (4.1-10) set-es-ik che' q'i'-om aj (9)
 round-DUP-ADJ tree straight-ADJ cane

「まん丸い木, まっすぐな葦」

- (4.1-11) oq x-Ø-kir k'a ri' ru-k'u'x juyu'
 when CMP-B3-untie(PAS) then D A3-heart hill,
 xa k'ol-ok'-ik q'aq' chi ab'äj (32)
 just round-DUP-ADJ fire PR stone

「山の魂が解き放たれたとき, 石のように火がちょうど丸くなった」

4.2 強調 -iläj/-aläj/-oläj

- chuw-iläj chaj (228) 「たいへん臭い灰」
 utz-iläj cristiano (230) 「たいへん善良なキリスト教徒」
 q'aq'-aläj achij-a' (73) 「力あふれる戦士たち」
 qa-loq'-oläj tata' ajaw provincial (214) 「我らの尊敬する管区長」

4.3 複数

形容詞にも複数形 (-q/-a'q/-ita'q) がみられるものがある。

- ch'uti'-q k'ajol-a' (47) 「小さな子供達」(ch'uti'n 「小さい」, 子供 k'ajol にも -a' という複数接尾辞)

- nim-a'q winäq (223) 「重要人物達」(nim 「大きい」)
 ri'j-ita'q winäq (220) 「年寄りの人達」(ri'j 「老いた」)

(4.1-10) に挙げた位置や状態を示す動詞から派生した形容詞 setesik 「丸い」の複数形は, Flores によると, setesäq(Flores の表記では çeteçak) である。他に kotokik 「曲がった」は kotokäq, b'olob'ik 「丸まった」は b'olob'äq, jeb'el 「美しい」は jeb'ejöj という複数形が挙げられている (Flores: 22)。ちなみに Flores の表記では, cotoquic, cotocak; bolobic, bolobak; hebel, hebehofj である。

4.4 述語的に用いられる構文

- (4.4-1) xa r-uma ri' nīm ki-pus ki-nawal (36)
 just A3-cause D big A3PL-divining.power A3P-transforming.power
 「なぜなら彼らの霊力、彼らの魔力は偉大であるから」
- (4.4-2) ri'j chik ri nim-a wināq (229)
 old already D big-ADJ man
 「その偉大なる人はすでに年取っていた」
- (4.4-3) tz'ap-äl k'a ru-chi' ri Tullan x-oj-pe wi (5)
 close-POADJ then A3-mouth D Tullan CMP-B1PL-come FM
 「われわれが来たトゥリヤンの入り口は閉まっていた」

5 指示・限定詞

指示詞には、近、中、遠の3つの視点の違いがあるが、若干日本語と違う。laとriの違いは見える、見えないにあるようである。話者からの距離や未知か既知かも関係する(GK: 128-135; 214-217; 246-248)。単複の区別はない。

re これ（空間的にも時間的にも近い、見える、触れることができる、すぐ前に言及した）

la それ（近い、見えるが、触れることのできないくらいの距離、聞き手の近くとは限らない）

ri あれ（遠い、見えない）

re achi (GK: 128) 「この男の人」

la ixtän (GK: 131) 「その女の人」

ri ak'wal (GK: 215) 「あの子」

ri chay ab'äj (5) 「あの黒曜石」

ri wināq (5) 「(すでに言及したところの) 人間」

特定できるか、すでに言及した場合に使われるが、名詞のあとにもう一度繰り返すこともみられる。

re chiköp re' (GK: 247) 「この動物」

ri Aqajal wināq ri' (64) 「あのアクァハルの人達」

これらは定冠詞の役目を果たすが、不定冠詞の役目を果たすjun「1」と共起しうる。

re jun ch'akät re' (GK: 133) 「この椅子」（ここにあるが、知らない、たくさんの中の1つ）

la jun chiköp la' (GK: 134) 「その一匹の動物」（特定できるが、知らない、たくさんの中の1匹）

ri jun achi ri' (GK: 133) 「あの人」(特定できるが、知らない人、たくさんの中の1人)

『カクチケル年代記』では re...e', la...e' と言及する名詞句をはさんだ係り結びの形がみられる。

- (5-1) re iw-iqa'n-e' re k'a i-tzuq-uj i-q'o'oj-e' (7)
 D A2PL-burden-D D then A2PL-bring up-N A2PL-feed-D
 「これは汝らの荷である。そしてこれは汝らを育て、汝らを養うものである。」
 (テキストでは ree と書かれているが、re' とせず re とした。次の例では re...e' で、表記は一定していない)

- (5-2) re chi(k) k'a juyu'-e' x-e'-ik'o wi ch-u-wi'
 D another then hill-D CMP-B3PL-pass FM PR-A3-head
 pop-o' ab'äj, (21)
 mat-ADJ stone

「彼らが通り過ぎたもう一つの山はチュウイ・ポポ・アバフであった」

- (5-3) la na'eq a-chaq' a-nimal-e', B'akaj Poq B'akaj Xajil, (36)
 D although A2-younger.brother A2-elder.brother-D Bakaj Poq Bakaj Xajil
 「しかしバカフ・ポックとバカフ・シャヒルは汝の弟であり、兄である」

現代カクチケル語では、指示詞が繰り返され、声門閉鎖で終わると、指示代名詞となる。指示詞は被修飾語とともに用いられ、被修飾語なしであると、指示代名詞ということにする。『カクチケル年代記』では ri ri' (232) という形が生起するのみである。ree ree (231) という形もみられるが、re の強調のような使い方である。

re re' これ
 la la' それ
 ri ri' あれ

- (5-1) ri q'ob'-is-äy ri' q'ab-ar-is-äy ri ri' (232)
 D alcoholic drink-CAUS-AG D drink-IV-CAUS-AG D D
 「彼らは酒飲みで酔っ払いであった」

- (5-2) ch-u-pam re' re' titulo (231)
 PR-A3-in D D title
 「その証書の中に」(原文では ree ree となっており、それを反映させて re' re' とした。このように原文には現代表記と合わない書き方が散見されるが、母音連続の場合は母音-声門閉鎖と転記した。その他はできる限り現代表記に合わせて修正表記した。)

現代カクチケル語では、指示詞 re', la', ri' が動詞句のあとに生起すると、副詞的に機能し、行為の可能性を示唆し、「たしかに、きっと、たぶん」といった意味が加わる。ri'

は形容詞や副詞のあとにもおかれ、假定、憶測を意味するという (GK: 131)。

- (5-3) y-oj-ul-ru-tz'et-a' re' (GK: 132)

ICP-B1PL-arrive-A3-see-SUF D

「彼は我々をきっと見に来る Seguramente vendrá a visitarnos」

- (5-4) man n-Ø-b'e ta la' (GK: 131)

NEG-ICP-B3-go IRR D

「たぶん彼は行かない Probablemente no irá」

- (5-5) n-Ø-pe ri' (GK: 132)

ICP-B3-come D

「たぶん彼は来るよ Quizá venga」

ütz ri' (GK: 132) 「たぶんいいよ、いいんだよ Está bien/Quizá esté bien」

q'ëq ri' (GK: 132) 「黒らしい Parece que era negro」

wawe' ri' (GK: 132) 「確かにここにあった Seguramente aquí fue」

おそらく指示詞のもつ距離の違いが心理的にも反映しているのであろう。そうした機能が古典カクチケル語にもあったと推測される。以下は『カクチケル年代記』からの例である。

- (5-5) jukumaj k'a x-e-pax q-uma ri' (20)

quickly then CMP-B3PL-separate A1PL-cause D

「すぐさま彼らは我らのせいで散った」

- (5.6) Don Juan Ernantez mani r-et'al ri' (200)

Don Juan Hernandez NEG A3-sign (descendant) D

「ドン・ファン・エルナデスは確か何も子を残さなかったはずだ」

これと関係すると思われるが、前文に述べられたことが理由で、このようなことが起こった、という場合にも ri' が使われている例が多数ある。ke re'...wi...ri' という構文になる。

- (5-7) xa x-i-kol-o w-i' pa ru-chi' Kaqix, x-Ø-cha'
just CMP-B1-save-AP A1-self PR A3-mouth parrot CMP-B3-say
ke re' k'a x-Ø-u-b'i'na'-a-j wi Kaqix Kan ri' (20)
like this then CMP-B3-A3-nominate-SF-TV FM Kaqix Kan D

「オウムの口の中においで私は助かった、と言った。このためカキシユ・カンと名付けた。」

re', la', ri' は ke や chi と結びついて様態や場所を表わす副詞として機能する。

ke re' 「このように」 chi re' 「こちら」

ke la' 「そのように」 chi la' 「そちら」

ke ri' 「あのように」 chi ri' 「あちら」

- (5-8) chi ri' k'a x-oj-pe wi ch-u-qaj-ib'al q'ij (4)
 PR D then CMP-B1PL-come FM PR-A3-down-LOC sun

「そしてあちらの西から我々は来た」

上例 (5-8) の chi ri' は場所を示すため、場所を表わす語を動詞句の前に置いた印として wi が動詞句のあとに生起している (wi については9.2で詳しく扱う)。

6 関係名詞 relational noun

マヤ言語学で、関係名詞といわれる特別な名詞群がある。それらは体の前後や上下や所有や関係などを表わす名詞で、所有化を表わす人称 A が義務的につく。関係名詞は、前置詞として機能する場合、再帰代名詞として機能する場合、名詞として機能する場合がある。カクチケル語で前置詞は pa(子音の前) /pan ~ pam(母音の前) と chi しかないが、そのほかの前置詞は関係名詞が用いられる。

6.1 関係名詞

6.1.1 -i'「～自身」再帰代名詞として機能する。

- (6.1.1-1) x-oj-mol-o q-i' (20)
 CMP-B1PL-gather-AP A1PL-self
 「我々は集まった」

6.1.2 -ichin「～に、～ために、所有するもの」

所有は人称 A を名詞につけて表わされるが、-ichin を用いて表わすこともできる。

nu-kej 「私の馬」, kej w-ichin 「私の馬, 私のものである馬」 (Flores: 40)

apon-em w-ichin 「私が着くこと」, ok-em w-ichin 「私が入ること」 (Flores: 248)

前置詞 (関係名詞) として用いられるが、名詞として用いられる場合もある。

- (6.1.2-1) xawi k'a mi-x-Ø-ki-löq' r-ichin Bartolome Päk (222)
 also then REC-CMP-B3-A3PL-buy A3-possession Bartholomé Pak
 「彼らはバルトロメ・パックの所有物を買った」

ふつう -ichin は行為者焦点化 (単動態動詞) の目的語 (8-5で扱う), 道具, 過去分詞, 行為者などの目的語を表わす場合に用いられる。上品な表現になるというが (Flores: 175; 220), それは間接化され, 直接言及することが避けられることによるのであろう。

- (6.1.2-2) in k-i-loq'-o-n (r-ichin) Dios (Flores: 100)
 C1 ICP-B1-love-SF-AP (A3-for) God
 「私が神を愛す」

- (6.1.2-3) ru-q'ij-il qa-loq'-ob'al r-ichin/ (chi r-e) Dios (Flores: 162)
 A3-day-POS A1PL-Love-I A3-for (PR A3-to) God
 「我らが神を愛するとき」
- (6.1.2-4) loq'-öy w-ichin (Flores: 220)
 love-AG A1-for
 「私を愛する人」
- (6.1.2-5) b'an-öy r-ichin kah ulew (Flores: 230)
 do-AG A3-for sky land
 「空と大地を造る人」
- (6.1.2-6) in loq'-o-n-inäq aw-ichin (Flores: 226)
 B1 love-SF-AP-PER A2-for
 「私は汝を愛した」
- (6.1.2-7) in tz'et-öl aw-ichin (Flores: 226)
 B1 see-AG A2-for
 「私は汝を見る人」
- (6.1.2-8) ñx k'a k-ix-al-a-n k-ix-k'ajol-a-n k-ichin (10)
 C2PL then ICP-B2PL-son-SF-AP ICP-B2PL-son-SF-AP A3PL-for
 「汝らこそが母方の子を産み、父方の子を産む」
- (6.1.2-9) in k-i-ch'ak-o k-ichin (28)
 C1 ICP-B1-win-AP A3PL-for
 「われこそは彼らに勝つ」
- (6.1.2-10) x-Ø-k'am-b'ë-x r-ichin saqkorowäch Xe Nim-a Chäj (29)
 CMP-B3-bring-I-PAS A3-for quail Xe Nimachaj
 「それでもってシェニマチャフでウズラが捕らえられた」
- (6.1.2-11) kan-ob'äl k-ichin wa'e' (54)
 search-I A3PL-for here
 「ここで彼らを探すこと」
- (6.1.2-12) ri mich'-b'äl k-ichin ri che' ab'äj (7)
 D tear-I A3PL-for D tree stone
 「木と石を引き抜く道具」
- (6.1.2-13) k'am-b'äl r-ichin Iqomaq' wa'e' (34)
 take-I A3-for Iqomaq here
 「イクォマクをここに連れてくること」

- (6.1.2-14) k-e-cha' ri kan-öy k-ichin (54)
 ICP-B3-say D seek-AG A3PL-for
 「彼らを探している人は言う」
- (6.1.2-15) kam-is-äy r-ichin Sotz'il Tuquche' (91)
 die-CAUS-AG A3-for Sotz'il Tuquche'
 「ソツイルとトゥクチェを殺す人」
- (6.1.2-16) ri tzuq-ül r-ichin (80)
 D maintain-AG A3-for
 「彼を養う人」

6.1.3 -uk'in 「～と」

- (6.1.3-1) r-onojel k'a achij-a' x-e-b'e r-uk'in Tunatiw (151)
 A3-all then man-PL CMP-B3PL-go A3-with Tunatiw
 「すべての男はトゥナティウと共に行った」
- (6.1.3-2) naq r-uma xt-Ø-i-b'än lab'al w-uk'in (148)
 what A3-cause POT-B3-A2PL-do war A1-with
 「なぜお前たちはわしと戦いをしようとするのか」

6.1.4 -umal/-uma 「～によって、～のせいで、～の原因で」

- (6.1.4-1) x-Ø-kam-isä-x Tz'utujil-e' r-uma Tunatiw (149)
 CMP-B3-die-CAUS-PAS Tz'utujil-PL A3-cause Tunatiw
 「トゥナティウによってツトゥヒルは殺された」
- (6.1.4-2) x-Ø-ya'-är awän r-uma tew (89)
 CMP-B3-water-IV cornfield A3-cause cold
 「寒さのせいでトウモロコシ畑は壊滅した」
- (6.1.4-3) ke re' k'a x-e-raj-käm wi k-uma ajaw-a' ri' (64)
 like D then CMP-B3PL-want-die FM A3PL-cause lord-PL D
 「このため王たちのせいで彼らは死にそうになった」

「～の原因で」というのが本義であろうが、次の例のように、「に対して、にもかかわらず」と訳した方が適切な使われ方もする。

- (6.1.4-4) je k'a x-e-kol-otäj chik rije' ox-i' qa-tata'
 EMPL then CMP-B3PL-save-CPAS again C3PL three-SUF A1PL-father
 r-uma ch'ak (135)
 A3-cause sore
 「発疹の出る病気にもかかわらず我らの3人の父は生き延びた」

また理由を表わすときにも使われる。

- (6.1.4-5) naq r-umal maki t-Ø-i-ya' puwäq chi w-ichin (152)
what A3-cause NEG ICP-B3-A2PL-give gold PR A1-for

「なぜ私に金を出さないのか」

- (6.1.4-6) r-umal qi-tzij wi ke re' x-Ø-maj r-ochoch
A3-cause true-word FM like this CMP-B3-strip(PAS) A3-house
ch-u-k'u'x (225)

PR-A3-heart

「確かにこうして彼の心から家を奪われたかのようにだったから」

- (6.1.4-7) r-uma ri' nīm ki-pus ki-nawal (36)
A3-cause D big A3PL-magic A3PL-nahual

「なぜなら彼らの魔術、彼らの変身術は偉大であるから」(ruma ri'「それによ
って」は前の文を受け理由を述べる接続詞として機能する)

- (6.1.4-8) ja r-umal ri' qi-tzij e q'aq'-alāj achi ajaw Jun Toj
EMP A3-cause D true-word B3PL fire-INT man lord Jun Toj
Wuqu' B'atz' (84)

Wuqu Batz'

「なぜなら、フン・トフとウクウ・バツツ王は力あふれる戦士であったからで
ある」(rumal ri'を強調するためjaがある)

6.2 場所や時を表わす句で使われる関係名詞について

名詞として使われることが多いが、体の前とか後ろとか上とか下といった位置関係を示すので、場所や時を表わすことがある。はっきり前置詞として使われる場合はchiとともに使われる(6.3参照)。

6.2.1 -wi'「～の上」

- (6.2.1-1) ru-wi' q'aq' (31) 「火の上に」

6.2.2 -wäch「～の前面、表面」。前置詞として使われるときはchi-wäch

- (6.2.2-1) ru-wäch ik' (216) 「月の表面」

- (6.2.2-2) ru-wäch q-iq-a'n (15) 「我らの荷の表面」

6.2.3 -xe'「～の下」

- (6.2.3-1) ru-xe' ch'a'oj (81) 「争いのもと」

6.2.4 -chi' 「～の口, ～の近く」

(6.2.4-1) ru-chi' ri Tullan (8) 「トゥランの入り口」

(6.2.4-2) ru-chi' choy (41) 「湖岸 (で)」

6.2.5 -kojol 「～の間」

(6.2.5-1) ru-kojol jay (193) 「家の間, 通り, 広場」

6.2.6 -ij 「～の後ろ」

(6.2.6-1) r-ij ru-wäch t-Ø-alk'wal-ä-x (43)

A3-back A3-face ICP-B3-child-SF-PAS

「間違って子供が生まれた」*xa rih ru vach* 「間違って falsamente(OS)」

6.2.7 -pa/-pam 「～の中」

(6.2.7-1) ru-pam qa-juyub'-al, qa-taq'aj-al (20)

A3-inside A1PL-mountain-POS A1PL-plain-POS

「我らの山と野の中」

6.2.8 -aqän 「～の足」

(6.2.8-1) x-Ø-u-tzaqom-ala' r-aqän Don Ambrosio (230)

CMP-B3-A3-throw-DISTR A3-foot Don Ambrosio

「ドン・アンブロシオの脚の下に投げた>雲隠れした」

6.2.9 -tza'm 「～の先, の鼻」

(6.2.9-1) ru-tza'm chinamit-al (218) 「一族の先>始祖」

これらは, 体の部分を表わす名詞が前後関係や上下関係を表わすために用いられているのであり, その名詞性を減らし, 前置詞性を増すために, 本来の前置詞 *chi* や *pa/pam/pan* とともに用いられることが多い。

6.3 前置詞とともに使われる関係名詞

前置詞 *chi*, *pa/pan* とともに使われる関係名詞を挙げる前に, 本来的な前置詞である *chi* と *pa* についてまず例を挙げよう。

6.3.1 chi「～で、～に、～のうちの」

(6.3.1-1) x-Ø-ul chi Iximche' wa'e' (148)

CMP-B3-arrive PR Iximche here

「ここイシムチェにやって来た」(場所)

(6.3.1-2) tzatz chi winäq (164)

many PR people

「多くの人」(一部)

(6.3.1-3) ka'i' chi achi (2)

two PR man

「(その) 2人の男」(一部)

文の流れから、前出の Q'aq'awitz Saktekaw という 2 人の人物を指していることはまちが
いなく, oxlajuj achi (5) 「13人の男」と違い, 特定のこの 2 人を指すために chi が使われ
ていると考えられる。

(6.3.1-4) ka'-i' chi q'ij ik' marzo (221)

two-SUF PR day month March

「3月2日」(一部)

ka'i q'ij 「2日」とは違い, 特定の日である 3 月の 2 日を示すために ka'i' chi q'ij とし
ていると考えられる。しかし次の例は数字の後に chi はない。その代わりに, 全体を chi
で指定して, 数字には人称 A がついて助数詞となっている。

(6.3.1-5) ch-u-wuq q'ij ik' junio (218)

PR-A3-seven day month June

「6月7日に」(時)

(6.3.1-6) chi jun Junajpu' (148)

PR one Junajpu'

「1フンアップの日に (260日暦を構成する20日の一つ)」(時)

(6.3.1-7) chi nu-k'ajol-al x-i-k'ul-e' wi (Flores: 347)

PR A1-child-POS CMP-B1-marry-IV FM

「若い時に私は結婚した」(時)

(6.3.1-8) chi ch'a', chi pokob', chi to'oj, chi tunatiw q'uq' (90)

PR arrow PR shield PR spear PR sun feather

「弓で, 楯で, やりで, きらめくケツァルのはねで」(手段)

(6.3.1-9) x-Ø-ya'-är chi kam-ik K'eché' winäq (93)

CMP-B3-water-IV PR die-N K'eché' people

「ケチェ人は死に至った」(到達点)

6.3.2 pa/pam 「～で、～から、～に」

(6.3.2-1) pa martes (220) 「火曜日に」

(6.3.2-2) pam poqön (20) 「痛みの中で」

(6.3.2-3) kani x-i-k'ut el pa r-ochoch Dios (230)
soon CMP-B1-show(PAS) out PR A3-house God
「すぐに私は教会で見せられた」

(6.3.2-4) x-Ø-el k'a pa tinamit (156)
CMP-B3-go.out then PR town
「町から去った」

(6.3.2-6) x-Ø-pe pa Roma (219)
CMP-B3-come PR Rome
「ローマからやって来た」

(6.3.2-7) ti-Ø-pe k'a kik' pa ki-tza'm winäq (189)
ICP-B3-come then blood PR A3PL-nose people
「それから人々の鼻から血が出た」

この例は pa-tza'm とみえるが、明らかに鼻という名詞の利用である。

6.3.3 chi-pam 「～に、～のときに」

(6.3.3-1) ch-u-pam waq-lajuj chi q'ij ik' febrero (231)
PR-A3-in six-ten PR day month February
「2月16日に」

(6.3.3-2) ch-u-pam nu-ch'utin-al x-i-tij-o-x wi
PR-A3-in A1-small-ABS CMP-B1-teach-SF-PAS FM
chi r-e ru-ch'ab'al Dios (Flores: 347)
PR A3-to A3-word God
「子供の時、教義にしたがって私は教えられた」

6.3.4 chi -wi 「のうえで」

(6.3.4-1) ch-u-wi' juyu' Saqijuyu' (31)
PR-A3-top mountain Saqijuyu
「サクィフユの山頂に」

6.3.5 chi -ij 「～の背後で、～に対して」

- (6.3.5-1) mani chi k'a x-Ø-u-tij lab'al K'eche' winäq
 NEG again then CMP-B3-A3-try war K'eche people
 chi r-ij Kaqchikel winäq (84)
 PR A3-back Kaqchikel people
 「ケチェ人はカクチケル人に対して戦争をまだ仕掛けていなかった」
- (6.3.5-2) oq x-Ø-tikër chik ch'a'oj chi k-ij ajaw-a' (82)
 when CMP-B3-begin more dispute PR A3PL-back lord-PL
 「さらなる争いが王たちに対して始まったとき」

6.3.6 chi -e 「～に、～ために」

- (6.3.6-1) x-Ø-cha' Tunatiw chi k-e ajaw-a' (168)
 CMP-B3-say Tunatiw PR A3PL-to lord-PL
 「トゥナティウが王たちに言った」
- (6.3.6-2) chi r-e qa-kam-ik q-øj-al-ä-x wi (Flores: 351)
 PR A3-for A1PL-die-N ICP-B1PL-son-TV-PAS FM
 「我らは死ぬために生まれる」
- (6.3.6-3) x-Ø-ya' chi r-e Alonso Rodríguez r-aj-tz'ib'
 CMP-B3-give(PAS) PR A3-to Alonso Rodríguez A3-AG-write
 ajaw (224)
 lord
 「侯の書記官アロンソ・ロドリゲスに与えられた」

6.3.7 chi -ichin 「～に、～ために」

- (6.3.7-1) ch-u-xe kan x-Ø-nu-b'ij wi ch-iw-ichin (Flores: 301)
 PR-A3-below (first) INT CMP-B3-A1-say FM PR-A2PL-for
 「最初に私は君達に言った」
- (6.3.7-2) x-e-cha' k'a chi q-ichin (18)
 CMP-B3PL-say then PR A1PL-for
 「彼らは我らに言った」
- (6.3.7-3) x-Ø-cha' k'a ri Q'aq'awitz Saktekaw chi r-ichin K'eche'
 CMP-B3-say then D Q'aq'awitz Saktekaw PR A3-for K'eche'
 winäq (28)
 people
 「クァクァウィツとサクテカウがケチェの人々に言った」

- (6.3.7-4) Xib'alb'ay k'a x-Ø-ya'-o pe ri che' ab'äj chi q-ichin (7)
 Xibalbay then CMP-B3-give-AP coming D tree stone PR A1PL-for
 「シバルバイが木と石を我らに与えた」
- (6.3.7-5) x-Ø-ya' k'a chi r-ichin Tunatiw ri k-umal
 CMP-B3-give(PAS) then PR A3-for Tunatiw D A3PL-cause
 ajaw-a' (151)
 lord-PL
 「そして首長たちによってトゥナティウに与えられた」
- (6.3.7-6) toq x-Ø-ya' k'a chi k-ichin ri k-ixjayil (53)
 when CMP-B3-give(PAS) then PR A3PL-for D A3PL-wife
 「妻が彼らに与えられたとき」
- (6.3.7-7) k'a oq x-e'-ul chi k-ichin Q'eqak'üch, B'ak'ajol,
 then PLUP CMP-B3PL-arrive PR A3PL-for Q'eqak'uch B'ak'ajol
 Sib'acijay (48)
 Sib'acijay
 「そしてそれからクエクアクッチとバカホルとシバクイハイのためにやって来た」

6.3.8 chi -wäch 「～の前で」

- (6.3.8-1) chi nu-wäch in Don Martín gobernador (232)
 PR A1-face B1 Don Martín governor
 「私こと支配者のドン・マルティンの前で」
- (6.3.8-2) tan k-i-ru-söl ch-w-ij, chi nu-wäch (98)
 ACT ICP-B1-A3-complicate PR-A1-back PR A1-face
 「後ろで、前で私を混乱させている」

6.3.9 chi -kojol 「～の間で」

- (6.3.9-1) ch-u-kojol al k'ajol (103)
 PR-A3-among mother's son father's son
 「臣下のあいだで」

6.3.10 pa/pan/pam-wi' 「～の上に」

(6.3.10-1) mi-x-Ø-ya' wi ru-k'oj-l-em ru-samaj ru-patan pan
REC-CMP-B3-give(PAS) FM A3-exist-N-N A3-work A3-tribute PR
i-wi' (231)

A2PL-self

「汝ら自身のために身分, 仕事, 職務が与えられた」

(6.3.10-2) qi-tzij ti-Ø-xib'-i-n chi kam-ik x-Ø-pe pa ru-wi'
A1PL-word ICP-B3-fear-SF-AP PR die-N CMP-B3-come PR A3-top
winäq (128)

people

「実際, 人に降りかかった死に恐れる」

7 数詞

7.1 数の数え方

数詞は20までは10進法に従った構成法である。20より上は20進法である。

1 jun	11 julaj/julaju/julajuj
2 ka'/ka'i'	12 kab'lajuj/kab'laj/kab'la'uj
3 ox/oxi'	13 oxlajuj/oxlaju/oxlaj/oxla'uj
4 kaj ~ koj/kaji'	14 kajlajuj/kajlaj/kajlaju/kajla'uj
5 wo'/wo'o'	15 wolajuj/wolaj/wolaju/wola'uj/olaj
6 waq/waqaq/waqaqi'	16 waqlajuj/waqlaju/waqlaj/waqla'uj
7 wuq/wuqu'	17 wuqlaj/wuqlaju/wuqlajuj
8 wajxaq/wajxaqi'	18 wajxaqlaj/wajxxaqla'uj
9 b'elej/b'eleje'	19 b'elejlajuj/b'elejlaj/b'elejlaju
10 lajuj/laju/la'uj/laj	20 juwinaq, may, k'al

2 から 9 までにつく接尾辞 -i', -o', -u', -e' は, 後ろに助数詞 (数分類詞) がつかない場合。偶数は -i' がつくが, 奇数は 3 を除き, 根母音と母音調和 (-V') している。

10の異形態に la'uj と laju と laj があるが, la'uj のあとには年 -a' がつく。たとえば la'uj-a' 「10年」 (113), jula'uj-a' 「11年」 (143), wajxaq-la'uj-a' 「18年」 (118), b'elej-la'uj-a' 「19年」 (122)。wuq-la'uj-a' r-ox-may 「57年」 (7-10年 A3-3-20 と書き, 3 × 20 に向かって17 となり, 3 × 20 のひとつ前の 2 × 20 から17, すなわち57を表わす)。ru-wuq-laj jun-a' r-ox-may 「57年目」 (183) のように, juna' 「年」 があると, laj になる例もある。また laju のあとには, winäq または k'al 「20」 がつく。x-laju-winäq 「20日月で10ヶ月後」 (172), x-wuqlaju-winäq 「20日月で17ヶ月後」 (167), ru-waq-laju-winäq 「20日月の16ヶ月目に」

(105), wo-laju-k'al tostones 「300 トストーン ($5-10-20=15 \times 20=300$)」 (223), b'elej-laju k'al kakaw 「380粒のカカオ ($9-10 \ 20=19 \times 20=380$)」 (227)。しかし ox-lajuj-winäq 「13 ヶ月」 (185) や ch-u-lajuj-winäq 「10番目の月」 (215) のように lajuj のままの場合もみられる。ch'ob 「分隊」の場合も laju/lajuj の両方みられる。

- (7.1-1) ox-laju ch'ob k'a wuq amaq' ox-lajuj ch'ob' k'a aj lab'al (6)
 three-ten division then seven tribe three-ten division then AG war
 「7つの部族は13の隊, 戦士は13の隊」

40, 80, 400, 8,000にはそれぞれ特別な語彙がある。8,000にあたる語は、文献により chuyv ~ chuvi ~ chui と書き方に差があり, chu'uy なのか chuwi なのかわからない。しかし Ximénez の語彙集によると, chuui は chui を見よとあることと, 『カクチケル年代記』では chuuy であり, Pantaleón de Guzmán の語彙集でも chuuy であるので, chu'uy と転写した (Guzmán 1984: 151)。

- 40 tuk / ka-winaq (= 2×20)
 80 much' / kaj-may (= 4×20)
 400 q'o/ o-much' ~ wo-much' (= 5×80)
 8,000 chu'uy
- (7.1-2) x-Ø-patan-ï-x k'a wo-much' achi' wo-much' k'a
 CMP-B3-tribute-SF-PAS then five-eighty man five-eighty then
 ixôq (165)
 woman
 「400人の男と400人の女が差し出された」
- (7.1-3) x-Ø-u-q'ät k'a Tunatiw ox-o-q'o peso chi
 CMP-B3-A3-sentence then Tunatiw three-SUF-400 peso PR
 q'an-a pwäq (153)
 yellow-ADJ gold
 「トゥナティウが黄金1200ペソを要求した」
- (7.1-4) x-Ø-u-ya' Rey audiencia wo-tuk r-ox-o-q'o chi
 CMP-B3-A3-give King Audiencia five-forty A3-three-SUF-400 PR
 tostones (217)
 tostones
 「アウディエンシア (高等行政司法院) は1,000 トストーンを与えた」 (3×400
 にむかって 5×40 , すなわち $2 \times 400 = 800$ に $5 \times 40 = 200$ を足した1000)

20より上は上位起算法と下位起算法がある。上位起算法とは上例や次例のように, 20進法のそれぞれの上の位に向かっていくつという数え方である。この数え方は現代カクチケル語にはなくなっている (八杉: 1989; 1990)。

- (7.1-5) r-ox jun-a' ru-kaj may yujuj (191)
 A3-three one-year A3-four twenty revolt
 「反乱から63年目」(4番目の20, 即ち80に向かって3番目の60から $3 = 63$ 年)
- (7.1-6) o-much' b'elej-e' r-o'-k'al tostones (223)
 five-eighty nine-SUF A3-five-twenty tostones
 「489トストーン (5×80 と5番目の20に向かって9トストーン $= 400 + 9 > 100 = 400$ に80と9)」

ちなみに同じ数が違う言い方で述べられているのが次の例である。

- (7.1-7) o-much' ju-much' r-uk'in b'elej-e' tostones (223)
 five-eighty one-eighty A3-with nine-SUF tostones
 「489トストーン (5×80 に 1×80 と9トストーン)」

下位起算法は20進法のそれぞれの下位の20以下の数を足すという数え方である。

- (7.1-8) ju-may waq-a' yujuj (140)
 one-twenty six-year revolt
 「反乱から26年」($1.20 + 6$)
- (7.1-9) pa martes ju-winäq ka'-i' chi q'ij ik' marzo
 PR Tuesday one-twenty two-S PR day month March
 「3月22日火曜日 (1588.3.22火)」(暦の場合20は winäq で表わされる)

序数詞は、先の例の r-ox や ru-kaj にみられるように、数詞の前に所有を表わす人称 A をつける。5番目は r-o' であり、15番目は r-olaj である。

「たくさん」という意味を表わすことばには k'iy ~ k'iya(形容詞) / k'iyataq(複数), tzatz があるが、8000, 16000 を使って数えられないほど多くを表わす表現がある。

- (7.1-10) maki xa ju-chu'uy ka-chu'uy x-Ø-pe (90)
 NEG just one-8000 two-8000 CMP-B3-come
 「8千でも1万6千でもない(たくさんの)人が来た」

7.2 未来と過去

ある時点からみて未来のことには -ij/-ej がつく。ただし5と7は b'ix がつく。ある時点からみて過去のことはそれに加えて -ir がつく。しかし「明日」と「昨日」には数字とは関係のない特別な語がある。

chuwa'q (208)	「明日」	iwir (183)	「昨日」
kab'-ij (218)	「2日後」	kab'-ij-ir	「2日前」
ox-ij (212)	「3日後」	ox-ij-ir	「3日前」
koj-ej (223)	「4日後」	koj-ej-er (201)	「4日前」
o-b'ix (217)	「5日後」	o-b'ix-ir	「5日前」

- wuq-u-b'ix (190) 「7日後」 wuq-u-b'ix-ir 「7日前」
 なおテキストでは waqej 「6日後」が waq'ej (111, 190, 212) と書かれている。
- (7.2-1) chuwa'q oq q'ij visitacion toq x-e'-ul (182)
 tomorrow PLUP day Visitation when CMP-B3-arrive
 「彼らがやって来た時は明日が聖母訪問の日であった>やって来たのは聖母訪問の祝日（7/2）の前日であった」
- (7.2-2) x-Ø-ul wawe' Santa María Asumpcion Tzolola'
 CMP-B3-arrive here Santa Maria Asunción Tzolola
 chuwa'q oq nima-q'ij San Lucas ch-u-wuq-laj q'ij ik' octubre (215)
 tomorrow PLUP big-day San Lucas PR-A3-seven-ten day month October
 「明日が聖ルカの祭日（10/18）の10月17日ここにここサンタ・マリア・アスンシオン・ツォノラに着いた。」
- (7.2-3) wawe' x-Ø-kām wi ajaw Don Juan Xwarez, chi ju-wināq wo'o'
 here CMP-B3-die FM lord Don Juan Juarez PR one-twenty five
 q'ij ik' junio ch-u-pam sábado iwir
 day month June PR-A3-in Saturday yesterday
 oq San Juan Bautista nim-a-q'ij (200)
 PLUP San Juan Baptist big-ADJ-day
 「6月25日、ここで、族長のドン・ファン・ファレスがなくなった。土曜日の昨日洗礼者聖ヨハネの誕生日の祭日（6/24）であった」
- (7.2-4) x-Ø-pe Mexico k'a iwir (183)
 CMP-B3-come Mexico then yesterday
 「昨日メキシコから来た」
- (7.2-5) kab'-ij oq al-a-x-ib'äl pascua x-Ø-b'an (218)
 two-FUT PLUP born-SF-PAS-I Christmas CMP-B3-do(PAS)
 「2日先がクリスマスの日それぞれ（地震）は起こった>クリスマスの2日前に起こった」
- (7.2-6) kab'-ij oq San Andrés (209)
 two-FUT PLUP San Andres
 「2日先が聖アンデレの日>使徒聖アンデレの日（11/30）の2日前」
- (7.2-7) xa k'a ru-kab'-ij x-Ø-kām chik qa-tata' r-aj-pop
 just then A3-two-FUT CMP-B3-die too A1PL-father A3-AG-mat
 Achi' B'alam (130)
 Achi Balam
 「それから2日して、我らの父ラフポップ・アチ・バラムは死んだ」

- (7.2-8) chi r-ox-ij ik' se (p)tiembre wawe' x-Ø-käm wi Don Pedro, (196)
PR A3-three-FUT month September here CMP-B3-die FM Don Pedro
「3日目先の9月>9月3日ドン・ペドロがここで死んだ」
- (7.2-9) chi r-ox-ij q'ij ik' julio mi-x-Ø-toq'
PR A3-three-FUT day month July REC-CMP-B3-stab(PAS)
Gaspar de Rosales (212)
Gaspar de Rosales
「3日目先の日の7月>7月3日ガスパル・デ・ロサレスが刺された」
- (7.2-10) chi r-ox q'ij ik' marzo mi-x-Ø-ul Alonso Juera rezador (206)
PR A3-three day month March REC-CMP-B3-arrive Alonso Juera rezador
「3月3番目の日(3月3日), アロンソ・フエラ, 祈祷者が到着した」(前例と同じような構造の文であるが, rox「三番目」と表現されている。)
- (7.2-11) ch-u-koj-ej q'ij ik' mayo mi-x-Ø-al-ä-x Juana
PR-A3-four-FUT day month May REC-CMP-B3-bear-SF-PAS Juana
ru-mi'al Pedro Ramírez (206)
A3-daughter Pedro Ramire
「4日目先の5月(5月4日)ペドロ・ラミレスの娘のファナが生まれた」
- (7.2-12) x-koj-ej-er oq ti-Ø-käm ru-mam Pablo Ximenez (201)
CMP-B3-four-FUT-PAST when ICP-B3-die A3-grandchild Pablo Ximénez
「4日前にパブロ・ヒメーネスの孫が死んだ」
- (7.2-13) koj-ej oq San Juan x-Ø-käm (223)
four-FUT PLUP San Juan CMP-B3-die
「4日後がサンフアンの日に死んだ>洗礼者聖ヨハネの誕生日(6/24)の4日前に死んだ」
- oqがwhenの意味であると, 「San Juanが死んだとき4日後」となってしまうので, oqは古典文法家がpluscuamperfecto(pluperfect 過去完了)としたものである。ある時点からみて前の出来事を表わしている。なおoqについては9.6で扱う。
- (7.2-14) o-b'ix oq Santo Tomas mi-x-Ø-al-ä-x nu-k'ajol
five-FUT PLUP Saint Thomas REC-CMP-B3-son-SF-PAS A1-son
Gaspar Q'anel (217)
Gaspar Q'anel
「5日先がサント・トマスの日私の息子ガスパル・クァネルが生まれた>使徒聖トマスの日(12/21)の5日前私の息子ガスパル・クァネルが生まれた」

- (7.2-15) t-Ø-iw-echa'-a-j pe ri pwäq o-b'ix t-Ø-i-ya' (153)
ICP-B3-A2PL-maintain-SF-TV coming D gold five-FUT ICP-B3-A2PL-give
「汝ら金を持ってこい。5日先に渡せ>5日以内に渡せ」(未来の日を表わす
場合、現代カクチケル語やキチェ語の例では「以内 dentro」) という訳がみら
れる。この場合は「以内」が適切である。)
- (7.2-16) xa ru-waq'-ej x-Ø-qa-müq chik nu-tata' (190)
just A3-six-FUT CMP-B3-A1PL-bury more A1-father
「ちょうど6日目、我らはさらに私の父を埋葬した」(waqej が waq'ej と書か
れている)
- (7.2-17) waq'-ej oq k'a t-Ø-el wo'-a' ru-b'an-ik yujuj (111)
six-FUT when then ICP-B3-leave five-year A3-do(PAS)-N revolt
「6日先に内乱の勃発から5年目が完了する>内乱の勃発の5年が完了する6
日前」
- (7.2-18) wuq-u-b'ix oq pascua x-i-chap-atäj chik chi
seven-SUF-FUT PLUP Christmas CMP-A2PL-take-CPAS again PR
yawab'-il (190)
sick-N
「クリスマスが7日先、私は病気に陥った>クリスマスの7日前に私は病気に
罹った」
- (7.2-19) x-b'elej-ej oq t-Ø-el wuq-la'uj-a' r-ox-may. (183)
CMP-nine-FUT when ICP-B3-leave seven-ten-year A3-three-twenty
「9日先に57年が経つ>(内乱から)57年が経つ9日前に」
- (7.2-20) k'a b'elej-ej-er oq ti-Ø-b'an (216)
then nine-FUT-PAST when ICP-B3-do(PAS)
「それが起こるのが9日前>(月食が)起こって9日後」
- (7.2-21) x-lajuj-ej oq t-Ø-el jun-a' yujuj (106)
CMP-ten-FUT when ICP-B3-leave one-year revolt
「10日先に内乱の一周年がくる>内乱の1周年が来る10日前に」
- (7.2-22) x-ka-winäq oq ti-Ø-käm ajaw Don Francisco, (184)
CMP-two-twenty when ICP-B3-die lord Don Francisco
「ドン・フランシスコ王が死ぬ(20日月で)2ヶ月」
- (7.2-23) x-ka-winäq oq r-ox-a', k-e-k'ut-u-n ajaw-a' (166)
CMP-two-twenty PLUP A3-three-year ICP-B3PL-appear-SF-AP lord-PL
「王たちが現れたときは3番目の年にむかって(20日月で)ふた月(2年2ヶ月)」

- (7.2-24) x-waq-winäq oq ru-kab'-a' q-o-pax pe
 CMP-six-twenty PLUP A3-two-year ICP-B1PL-divide coming
 pa tinamit (158)
 PR town

「我らが町から分散して2年目に向かって(20日月の)6ヶ月(1年6ヶ月)」
 年を表わす場合、未来のときは、-a'/-ab', 過去ときは-ab'-irとなる。

- juna'/junab' (143) 「1年」 junab'-ir (142) 「1年前」
 kab'a'/kab'ab' (158) 「2年」 kab'ab'-ir 「2年前」
- (7.2-25) x-jun-ab'-ir oq k-e-käm i-mama' (142)
 CMP-one-year-PAST when ICP-B3PL-die A2PL-grandfather
 「1年前に汝らの祖父達が死んだ>汝らの祖父たちが死んで1年後」
- (7.2-26) xa k'a jala chik ma t-Ø-el ru-kab'-a' ru-kam-ik Tuquche' (107)
 just then little again NEG ICP-B3-leave A3-two-year A3-die-N Tuquche
 「トゥクチェの死から2年目が終わらない少し前」
- (7.2-27) waq-winäq ru-kab'-a' chi lab'al x-Ø-b'an (158)
 six-twenty A3-two-year PR war CMP-B3-do(PAS)
 「なされた戦争の2年目に向かって20日月の6ヶ月>戦争をして1年6ヶ月」
- (7.2-28) x-wajxaq-ab'-ir oq ti-Ø-tikër patan-ij-ik (170)
 CMP-eight-year-PAST when ICP-B3-begin tribute-IV-N
 「8年前に貢納が始まる>貢納が始まって8年」

7.3 派生

動詞については8章で扱うが, jun「1」から派生した動詞として, junamaj(他動) / junamax(受動) / junaman(単動) がある (Flores: 330-331)。junamは「同じ(形容詞)」, 「同じく(副詞)」として機能する。

- (7.3-1) t-Ø-i-jun-am-a-j k'a i-ch'a' i-pokob' (9)
 ICP-B3-A2PL-one-SUF-SF-TV then A2PL-arrow A2PL-shield
 「汝らは矢と楯をひとつにする」
- (7.3-2) tan ti-Ø-junam-ä-x lab'al r-umal r-onojel aj lab'al (76)
 ACT ICP-B3-igual-SF-PAS war A3-cause A3-all AG war
 「すべての戦士によって戦いが平定された」
- (7.3-3) xa k'a junam x-e-käm i-mama' r-uk'in ru-tata' (130)
 just then igual CMP-B3PL-die A2-grandfather A3-with A3-father
 「汝らの祖父とその父は同時に死んだ」

- (7.3-4) chi ki-junam wäch Corregidor Don Bernardo Antonio Rodríguez (219)
PR A3PL-igual face corregidor Don Bernardo Antonio Rodriguez
「王室代官のドン・ベルナルドとアントニオ・ロドリゲスの同じ（顔の）前で」
- (7.3-5) xa junam q'aq'-al tepew-al (36)
just igual fire-SUF power-SUF
「権力と威厳は同じである」

7.4 配分詞 distributive

1 から 4 までは数詞を繰り返し形成されるが、ただし 1 の場合は最初の jun の n が省かれ、jujun, kaka', oxox, kajkäj のようになる。5 以上は -täq がついて wo-täq, waq-täq, wuq-täq, waqxaq-täq, b'elej-täq, laj-täq, julaj-täq のようになる (GK: 143)。Flores によると、jujun/ jutaq, kaka, oxox, kajkaj, wootaq, waqaqitaq, uqutaq, waqxaqitaq となる。「～ずつ」「～ごと」「それぞれ」といった意味になる (Flores: 56)。

- (7.4-1) jujun q-ichin (GK: 144)
one-one A1PL-possession
「我らひとりひとり」uno para cada uno de nosotros
- (7.4-2) pa ox-ox ik' (GK: 144)
PR three-three month
「3 ヶ月ごと」a cada tres meses
- (7.4-3) la wo-täq k-ajil x-Ø-a-b'ij (GK: 144)
Q five-DISTR A3PL-price CMP-B3-A2-say
「5 個それぞれの値段かな」cuesta cinco cada uno, dijiste?

以上が現代カクチケル語からの例で、以下に古典カクチケル語の例を挙げる。

- (7.4-4) ju-jun t-Ø-iw-iq-a-j (11)
one-one ICP-B3-A2PL-burden-SF-TV
「一つ一つ汝らは運べ」
- (7.4-5) xa ju-jun chi ch'ab'-i-tun k-uk'a'-a-m (27)
just one-one PR arrow-E-drum A3PL-carry-SF-PER
「太鼓をひとつずつ運んだ」
- (7.4-6) t-Ø-ik'o ju-jun juna (37)
ICP-B3-pass one-one year
「一年ごと年が経つ」

(7.4-7)	wajxaq-i-täq	tostones	r-ajil	juez	ju-jun	q'ij
	eight-SUF-DISTR	tostons	A3-price	judge	one-one	day
	ka-ka'	tostones	r-ichin	ajtz'ib'	(219)	
	two-two	tontons	A3-for	AG-write		

「8 トストーンずつが日々の判事の日当で、2 トストーンずつが書記のためであった」

7.5 助数詞 numeral classifier

助数詞が存在する。Flores は -paj(言), -rab'aj(糸), -q'a(手, 5 ずつ), -moq'/-moq'aj/-lep(握り), -tz'uj(垂れ), -b'iq'(口), -lik(匙), -yakaj(本), -remaj(州), -ch'ob'(部), -k'olaj(玉), -cholaj/-ley(列), -tzeqaj/-chiaj/-kiaj(吊るし), -chakaj(束, 花や草), -wi(蔓), -rap(叩き), -telaj(束, 草や薪), -ram(株), -molaj(枚, 冊, 積み), -tas(室), -peraj(枚), -b'usaj(冊), -tz'is(縫い), -jaj(抱え, 土地や木やひも), -yataj(握り), -q'etej/-b'oraj(抱え, 草や薪), -sep(町), -b'olaj/-q'et(束), -sutaj(区画), -tzob'aj(畑), -k'utu(親指の先から人差し指の先までの長さ), -xaq'(歩), -le(階), -tanaj(段), -q'ala(カカオ8000粒の荷), -winaq(20日月), -a'(年), -may(20), -mul(度), -ok(だけ), -q'at(切れ), -b'ijk q'a'(叩き), -b'ijk aqan(蹴り), -jal(替), -ch'ay(職)などを挙げている (Flores: 334~345)。

-mul 「度」

(7.5-1)	ju-mul	chi(k)	k'a	x-e-ya'-är	K'eché'	winäq (124)
	one-time	more	then	CMP-B3PL-water-IV	K'eché'	people

「再びケチエ人は負けた」

(7.5-2)	ka-mul	qi	chi	nim-a'q	chi	kam-ik	x-Ø-qa-b'än (162)
	two-time	true	PR	big-ADJ	PR	die-N	CMP-B3-A1PL-do

「我らは2度大きな死の危険を体験した」

(7.5-3)	xa	k'a	ox-mul	x-Ø-b'e	achij-a' (147)
	just	then	three-time	CMP-B3-go	man-PL

「3度男たちは行った」

-ch'ob' 「部, 分派」

(7.5-4)	xawi	k'a	x-Ø-k'am-är	je	k'a	kaj-ch'ob' (3)
	also	then	CMP-B3-bring-IV	EMPL	then	four-division

「同じように4分派が始まった」

-molaj 「枚, 冊, 積み, 種類」

(7.5-5)	wo-molaj	ru-k'oj-l-em	winäq	xe	kaj (228)
	5-pile	A3-exist-N-N	people	below	sky

「空の下に人の要素(形)が5種ある」

- (7.5-6) ru-kaj-molaj kaq'iq'; r-o'-molaj chuw-iläj chaj (228)
 A3-four-pile air A3-five-NC stench-INT ash
 「4番目の種類は空気であり, 5番目はたいへん臭い灰である」

-yeq 「歩」

- (7.5-7) xa ju-yeq', xa ka-yeq' x-Ø-qa-b'än (20)
 just one-kick just two-kick CMP-B3-A1PL-do
 「一歩, 二歩と我々は踏みつけた」

-juna'/-a' (1年), **-may** (20年)

- (7.5-8) chi ox-i' Aj x-Ø-el b'elej-laj juna' r-ox-may yujuj (187)
 PR three-SUF Aj CMP-B3-leave nine-ten year A3-three-twenty revolt
 「3アフの日に反乱から59年が完了した」

- (7.5-9) chi ox-i' Aj x-Ø-el ru-waq-a' r-ox-may yujuj (175)
 PR three-SUF Aj CMP-B3-leave A3-six-year A3-three-twenty revolt
 「3アフの日46年が内乱から経った」

-winäq (20日月, 20日)

- (7.5-10) chi ju-winäq wo'-o' oq al-a-x-ib'äl Pascua x-Ø-käm
 PR one-twenty five-SUF PLUP bear-SF-PAS-N Christmas CMP-B3-die
 nu-te' (190)
 A1-mother
 「25日クリスマスの日に私の母は死んだ」

-ichal は数詞のあとに生起して, 「一緒に」という意味を表わす。常に前に所有人称 A がおかれる (GK: 148)。

- (7.5-11) x-Ø-ki-cha' k'a k-i' ki-kab'-ichal (31)
 CMP-B3-A3PL-elect then A3PL-self A3PL-two-together
 「彼ら2人は互いに選び合った」
- (7.5-12) junelik ru-kaj-ichal r-al ki-ch'a' x-Ø-ok (102)
 continually A3-four-together A3-son A3PL-bow CMP-B3-enter
 「彼女らの弓の矢が4本皆続けて刺さった」

7.6 語順

数詞は所有詞や形容詞より前に生起するが, 限定詞は数詞の前である。

- jun qa-mama' (30) 「我らの祖父の一人」
 jun ki-me'al ajaw-a' (151) 「首長達の娘の一人」
 ri jun saq-i tz'unun (31) 「その一匹の白いハチドリ (サクイツスン)」
 ri nab'ey ru-k'ajol (88) 「その最初の息子」

所有関係を示す人称 A-N₁ N₂ はふつう「N₂ の N₁」という意味となるが、下 2 例は所有関係を示す人称 A-N₁ N₂ が一概に「N₂ の N₁」という意味にならないことを示している。3.4 ですでにふれているが、その意味は文脈から導いたものである。

jun nu-k'ajol Rafael (193) 「私の息子の一人、ラファエル」

jun ru-k'ajol Agustin (200) 「一人の彼の息子、アグスティン」

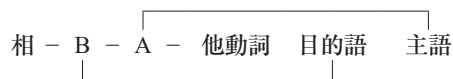
8 動詞

動詞には自動詞と他動詞の区別がある。自動詞語根は単音節が主であるが、2 音節語もある。他の語類から派生した派生自動詞（多音節語）もある。他動詞では、根他動詞（単音節）と派生他動詞（多音節語）の区別が重要である。たとえば、他動詞の受動形の場合、根他動詞と派生他動詞では異なる活用形を取り、また、命令法の作り方なども異なる。この違いを述べる前に、すでに動詞句の構造については 2.1 で簡単に述べているが、基本語順について述べる。

8.1 基本語順

動詞につく時相と人称でつくられる動詞句は、自動詞では相-B-自動詞、他動詞では相-B-A-他動詞であり、それだけで文になるものであるが、ふつう、動詞句内の人称に照応する名詞句が動詞のあとに生起して、自動詞句-主語 (VS)、他動詞句-目的語-主語 (VOS) という語順をとる。

動詞句内の人称と主語、目的語の照応関係を図示すると、次のようになる。



カクチケル語の基本語順は、VS、VOS である。名詞には何も文法的な標識はつかないので、語順を変えて焦点を移すときは、動詞の方に標識がつく。それは 8.5 で述べる。

8.1.1 自動詞文の語順

自動詞の語順は、自動詞句-主語である。

(8.1.1-1) mi-x-Ø-ul qa-loq' tata (216)

REC-CMP-B3-arrive A1PL-holy father

「我らが聖なる神父がやって来た」(VS)

動詞句内の人称 B の 3 人称単数は存在しないが、ゼロ要素 Ø と仮定して、それと主語となる qa-loq' tata が照合すると解釈する。3 人称単数以外では、次の例にみられるように、動詞の前に主語を表わす人称 B が生起することから、そのように解釈する。

(8.1.1-2) x-e-b'e je licenciado (216)

CMP-B3PL-go EMPL licenciado

「学士らは行った」(VS)

動詞句内の人称Bの3人称複数eはこの文の主語である je licenciado と照応する。

(8.1.1-3) x-Ø-pe Rab'inal-e', x-Ø-pe Sotz'il winäq

CMP-B3-come Rabinal-PL CMP-B3-come Sotz'il people

x-Ø-pe Tuquche' (10)

CMP-B3-come Tuquche

「ラビナルがやってきて、ソツイルの人がやってきて、トゥクウチェがやってきた」

人称Bのゼロ要素Øは、主語となる Rabinal-e', Sotz'il winäq, Tuquche' と照応している。

(8.1.1-4) oq x-e-käm ajaw-a' (86)

when CMP-B3PL-die lord-PL

「王たちが死んだとき」(動詞句内のeは、ajawa' と照応する)

8.1.2 他動詞文の語順

他動詞の基本語順は他動詞句-目的語-主語 VOS である。目的語や主語を表わす名詞句にはそれを示す文法的な印は何もつかない。そのため語順が大切である。しかし、ものが目的語であるときは誤解を生むことはないので、VSO の語順も許される。また目的語が長いときも主語のあとにくる場合がある。

(8.1.2-1) toq x-Ø-u-ya' chik nu-b'ara ajaw (224)

when CMP-B3-A3-give again A1-staff lord

「侯が私の杖を返したとき」(VOS)

ajaw が動詞句内のuと照応して、nu-b'ara はØに照応する。実際にはnu-b'ara に照応するものは動詞句内にはないが、分析の都合上、ゼロ要素としたØに照応するものとみなしている。これは従属節のVOS語順であるが、次にみるように、主節でも変わらない。

(8.1.2-2) x-Ø-u-ya' pe licencia mandamiento señor presidente (232)

CMP-B3-A3-give coming permission order Mr. president

「議長が許可と命令を与えた」(VOS)

動詞句内のØは licencia mandamiento に、u は señor presidente に照応する。

(8.1.2-3) xa k'a ja toq x-Ø-u-ch'äy alcalde Juan Luis (210)

just then EMP when CMP-B3-A3-hit alcalde Juan Luis

「このときフアン・ルイスが司法行政官を殴った」

動詞句内のØに照応するのがalcaldeで、uはJuan Luisと照応する。

(8.1.2-4) x-e-ki-k'äm ri Ka'i' No'j, Ka'i' B'atz' (53)

CMP-B3PL-A3PL-take D Kai Noj Kai Batz'

「そのカイ・ノフとカイ・バツツが彼女らを娶った」

動詞句内の ki が ri Ka'i' No'j, Ka'i' B'atz' に照応し、目的語の e(彼女ら) は動詞句内だけでそれに照応する名詞句はない。

(8.1.2-5) toq x-Ø-ki-möl k'a ajaw-a' ki-pwäq (153)

when CMP-B3-A3PL-gather then lord-PL A3PL-gold

「首長達が金を集めたとき」(VSO)

主語となる ajaw-a' が目的語である ki-pwäq に先行しているが、ものであり、文意は明らかである。

(8.1.2-6) toq x-Ø-u-k'ut-u-j k'a Tunatiw jun ki-me'al ajaw-a' (151)

when CMP-B3-A3-ask-SF-TV then Tunatiw one A3PL-daughter lord-PL

「トゥナティウが首長たちの娘を一人所望したとき」(VSO)

基本語順と考えられる VOS ではなく VSO となっているのは、目的語である jun ki-me'al ajaw-a' が主語である Tunatiw より長いためと考えられる。

8.2 自動詞

自動詞には根自動詞(単音節・2音節自動詞)と派生自動詞(多音節自動詞)がある。

8.2.1 根自動詞(単音節・2音節語)

CV

(8.2.1-1) x-oj-pe (2)

CMP-B1PL-come

「我々は来た」

VC

(8.2.1-2) x-oj-ul chi qa-juyub'-al (42)

CMP-B1PL-arrive PR A1PL-hill-POS

「我らは我らの町に着いた」

(8.2.1-3) x-e'-ok k'a chi ajaw-ar-em (56)

CMP-B3-enter then PR lord-IV-N

「彼らは王位についた」

CVC

(8.2.1-4) x-Ø-käm ki-tata' (47)

CMP-B3-die A3PL-father

「彼らの父が死んだ」

VCV

- (8.2.1-5) xa ch-u-wi' choloch-ik sanayi' x-oj-ik'o wi
just PR-A3-top put.in.order-ADJ sand CMP-A1PL-pass FM
pe (16)
coming
「整った砂の上を我らは通り過ぎた」

VCVC

- (8.2.1-6) x-e'-apon k'a r-uk'in Tepew (51)
CMP-B3PL-arrive then A3-with Tepew
「彼らはテベウのもとに着いた」
(8.2.1-7) x-Ø-achik' ajaw (148)
CMP-B3-dream lord
「王は夢見た」

8.2.2 派生自動詞（多音節語）

-Vr(-är/-ër/-ir)

- (8.2.2-1) x-Ø-tik-ër k'a ch'a'oj chi r-ij ajaw K'iqab' (79)
CMP-B3-begin-IV then dispute PR A3-back lord Kiqab
「キクァプ王に対する争いが始まった」
(8.2.2-2) x-Ø-ajaw-är ajaw Jun Iq' (115)
CMP-B3-lord-IV lord one Iq'
「フン・イック王が即位した」
(8.2.2-3) ke re' x-Ø-q'aq'-är wi ajaw K'iqab' ri' (71)
like D CMP-B3-fire-IV FM lord K'iqab D
「こうしてキクァプ王は偉大になった」
(8.2.2-4) x-e-saq-ër (39, 63)
CMP-B3PL-white-IV
「白くなった>夜が明けた」

-Vl-aqin

- (8.2.2-5) ri qi x-e-sut-ul-aqin, x-e-yam-al-aqin (65)
D true CMP-B3-headcloth-N-IV CMP-B3PL-jewel-N-IV
「彼らは尊敬され、宝石のように扱われた」

-o

- (8.2.2-6) maki k'a x-Ø-mej-o chik chi ri' pa Tz'ala'
 NEG then CMP-B3-go and return-IV again PR D PR Tz'ala
 xa x-Ø-ik'o chik chi kaj (41)
 just CMP-B3-pass again PR sky
 「ツアラに行ってすぐ帰ってこなかった。ただ空を過ぎただけであった。」

-e'

- (8.2.2-7) k'oj x-Ø-xul-e', x-Ø-jot-e' chi q-ichin q-onojel (20)
 someone CMP-B3-descend-IV CMP-B3-ascend-IV PR A1PL-for A1PL-all
 「我らみんなのなかには、下るものものあれば上るものもあった」
- (8.2.2-8) ke re' k'a x-e-k'as-e' wi ri' r-uma Tepew (51)
 like this then CMP-B3PL-live-IV FM D A3-cause Tepew
 「こうしてテペウのお蔭で生き延びた」
- (8.2.2-9) ch-u-pam juna' oq x-oj-k'ul-e' r-uk'in i-te' (142)
 PR-A3-in year when CMP-B1PL-marry-IV A3-with A2PL-mother
 「この年汝らの母と我らは結婚した」
- (8.2.2-10) x-Ø-jik-e' ru-kam-ik Sotz'il Tuquche' r-uma K'eche'
 CMP-B3-decide-IV A3-die-N Sotz'il Tuquche A3-cause K'eche
 winäq (83)
 people
 「ケチェ人によってソツイルとトゥクチェの死が確定した」

-e' がつく動詞は、位置・体勢動詞 (positional verb) といわれるものであり、他動詞化される場合は -Vb'a となる。形容詞化は -Vl である。しかし -r または -l で終わる語の場合は、-an となる。

- | | | |
|-----------------------|--------------|---------------------------------|
| x-Ø-jot-e' (20) | 「昇る」 | t-Ø-i-jot-ob'a' (25) |
| x-Ø-tol-e' (84) (155) | 「空になる」 | x-Ø-u-tol-ob'a' (156) |
| x-Ø-pa'-e' (93) | 「立つ」 | pa'-äl (54) |
| x-Ø-tik'-e' (156) | 「まっすぐに立ち上がる」 | tik'-il (94) |
| xule' (20) | 「下る」 | > xulan q'ij (217) 「昼過ぎ、太陽が沈んだ」 |
| mule' | 「集まる」 | > mulan (15) 「集まった」 |
| k'ule' (222) | 「結婚する」 | > k'ulan (222) 「結婚した」 |

通常 -Vj がつくと派生他動詞となるのであるが、下例のように人称 B だけが使われる、言い換えれば自動詞としての振る舞いをする動詞群がみられる。

-aj

- (8.2.2-11) x-oj-kan-aj kan q-onojel (130)
 CMP-B1PL-stay-IV remaining A1PL-all
 「我らみんなが残った」
- (8.2.2-12) jun x-Ø-nab'ey-aj, jun k'a x-Ø-xamb'ey-aj chi q-ichin ri öj (10)
 one CMP-B3-first-IV one then CMP-B3-last-IV PR A1PL-for D B1PL
 「我らのなかでひとつが最初であり、ひとつが次に来るものであった」
- (8.2.2-13) chi ri' x-oj-k'uk'um-aj wi el (20)
 PR D CMP-B1PL-feather-IV FM out,
 「あちらで我々は羽根をつけた」
- (8.2.2-14) kani k'a x-Ø-el-aj pe ajaw K'iqab' chi k-e achij-a' (81)
 soon then CMP-B3-surrender-IV coming lord K'iqab PR A3PL-to man-PL
 「それからすぐにキクァブ王は兵士に屈服した」

-ij

- (8.2.2-15) kani k'a x-e-tzol-ij qa ajaw-a' Tepepul Aj-Tz'ikinajay
 soon then CMP-B3PL-return-IV down lord-PL Tepepul AG-Tz'ikinajay
 K'isijay chi k-ochoch (138)
 K'isijay PR A3PL-house
 「それからすぐにテペプル、アフツィキナハイ、キシハイの王たちは家に戻った」

tzolij はもっぱら自動詞として生起するが、他動詞として使われている例もある。

- (8.2.2-16) x-Ø-ki-tzol-i-j pwäq alcaldes regidores (223)
 CMP-B3-A3PL-return-SF-TV gold alcaldes regidores
 「村長と議員はお金を戻した」

Carmelo Sáenz de Santa María の辞書 (SS) には tzolej(TV) <> tzolij(IV) とあるが、『カクチケル年代記』には tzolej という形はなく tzolij だけである。自動詞としても他動詞として使われる動詞があるという指摘は、Flores にある。Flores は, *tintzolej* 「私は戻す」, *kitzolej* 「私は戻る」と *tzolej* にしている。ちなみに、他には, *k'astaj* 「よみがえる」があげられている (Flores: 294-5)。

-oj

- (8.2.2-17) x-oj-yal-øj chi ri' (24)
 CMP-B1PL-stop-IV PR D
 「あちらで引き留まった」
- (8.2.2-18) k-i-toj-øj (20)
 ICP-B1-boom-IV
 「私は音を立てる」

-ej

- (8.2.2-19) x-Ø-pa 'l-ej poqlaj (20)
CMP-B3-rise-IV dust
「砂埃が舞った」

-ay

- (8.2.2-20) xa k'a pa r-achäq x-Ø-kan-ay wi (5)
just then PR A3-sediment CMP-B3-be.found FM
「ちょうど澱の中に探しあてられた」

-ix (受動接尾) 受動は8.9で扱う。

- (8.2.2-21) oq x-Ø-yab 'i-x ch'ak (127)
when CMP-B3-scatter-SF-PAS sore
「疱疹が³拡がったとき」

-ät

- (8.2.2-22) x-Ø-tz 'aq-ät k'a k-ajaw-ar-em (59)
CMP-B3-complete-IV then A3PL-lord-IV-N
「彼らの王国が³完成した」

-il

- (8.2.2-23) k-i-jil-il (20)
ICP-B1-slide-IV
「私は滑る」

-Vn

- (8.2.2-24) x-e-b'iy-in (5)
CMP-B3PL-walk-IV
「彼らは歩いた」
- (8.2.2-25) qi k'a tan ti-Ø-q 'aj-an ch'ich' oy-ob'äl (216)
true then ACT ICP-B3-sound-IV iron call-I
「確かに鉄の鐘が鳴った」

-Vn 形は8.5で述べる単動形（絶対形・行為者焦点化形）と紛らわしい。q'ajan は Maxwell and Hill は逆受動 AP(単動形) としており、また Carmero Sáenz de Santa María も verbo absoluto としている。しかし他動形は q'ajanisaj 「鐘を鳴らす」以外考えられない。よって自動詞とみなすことにする。同じような動詞に atin 「水浴びする」がある。他動形は atinisaj である。utzij の場合、自動詞は utzür 「よくなる、完成する」であるが、(8.2.2-27) にみるように、主語となるのは有生でないものがあり、他動詞の目的語を省いた単動形 (verbo absoluto) というより、自動詞といったほうがよくなっている。なお utzür の使役他動詞は utzirisaj で、その受け身が utzirisäx、単動形が utzirisan となる。

- (8.2.2-26) *x-Ø-utz-i-n* winäq (5)
 CMP-B3-good-SF-AP man
 「人間がよくなった, 完成した」
- (8.2.2-27) *mi-x-Ø-utz-i-n* ch'a'o'oj (217)
 REC-CMP-B3-good-SF-AP/IV dispute
 「論争は解決した」
- (8.2.2-28) *x-Ø-utz-ir-isä-x* wi candelas (216)
 CMP-B3-good-IV-CAUS-PAS FM candle
 「ろうソクが祝された」
- (8.2.2-29) *ja k'a qa-nim-a-tata'* fray Simón guardián r-uk'in fray Juan Dresó
 EMP then A1PL-big-ADJ-father fray Simon, guardian A3-with fray Juan Dresó
x-e'-utz-ir-isa-n (230)
 CMP-B3PL-good-IV-CAUS-AP
 「我らの偉大なる父, 修道院長のシモン師とフアン・ドゥレソは成就させた」
 chojmin, chojmir は chojm 「まっすぐな, 正しい, すりりとした」から派生した語にま
 ちがいないが, chojmin の場合は「途中どこにも止まらずまっすぐ行く」, chojmîr は「何
 かを調べる, 明らかになる」とどちらも自動詞扱いで (Sáez de Santa María), 他動形
 は chojmirisaj と使役形となる。
- (8.2.2-30) *x-Ø-chojm-i-n* qa pan q'än k'a r-ul-ik (218)
 CMP-B3-straight-SF-AP down Pan Q'an then A3-arrive-N
 「パンクァンに直行し, 着いた」
- (8.2.2-31) *mani k'a x-Ø-chojm-ir* ki-tzij (223)
 NEG then CMP-B3-straight-IV A3PL-word
 「彼らのことばは正しくなかった」

8.2.3 重複幹

$C_1 V_1 C_2 -V_1 C_1 -o'/u'$

- (8.2.3-1) *x-e-mak-am-o'* (53) (23) 「彼らは震えた」

$C_1 VC_2 -VC_2$

- (8.2.3-2) *ti-Ø-qitz'-ütz'* pa k'eche-laj (22) 「森の中でぎしぎし軋む」
 (8.2.3-3) *ti-Ø-pak-äk* (93) 「夜が明ける」
 (8.2.3-4) *ti-Ø-tik-ik* (229) 「うんざりする」

$C_1 VC_2 -C_1 -öt/üt$

- (8.2.3-5) *kani k'a x-Ø-ki-k-öt* Aqajal winäq (64) 「すぐにアクァハルの人々は喜んだ」
 (8.2.3-6) *qi-tzij ti-Ø-b'ir-b'-öt* (20) 「確かに騒音が立つ」

(8.2.3-7) ti-Ø-jul-j-üt (52) 「ひりひりと痛む」

(8.2.3-8) ti-Ø-nik-n-öt (35) 「揺れる」

-Vyaj 反復化 Frequentative

(8.2.3-9) ti-Ø-ki-k-ot-iyaj chi(k) k'a ru-k'u'x chi ki-kojol ajaw-a' (225)

H-B3-happy-DUP-IV-FREQ again then A3-heart PR A3PL-amid lord-PL

「王達の間で繰り返し満足がいくように」

8.2.4 方向性を含意する自動詞

方向性を示す自動詞は少し注意が必要である。たとえば次のような文 (8.2.4-2) は2つの解釈が可能で、実際、Brinton, Recinos, Villacortaらは「トゥランに来た」とするのに対し、Maxwell and HillやOtzoyなどは、「トゥランから来た」としている。peは話者の方に来るのであり、行くb'eの逆の行為であるが、peの場合、どこに視点を置いて述べたものか不明であるので、解釈がわかれることになる。しかし歴史的にメキシコ (8.2.4-3) やローマ (8.2.4-4) から来たことが裏付けられる文でも同じような使い方がされているところから、「～から来た」とする方が正しいと考える。paは場所を表わす前置詞で、「～に」「～で」「～から」などと訳せるため、peの方向性に迷いが生じるのであるが、血が鼻から出た例 (8.2.4-6) から、paが「～から」でないといけなことがわかる。

(8.2.4-1) x-Ø-b'e castilan ri Tunatiw (169)

CMP-B3-go Spain D Tunatiw

「トゥナティウはスペインに行った」

(8.2.4-2) x-Ø-pe pa Tulla (6)

CMP-B3-come PR Tula

「トゥーラから来た」

(8.2.4-3) wawe' Tzolola' Santa María Asumpción x-Ø-pe México (204)

here Solola Santa Maria Asuncion CMP-B3-come Mexico

「ここソロラ、サンタ・マリア・アスンシオンに、メキシコから来た」

(8.2.4-4) x-Ø-pe pa Roma (219)

CMP-B3-come PR Rome

「ローマからやって来た」

(8.2.4-5) ya' x-Ø-pe ch-u-pam juyu' (174)

water CMP-B3-come PR-A3-in mountain

「水が山の中から来た」

(8.2.4-6) kik' x-Ø-pe pa ki-tza'm winäq (190)

blood CMP-B3-come PR A3PL-nose people

「血が人々の鼻から出た」

同じように、着く場合でも、こちらに着く場合とあちらに着く場合があるが、両者は違う語彙で表わされ、「こちらに着く」は ul, 「あちらに着く」場合は apon である。なお方向動詞から派生して副詞の役割を果たす方向詞については 8.12 で扱う。

(8.2.4-7) ch-u-waqxaq-laj q'ij ik' mayo x-e'-ul chay

PR-A3-eight-ten day month May CMP-B3PL-arrive obsidian

castilan winäq (210)

Spanish people

「5月18日スペイン人の兵士達が着いた」

(8.2.4-8) x-Ø-ul chik Tunatiw x-Ø-pe castilan (171)

CMP-B3-arrive again Tunatiw CMP-B3-come Spain

「スペインからきたトゥナティウが再び着いた」

(8.2.4-9) x-e'-apon chik ch-u-wi' juyu' Wal-wal Xuk-xuk ru-b'i' (17)

CMP-B3PL-arrive again PR-A3-top hill fan-fan hook-hook A3-name

「彼らはワルワル・シュクシュクという名前の山の頂に着いた」

下例は構造的に VSO, VOS と同じである。動詞の中に方向性、日本語で言えば「へ」「～から」という概念が入っており、名詞には何もつかない。自動詞であると判断するのは、意味的な判断と、人称 B だけの使用である。自動詞的な意味があるとするのは、我々従属部主要型の考え、とくに西洋文法をベースにしたものかもしれない。言語外の事実を知らなければ、たとえば (8.2.4-10) は「トゥナティウとクスカタンは行った」とか「クスカタンはトゥナティウに行った」とかいろいろな解釈が可能になってしまう。同じような例は、すでに挙げた (8.2.4-1) (8.2.4-3) でも指摘できる。

(8.2.4-10) x-Ø-b'e Tunatiw Kuskatan (150) 「トゥナティウはクスカタンへ行った」

(8.2.4-11) x-Ø-b'e Tunatiw Castillan (169) 「トゥナティウはスペインへ行った」

(8.2.4-12) x-Ø-b'e Castilan ri Tunatiw (169) 「トゥナティウはスペインへ行った」

(8.2.4-13) x-Ø-ul chik Tunatiw Pan Choy (172) 「トゥナティウは再びパンチョイに着いた」

(8.2.4-14) x-i-pe Mexico Tenochtitlán (225) 「私はメキシコのテノチティトランから来た」

8.3 他動詞

根他動詞（単音節他動詞 CVC）と派生他動詞（多音節他動詞）がある。受動や逆受動の生成や命令法などにおいて違いがあり、この区別は、文法的に必要なものである。

8.3.1 根他動詞

根他動詞には、母音が緩み母音である CVC 形と、張り母音の CV' 形がある。

- (8.3.1-1) x-Ø-qa-müq chik nu-tata' (190)

CMP-B3-A1PL-bury more A1-father

「我らはさらに私の父を埋葬した」

- (8.3.1-2) x-Ø-qa-kir k'a q-iq-a'n (18)

CMP-B3-A1PL-untie then A1PL-bear-N

「我らの荷をほどいた」

最後が声門閉鎖音 CV'

- (8.3.1-3) k'a chi la' k'a t-Ø-i-sa' wi ru-wäch re' iw-iqu'a'n (7)

then PR D then ICP-B3-A2PL-extend FM A3-face D A2PL-burden

「あちらで汝らの荷を初めて使おう（広げよう）」

- (8.3.1-4) mi-x-Ø-nu-ya' el i-q'inom-al, iw-ajaw-ar-em (7)

REC-CMP-B3-A1-give out A2PL-rich-POS A2PL-lord-IV-N

「私が汝らの富、汝らの王権を与えた」

- (8.3.1-5) xa maki x-Ø-u-ya' wäy ixöq chi r-e k'ak'al (82)

but NEG CMP-B3-A3-give tortilla woman PR A3-to vassal

「女はトルティリヤを臣下に与えなかった」

8.3.2 派生他動詞

派生他動詞（多音節幹）は -Vj の形を取るもののほか、使役 -Vsaj、体勢動詞の他動詞化 -Vb'a などがある。-Vj の分析には 3 つの意見がある。たとえば「書く」を例にとると、tz'ib-a-j, tzib'a-j, tz'ib'-aj となる。tz'ib' という語根は名詞である。それに -a という幹形成母音をつけ、他動詞終端接尾辞 -j がついたとみるのが最初の分析である。2 番目は tz'ib'a という語幹に他動詞化接尾辞をつけたものというより、カクチケル語の他動詞には、子音で終わる CVC 単音節の根他動詞と、母音で終わる CVCV という多音節の派生他動詞幹があり、活用形が異なるという見方である。3 番目は tz'ib' という根に他動詞化接尾辞 -Vj がついたと分析する。このうち簡便な分析は、-Vj を採用するものである。その理由のひとつは、受身形 -Vx となると、母音は緩み母音になる。たとえば, poroj (152) 「火あぶりにする」を por-o-j として受動形 por-ö-x (215) とする場合と、por-o-j と por-ö-x と比べてみると、前者は幹形成母音が 2 ついるうえに、能動と受動の接尾辞がつくとしなければならないのに対し、後者は他動接尾辞と受動接尾辞だけですむからである。しかしながら同族のキチェ語やツトゥヒル語を参照にすると、カクチケル語の緊母音が長母音、緩母音が短母音にあたるので、tz'ib'-ä-aj > tz'ib'aj (=tz'iib'aaaj), tz'ib'-ä-x > tzib'äx (=tz'iib'ax), por-ö-öj > poroj (=poorooj), por-ö-x > poröx (=poorox) とするのが、理にか

なっているように思われる。すなわち CVCV̇ 幹に -V̇j, -x という接尾辞がついたと解釈するのがいいように思われる。とはいえ、最終母音に緊緩（キチエ語やツトゥヒル語では長短）の区別があるだけで、それ以前の母音には緊緩（長短）の区別はなく、母音はすべて緊音の a, i, u, e, o であり、さらに tz'ib'-ä-äj の緩音連続が緊音になるとみることに問題がある。それゆえ、tz'ib'-ä-äj, tz'ib'-ä-x とするのではなく、tz'ib'-a-aj, tz'ib'-a-x が緊音と緩音の tz'ib'aj, tz'ib'äx に変わったとみる方がよいであろう。つまり、能動は tz'ib'-a-j として、受動は最終母音が緩音に変わる tz'ib'-ä-x であるとする 것도 可能である。道具句前置を示す接尾辞 b'e がつく場合、根他動詞 ch'aj 「洗う」では ch'aj-b'e-j であるのに対し、派生他動詞 loq'oj 「愛する」では loq'-o-b'e-j となり、他動詞幹を形成する -o- のあとに b'e がつくのであり、他動詞幹形成接尾辞を無視することはできない。そこで古典カクチケル語の表記に近づけるためにも、能動形を tz'ib'-a-j とし、受動形を tz'ib'-ä-x とすることにする。つまりこの場合、幹形成接尾辞 (SF) は -a であり、受動の場合、受動接尾辞 -x の前の母音が緩音化 (-ä) するとみることにする。

-V-j

- (8.3.2-1) xti-Ø-nu-tz'ib'-a-j (<tz'ib'-ä-äj) (1)

POT-B3-A1-write-SF-TV

「私は書こう」

- (8.3.2-2) xa x-Ø-ki-jij'-u-j r-ajaw-ar-em ajaw (80)

only CMP-B3-A3PL-covet-SF-TV A3-lord-IV-N lord

「彼らは王の支配を強く望んだ」

- (8.3.2-3) x-Ø-ki-ray-i-j k'a ru-xit ru-pwäq r-alab'-il ru-winäq
CMP-B3-A3PL-desire-SF-TV then A3-jade A3-gold A3-slave A3-people
ki-tata' (80)

A3-father

「彼らは翡翠、金、奴隸、父に従う人を望んだ」

- (8.3.2-4) x-Ø-u-pop-o-j k'a ru-tzij K'eche' winäq (80)

CMP-B3-A3-mat-SF-TV then A3-word K'eche people

「ケチエの人たちは自分たちのことばをとった（集まって合意した）」

-(i)sa-j/-ti-sa-j 使役の接尾辞

- (8.3.2-5) t-Ø-in-kam-isa-j castilan winäq (154)

ICP-B3-A1-die-CAUS-TV Spanish people

「私はスペイン人を殺す」(< käm 「死ぬ」)

- (8.3.2-6) k'iy-a tinamit x-Ø-u-qa-sa-j (114)

many-ADJ town CMP-B3-A3-down-CAUS-TV

「たくさん町の町を征服した」(< qa 「降りる」)

- (8.3.2-7) xti-Ø-qa-q'ajar-tisa-j kan wa'e' juyu' (35)
 POT-B3-A1PL-praise-CAUS-TV remaining this hill
 「我々はここの山を褒め称えよう」

-ta-j

- (8.3.2-8) xa x-Ø-ki-mes-ta-j tzij (72)
 just CMP-B3-A3PL-sweep-SF-TV word
 「彼らはことばを忘れた」

-(V)b'e-j 道具 (instrumental/applicative), 受動-Vb'ë-x。8.5道具句焦点化の項参照

-Vb'a'

- (8.3.2-9) mi-x-øj-i-q'al-ab'a' (53)
 REC-CMP-B1PL-A2PL-disgrace-TV
 「汝らは我々を辱めた」
- (8.3.2-10) xa jun xti-Ø-qa-yuq-ub'a' wi ru-b'i-x-ik juyu' wa'e (23)
 just one POT-B3-A1PL-tie-TV FM A3-name-PAS-N mountain here
 「さらに一つ我々はここの山がどう名づけられているか留めよう」
- (8.3.2-11) x-e-ru-k'ul-ub'a' kan ajaw (224)
 CMP-B3PL-A3-marry-TV remaining lord
 「候は彼らを結婚させた」

これは自動詞 CVC-e' の他動詞化接尾辞 (8.2.2-7) ~ (8.2.2-10) であり, 自動詞 tole' と k'ule' を使って, その派生を示してみよう。

- (8.3.2-12) oq x-Ø-tol-e' kan ri tinamit Och'al Xa Meq'en-aläj juyu' (64)
 when CMP-B3-empty-IV remaining D town Och'al Xa Meq'en-INT hill
 「それからオチャル・シャ・メクエナラフ・フユの町が放棄された」
- (8.3.2-13) x-Ø-u-tol-ob'a' chi(k) kan Chi Xot (161)
 CMP-B3-A3-empty-TV again remaining Chi Xot
 「チショットをふたたび放棄した」
- (8.3.2-14) wawe' x-Ø-k'ul-e' chi(k) wi Don Jorge Ajpop Xajil (192)
 here CMP-B3-marry-IV again FM Don Jorge Ajpop Xajil
 「ここで, ドン・ホルヘ・アフポ・シャヒルが結婚した」
- (8.3.2-15) kaj-lajuj ru-waq-k'al x-e-ru-k'ul-ub'a' ajaw oidor (224)
 four-ten A3-six-twenty CMP-B3PL-A3-marry-TV lord oidor
 「114人を聴訴官は結婚させた (14 > 6 × 20 = 114)」

8.3.3 同根の他動詞の違い

根他動詞（単音節）と派生他動詞（多音節）で同じ根を使うが意味が異なる場合がある。いくつか例を挙げる。

täq 「送る，送与える」受動形 taq(受動形は8.9参照)

- (8.3.3-1) ch-u-b'elej q'ij ik' noviembre x-Ø-u-täq el
PR-A3-eleven day month November CMP-B3-A3-send out
ru-meb'a' gobernador (221)
A3-poor governor
「11月9日，総督は彼の孤児を送った」

- (8.3.3-2) oq x-Ø-taq k'a ri' K'o Xajil K'o B'aqil (22)
when CMP-B3-send(PAS) then D K'o Xajil K'o Baqil
「コシャヒル，コバキルが送られたとき」

taqej 「従う，与える，調べる」受動形 taqëx

- (8.3.3-3) x-Ø-i-taq-e-j ki-tzij (54)
CMP-B3-A2PL-obey-SF-TV A3PL-word
「汝らは彼らのことばに従った」
- (8.3.3-4) x-Ø-taq-ë-x ki-tzij r-uma Q'eqak'üch B'ak'ajol (50)
CMP-B3-obey-SF-PAS A3PL-word A3-cause Q'eqak'uch Bak'ajol
「クエクァクッチとバカホルによって彼らのことばは遵守された」

löq' 「買う」

- (8.3.3-5) xa k'a x-Ø-nu-löq' r-ochoch q'etzäm ajaw don Pedro de Solís (223)
just then CMP-B3-A1-buy A3-house late lord don Pedro de Solís
「故王ドン・ペドロ・デ・ソリスの家を私は買った」

loq'oj 「愛する」受動形 loq'öx

- (8.3.3-6) x-e-loq'-ö-x k'a chi ri' r-uma Aqajal winäq (64)
CMP-B3PL-love-SF-PAS then PR D A3-cause Aqajal people
「アクァハルの人々によってあちらで愛された」

süj 「招く，提供する」

- (8.3.3-7) mani chi k'a x-Ø-ki-süj ri Caxeco (223)
NEG again then CMP-B3-A3PL-invite D Caxeco
「彼らはカシェコに何も供さなかった」

sujuj 「苦情を言う」受動形 sujüx，単動（絶対）形 sujun（単動形は8.5参照）

- (8.3.3-8) xa qi x-Ø-u-suj-u-j ri winäq chi r-e vino (223)
but true CMP-B3-A3-blame-SF-TV D man PR A3-to wine
「確かに人々はワインについて苦情を言った」

(8.3.3-9) x-Ø-suj-u-n Estéban x-Ø-suj-u-n mayordomo (223)
 CMP-B3-accuse-SF-AP Esteban CMP-B3-accuse-SF-AP mayordomo
 「エステバンは告発し、執事は告発した」

k'üt「示す、教える」受動形は k'ut

(8.3.3-10) xa chi r-e chiköp je ri' loxpin ch'upichin ki-b'i'
 just PR A3-to animal EMPL D loxpin ch'upichin A3PL-name
 x-Ø-qa-k'üt wi (23)
 CMP-B3-A1PL-show FM
 「ただロシュピンとチュピチンという名前の動物に我らは示した」

(8.3.3-11) kani x-i-k'ut el pa r-ochoch Dios (230)
 soon CMP-B1-show(PAS) out PR A3-house God
 「すぐに私は教会で知らされた」

k'utuj「頼む、求める、尋ねる」受動形は k'utüx

(8.3.3-12) x-Ø-u-k'ut-u-j k'a Tunatiw jun ki-me'al ajaw-a' (151)
 CMP-B3-A3-ask-SF-TV then Tunatiw one A3PL-daughter lord-PL
 「トゥナティウは首長たちの娘を1人所望した」

(8.3.3s-13) oq x-Ø-il-itäj x-Ø-k'ut-ü-x (21)
 when CMP-B3-find-CPAS CMP-B3-ask-SF-PAS
 「見いだされて、尋ねられた」

8.5で述べるが、根他動詞の単動形は k'ut-u, 派生他動詞の単動形は k'ut-un となるはずであるが、テキストでも辞書でも k'utu という形は見いだせず、k'utun しかみられない。それゆえ k'üt も k'utuj も、その単動形は k'utun という例外的な動詞と考えられる。そのため k'üt と k'utuj からつくられる単動形を k'ut-un と k'ut-u-n と区別した。しかし根他動詞と派生他動詞の単動形は異なるという定式にそって考えると、k'utun「現れる」という自動詞と、k'ut-u-n「求める、要求する」という他動詞の単動形があるとみるのがふさわしいのかもしれない。それは次の k'ulun (8.3.3-23) (8.3.3-24) に「着く」という自動詞があるのと相似しているからである。

(8.3.3-14) toq x-Ø-k'ut-un k'a jun ki-lab'al (45)
 when CMP-B3-show-AP then one A3PL-war
 「彼らの敵の一つが現れたとき」

(8.3.3-15) mi-x-Ø-k'ut-un ch'umil t-Ø-el ru-sib'el (208)
 REC-CMP-B3-show-AP star ICP-B3-leave A3-smoke
 「煙を出す星が現れた」

- (8.3.3-16) a k'a ajaw fiscal licenciado Tomás Espinosa x-Ø-k'ut-u-n
 EMP then lord fiscal licenciado Tomas Espinosa CMP-B3-ask-SF-AP
 justicia chi k-ij (224)
 justice PR A3PL-back
 「検察官のトマス・エスピノサ学士は彼らに対して裁判を求めた」

k'ül 「受け入れる」受動形 k'ul, 単動（絶対）形 k'ulu

- (8.3.3-17) oq x-Ø-ki-k'ül k-aj-pop (40)
 when CMP-B3-A3PL-receive A3PL-AG-mat
 「彼らのアフポップを受け取ったとき」

- (8.3.3-18) x-Ø-b'e-k'ul pa Ch'okoya' (203)
 CMP-B3-go-receive(PAS) PR Ch'okoya
 「チョコヤで受け入れられた」

- (8.3.3-19) kani k'a x-Ø-k'ul k-uma ajaw-a' ajpop
 then CMP-B3-receive(PAS) A3PL-cause lord-PL AG-mat
 ajpop k'amajay (146)
 AG-mat K'amajay
 「そしてそれからアフポップとアフポップカマハイという王様に迎えられた」

- (8.3.3-20) ix k-ix-k'ul-u iw-aj-pop (10)
 you P-B2PL-receive-AP A2PL-AG-mat
 「汝らがアフポップを受けとる」（行為者焦点化）

- (8.3.3-21) oq x-e-k'ul-u chi(k) k'a k-i'
 when CMP-B3PL-encounter-AP again then A3PL-self
 ch-u-wi' juyu' Oronik Käqjay (28)
 PR-A3-top hill Oronik Kaqjay
 「オロニック・カクハイの山の上で、彼らが集まったとき」（逆受動 + k-i')

k'uluj 「抱擁する，親愛の情を示す」単動形 k'ulun

- (8.3.3-22) ja jun ajaw x-Ø-b'e-k'ul-u-n (171)
 EMP one lord CMP-B3-go-caress-AP
 「一人の王が親愛の情を示しに行った」（行為者焦点化）

k'ulun には「着く」という意味も Flores にみられる。参考までに次の 2 例で示す。

- (8.3.3-23) nu-tij-om chi(k) oq ru-ch'ab'al Dios,
 A1-teach-PER already PLUP A3-word God
 toq x-e-k'ulun pe e a-k'ajol (Flores: 126)
 when CMP-B3PL-arrive come PL A2-child
 「君の子供達がやってきたとき私はすでに教義を教えていた」

(8.3.3-24) maja k-e-k'ulun pe (Flores: 176)

NEG ICP-B3PL-arrive coming

「彼らはまだ来ていない」

8.3.4 同根の自動詞と他動詞

pax と paxij の場合は自動詞と他動詞の違いである。その違いをまとめると、pax(自動形), paxij(他動形), paxin(単動形 absoluto), paxix(受動形), paxik(自動詞の名詞形), paxinaq(自動詞の完了形) となる。

(8.3.4-1) chi ri' x-e-pax wi (27)

PR D CMP-B3PL-break FM

「あちらでそれらは割れた」

(8.3.4-2) oq x-Ø-pax ru-q'aq'-al juyu' (31)

when CMP-B3-scatter A3-fire-POS hill

「山の火が飛び散ったとき」

(8.3.4-3) ma ja oq ti-Ø-pax Aqajal wināq (64)

NEG EMP when ICP-B3-separate Aqajal people

「そのときまだアクァハルの人々は分裂していなかった」

(8.3.4-4) xa k'a qi ru-pax-ik Aqajal wināq (64)

certainly then true A3-break-N Aqajal people

「それから確かにアクァハルの人々の分裂があった」

(8.3.4-5) xa k-e-ru-pax-i-j ru-k'ajol (222)

certainly ICP-B3PL-A3-divide-SF-TV A3-son

「確かに彼の息子達を分けた」

(8.3.4-6) oq x-e-pax-i-n k-i', aj Nonowalkat, aj Xulpiti (20)

when CMP-B3PL-separate-SF-AP A3PL-self AG Nonowalkat AG Xulpiti

「ノノワルカットとシュルピティの人が分散したとき」

8.4 時相

動作が「終わっている」か、「まだ終わっていない」か、「まだ始まっていない」かの3つの相を区別するのが基本であり、それを、マヤ言語学では、完全相 *completive*(x-), 不完全相 *incompletive*(k-/t-), 可能相 *potential*(xk-/xt-) といってきた。古典文法家はスペイン語文法の範疇にしたがって記述しているが、動詞の時相についても、現在 *presente*, 過去 *pretérito*, 未来 *futuro imperfecto* といって、3つの区別を基本とする。それ以外の継続相や接続法や希求法などは小辞をさらにつけて形成される。ちなみに Flores は次のような区別を与えている。

現在	t-Ø-in-loq'oj Dios	「私は神を愛す “yo amo” (presente)」(現在)
	tan t-Ø-in-loq'oj	「私は愛している “yo amo” (se ejecuta en la misma actualidad)」(現実遂行)
	xtan t-Ø-in-loq'oj	「私は愛していた “yo amaba” (pretérito imperfecto)」(不完了過去, 線過去)
	t-Ø-in-loq'oj taj	「私は愛すれば “yo ame” (optativo puro)」(希求法)
	we t-Ø-in-loq'oj	「もし私が愛するなら “como yo ame” (subjuntivo puro)」(接続法)
過去	we ta t-Ø-in-loq'oj	「もし私が愛したいなら “ojalá yo ame” (optativo mixto con subjuntivo)」(希求接続混合法)
	x-Ø-in-loq'oj	「私は愛した “yo amé”(pretérito perfecto)」(完了過去, 点過去)
	x-Ø-in-loq'oj taj	「私は愛していたら “yo hubiera, habría, hubiese amado” (pretérito pluscuam perfecto de subjuntivo)」(接続法大過去)
未来	xt-Ø-in-loq'oj	「私は愛するだろう “yo amaré”(futuro imperfecto)」(未来)
	xt-Ø-in-loq'oj taj	「私が愛するとしたら “yo amara, amaría, amase” (pretérito imperfecto de subjuntivo)」(接続法不完了過去)
	we(ta) xt-Ø-in-loq'oj	「もし私が愛するなら “si yo amare, hubiere amado” (futuro de subjuntivo)」(接続法未来)
完了	nu-loq'om chik	「私は愛していた “yo había amado” (pretérito pluscuam perfecto); (完了大過去) yo habré amado”(futuro perfecto)」(完了未来)
	nu-loq'om chitaj	「私が愛していたら “yo haya amado” (pretérito perfecto de subjuntivo)」(接続法完了過去)

基本的には現在, 過去, 未来に加え, 接尾辞で表わされる完了の4つであり, それ以外は, tan(継続), we(仮定「もし」), ta/taj(非現実), chik(完了「もう」), chitaj(< chik taj) がつけられ構成されている。いかにもスペイン語文法に合わせるための工夫のようであるが, テキストにも確かに taj や we, chik, chitaj が使われている。しかし, スペイン語文法の範疇に合うような使われ方はされていない。

通常動作が終わっていると過去のことであり, 動作が終わっていないと現在であり, まだ始まっていないと未来のことであり, 古典文法家はそれらを過去, 現在, 未来としてきた。それらはある時点からみて, 現在, 過去, 未来に相当するため, 時相ということにする。動作が完了している場合は, 3つの基本相とは異なり, 接尾辞で表わされる。

概略自動詞では -inäq, 他動詞では -Vm となる。

そのほかに現実相, 進行相, 限定相があるが, それらは, いずれも不完全相の前に小辞をつけて表わされる。不完全相に tan がつくると現実相となる。tan は語彙分析では ACT (< actual) とした。古典文法家は actualidad, 即ち現実, 現在性を表わす不変化詞としている。x- が tan につき, 過去の場合にも使われる。古典文法家は不完了過去・線過去 (pretérito imperfecto) としている。一見ラテン語文法を当てはめたようにみえるが, 実際のテキストにも, わずか 2 例であるが, xtan は使われている。tajin が不完全相 (k-/t-) につくと進行相 (progresivo) を表わす。限定相は, 時間を限定する語句が前に生起する場合である。

8.4.1 完全相

完全相 (x-) は動作が終わったことを表わす。その活用形は次のようになる。他動詞の主語を表わす人称接辞 A は母音初頭幹か子音初頭幹で少し異なる。母音初頭幹につく 1 人称単数と 2 人称複数とは同一形態となる。なお現代カクチケル語では, 1 人称単数は (in)w-, 2 人称複数はいw- である。そして子音初頭幹につく 1 人称単数は nu- である。1 人称単数は, 古典カクチケル語では, in- と nu- の両方がみられる。自動詞においては人称 B が主語を表わすが, 1 人称単数 in が子音初頭幹では i となり, 少しばかり変わる。2 人称単数の at も子音初頭幹で a となる場合がある。

	他動子音初頭幹	母音初頭幹	自動子音初頭幹	母音初頭幹
	「愛する」	「引き出す」	「行く」	「泣く」
1 人称単数	x-Ø-in-loq'oj	x-Ø-iw-elesaj	x-i-b'e	x-in-oq'
2 人称単数	x-Ø-a-loq'oj	x-Ø-aw-elesaj	x-at-b'e	x-at-oq'
3 人称単数	x-Ø-u-loq'oj	x-Ø-r-elesaj	x-Ø-b'e	x-Ø-oq'
1 人称複数	x-Ø-qa-loq'oj	x-Ø-q-elesaj	x-øj-b'e	x-øj-oq'
2 人称複数	x-Ø-i-loq'oj	x-Ø-iw-elesaj	x-ix-b'e	x-ix-oq'
3 人称複数	x-Ø-ki-loq'oj	x-Ø-k-elesaj	x-e-b'e	x-e-oq'
(8.4.1-1)	kani k'a x-Ø-el	pe	ru-samaj-el	ajaw (83)
	soon then CMP-B3-leave	coming	A3-work-AG	lord
	「それからすぐに王の使者が去った」(自動詞)			
(8.4.1-2)	kani x-Ø-u-bän	ru-k'ox tun	ru-k'ot-øj	(98)
	soon CMP-B3-A3-do	A3-fortress	A3-dig-N	
	「すぐに防壁と洞穴を作った」(他動詞)			

- (8.4.1-3) oq x-Ø-u-tij chik lab'al K'eche' winäq, chi r-ij
when CMP-B3-A3-try again war K'eche people PR A3-back
Kaqchikel winäq (89)

Kaqchikel people

「ケチエ人がふたびカクチケル人に対して戦争を仕掛けたとき」(他動詞)

- (8.4.1-4) chi ju-lajuj Ajmaq x-Ø-ch'ay aj-tz'ib' (171)

PR one-ten Ajmaq CMP-B3-hit(PAS) AG-write

「11アフマックの日に書記は叩かれた」(受動詞)

近過去には mi-x- がつく。mi は mier 「少し前 hace un rato」の短縮形と考えられる。

- (8.4.1-5) mi-x-Ø-qa-k'is kan wa'e' juna'
REC-CMP-B3-A1PL-complete remaining here year
x-e-ya'-är wi qa-tata' qa-mama' r-uma
CMP-B3PL-water-IV FM A1PL-father A1PL-grandfather A3-cause
kam-ik ch'ak (141)

die-N sore

「我らの父、我らの祖父が痘瘡で亡くなった年を我らはここで終えた」

(ふたつの文は過去のことを述べているが、mi-x-の方がx-より最近である例)

8.4.2 不完全相

不完全相 (k-/t-) は、ある時点からみて、動作・状態が終わっていない場合を表わす。ある時点とは、発話時点の場合が多いが、それ以外に、たとえば従属節に完全相 x- が用いられ、主節に k-/t- が用いられた場合は、従属節で言及された過去のある時点、動作が終わっていないことを表わしていると考えられる。

その活用形は次のようになる (Flores: 104, 117~118, 180)。人称 B が 3 人称単数のとき、t(i) - となる。また 1 人称複数 oj が後続するとき、k- が q- に変化する。

	多音節他動	受動	単音節他動	受動
1 人称単数	t-Ø-in-loq'oj	k-i-loq'ox	t-Ø-in-b'än	k-i-b'an
2 人称単数	t-Ø-a-loq'oj	k-at-loq'ox	t-Ø-a-b'än	k-at-b'an
3 人称単数	t-Ø-u-loq'oj	ti-Ø-loq'ox	t-Ø-u-b'än	ti-Ø-b'an
1 人称複数	ti-Ø-qa-loq'oj	q-oj-loq'ox	ti-Ø-qa-b'än	q-oj-b'an
2 人称複数	t-Ø-i-loq'oj	k-ix-loq'ox	t-Ø-i-b'än	k-ix-b'an
3 人称複数	ti-Ø-ki-loq'oj	k-e-loq'ox	ti-Ø-ki-b'än	k-e-b'an
k-in-a-loq'oj	「君は私を愛す」		ti-Ø-nu-loq'oj	「私は彼を愛す」 (Flores: 211)

- (8.4.2-1) naq r-umal maki t-Ø-i-ya' puwäq chi w-ichin (152)
 what A3-cause NEG ICP-B3-A2PL-give gold PR A1-for
 「なぜ汝らはわしに金を出さないのか」
- (8.4.2-2) t-Ø-aw-ajo' pe k-at-nu-por-o-j, k-at-nu-jitz'-a-j (152)
 ICP-B3-A2-want Q ICP-B2-A1-burn-SF-TV ICP-B2-A1-hang-SF-TV
 「おまえはわしがおまえを焼き、首つりにすることを望むのか」
- (8.4.2-3) ti-Ø-pe k'a kik' pa ki-tza'm winäq (189)
 ICP-B3-come then blood PR A3PL-nose people
 「それから人々の鼻から血が出る」
- (8.4.2-4) mi-x-Ø-k'ut-un ch'umil t-Ø-el ru-sib'el (208)
 REC-CMP-B3-appear-AP star ICP-B3-leave A3-smoke
 「煙を出す星が現れた」
- (ch'umil 以下は ch'umil を修飾する関係節として、煙が出ていることを表わしていると解釈できる。しかし、星が現れた時点で煙を出しているの、「煙を出しながら星が現れた」とした方がよいであろう。「～しながら～した」という訳がふさわしい場合がたくさんある。)
- (8.4.2-5) ti-Ø-q'eq-um-är ru-wäch ik' (216)
 ICP-B3-black-N-IV A3-face moon
 「月の顔が暗くなる」(実際にはまだ月食が起こっていないが、起こる状態を記述している)
- (8.4.2-6) we k'a at k'axtok', k-a-jitz'-ä-x k-a-pej (216)
 if then B2 idol/swindler ICP-B2-hang-SF-PAS ICP-B2-cut. in. pieces(PAS)
 「もし汝が詐欺師なら、汝は首をくぐられ、ばらばらにされる」
- (8.4.2-7) at k-a-ya'-o vara de justicia pa ru-q'a' gobernador (231)
 C2 ICP-B2-give-AP staff of justice PR A3-hand governor
 「汝は首長の手正義の杖を与える人だ」
 (行為者焦点化で行為者 at が動詞句の前に出ている構文)
- (8.4.2-8) ja t-Ø-ajaw-är kani x-Ø-cha' Tunatiw chi k-e ajaw-a' (166)
 EMP ICP-B3-lord-IV soon CMP-B3-say Tunatiw PR A3PL-to lord-PL
 「すぐに彼が支配するのだと、トゥナティウが王たちに言った」
- (8.4.2-9) xa pa q'aq' k-e-ya'-är wi t-Ø-in-q'os-i-j tinamit (154)
 just PR fire ICP-B3PL-water-IV FM ICP-B3-A1-strike-SF-TV town
 「彼らは火の中に溶けるよう、私に町に雷を落とさせたまえ」

上記の例文からわかるように、不完全相は、動作が終わっていないことは確かであるが、まだ行われていない動作や状態を表わすし、命令の場合にも使われる。継続相や限

定相と名づけた構文でも不完全相が使われ、完全相や可能相でないいろいろな構文に使われるので、無時相といってもよいものである。完全相は *x-* であり、可能相は不完全相の *k-/t-* に *x-* をつけた *xk-/xt-* であり、この二つの相以外すべてを不完全相は引き受けるといってよいだろう。

不完全相と完全相はふつう現在と過去にあたるが、決して時制ではないことを次の例によって示しておこう。

- (8.4.2-10) *tan k'a t-Ø-apon*
 ACT then ICP-B3-arrive
oq mi-x-Ø-k'at r-ochoch Dios pa nim-a-q'ij
 when REC-CMP-B3-burn(PAS) A3-house God PR big-ADJ-day
tik'il q'ij (206)
 middle day

「祭りの日の正午教会が燃えたあと到着した」

直訳すると、*oq* より前の文「実際に到着する」と *oq* 以下の「祭りの日の正午に教会が燃えた」になる。どちらも過去のことであるが、教会が燃えたときは到着の行為がまだ終わっていなかったから不完全相が使われているとみなすことができる。

8.4.3 可能相（未然相）

可能相 (*xk-/xt-*) はまだ動作が行われていないが、行われる可能性がある場合。推量や意志を表わすことになる。

- (8.4.3-1) *wa'e' qi-tzij xti-Ø-käm Tunatiw* (155)
 here true-word POT-B3-die Tunatiw
 「ここで本当にトゥナティウは死ぬであろう」
- (8.4.3-2) *xti-Ø-nu-tz'ib'-a-j k'a ki-tzij ri qi je nab'ey qa-tata'*
 POT-B3-A1-write-SF-TV well A3PL-word D truly EMPL first A1PL-father
qa-mama' (2)
 A1PL-grandfather

「それでは、本当に最初の我らの父、我らの祖父達の言葉を書き記そう」

この文から、これから行なおうとする意思を表わすこともできることがわかる。次の文もそうである。

- (8.4.3-3) *wakami xk-at-nu-kam-isa-j* (35)
 now POT-B2-A1-die-CAUS-TV
 「いま私はお前を殺そうとしている」

8.4.4 完了相

完了形は動詞に接尾辞化されるが、自動詞と他動詞では異なる。動作がある時点で終了していることを表わす。

8.4.4.1 自動完了

自動完了形は -ināq, 受動も単動も自動詞扱いで -ināq がつきうる (Flores: 232-233)。

他動	単動	受動	結果受動	名詞化
loq'oj 「愛する」	loq'o-n-ināq	loq'o-x-ināq	loq'o-taj-ināq	loq'o-taj-inaq-il
b'an 「する」	b'an-on-ināq	b'an-ināq	b'an-ataj-ināq	b'an-ataj-inaq-il

- (8.4.4.1-1) maki ik'o-w-ināq ru-k'u'x Tunatiw chi lab'al (147)
 NEG pass-E-PER A3-heart Tunatiw PR war
 「トナティウの心は戦争に満足していなかった」(自動)
- (8.4.4.1-2) saq-er-ināq chik (39) el-enāq chi(k) pe q'ij (40)
 white-IV-PER already leave-PER already coming sun
 「すでに夜が明けていた。太陽が出ていた」(自動)
- (8.4.4.1-3) x-Ø-kam-ināq oq k'a r-onojel ri mi-x-Ø-qa-b'i-i-j
 CMP-B3-die-PER PLUP then A3-all D REC-CMP-B3-A1PL-say-SF-TV
 kan (98)
 remaining
 「我々が述べたすべての人が死んでいた」(自動)
- (8.4.4.1-4) k'is-ināq ki-k'u'x (15)
 finish(PAS)-PER A3PL-heart
 「彼らの心は落ち込んでいた」(受動)
- (8.4.4.1-5) xa ja ri q'uq-utaj-ināq wi che' k'at-ināq (42)
 just EMP D fall-CPAS-PER FM tree burn-PER
 「そして根こそぎになった木が焼かれた」(結果受動)
- (8.4.4.1-6) je k'a b'an-on-ināq chik ru-te' ru-nam (40)
 EMPL then do-AP-PER already A3-mother A3-sister-in-law
 「血族ができあがった」(単動)
- (8.4.4.1-7) b'an-on-ināq chik achij-a' toq x-Ø-ul (97)
 do-AP-PER already man-PL when CMP-B3-arrive.here
 「彼が着いたとき、戦士達はすでになし終えていた」(単動)

自動詞は、自動詞と位置・体勢動詞に大きく分けられるが、位置・体勢動詞の完了形(または形容詞形「～の状態にある」)は CVC-ŨI である。

- (8.4.4.1-8) tz'ap-äl k'a ru-chi' ri Tulan x-oj-pe wi (5)
 close-PER then A3-mouth D Tulan CMP-B1PL-come FM
 「われわれが来たトゥランの入り口は閉まっていた」

8.4.4.2 他動完了

根他動詞は -am/-om～on, 派生他動詞は -m であり, その文構造は, B A-他動詞-(V)m となる。

- (8.4.4.2-1) oj-ru-pixab'-a-m (58)

B1PL-A3-order-SF-PER

「彼が我々に命じていた」

以下に挙げた例のように, 目的語に照応する人称 B は 3 人称単数であるので何も示さず, 人称 A だけがついているように見える。分析ではその前に Ø をおくべきであろうが, 省略した。

- (8.4.4.2-2) ru-k'am-o-m chi(k) k'a r-iqua'n r-onojel wuq amaq' aj lab'al (8)

A3-take-SF-PER already then A3-burden A3-all seven amaq' AG war

「7つの部族と戦士みんながまた荷を受け取った」

- (8.4.4.2-3) maki ki-mest-a-m tzij xawi xere' ki-k'u'xla'-a-m (76)

NEG A3PL-forget-SF-PER word also but A3PL-deliberate-SF-PER

「彼らはことを忘れなかった。しかし同じように心に刻んだ」

- (8.4.4.2-4) ja ru-k'u'xla'-a-m ri x-e-pe wi pa Tullan (82)

EMP A3-advise-SF-PER D CMP-B3PL-come FM PR Tullan

「トゥーラから来た人の助言を求めた」

- (8.4.4.2-5) k'iy ru-kam-isa-m ri Saqik'oxol (21)

many A3-die-CAUS-PER D Sakqik'oxol

「確かにサクィコシヨルは多くを殺した」

- (8.4.4.2-6) je maki yujuj k-ajo'-om ajaw-a' al-k'ajol (100)

EMPL NEG revolt A3PL-want-PER lord-PL son-son

「王と臣下は反乱を望まなかった」

完了相はある時点で終わっていることを指すので, 次のように, 従属節がまだ「出る」ことがなされていない未来のことをいっているその時点で, 「掃き終わっている」ことを指している。

(8.4.4.2-7) a-mes-on chik jay toq xk-in-el pe pa
 A2-sweep-PER already house when POT-B1-leave coming PR
 missa (Flores: 132)
 Mass
 「私がミサから出てくるときには君は家の掃除を終わっているだろう」

8.4.4.3 完了分詞 participio perfecto/ perfect participle

完了形が形容詞として使われることがある。現代カクチケル語では次のようになる。現代カクチケル語の他動完了は、根他動詞の場合は -om ~ -um (GK), 派生他動詞は -m (GK) であり、-m としているが、標準文法では -on ~ -un/-n (GN)) として、-n を採用している。通常人称 B は 3 人称であるので、ふつう人称 A-完了形で完了を表わすことが多いが、人称 A もつかない例がある。それは、名詞を修飾する過去分詞として使われていると解釈する。(8.4.4.3-1) は現代カクチケル語の例である。

(8.4.4.3-1) tzak-on kinäq (GN: 131)
 cook-PER bean
 「煮たフリホル豆」(根他動詞)
 sa'-on ti'tj (GN: 131)
 roast-PER meat
 「焼いた肉」(根他動詞 CV')
 chup-un q'aq (GN: 132)
 extinguish-PER fire
 「消した火」(根他動詞)
 pax-i-n b'ojo'y (GN: 132)
 crack-SF-PER pot
 「割った壺」(派生他動詞)
 kam-inäq achi (GN: 132)
 die-PER man
 「死んだ男」(自動詞)
 q'ab'ar-näq achi (GN: 132)
 drink-PER man
 「酔った男」

次の 2 例は『カクチケル年代記』にみられる名詞を修飾する完了形である。

(8.4.4.3-2) ri xa qi mol-om puwäq (152)
 D only true gather-PER gold
 「そのまさに集めた金」

- (8.4.4.3-3) xa k'a an-om achi' x-Ø-qa-sa-n pe
 only then escape-PER man CMP-B3-descend-CAUS-AP coming
 ru-tzij-ol kam-ik k-uk'in ajaw-a' (91)
 A3-word-POS die-N A3PL-with lord-PL

「しかし逃れた人は王たちに関して死の噂をながした」

anom achi' が逆順になった例もある。

- (8.4.4.3-4) x-Ø-cha' ri achi' an-om, oq x-Ø-ul Kaqchikel (91)
 CMP-B3-say D man escape-PER when CMP-B3-arrive.here Kaqchikel

「カクチケル人が到着したとき逃れた人は言った」

次例も完了形が名詞の後に生起しているが、人称 A がついている。関係節とみるべきであろうが、名詞を修飾している完了形である。

- (8.4.4.4-5) chi r-ij ru-wuj-il jay nu-loq'-om (223)
 PR A3-back A3-book-POS house A1-buy-PER

「私が買った家の書類の裏に」

次の 2 例は状態を表わす述語のように使われている。

- (8.4.4.4-6) k'a laq'-a-b'e-m oq tinamit chi Awär (78)
 then settle-SF-I-PER PLUP town PR Awar

「すでにチ・アワルの町に人が住んでいた」

- (8.4.4.4-7) xa tz'elewach-i-m chik oq x-Ø-qa ul (92)
 but hope-SF-PER already when CMP-B3-descend hither

「降りてきたとき、待ち伏せしていた」

8.4.5 現実相 tan k-/t-

現代カクチケル語では tan は用いられない。不完全相接頭辞は y-/n- (1, 2 人称/3 人称) であるが、これは tan k-/t- から派生したものと推測できる。方言によって nk-~k-~q-~ny-~n-~d-~g-~ng-~j-~nq-/t-~d-~r- といった違いがみられるが (Comunidad Lingüística Kaqchikel 2004: 74-76), これらは, tan t-/k- > tan d-/g- > n d-/g- > nd-/ng- > n-/y- への変化の途中段階を表わしているものと思われる (Campbell 1977: 126)。不完全相は、実際に行われている場合や命令の場合に用いられたりして、曖昧な部分がある。そのため現実に行われていることをはっきり述べるために tan が使われたと考えられる。現代カクチケル語では, y-/n- (不完全相) と k-/t- (命令, 限定相) に分かれている。

- (8.4.5-1) tan t-Ø-ajaw-är qa-mama' Jun Iq' Lajuj No'j (118)
 ACT ICP-B3-lord-IV A1PL-grandfather Jun Iq' Lajuj Noj

「我らの祖父ファン・イックとラフフ・ノフが支配していた」

- (8.4.5-2) tan ti-Ø-ki-xib'-i-j k-i' (34)
 ACT ICP-B3-A3PL-fear-SF-TV A3PL-self
 「彼らは驚いていた」
- (8.4.5-3) tan k'a ti-Ø-tz'aq winäq r-uma Tz'aq-öl B'it-öl (5)
 ACT then ICP-B3-create(PAS) man A3-cause Tz'aqol Bitol
 「それから人間がツァコルとビトルによって造られる」
- tan は動詞ばかりでなく、名詞や状態文にもつく。
- (8.4.5-4) tan Ø corregidor Rodrigo de Quijano (217)
 ACT B3 corregidor Rodrigo de Quijano
 「ロドリゴ・デ・キハノが王室代官であった」
- (8.4.5-5) tan in mayordomo ja oq x-Ø-b'an (220)
 ACT B1 mayordomo EMP when CMP-B3-do(PAS)
 「それが起こった時、私は執事であった」
- (8.4.5-6) tan Ø k'oj oidor Sarbate (221)
 ACT B3 exist oidor Sarbate
 「聴訴官サルバテがいた」
- (8.4.5-7) tan oq tz'ib'-an-inäq x-Ø-b'e (Flores: 349)
 ACT PLUP write-AP-PER CMP-B3-go
 「書いて行った」(Habiendo escrito se fue.)
- (8.4.5-8) tan oq kuq-ul-ik ajaw (tan kuqul oq ajaw), toq x-Ø-oy-ö-x (Flores: 348)
 ACT PLUP sit-ADJ-N lord when CMP-B3-call-SF-PAS
 「呼ばれたとき紳士は座っていた」
- (8.4.5-9) tan oq in pa'-äl ch-u-xe chee
 ACT PLUP B1 stand-POADJ PR-A3-below tree
 toq x-Ø-qaj ul jun chiköp pa nu-wi (Flores: 347)
 when CMP-B3-fall hither one animal PR A1-head
 「私が木の下に立っていたとき頭の上にある動物が落ちてきた」
- xtan は文法家によると線過去（不完了過去 pretérito imperfecto）である。
- xtan in k'oj(yo estaba) 「私はいた」(Flores: 81)
- xtan t-Ø-in-loq'-o-j(yo amaba) 「私は愛していた」(Flores: 119)
- xtan k-i-loq'-ö-x(yo era amado) 「私は愛されていた」(Flores: 119)

- (8.4.5-10) x-tan oq t-Ø-in-tz'ib-a-j wuj
 CMP-ACT PLUP ICP-B3-A1-write-SF-TV book
 toq mi-x-Ø-ul samajel (Flores: 351)
 when REC-CMP-B3-arrive messenger
 「使いが来たとき私は手紙を書いていた」

oq は過去完了 pluscuamperfecto(pluperfect) とされており, toq 以下の文章より前に手紙を書いていたことを示している。過去であることをより鮮明に表現するため tanではなく xtan が使われたものと思われる。

- (8.4.5-11) xa pe x-tan t-Ø-u-k'äm q'aq'-al tepew-al
 just perhaps CMP-ACT ICP-B3-A3-carry fire-N magesty-N
 chi Ajpop Sotz'il chi Ajpop Xajil (82)
 PR Ajpop Sotz'il PR Ajpop Xajil
 「アフポップ・ソツイルとアフポップ・シャヒルに力と威厳をもたらしていた」

x- は, Flore によると, 名詞, 動詞, 分詞について, 「それから, それ以来」という意味になるというが (Flores: 303), すでに終わったこと, 過去への言及が本来的な機能であろう。

- x-junab'-ir 「いまから 1 年前」 desde ahora un año
 x-w-ul-ib'em 「私が来て以来, 来てから」 desde o después que vine
 x-ul-inaq Pedro 「ベドロが来てからのち」 después que vino Pedro (Flores: 303)
- (8.4.5-12) x-junab'-ir oq k-e-käm i-mama' (142)
 CMP-one-year-PAST when ICP-B3PL-die A2PL-grandfather
 「1 年前に汝らの祖父達が死んだ／汝らの祖父達が死んで 1 年後」
- (8.4.5-13) x-Ø-kam-inäq oq k'a r-onojel ri mi-x-Ø-qa-b'ijj
 CMP-B3-die-PER PLUP then A3-all D REC-CMP-B3-A1PL-say-SF-TV
 kan (98)
 remaining
 「我々が述べたすべての人が死んでいた」
- (8.4.5-14) x-Ø-tiker-inäq tz'aq (39)
 CMP-B3-begin-PER wall
 「壁の建設が始まっていた」
- (8.4.5-15) xa ju-ch'ob' achij-a x-Ø-chaq'-ob'e-m
 just one-division man-PL CMP-respond-I-PER
 ki-tzij ajaw-a' aj Xe Chi Peqen (101)
 A3PL-word lord-PL AG Xe Chi Peqen
 「兵の一部隊がシェチペクエンの人々の王たちの言葉に応えた」

- (8.4.5-16) mani chi(k) k'a x-Ø-k'am-o-m r-uma Nik'aj Ko'on (38)
 NEG already then CMP-B3-bring-AP-PER A3-cause Nik'aj Koon
 「ニカフ・コオンによってまだ運ばれていなかった」
- (8.4.5-17) x-ju-winäq wo'-o' oq k'a t-Ø-ul ch'ich' campana (181)
 CMP-one-twenty five-SUF when then ICP-B3-arrive metal bell
 「鐘が到着して25日後に」
- (8.4.5-18) x-mi'er oq k'a ti-Ø-pe wuq amaq' (10)
 CMP-a while ago PLUP then ICP-B3-come seven amaq'
 「7つの部族がやって来たのは少し前であった」
- (8.4.5-19) x-mani wi ti-Ø-pe wi q'aq' (31)
 CMP-NEG INT ICP-B3-come FM fire
 「決してこれまで火を噴かなかった」

8.4.6 進行相 *tajin* t-/k-

- (8.4.6-1) k'a tajin oq ti-Ø-q'ijal-ö-x che' ab'äj (144)
 then CNT PLUP ICP-B3-adorn-SF-PAS tree stone
 「そのときまで木と石が崇められていた」

もともと *tajin* は自動詞であったが、徐々に進行相を表わす不変化詞となったもので、自動詞の例は以下の通りである。

- (8.4.6-2) xawi tan ti-Ø-tajin lab'al r-uma castilan winäq (161)
 also ACT ICP-B3-continue war A3-cause Spanish people
 「スペイン人によって戦争が続いた」
- (8.4.6-3) ta (n) ti-Ø-tajin ch'ajoj pwäq oq x-Ø-käm ajaw wawe' (166)
 ACT ICP-B3-continue wash-N gold when CMP-B3-die lord here
 「ここで王が死んだとき、金を洗っていた」

8.4.7 限定相

k-/t は過去を表わす副詞や否定詞 *maja* などが先行するときにも使われる。Flores によると, *mier t-Ø-in-tijoj ala* 「少し前私は少年を教えた」といい, 過去のことであっても *x-in-tijoj* とはいわない。また *ib'ir t-Ø-in-b'ijj chi r-e* 「昨日私は彼に言った」といい *x-in-b'ijj* は使わない (Flores: 122)。

- (8.4.7-1) maja k-e-ok pe (Flores: 122)
 NEG ICP-B3PL-enter coming
 「まだ彼らは入っていない」

- (8.4.7-2) maja ti-Ø-q-īl qa-jujub'-al, qa-taq'aj-al (15)
 NEG ICP-B3-A1PL-find A1PL-hill-POS A1PL-plain-POS
 「我々是我々の山や野をまだ見つけていなかった」
- (8.4.7-3) ox-k'al juna' t-Ø-ul castilan winäq (216)
 three-twenty year ICP-B3-arrive Spanish people
 「60年前にスペイン人が来た (スペイン人が来て60年)」
- (8.4.7-4) x-mi'er oq k'a ti-Ø-tik-ër ru-pe-t-ik aj lab'al
 CMP-a while ago PLUP then ICP-B3-begin-IV A3-come-E-N AG war
 toq x-oj-pe k'a öj kaqchikel winäq (10)
 when CMP-B1PL-come then C1PL kaqchikel people
 「戦士の到来が始まるのは少し前であった、我らカクチケルの人が来たとき>
 戦士の到来が始まって少しあと、我らカクチケル人は来た」(8.4.7-4) は、
 「時の語 oq ti-動詞文 toq x-動詞文」と形式化できるが、これについては (9.5)
 で扱う。

現代にもその形は受け継がれており、限定過去 (tiempo pasado definido) と呼ばれている。

- miyer chik t-Ø-a-mēs 「少し前に君は掃除した」
 ka'i' q'ij ti-Ø-b'e 「2 日前に行った」
 jun ik' t-Ø-a-tik 「1 ヶ月前に君は種まきをした」(GK: 173)

すでに挙げている例にもみられるが、t の前に過去の時を示す語がある場合、この限定過去となる。未来を表わす語が先行する場合も t が使われる。よって、すでに述べたことだが、k-/t- は不完全相というよりも、無時相または不定相といった方がいいかもしれない。

- mi'er t-in-b'i-i-j 「少し前に私は言った desde hoy lo dije」
 ib'ir ti-Ø-kam 「昨日彼は死んだ ayer murió」
 chuwa'q t-in-b'i-i-j 「明日私は言います mañana lo diré」
 kab'ij t-Ø-in-k'ut-u-j 「明後日私は頼みます pasado mañana lo pediré」(Flores: 128)
- (8.4.7-5) ma lo ma chuwa'q chi(k) pe ti-Ø-b'an q'aq'-al
 NEG later NEG tomorrow more Q ICP-B3-do(PAS) fire-N
 tepew-al wawe' (83)
 mountain-N here
 「今日でもなく、明日でもなく、威力と権力がここで行使されるのか」
- (8.4.7-6) xa jala' chik ma t-Ø-ul ajaw Mantunalo chi ri' (169)
 only little already NEG ICP-B3-arrive.here lord Maldonado PR D
 「マルドナード侯があちらに着くほんの少し前に」

簡単ながら時相に触れたので、単動詞について述べることにする。

8.5 単動詞（絶対／単項化／略項化動詞）

古典カクチケル語に限らず、16～18世紀の文法家はインディヘナの言語の動詞の記述に際して、activo, neutro, absoluto, pasivoの4つの分類をおこなっている。このうちactivoとneutroは現在の文法における他動詞と自動詞に相当し、absolutoとpasivoは他動詞から派生する自動詞にあたる。absolutoは行為者に焦点を当て、行為対象に言及しない場合、pasivoは行為者に言及しないで、行為対象に焦点を与えるもので、受動形である。人称辞との関係でいうと、activoは人称Aで表わされる行為者が動詞の意味するものを他（人称B）へ働きかける場合であるのに対し、neutro, absoluto, pasivoは働きかけのないものであり、人称Bはneutroとabsolutoでは行為者、pasivoでは行為対象を指す。

absolutoは他動詞の意味を持つものの、目的語に言及しない場合に用いられる形である。しかし他動詞主語を表わす人称Aは用いられることなく、自動詞主語を表わす人称Bが用いられる。それは能格言語であるがゆえに必要な処置と考えられる。能格言語では、通常自動詞の主語と他動詞の目的語が同じ扱いを受け、他動詞の主語がそれとは異なるものと定義されるが、言い方を変えると、他動詞と自動詞の主語にあたるものが区別されて表現される。それぞれ人称Aと人称Bで表わされる。それゆえ、他動詞の目的語を言い表わさない場合は、一項動詞となり、自動詞扱いされる。それを古典文法家達はabsolutoと名づけたのである。それは接尾辞で表わされる。absolutoはふつう「絶対的な」とか「独立的な」と訳されるので、通常なら絶対動詞という用語になろうが、それではなかなか意味がつかみづらい。自動詞化他動詞、単項化他動詞とか略項化他動詞とした方がわかりやすいはずである。しかしここでは他動詞、自動詞、受動詞という術語を参考にして、単動詞ということにする。現代カクチケル語では、根他動詞の場合も派生他動詞の場合も、どの方言でも-V-nである。しかし次の例文のように、古典カクチケル語では、目的語がない単動形が並列していると思われる場合に、-oと-V-n両形が並列している例がみられる。

- (8.5-1) qi-tzij ti-Ø-xib'-i-n, k-e-ch'ab'-i-n, k-e-tzal-o (20)
 true-word ICP-B3-frighten-SF-AP ICP-B3PL-arrow-SF-AP ICP-B3PL-fight-AP
 「確かに彼は驚く。彼らは矢を放つ。彼らは戦う。」

それぞれの動詞形は、xib'ij, ch'ab'ij, tzälであり、前者二つが派生他動詞（多音節幹）であるのに対し、後者は根他動詞（単音節幹）である。いずれも他動詞の目的語のない形であり、動詞幹の違いが接尾辞の違いになっていることは疑いない。

つまり、根他動詞の場合は-o/-u、派生他動詞の場合は-(V)-nである。次の8.6で述べる行為者焦点化agent focus antipassiveの場合、根他動詞は-o/-u、派生他動詞は-(V)-nであるので、同形である。しかし現代カクチケル語の場合、単動接尾辞は、根他動詞の場合

も派生他動詞の場合も、-(V)-nであり、行為者焦点化の場合は、根他動詞の場合は-o/-u、派生他動詞の場合は-(V)-nである。根他動詞の場合には接尾辞が異なり、派生他動詞の場合は、両者同じ-(V)-nである。ところが古典カクチケル語の場合は、現代カクチケル語と異なり、両者の区別がなかったようである。

	現代カクチケル語		古典カクチケル語	
	根他動詞	派生他動詞	根他動詞	派生他動詞
絶対逆受動 (absolute antipassive)	-on/-un	-V-n	-o/-u ~ (-on/-un)	-V-n
行為者焦点化 (agent focus antipassive)	-o/-u	-V-n	-o/-u	-V-n

これは同系のケクチ語やボコマン語、ボコムチ語と同じである(八杉 1997; Yasugi 2006)。そのせいか、古典文法家は絶対逆受動と焦点化逆受動の違いを区別していない。しかしながら行為者が動詞に前置される場合は、単動形 *absoluto* が使われると記述しているので(たとえば Flores: 175, 216)、焦点化逆受動と呼ばれている行為者焦点化についての認識は十分あったとみられる。

- (8.5-2) ke re' k'a x-Ø-laq'-o wi winäq ri' (6)
so D then CMP-B3-marry bigamously-AP FM person D
「つまりその人は妻がいるのにさらに結婚した」
- (8.5-3) xa x-Ø-sol-o k-ajaw-ar-em (60)
but CMP-B3-disorder-AP A3PL-lord-IV-N
「しかし彼らの治政は秩序を失った」
- (8.5-4) mi-x-Ø-tz'ib'-a-n chi(k) el juez San Lucas Xesub'a (219)
REC-CMP-B3-write-SF-AP already out judge San Lucas Xesuba
「サン・ルカス・シェスバの判事が書いた」
- (8.5-5) qi tan ti-Ø-chuw-i-n ti-Ø-k'ay-i-n winäq chi kam-ik (130)
true ACT ICP-B3-stink-SF-AP ICP-B3-rot-SF-AP people PR die-N
「死んで人々は確かにくさくなり、腐っていった」
- (8.5-6) xa ru-chaj-al Tunatiw x-e-jitz'-a-n, ja
just A3-guard-N Tunatiw CMP-B3PL-hang-SF-AP EMP
Don Francisco x-Ø-b'an-o (173)
Don Francisco CMP-B3-do-AP
「トゥナティウの衛兵たちが首つりにした。ドン・フランシスコがやった。」

(8.5-7) Don Pedro Méndez x-Ø-ch'ay-o-n ch-u-pam r-alcalde-il (223)

Don Pedro Mendez CMP-B3-hit-SF-AP PR-A3-in A3-alcalde-POS

「ドン・ペドロ・メンデスが司法行政職中に暴力をふるった」

最後に挙げた2例とその前の例は、目的語がないことでは変わらない。(8.5-6)では、前文が派生他動詞、後文が根他動詞の単動化された例で、(8.5-7)は派生他動詞の例である。最後の2例とその前の例の違いは、行為者が前に出ていないか出ているかという点が異なるだけである。それゆえ行為者焦点化との区別はあまり重要視されてこなかったものと思われる。しかし基本語順がVPA(VOS)であることを考えると、行為者が動詞に前置されることは意味がないとはいえない。行為者をより強調するためにjaがつけられたのが(8.5-6)の2番目の文である。もう1例、次に挙げるが、この例では目的語も生起している。これらは行為者が動詞の前にくる文であり、次節で挙げる行為者焦点化文といえるものである。次節で述べるが、文の生成原理が異なる。

(8.5-8) ja Gaspar x-e-mol-o wa'e' winäq (226)

EMP Gaspar CMP-B3PL-gather-AP this people

「この人々を集めたのはガスパーであった」

これまで挙げた例は行為者がいずれも3人称単数であり、文法分析的にはØとしているが、動詞句の中に人称マークはつかない。しかし3人称単数以外であると、上例の(8.5-8)や以下の例のように、動詞句の中に人称がマークされる。

(8.5-9) x-e-me'al-a-n x-e-k'ajol-a-n k'a ri je

CMP-B3PL-daughter-SF-AP CMP-B3PL-son-SF-AP then D EMPL

nab'ey winäq (5)

first person

「最初の人たちが娘を産み、息子を産んだ」

(8.5-10) x-e-sik'-i-n ch-u-wäch ajaw oidor (223)

CMP-B3PL-cry-SF-AP PR-A3-face lord oidor

「彼らは聴訴官の前で叫んだ」

(8.5-11) pam poqön chik x-oj-mol-o q-i' (26)

PR pain again CMP-B1PL-gather-AP A1PL-self

「痛みを伴って我々は集まった」

(8.5-12) ix-jay-lom x-i-rap-a-n (224)

AG-house-N CMP-B1-whip-SF-AP

「夫が私をむち打った」

(8.5-8)の動詞句内での人称-eは目的語のwinäqと照応している。(8.5-9)は主語となるje nab'ey winäqが後置されているが、動詞句内の-eが照応しているのはその主語であ

る。(8.5-10) (8.5-11) では主語としての名詞はなく、主語マーカーは動詞句内にのみ現れている。(8.5-11) は再帰用法ともいえるもので、ヨーロッパ言語に慣れた人なら、他動詞扱いとなるはずでおかしいと感じるものであるが、自動詞扱いされている。これは文法書にも挙げられているもので、カクチケル語の場合、他動形でも単動形でも許されるという（たとえば Flores: 44-46）。単動形が使われる場合は、行為ではなく、行為者に焦点が当てられるのであろう。(8.5-12) では動詞句内の 1 人称マーカー-i は目的語を表わしている。

つぎの 2 例は、いずれも目的語となる名詞が生起し、行為者は動詞句内で人称 B で表わされている。しかし (8.5-14) の方は öj が動詞句の前に生起し、行為者をより強調した文例となる。現在、絶対逆受動と焦点化逆受動を分けているが、古典カクチケル語の場合、どちらも同形であり、行為者が動詞の前に現れるかどうかの違いで分ける意味はさほどなかったと推測される。

(8.5-13) chi kab'-lajuj Toj x-øj-k'am-o ixöq (142)
 PR two-ten Toj CMP-B1PL-take-AP woman
 「12トフの日に我らは妻をめとった」

(8.5-14) öj k'a x-øj-k'am-o b'ey (19)
 C1PL then CMP-B1PL-take-AP road
 「我々が道をとった>導いたのだ」

いわゆる再帰形といわれる文でも、行為者が前でも後ろでも許される。(8.5-15) の動詞は派生他動詞（多音節幹他動詞）のいわゆる逆受動形であるが、行為者焦点化といわれる形 (8.5-16) と 3 人称複数か 1 人称複数かの違いはあるものの、まったく同じ動詞形であり、行為者焦点化とか絶対逆受動という分け方があまり意味ないことを示している。

(8.5-15) x-e-pax-i-n k-i', aj Nonowalkat, aj Xulpiti (20)
 CMP-B3PL-break-SF-AP A3PL-self AG Nonowalkat AG Xulpiti
 「ノノワルカットとシュルピティの人は分散した」

(8.5-16) öj x-øj-pax-i-n q-i' (20)
 C1PL CMP-B1PL-break-SF-AP A1PL-self
 「分散したのは他でもない我々だ」

現在、根他動詞の単動形と行為者焦点化に動詞接尾辞の違いがみられるが、古典カクチケル語にはその違いがみられないことを指摘した。しかし、b'an 「する」の場合は、b'an-on と b'an-o の両方がみられる。

- (8.5-17) ti-Ø-tz'et-a' na tz'aq chun saqkab' k-ix-b'an-on,
 ICP-B3-see-IMP still wall lime white clay ICP-B2PL-do-AP
 k-ix-wiq-on (96)
 ICP-B2PL-prepare-SF-AP

「壁、石灰、白土を見よ。汝らは用意して、飾れ」(目的語なし)

- (8.5-18) je qi tan k-e-b'an-o lab'al r-uk'in ajaw K'iqab' (73)
 EMPL true ACT ICP-B3PL-do-AP war A3-with lord K'iqab

「彼らが実際にキカップ王と戦いをしていた」(目的語あり)

Saenz de Santa María の辞書では absoluto として b'anon があり、次のような意味が付与されているが、そのもととなるはずの他動詞形の b'anoj という形は記載されていないので、正しい判断は難しい。

b'anon 「用心する。祭りに必要なものを用意する。する。作る」

(prevenir; preparar lo necesario para alguna fiesta; hacer, trabajar)

b'an 「する、実現する、罰する、厳しく叱る」

(hacer; llevar a cabo; castigar; escarmentar)

しかし Flores によると、母音で終わる単動(絶対)動詞(すなわち根他動詞の単動形)の j で終わる名詞形を記している。b'anoj, nu-tz'etaj(lo que ví「私の見たもの」), nu-k'amoj(lo que tomé「私の取ったもの」)とあり(Flores: 229), b'anoj は b'an の単動形 b'ano から派生した名詞形とわかる。受動形の過去分詞形は b'aninaq であるが、単動形 b'ano の過去分詞形は b'anoninaq とししており、派生他動詞の単動形 loq'on の過去分詞形 loq'oninaq と語根以外は同じ形式となる(Flores: 226)。名詞形も b'anonik, loq'onik と同様な形となる。こういうところから、-on ~ -o 形の両用が始まったと推測される。

文法書にも、根他動詞が目的語をもたないとき、次のように、-on を取る場合がみられる。

- (8.5-19) k-ix-mes-on (Flores: 176)

ICP-B2PL-sweep-AP

「汝ら掃け」

どちらの形も許せる例として、Flores は meso(掃く) ~ meson と tz'eto(見る) ~ tz'eton をあげている(Flores: 174)。よって現代カクチケル語と同じく、根他動詞にも -on 形が古典カクチケル語にすでに一部の動詞でみられるのである。

- (8.5-20) mani k'a x-e-to'-on ajaw-a' (224)

NEG then CMP-B3PL-help-AP lord-PL

「王たちは助けなかった」(to「助ける」は to'o となるはず)

k'üt と k'utuj の違いは根(単音節)他動詞と派生(多音節)他動詞の項で挙げた。k'üt は k'ut-u という形になるはずであるが、次にみられるように、文脈からは k'utuj(要求す

る)からの派生ではなく k'ut(現す, 示す)からの派生であることは疑いない。そうすると, k'utun も現代と同じ形がすでにあったことになる。

- (8.5-21) toq x-Ø-k'ut-un jun achi k'axtok' (154)
when CMP-B3-show-AP one man K'axtok'

「カシュトックという偶像を信奉する男が現れて」

しかし wiq の場合は, wiqo と wiqon の両方があるが, 根他動詞と派生他動詞の違いと解釈すべきであろう。

wiq 「飾る, 付け加える, 増やす」

- (8.5-22) öj nab'ey x-oj-wiq-o q-i' (19)
B1PL first CMP-B1PL-decorate-AP A1PL-self

「最初に我らこそが自分たちを飾ったものである」

wiqoj 「用意する, 大きくする」

- (8.5-23) x-Ø-wiq-o-n k'a r-onojel (19)
CMP-B3-prepare-SF-AP then A3-all

「みんな用意した」

8.6 行為者焦点化

すでに述べたように, 行為者焦点化逆受動 agent focus antipassive と現在呼ばれている形は, 単動形 (絶対形 absoluto, absolutive antipassive/antipassivo absoluto) と同じである。しかし形は同じであるものの, 機能は異なる。行為者焦点化は, 焦点化逆受動と称されているが, これは語順の変換に伴う処置である。基本語順は VPA(VOS) であり, A を動詞の前に出し, 焦点化する場合に用いられる。二つの名詞を P と A としたが, 実際には名詞に文法的なマークはつかないので, VNN である。二つの名詞はどちらが主語か目的語か区別できないので, 語順が大切になる。そのどちらを動詞の前に出したか区別するために, 動詞の方にマークをつけるのである。行為者 (主語) となる名詞を前に出して焦点化する場合に, 行為者焦点化が使われる。しかし被動者 P (受益者・目的語) が前に出されたときは他動詞のままである。行為者焦点化で, 動詞につくのは人称 B であり, 自動詞扱いされるところから逆受動と称されているが, 被動者がそのまま残り, 行為者だけが動詞の前に引き出される場合と, 被動者が斜格になる場合の両方が, 古典カクチケル語にすでにみられる。被動者が斜格になる形は, 行為者が斜格となる受動とまさに逆であり, 逆受動というにふさわしいが, 前者の方がもとの形であることは, VPA の A を焦点化するために前置して AVP とするという機能の論理性に加え, 他のマヤ諸語との比較からも確かである。根他動詞には, -o/-u, 派生他動詞には, -Vn がついてそれは表わされる。

主要部有微言語からの見方をすると, その接尾辞は, 行為者 (主語) を動詞の前に置

いて焦点化する標識とみることができる。そうすると、被動者（目的語）をそのまま残すことは何ら問題ない形であるが、動詞が自動詞扱いされるところから、被動者を斜格にするようになったと解釈できる。ちなみに、-ichinによる斜格化は、Floresによると、表現に優美さ（con elegancia）が加わるという（Flores: 175; 220）。

繰り返すが、カクチケル語の基本語順はVPAである。Aを動詞の前に置くと焦点化文になり、動詞はいわゆる行為者焦点化形をとる。一方絶対逆受動と名づけられている形は目的語を省くものであった。目的語を省くか、主語の方に焦点を当てるかの違いがあり、表現の視点が違うが、同じ形が使われてきた。しかし現在は、派生他動詞では同じ形であるものの、根他動詞では異なる形となっている。

行為者焦点化では、-o/-uをとるのは根他動詞、-(V)nをとるのは派生他動詞であり、図式化すると次のようになる。

行為者焦点化文：A + V-M ± P ± 間接構成素

（行為者焦点化のマーカ－Mは -o/-u ～ -(V)n）

行為者焦点化形を取る文は、行為者焦点化、関係節、疑問文で行為者が前置される場合に使われる。その例を以下に示そう。

8.6.1 行為者焦点化文

(8.6.1-1) Xib'alb'ay k'a x-Ø-ya'-o pe ri che' ab'äj chi q-ichin (7)

Xibalbay then CMP-B3-give-AP coming D tree stone PR A1PL-for

「シバルバイが木と石を我らに与えた」

(8.6.1-2) ix k-ix-k'ul-u iw-aj-pop (10)

C2PL P-B2PL-receive-AP A2PL-AG-mat

「汝らこそがアフポップを受けとる」

(8.6.1-3) xa tz'i' xa k'üch x-Ø-ti'-o chik winäq (130)

just dog just buzzard CMP-B3-eat-AP again people

「犬とハゲタカが人を食った」

(8.6.1-4) öj x-øj-pax-i-n q-i' (20)

C1PL CMP-B1PL-break-SF-AP A1PL-self

「我らこそは分散した／分散したのは我々だった」

現代はjaによる焦点化が必須のようであるが、古典カクチケル語でもja/jeによる焦点化が、すでに挙げた(8.5-8)や次の文にみられる。

- (8.6.1-5) ja k'a Saqitz'unun x-Ø-ya'-a-n kan ru-wi' q'aq' (31)
 EMP then Saqitz'unun CMP-B3-pour water-SF-AP remaining A3-top fire
 「サクイツヌンが火の上に水を注いだ」

- (8.6.1-6) ja Ajaw Cerrado qi x-Ø-tew-r-isa-n chik poqon-al
 EMP lord Cerrato true CMP-B3-cold-IV-CAUS-AP more suffer-N
 chi r-ij winäq (179)
 PR A3-back people

「セラート侯こそ人々の被る苦しみを和らげた人であった」

- (8.6.1-7) je nab'ey qa-mama' x-e-b'an-o kan
 EMPL first A1PL-grandfather CMP-B3PL-do-AP remaining
 ri ajaw-ar-em (59)
 D lord-IV-N

「我らの最初の祖父たちが王国を作った」

次の文は行為者を前置し、目的語を省いた例である。

- (8.6.1-8) B'elej-e' K'at Kaj-i' Imox x-e-b'an-o (140)
 nine-SUF K'at four-SUF Imox CMP-B3PL-do-AP
 「ベレヘ・カットとカヒ・イモシュがやった」

それにja/jeという強調詞をつけると次のようになる。

- (8.6.1-9) ja Don Francisco x-Ø-b'an-o (173)
 EMP Don Francisco CMP-B3-do-AP
 「ドン・フランシスコがやった」

- (8.6.1-10) je k'a qa-mama' Ox-lajuj Tz'i' Kab'-lajuj Tijax
 EMPL then A1PL-grandfather three-ten dog two-ten obsidian
 x-e-b'an-o (103)
 CMP-B3PL-do-AP

「我らが祖父、オシュラフフ・ツイとカブラフフ・ティハシュがした」

このようになると、絶対逆受動と称しているものと、焦点化逆受動と称しているものとの差はほとんどなくなる。現在と違い、古典カクチケル語では活用は同じで、区別がなかったのが、なおさらこの2つを区別する理由はなかったということになる。

目的語に-ichin がつけられて表わされることがある。おそらく動詞が自動詞扱いされるので、目的語を降格させる必要があると解釈されたのであろう。Floresによると上品な言い方 (con elegancia) になるというが、それは目的語を間接化することによって得られる効果と推測される。

(8.6.1-11) Dios x-Ø-jeb'el-ik-ir-isa-n r-ichin kaj ulew (Flores: 175)

God CMP-B3-beautiful-ADJ-IV-CAUS-AP A3-for sky land

「神が空と大地を美しくなされた」

(8.6.1-12) ri wuq-amaq' nim-a'q achi x-Ø-tzuq-u k-ichin (85)

D seven-amaq' big-PL man CMP-B3-feed-AP A3PL-for

「7つの部族と新参家臣が彼らを養った」

(8.6.1-13) öj k'a x-oj-b'e-k'am-o r-ichin Tunatiw (147)

C1PL then CMP-B1PL-go-take-AP A3-for Tunatiw

「我々がトゥナティウを受け入れに行った」

人称Bは、自動詞の主語、他動詞の目的語を表わす能格言語であるので、焦点化構文の動詞内の人称は、すでに挙げた例からわかるように、どちらの意味でもとれるが、動詞内でマークされる人称Bには1人称>2人称>3人称という階層がある。動詞内の人称Bは、(8.6.1-14)は主語、(8.6.1-15)(8.6.1-16)は目的語として機能している。

(8.6.1-14) x-oj-k'am-o ixöq (142)

CMP-B1PL-take-AP woman

「我らは妻をめとった」

(8.6.1-15) Loch Xet ki-b'i' x-e-b'os-o (3)

Loch Xet A3PL-name CMP-B3PL-engender-AP

「ロッチとシェットが彼らを生んだ名前である」

(8.6.1-16) r-onojel k'a amaq' x-oj-kam-isa-n r-uk'in Tunatiw (156)

A3-all then tribe CMP-B1PL-die-CAUS-AP A3-with Tunatiw

「すべての部族がトゥナティウとともに我らを殺した」

ojが間接目的語のときは下例のようにchi qichinを使って動詞外に出される。

(8.6.1-17) Xib'alb'ay k'a x-Ø-ya'-o pe ri che' ab'äj chi q-ichin (7)

Xibalbay then CMP-B3-give-AP coming D tree stone PR A1PL-for

「シバルバイが木と石を我らに与えた」

8.6.2 関係節

関係節は、名詞または名詞句を修飾する節で、後続する。いわゆる関係代名詞にあたるものは必要ではないが、限定詞のriが関係節に先行して生起することがある。

- (8.6.2-1) xawi k'a e k'oj ki-samaj-el
 also then B3PL exist A3PL-work-AG
 ri x-e-ya'-o pe ri che' ab'äj chi q-ichin (14)
 D CMP-B3PL-give-AP coming D tree stone PR A1PL-for
 「同じく木と石を我らに与えた使者がいた」(ki-samajelのあとにriが先行する
 修飾節が続いている)
- (8.6.2-2) wa'e' xti-Ø-nu-tz'ib'-a-j jalal ki-tzij je nab'ey qa-tata'
 here POT-B3-A1-write-SF-TV little A3PL-word EMPL first A1PL-father
 qa-mama' je ri x-e-b'os-o winäq ojer (1)
 A1PL-grandfather EMPL D CMP-B3PL-engender-AP people ago
 「ここに私は、大昔に人間を生んだ最初の我らの父、我らの祖父達のことを
 少し書き記そう」

最初の例(8.6.2-1)は関係代名詞の役目を果たすriがあり、2番目の例(8.6.2-2)では、jaの複数であるjeとriの両方がついてje riとなっている。この文はje riを関係詞とみて、関係節の主語を関係節化したとみなしたが、「その人達が人間を生んだ」と2文に解釈可能である。

本来主語を関係節化するために動詞の方に-o/-u(根他動詞)または-(V)n(派生他動詞)という焦点化の標識をつけるのであるから、前置される名詞には何もつける必要がない。同様関係詞も必要でないが、関係節をよりいっそうわかりやすくするために、限定詞riをつけるようになったと解釈できる。先行詞の名詞または名詞句は関係節の主語となるもので、目的語が先行詞になると、他動詞のままである。先行詞が関係節の主語であることを示すために、主要部である動詞のほうに接尾辞o/-uまたは-(V)nがつけられるのである。

- (8.6.2-3) Tunatiw Awilantaro ru-b'i' k-ajaw-al ri qi x-Ø-qa-sa-n
 Tunatiw Adelantado A3-name A3PL-lord-POS D true CMP-B3-fall-CAUS-AP
 r-onojel amaq' (144)
 A3-all tribe
 「トゥナティウ・アウィランターロがすべての部族を打ち負かした彼らの王の
 名前である／トゥナティウ・アウィランターロが彼らの王の名前で、すべて
 の部族を打ち負かした」

次の例は関係詞もないし、先行詞の名詞にも何もマークがついていない。

- (8.6.2-4) k'a x-Ø-utz-i-n winäq x-Ø-tij-o che' x-Ø-tij-o
 then CMP-B3-good-SF-AP man CMP-B3-eat-AP tree CMP-B3-eat-AP
 k'a xaq-i' (4)
 then leaf-PL

「それから木を食べ、葉も食べた人がよくなった」

この文は winäq のあとに winäq を修飾する節が続くとみたが、同様の構造をもつ次の文は、関係節ととらえると「傷ついた村長たちがむち打たれた」となり、意味をなさない。動詞には含まれた *alcaldes* が両方の主語となっている。ということは、(8.6.2-4) も関係節とみず、「人が完成し（よくなり）、葉も食べた」と訳せよう。

- (8.6.2-5) mi-x-e-rap-ä-x alcaldes x-e-sok-a-n (194)
 REC-CMP-B3PL-flog-SF-PAS alcaldes CMP-B3PL-wound-SF-AP

「村長たちはむち打たれ、傷ついた」

ちなみに自動詞の関係節を次に挙げるが、自動詞には何もマークをつける必要がない。他動詞の場合、主語、目的語のどちらが関係節化されるかを区別する必要がある、その違いが動詞の接尾辞のあるなしで表わされるが、自動詞の場合、当然のことながら、関係節の主語は自動詞の主語であるから、動詞はそのままである。

- (8.6.2-6) wa'e' xti-Ø-nu-tz'ib'a-j ki-b'i' ri e qa-mama'
 here POT-B3-A1-write-SF-TV A3PL-name D B3PL A1PL-grandfather
 x-e'-ajaw-är ojer ri qi x-e-sut-ul-aqin,
 CMP-B3PL-lord-IV ago D true CMP-B3-headcloth-N-IV
 x-e-yam-al-aqin (65)
 CMP-B3PL-jewel-N-IV

「昔支配していた我らの祖父達の名前をここに私は書き記そう。彼らは尊敬され、宝石のように扱われた。」

ri qi は前の文を関係づける関係詞とみなせ、関係節として訳すことが可能であるが、分けて解釈の方が理解しやすい。

8.6.3 疑問文

疑問詞は文頭に置かれる。それが主語の役目をするときには他動詞は焦点化形をとり、目的語の役割のを果たすときは他動詞のままである。疑問詞として Flores は *naq*, *anaq*, *achinaq*, *naqi* (「誰, 何 *quién o qué*」) を挙げているが、『カクチケル年代記』では *chinaq* または *naq* である。

- (8.6.3-1) naq mi-x-Ø-k'am-o pe w-ana' (38)
 who REC-CMP-B3-take-AP coming A1-sister
 「誰が私の姉を連れて来たのか」

- (8.6.3-2) naq mi-x-in-ixow-a-n (232)
who REC-CMP-B1-hate-SF-AP

「だれが私を嫌ったのか」

- (8.6.3-3) chinaq q-oj-uche-e-n, chinaq ti-Ø-q-ik'o-w-i-b'e-j (15)
who ICP-B1PL-call-SF-AP what ICP-B3-A1PL-pass-E-SF-I-TV

「誰が我らと呼ぶのか。何でもって我らは渡るのか。」

chinaq はもっぱら k-/t- を使う不完全相の文, naq は完全相 x- の文に使われるが, 次の文のように naq でも不完全相 t- が使われるので, その交替の条件は不明である。ちなみに上文 (8.6.3-3) の後半の chinaq は道具または手段を問うものである。

- (8.6.3-4) naq t-Ø-ajo'-on (31)
who ICP-B3-want-AP

「誰が望んでいるのか」

参考までに他動詞を使った例文を次にあげるが, chinaq は目的語である。

- (8.6.3-5) chinaq ti-Ø-qa-b'än (18)
what ICP-B3-A1PL-do

「何を我らはするのか」

8.7 抱合逆受動

主語と目的語がありながら, 動詞は人称 B だけの構文がある。これはすでにみたように, 行為者焦点化構文にもみられたが, その場合は, 行為者は動詞の前に生起する。しかし VPA 構文においても, 人称 B だけで, いわゆる単動接尾辞の -o/-u ~ -Vn がつく場合もある。これは抱合逆受動といわれるものである。目的語は一般的なもので, 一般的, 習慣的行為をさす場合に用いられると考えられている。

- (8.7-1) x-Ø-k'ot-o k'a pwäq winäq r-onojel (165)
CMP-B3-dug-AP then gold people A3-all

「人々はみんな金を掘った」

この例は, 金一般をさし, いわば「金堀をした」とも言うべきものと考えられる。目的語を一体化した行為をさすともいえよう。

- (8.7-2) k-e-b'an-o ch'a'oj ri e ru-k'ajol (222)
ICP-B3PL-do-AP dispute D B3PL A3-son

「彼の息子達が口論する」

これと似た文に, 単動詞 (逆受動) と再帰代名詞の共起がある。以下 3 例の q-i', w-i', q-i' は再起代名詞であり, (8.7-6) にみられるように他動詞 käl の目的語 w-i' となるものと同じである。それが単動詞と共起しているのであるから, 目的語が生起する上例 (8.7-1) (8.7-2) と同じ構造といってよい。

- (8.7-3) pam poqön chik x-øj-mol-o q-i' (26)
 PR pain again CMP-B1PL-gather-AP A1PL-self
 「痛みを伴って我々は集まった」
- (8.7-4) xa x-i-kol-o w-i' pa ru-chi' Kaqix (20)
 just CMP-B1-save-AP A1-self PR A3-mouth Kaqix
 「オウムの口の中で私は助かった」
- (8.7-5) k'a chi ri' k'a x-øj-pax-i-n wi ul q-i' (20)
 then PR D then CMP-B1PL-separate-SF-AP FM arrive A1-self
 「それからあちらで我々は別れてきた」

ちなみに動詞 mol, kol の他動詞文と受動文をあげてみる。

- (8.7-6) xa nik'aj taq'aj x-Ø-nu-köl wi w-i' (20)
 just half plain CMP-B3-A1-save FM A1-self
 「平野の真ん中で私は助かった」(他動 + -i)

これはいわゆる再帰形であり、他動詞扱いである。再帰形でない他動詞は次のようになる。

- (8.7-7) toq x-Ø-ki-möl k'a ajaw-a' ki-pwäq (153)
 when CMP-B3-A3PL-gather then lord-PL A3PL-gold
 「首長達が金を集めたとき」(他動)

なぜ単動詞でありながら、目的語が許されるのであろう。動詞文で使われる人称 A と人称 B の振る舞いを意味論的に考えると、動詞文で、人称 A が使われると、他への働きかけや影響があることを示し、人称 B だけであると、動作や行為が、その主体者だけで完結することを表わしているように思われる。行為が他へ及ばないということは、自然とそうなるということを意味する可能性がある。自分の意志の及ばないところで事態が起こったことを表わすように思われるが、カクチケル語を母語とする言語学者 Filiberto Patal によると、その逆で、自分の意志でやったことを強調する構文という。それに対し他動詞文は、自分の努力で助かったことを明示しないという。

自然に、自分の意志の及ばないことではなく、自らの意志が発揮されて事が起こったことと解釈すると、確かに (8.7-3) ~ (8.7-5) は納得できる。それを確信させる例を挙げておきたい。pixab'an は pixab'aj の単動形(逆受動 antipassive と呼ばれる形)であり、上記の molo や kolo と同じ自動詞扱いの形である。それなのに ki-i' という目的語がついている。

- (8.7-8) kani k'a x-e-pixab'-a-n k-i' (16)
 soon then CMP-B3PL-counsel-SF-AP A3PL-self
 「それからすぐに彼らは自分たちで相談しあった」

他動詞の受動形は次の例にみられる。

- (8.7-9) toq x-Ø-mol jay r-uma Ajaw Juan Roser (178)
 when CMP-B3-gather(PAS) house A3-cause lord Juan Roser
 「ファン・ロセル侯によって家が集められたとき」(受動)

8.7.1 規格外の文

- (8.7.1-1) mani x-Ø-ya'-o patan r-onojel juyu' (160)
 NEG CMP-B3-give-AP tribute A3-all mountain
 「山の人みんなは貢納しなかった」

この文の動詞 xya'o はいわゆる逆受動形 antipasivo であり、これまで述べてきた、絶対逆受動、行為者焦点化逆受動、抱合逆受動と呼ばれる3つの型の内のどれに入るかと問えば、抱合逆受動と答えるのが順当であろう。主語の役割の r-onojel juyu' が最後にあり、目的語の patan は限定詞がついておらず総称名詞として使われているからである。ronojel は集合名詞として単数扱いされることがあるので、動詞内の Ø と照応する。しかし Otzoy も Maxwell and Hill も Villacorta も Brinton も他動詞文のように訳している。Pero todos los habitantes de la comarca se negaron a pagar el tribute (Otzoy) / None of the territory paid tribute (Maxwell and Hill) / pero toda la comarca continuó pagando el tributo (Villacorta) / the whole country continued to refuse tribute (Brinton) .

次の文は、一見文法的に受け入れにくい形を取る。

- (8.7.1-2) x-mani wi x-Ø-ya'-o patan r-uma r-onojel juyu' (161)
 CMP-NEG INT CMP-B3-give-AP tribute A3-cause A3-all mountain
 「山の人みんなで（によって誰も）貢納しなかった」Pues toda la comarca se negó a pagar el tributo (Otzoy) / no tribute was given by any of the territory (Maxwell and Hill) / pero toda la comarca negó el tributo (Villacorta) / the whole country refused the tribute (Brinton) .

受動文と同じように、r-uma によって r-onojel juyu' が斜格化されている。受動文であれば、次のように xya' であるはずであるが、そうではなく xya'o であり、明らかに単動形（逆受動形）をとっている。受動文では次のようになる。

- (8.7.1-3) k'oj nawipe q-iq-a'n x-Ø-ya' pe
 exist furthermore A1-bear-N CMP-B3-give(PAS) coming
 r-uma qa-te' qa-tata' (18)
 A3-cause A1PL-mother A1PL-father
 「我らの母、我らの父によって与えられた我らの荷がさらにある」

(8.7.1-4) ch-u-wi' wa'-im x-Ø-ya' wi firmas r-uma r-onojel
 PR-A3-top food-N CMP-B3-give(PAS) FM sign A3-cause A3-all
 ajaw-a' (223)
 lord-PL

「食事のあと、すべての王たちによって署名された」

一見すると (8.7.1-2) は受動文のまちがいと思われるが、これが受動文ではないことは、次の (8.7.1-5) のように、同様な文がみられることからわかる。

(8.7.1-5) xa mani x-Ø-ya'-o chaj wawe' k-uma qa-tata'
 just NEG CMP-B3-give-AP ash here A3PL-cause A1PL-father
 Santo Domingo (176)
 Santo Domingo

「ドミニコ会の我らの神父達で (によって誰も) 灰をここで与えなかった」 (La ruptura fue por causa de la ceniza,) que no fue dada aquí por los padres de Santo Domingo (Otzoy) / No ashes were given here by our Fathers of Santo Domingo (Maxwell and Hill) / La cenizas no fueron dadas por nuestros padres de Santo Domingo (Villacorta) / Ashes were not given by our Fathers of St. Dominic (Brinton) / Es que nadie dió ceniza aquí, por nuestro padre Santo Domingo (Filiberto 私信)

(8.7.1-6) oq x-Ø-tij-o lab'al chi r-ij K'eche' wināq
 when CMP-B3-work-AP war PR A3-back K'eche people
 k-umal qa-mama' Jun Toj Wuq-u' B'atz' (84)
 A3PL-cause A1PL-grandfather one Toj seven-SUF Batz'

「我らの祖父フン・トフとウクゥ・バツツによってケチェ人に対して戦争を仕掛けたとき」

非文のように思われるが、カクチケル母語話者の言語学者 Juan E. Ajsivinac や Filiberto Patal に聞いても、文法的な文だと言うところから, ruma ronojel juyu や kuma qa-tata' Santo Domingo や k-umal qa-mama' Jun Toj Wuq-u' B'atz' が行為者となる逆受動文で, patan や chaj や lab'al は目的語と解釈しなければならない。日本語の「～で (によって)」で表わされる名詞が行為者を表わすことができるのと同じとみてよいのではなかろうか。それが動詞の前に出た形が次の文である。その前から続く文とともにあげる。これを 1 文とみると訳のようになる。ruma 以下だけを取りあげ、直訳すると「咳と寒さと熱で人を捕らえる」となろう。

- (8.7.1-7) ox-i' chi q'ij ik' enero mi-x-Ø-tikër yawab'-il
 three-SUF PR day month January REC-CMP-B3-begin sick-N
 r-uma ojob' tew k'atän ti-Ø-k'am-o winäq (222)
 A3-cause cough cold fever ICP-B3-take-AP people
 「1月3日咳と寒さと熱で人が伝染する病気が始まった」

次の文の動詞も utzij(「よくする」>完成させる)) の単動形である。それにも拘わらず, ruma と斜格化されている。

- (8.7.1-8) xere ri capila x-Ø-utz-i-n r-uma Santiago Pérez ru-bi'
 only D chapel CMP-B3-good-SF-AP A3-cause Santiago Pérez A3-name
 jun chik ajan-el (232)
 one more carve-AG
 「ただ礼拝堂がサンティアゴ・ペレスという名のもう一人の木工でできた」

8.8 道具句焦点化文

行為者焦点化文と同様に、道具句も動詞の前に置き、焦点化する場合がある。この場合、手段を表わす前置詞を省略するのがもとの形であり、これは同系のツトゥヒル語などにもみられるのであるが、カクチケル語の場合は、手段を表わす前置詞付きの形が現在用いられる (Yasugi 2012)。ここで分析している古典カクチケル語の『カクチケル年代記』では、前置詞のない名詞だけの形がみられる。18世紀の文法では、両方の形があげられており、その頃変化が起こり始めたと推測できる。

道具句焦点化文も行為者焦点化文と同型をとる。ただし M は -b'e である。正確にいうと -b'e ではなく、-b'ë であろうが (-b'ë-ëj > -b'ej, -b'ë-x > -b'ëx), -b'ë-j(能動), -b'ë-x(受動) と表記することにする。

道具句焦点化文: ① + V-M ± O ± S

動詞 V 内部の構造は、

相-B-A-他動詞(幹)-b'e-j(能動)

相-B-他動詞(幹)-b'ë-x(受動)

となる。

- (8.8-1) juku' ti-Ø-q-ik'ow-i-b'e-j (20)
 boat ICP-B3-A1PL-pass-E-SF-I-TV
 「カヌーで我らは渡ろう」

(w は母音連続を避けるために出現するとしたが、基底が ik'ow で、自動詞の場合、ik'ow となると仮定するほうがよいであろう。たとえば juyu'「山」が所有化されると、u-juyub'-

al となるように、単独ではみられない子音が現れる。近縁のキチェ語をみれば ik'o は ok'ow, juyu' は juyub' であることから、カクチケル語では最後の子音が消失する傾向にあることが確かめられる。)

- (8.8-2) xa k'a r-achäq chiköp kot b'alam x-Ø-ki-chun-a-b'e-j
just then A3-excrement animal eagle jaguar CMP-B3-A3PL-limestone-SF-I-TV
ru-pan che' (46)
A3-in tree

「鷲とジャガーの糞でもって彼らは木の内側を白く塗った」

- (8.8-3) xa k'a ru-xe' qa-ch'ame'y x-Ø-u-toq'-b'e-j ok sanayi'
just then A3-root A1PL-stick CMP-B3-A3-stab-I-TV enter sand
ch-u-pam palow (16)
PR-A3-in sea

「それから我らの儀仗の根元でもって海の砂を突き刺した」

- (8.8-4) ja ri Che' Tz'ulu' ru-b'i' x-Ø-u-k'aq-b'e-j Tolk'om (37)
EMP D tree Tz'ulu A3-name CMP-B3-A3-shoot-I-TV Tolk'om

「名前がツルという葦でトルコムを射た」

- (8.8-5) xa ja ri najt-i'q simaj che' x-Ø-k'aq-b'ë-x (37)
just EMP D long-PL sharp tree CMP-B3-shoot-I-PAS

「長い木の槍でもって彼は討たれた」

- (8.8-6) simaj x-e-kam-isa-b'ë-x (156)
point CMP-B3PL-die-CAUS-I-PAS

「鋭いとがった杭でそれら(馬)が殺された」

関係文

- (8.8-7) ja qi k'o r-iqan ri k-e-chap-b'ë-x ajaw-a' ajpop
EMP true exist A3-burden D ICP-B3PL-take-I-PAS lord-PL Ajpop
ajpop k'amajay (25)
Ajpop K'amajay

「たしかにアフポップとアフポップカマハイが王に選ばれた荷があった」

疑問文

- (8.8-8) chinaq ti-Ø-q-ik'o-w-i-b'e-j ch-u-wi' palow (20)
what ICP-B3-A1PL-pass-E-SF-I-TV PR-A3-top sea

「我々は何でもって海を越えていくのか」

否定文

(8.8-9) mani tan ti-Ø-k-ik'o-w-i-b'e-j pe (15)

NEG ACT ICP-B3-A3PL-pass-E-SF-I-TV coming

「何かでもって彼らは越えていくものがない」

(道具句前置のマークである b'e があることで何の道具もない (mani) ことを表わしていると解釈できる)

18世紀の資料でも、前置された名詞には何もつかず、動詞のほうに -b'e がつく。

(8.8-10) way t-Ø-in-watas-i-b'e-j meb'a (Torresano: 101)

tortilla ICP-B3-A1-food-SF-I-TV poor

「トルティリヤパンで私は貧乏人を養う」

受動は次のようになる。

(8.8-11) ru-tzij Dios ti-Ø-tij-o-b'ë-x winäq (Torresano: 102)

A3-word God ICP-B3-education-SF-I-PAS people

「神の御ことばで人は教えられる」

ru-tzij Dios も winäq も 3 人称単数であり、動詞内で分析上 Ø としているが、そのどちらに照応するか確かでない。しかし 1, 2 人称単複並びに 3 人称複数は、下例のように、動詞内にマークされる。そうすると、動詞句内の照応関係において、道具句に照応するものがないのがよくわかる。下例でみるように、oj は能動 tijoj の受動形の主語であり、rutzij Dios の前置は b'e によってマークされているとみることができる。まさに主要部である動詞の方に文法的なマークをつける主要部有徴言語の特徴をみせている。すると -x は b'e の受動ではなく、tijoj の受動 tijox の間に入る道具句前置のマークであると解釈できる。

(8.8-12) ru-tzij Dios x-oj-tij-o-b'ë-x (Torresano: 102)

A3-word God CMP-B1PL-teach-SF-I-PAS

「神の御ことばで我らは教えられた」

関係節内に現れた道具句動詞とその受動形の例が次の 2 つである。他動詞形では、主語は in として動詞句内にあり、目的語の wae tz'i' に照応するものは Ø である。手段の jun che' は b'e でマークされると解釈できる。それを受動にすると、(8.8-14) になり、wa'e' tz'i' は関係節の受動の主語であることはなんの問題なく理解される。

(8.8-13) t-a-k'am-a pe jun che' t-Ø-in-kam-isa-b'e-j wa'e'

ICP-A2-carry-IMP coming one tree ICP-B3-A1-die-CAUS-I-TV this

tz'i' (Flores: 197)

dog

「私がこの犬を殺す (のに使う) 棒を持ってこい」

- (8.8-14) t-a-k'am-a pe jun che' ti-Ø-kam-isa-b'ë-x wa'e'
 ICP-A2-carry-IMP coming one tree ICP-B3-A1-die-CAUS-I-TV this
 tz'i' (Flores: 197)
 dog

「この犬が殺される棒を持ってこい」

ところが目的語が -ichin によって斜格化されて示されることもある。この場合, jun ab'äj が新しい目的語となり, そのためもとの目的語の wa'e tz'ikin は斜格化されたとみる必要がある。

- (8.8-15) t-a-k'am-a pe jun ab'äj t-Ø-in-kam-isa-b'e-j
 ICP-A2-bring-IMP coming one stone ICP-B3-A1-die-CAUS-I-TV
 r-ichin wa'e tz'ikin (Flores: 198)
 A3-for this bird

「私がこの鳥を殺すのに使う石を持ってこい」

この文の受身形が次の文である。

- (8.8-16) t-a-k'am-a pe jun ab'äj ti-Ø-kam-isa-b'ë-x
 ICP-A2-bring-IMP coming one stone ICP-B3-A1-die-CAUS-I-PAS
 r-ichin wa'e' tz'ikin (Flores: 198)
 A3-for this bird

「この鳥を殺すのに使われる石を持ってこい<この鳥を殺される石を持ってこい>」

(8.8-16) は, (8.8-15) を無理やり受動形にしたためにできた構文のようにみえる。能動でも受動でも richin は不要であるはずである。しかし, 下例にみられるように, 『カクチケル年代記』にも同様な文があることから, richin があることはまちがいでなく, 許される文であるとみなさなければならない。つまり jun ab'äj が新しい目的語となり, 旧来の目的語は降格して斜格化したと考える必要がある。それが受動になったのであるから, 「石が使われて鳥を殺す」ということになり, 鳥はあくまで斜格化された目的語と解釈しなくてはなるまい。では「殺す」は受け身にならないのだろうか。(8.8-11) (8.8-12) からみて, 「鳥は殺される」のではないだろうか。

- (8.8-17) b'alb'axin che' x-Ø-ch'ay-b'ë-x k-ichin aj Kupilkat (45)
 intertwine tree CMP-B3-hit-I-PAS A3PL-for AG Kupilkat

「絡み合った木でアフ・クピルカットは叩かれた」

b'ëx を手段の受け身と取り, 「絡み合った木が使われてクピルカットをたたいた」という解釈も成り立ちそうだが, すでにふれた (8.8-11) (8.8-12) やのちに述べる (8.8-20) からみて, 動詞の ch'ay が受け身となるべきである。しかし aj Kupilkat は主語とはならず, kichin により斜格になっているので, うまく日本語に表現はできないが, 動作を間接的に受けているのはまちがいない。同様にカクチケル語でも, ch'ay の受動か,

ch'ayb'ej の受動かという曖昧性が派生する。

次の2例では、「トウモロコシを捏ねられた」、「人間の肉をこしらえられた」と直訳に近い形を与えたが、日本語としては適切ではなかろう。

- (8.8-18) ru-kik'-el tixli kumätz x-Ø-ok x-Ø-yoq'-b'ë-x r-ichin
A3-blood-POS tapir snake CMP-B3-enter CMP-B3-knead-I-PAS A3-for
ri ixim (5)
D maize

「野豚と蛇の血が入れられ、それでもってトウモロコシを捏ねられた」

- (8.8-19) x-Ø-tz'aq-b'ë-x r-ichin ru-ti'oj-il winäq r-uma Tz'aqöl B'itöl (5)
CMP-B3-create-I-PAS A3-for A3-flesh-POS man A3-cause Tz'aqol Bitol
「それ（トウモロコシ）でもってツァコルとビトルによって人間の肉をこしらえられた」

照応関係から考えると、手段を表わす名詞が動詞内の3人称単数Øと照応して、それ以外の構成素が斜格化されているとみるのが可能かもしれない。(8.8-19)は(8.8-18)に続く文であり、「それ（トウモロコシ）」が目的語となり、受動化されたとみると、「それがツァコルとビトルによって使われて、人間の肉をこしらえた」となろう。しかし-b'ëは手段を表わす名詞が動詞に前置されることを表わすマーカーであり、人称辞に照応する必要はないはずである。それこそが主要部有徴言語の特徴の一つとみなすべきものである。(8.8-12)や次文(8.8-20)のように、手段を表わす名詞が動詞内の人称と照応しない例があることから、そのように考えるべきである。

- (8.8-20) kanij x-Ø-k-el-esa-j doctrina pa qa-ch'a-b'äl,
soon CMP-B3-A3PL-leave-CAUS-TV doctrine PR A1PL-language-I
kani ja x-øj-tij-o-b'ë-x k-uma (175)
soon EMP CMP-B1PL-teach-SF-I-PAS A3PL-cause

「すぐに彼ら（ドミニコ会の神父）は我らのことばに教義を訳した。すぐに我らは彼らにそれ（我らのことばに訳された教義）でもって教えられた」

動詞は, tijoj の受動形の tijox の間に -b'ë が入り, tijob'ëx となったとみるべきである。動詞句内の oj は受動者である。行為者は受動のため kuma で斜格化されている。手段を表わす名詞に照応する人称は動詞句内に現れる余地はない。(8.8-16)～(8.8-18)の文は、明らかに行為者が省かれている。(8.8-19)では行為者は ruma を伴う Tz'aqöl B'itöl である。受動文だから受動者が主語の役割を果たすはずであるが、道具句が目的語に昇格して、それが受動化され、本来の目的語は kichin/richin で降格されたままの文ということになる。再解釈され、文法化されることはあり得ることである。しかしこのようなものの形から外れた解釈がなされた文が作り出されたために、-b'ë を使った道具句焦点化文は使われなくなっていくのかもしれない。

道具句は動詞のあとに置かれると前置詞が必要である。

(8.8-21) x-Ø-u-rap-a-j chi k'am (217)

CMP-B3-A3-flop-SF-TV PR rope

「綱で彼女を叩いた」

しかし前置されると不要になる。その代わりに、動詞の方に -b'e がついて、前置される名詞句が道具句であることを知らせる。しかし次の例文のように、-b'e をつけず、他動詞のままで、wi がそのあとに置かれる文もある。前置化を知らせるために動詞のあとに置かれる wi は、場所句や間接目的語など、文の間接構成素が前置されるときに生起するものと同じである。なお wi の使い方については9.2において扱う。

(8.8-22) x-Ø-in-kam-isa-j tz'ikin chi ab'äj (Torresano: 108)

CMP-B3-A1-die-CAUS-TV bird PR stone

「私は石で鳥を殺した」

(8.8-23) ab'aj x-Ø-in-kam-isa-j wi tz'ikin (Torresano: 108)

stone CMP-B3-A1-die-CAUS-TV FM bird

「石で私は鳥を殺した」

現代カクチケル語では、前置詞が義務的であり、動詞には -b'e がつき、さらに前置詞句が文頭に引き抜かれたしるしとして、wi という不変化詞が生起する。

(8.8-24) chi ikäj x-Ø-u-choy-o-b'e-j wi ri che' ri achi (GK: 383)

PR ax CMP-B3-A3-cut-SF-I-TV FM D tree D man

「斧でその男はその木を切った」

しかし -b'e がなくても道具句焦点化文ができる。この文の道具句を焦点化したのがその次の文 (8.8-26) である。その場合、道具句を前置したしるしとして、wi が動詞のあとに置かれる。

(8.8-25) x-Ø-u-kam-isa-j jun kumätz r-ik'in che' ri achi (GN: 224)

CMP-B3-A3-die-CAUS-TV one snake A3-with tree D man

「その男は棒で蛇を殺した。」

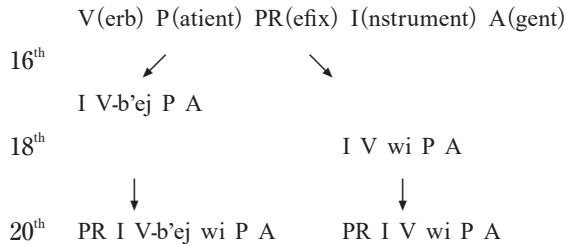
(8.8-26) r-ik'in che' x-Ø-u-kam-isa-j wi jun kumätz ri achi (GN: 224)

A3-with tree CMP-B3-A3-die-CAUS-TV FM one snake D man

「棒でその男は蛇を殺した。」

このように時とともに道具句前置文は変化している。それは主要部有徴言語から従属部有徴言語への変化ととらえることが可能である。

17世紀からの道具句焦点化文の変化の歴史をたどるとつぎのようになろう。



8.9 受動

受動は根他動詞と派生他動詞では異なる。根他動詞は母音が緩み母音であるが、受動の場合は張り母音に変わる。たとえば、根他動詞 k'ül「受け入れる」の受動形は k'ul であるし、ch'äy「叩く」の受動形は ch'ay となる。系統的に関係の深いキチェ語やツトゥヒル語では長母音になる。因みにこの受動形は *h- に由来する。しかし古典カクチケル語のテキストでは、区別されず（たとえば「埋める」は能動受動とも muq と書かれる）、能動と受動の区別は人称の違いでしか表わされない。人称 A がなく、人称 B だけがあることで受動であることがわかるのである。一方派生他動詞（多音節幹他動詞）の場合は、-Vx となり、人称 B が用いられるとともに、形態素が違うことでも受動とわかる。-x の前の母音が緩音化することが、受動化に必要なともとれるが、近縁のキチェ語やツトゥヒル語では、他動は VVj、受動が -Vx である。

根他動詞 müq とその受動 muq の例を次に示す。

- (8.9-1) xa ru-waq-ej x-Ø-qa-müq chik nu-tata' (190)
 just A3-six-FUT CMP-B3-A1PL-bury more A1-father
 「ちょうど6日後、我らはさらに私の父を埋葬した」
- (8.9-2) toq x-Ø-muq nu-te' (190)
 when CMP-B3-bury(PAS) A1-mother
 「私の母が埋葬されたとき」

声門閉鎖で終わる ya' のような動詞は、そのまま ya' である。能動か受動かは、人称 A が用いられるか、人称 B が用いられるかの違いによってしか区別できない。

- (8.9-3) kani x-Ø-ya' patan r-uma K'eche' winäq (146)
 soon CMP-B3-give(PAS) tribute A3-cause K'eche people
 「すぐにケチェの人々によって貢納がなされた」

行為者は ruma を使った斜格形で表わされる。

- (8.9-4) je Xajil-a' x-e-ch'ay r-uma Don Pedro (223)
 EMPL Xajil-PL CMP-B3PL-hit(PAS) A3-cause Mr. Pedro
 「シャヒル達はドン・ペドロに叩かれた」

派生他動詞の受動形は、-V̄-xである。

- (8.9-5) x-e-por-ö-x ajaw-a' aj-pop ajpop k'amajay
 CMP-B3PL-burn-SF-PAS lord-PL AG-mat AG-mat K'amajay
 r-uma Tunatiw (147)
 A3-cause Tunatiw
 「アフポップとアフポップカマハイ王はトゥナティウによって火あぶりにあった」
- (8.9-6) k'a tajin oq ti-Ø-q'ijal-ö-x che' ab'äj (144)
 then CNT PLUP ICP-B3-adorn-SF-PAS tree stone
 「そのときまで木石が崇められていた」
- (8.9-7) toq x-øj-pixab'-ä-x k'a pe r-uma qa-te'
 when CMP-B1PL-order-SF-PAS then coming A3-cause A1PL-mother
 qa-tata (6)
 A1PL-father
 「我らの母と我らの父によって我らが助言を受けたとき」(pixab'ajの受動)
- (8.9-8) x-Ø-kam-isä-x k'a ri chiköp utiw (5)
 CMP-B3-death-CAUS-PAS then D animal coyote
 「動物のコヨテが殺された」

ここで派生他動詞とその受動形と単動形の関係を示すと次のようになる。

他動形-V-j

- (8.9-9) xa k'a e ka'-i' x-e-ru-k'ajol-a-j ri Q'aq'awitz (46)
 only then B3PL two-SUF CMP-B3PL-A3-son-SF-TV D Q'aq'awitz
 「しかし彼ら2人をクァクァウィツは息子とした」
- (8.9-10) xa e ox-i' x-e-r-al-a-j (115)
 only B3PL three-SUF CMP-B3PL-A3-son-SF-TV
 「彼女は3人の子を産んだだけであった」

受動形-V̄-x

- (8.9-11) x-øj-al-ä-x wi ul x-øj-k'ajol-ä-x wi pe (5)
 CMP-B1PL-son-SF-PAS FM hither CMP-B1PL-son-SF-PAS FM coming
 「(トゥランで) 我々の女系の男子が生まれ、我々の男系の男子が生まれきた」

単動形-V-n

- (8.9-12) x-e-me'al-a-n, x-e-k'ajol-a-n k'a ri je
 CMP-B3PL-daughter-SF-AP CMP-B3PL-son-SF-AP then D EMPL
 nab'ey winäq (5)
 first person
 「最初の人たちは娘を産み、息子を産んだ」

受動形にはもう一つ違った形がある。それは-Vtäjで表わされるもので、結果受動形という。目的語になされた行為の結果の状態を強調するもので、先に述べた目的語になされた行為を強調する受動形（根他動詞は母音の緊音化、派生他動詞は-Vx）を第1受動形というのに対して、第2受動形と称されることがある。根他動詞がj, x, sで終わるときは、母音は挟まれない（maj-taj「借りる、奪う」、tix-taj「増やす、撒く」、pis-taj「包む」、k'as-taj「借りる」(Flores: 179)）

(8.9-13) oq x-Ø-il-itäj, x-Ø-k'ut-ü-x k'a (21)
when CMP-B3-find-CPAS CMP-B3-ask-SF-PAS then
「見いだされて、尋ねられた」

(8.9-14) kani k'a x-Ø-k'oqp-itäj palow r-uma sanayi' (16)
soon then CMP-B3-break-CPAS sea A3-cause sand
「すぐに海は砂によって分けられていた」

(8.9-15) x-Ø-b'oq-otäj chi(k) k'a el K'èche' winäq (145)
CMP-B3-uproot-CPAS more then out K'èche people
「ケチェの人々が根こそぎにされていた」

(8.9-16) xq-o-ch'ak-atäj (15)
POT-B1PL-defeat-CPAS
「我らは打ち負かされているだろう」

(8.9-17) x-Ø-muq-utäj yan ri k'ot-oj (93)
CMP-B3-cover-CPAS already D dig-N
「すでに塹壕は埋められていた」

(8.9-18) mani k-ix-yeq'-etäj wi (9)
NEG ICP-B2PL-disrespect-CPAS FM
「汝らが踏みつけられないように」

(8.9-19) mi-x-Ø-paj-täj (232)
REC-CMP-B3-weigh-CPAS
「計られた」

「～の状態にある」ことを表わすとき-tälが使われる。

(8.9-20) ke re' k'a tz'ib'-a-täl ch-u-pam re're' titulo (231)
like this then write-SF-ST PR-A3-in D title
「証書の中にこのように書かれている」

次の例は、後半の3人称複数能動を受動のように訳した方が文の流れがよくなる、たいへん興味深い例である。

- (8.9-21) r-uma x-e-ru-q'os-i-j aj ch'amiy-a'
 A3-cause CMP-B3PL-A3-hit-SF-TV AG Ch'amiy-PL
 x-Ø-ki-q'os-i-j Don Martín,
 CMP-B3-A3PL-hit-SF-TV Don Martin

「ドン・マルティンが権威杖をもつ人たちを叩いたので、逆に叩かれた」

直訳は、「権威杖をもつ人達を叩いたから、彼らはドン・マルティンを叩いた」となるが、前半部の x-e-ru-q'os-i-j の ru- は Don Martin を、e- は aj ch'amiya' を指し、後半部の x-Ø-ki-q'os-i-j の ki- は aj ch'amiya' を指すと考えられる。だから、後半部は、受動のように訳す方が日本語の流れとしてはよい例である。

通常受動の行為者は ruma によって斜格形で表わされるが、ruma は純粋な自動詞文にも使われる。「死んだ」ことに対してその原因となる行為者がいて、それを表わす文があつていいことを考えれば、次の文は理解できよう。

- (8.9-22) x-Ø-käm Tz'utujil-e' r-uma castilan winäq, ja chi
 CMP-B3-die Tz'utujil-PL A3-cause Spanish people EMP PR
 wuq-u' Kamey x-Ø-kam-isä-x Tz'utujil-e' r-uma
 seven-SUF Kamey CMP-B3-die-CAUS-PAS Tz'utujil-PL A3-cause
 Tunatiw (149)
 Tunatiw

「スペイン人の手にかかってツトゥヒルは死んだ。7 カメイの日 (1524.4.20) に、トゥナティウによってツトゥヒルは殺された。」

8.10 命令法

8.4 で述べた不完全相と同じ k-/t- が使われ、根他動詞を除き、不完全相と区別がつかず、その区別は文脈に依存する。

8.10.1 肯定命令

根他動詞では、-a'/-o'/-u' という接尾辞がつく。たとえば、t-a-tz'et-a' 「見ろ」、t-a-nim-a' 「押せ」、t-a-toj-o' 「払え」、t-a-muq-u' 「埋めよ」(Flores: 133)、派生他動詞 -(V)j はそのまま、なにもつかない。また他動詞形が CV' の場合もそのままである。派生他動詞の場合は、不完全相形と同じであり、文脈に依存する。まず能動形と受動形の命令の活用形を挙げ、そのあと、例文を挙げることにする。他動命令には人称 B と人称 A がつき、受動命令には人称 B がつく。

	b'an 「する」(根他動詞)	loq'oj 「愛する」(派生他動詞)	
	能動命令	受動命令	能動命令 受動命令
単数	t-Ø-in-b'an-a'	k-i-b'an-a	t-Ø-in-loq'oj k-i-lo'qöx

- | | | | | |
|----|----------------|-------------|---------------|-------------|
| | t-Ø-a-b'an-a' | k-at-b'an-a | t-Ø-a-loq'oj | k-at-lo'qöx |
| | t-Ø-u-b'an-a' | ti-Ø-b'an-a | t-Ø-u-loq'oj | ti-Ø-lo'qöx |
| 複数 | t-Ø-qa-b'an-a' | q-øj-b'an-a | t-Ø-qa-loq'oj | q-øj-lo'qöx |
| | t-Ø-i-b'an-a' | k-ix-b'an-a | t-Ø-i-loq'oj | k-ix-lo'qöx |
| | t-Ø-ki-b'an-a' | k-e-b'an-a | t-Ø-ki-loq'oj | k-e-lo'qöx |
- (8.10.1-1) k-in-a-k'ul-u' (39)
ICP-B1-A2-receive-IMP
「私を受け入れよ」
- (8.10.1-2) t-Ø-i-b'an-a' apon qa-tz'aq q-ib'aj (39)
ICP-B3-A2PL-do-IMP arrive A1PL-wall A1PL-foundation
「我らの壁, 我らの基礎を作れ」
- (8.10.1-3) t-Ø-a-tij-a' qa-q'ij-il (31)
ICP-B3-A2-try-IMP A1PL-day-POS
「我らの運を試みよ」
- (8.10.1-4) t-Ø-i-jun-am-a-j i-ch'a', i-pokob'
IMP-B3-A2PL-one-ADJ-SF-TV A2PL-arrow A2PL-shield
mi-x-Ø-nu-ya' el (12)
REC-CMP-A1-give out
「私が先ほど与えた矢と楯を汝ら一つにせよ」
- (8.10.1-5) t-Ø-i-laq'-a-b'e-j chik i-juyub'-al Chi Awär (67)
IMP-B3-A2PL-settle-SF-I-TV again A2PL-mountain-POS Chi Awar
「汝らの山, チアワルに再び住め」
- (8.10.1-6) t-Ø-in-kam-isa-j castilan winäq (154)
IMP-B3-A1-die-CAUS-TV Spanish man
「私にスペイン人を殺させたまえ」
- (8.10.1-7) t-Ø-in-q'os-i-j tinamit (154)
IMP-B3-A1-strike-SF-TV town
「私に町に雷を落とさせたまえ」
- Flores は 1 人称単数の場合, 単に人称 A が他動詞について命令形を表わす例を挙げて
いるが (8.10.1-8), 『カクチケル年代記』では, 1 人称複数の場合でそれがみられる。
- (8.10.1-8) nu-tz'et-a' na missa k'atek'a k-i-b'e (Flores: 134)
A1-see-IMP still misa then ICP-A1-go
「私にミサを聞かせろ, そしたら行こう (「それから行かせよ」とも取れる)」

(8.10.1-9) qa-ya' k-ixjayil, qa-k'am-a' kan ki-xet (53)
 A1PL-give A3PL-wife A1PL-bring-IMP remaining A3PL-topknot
 「(我らは) 彼らに妻をやろう。彼らの髪房を捕ろう」

(8.10.1-10) qa-chun-a-j ru-pam re che' (46)
 A1PL-limestone-SF-TV A3-inside D tree
 「(我らは) この木の空洞を白くしよう」

受動の命令の場合 -a'/-o'/-u' のある形を先に例で示したが、ない形も許される。

(8.10.1-11) k-at-b'an; k-at-b'an-a'; k-at-b'an-atäj (Flores: 137) 「されるように」 sé tú hecho

(8.10.1-12) k-ix-toj; k-ix-toj-o'; k-ix-toj-täj (Flores: 137)
 「汝らが払われるように」 sed vosotros pagados

自動の命令の時も、不完全相と同じである。

(8.10.1-13) k-at-pa'-e' kan ch-u-wi' kaq-(j)ay (28)
 ICP-B2-stand-IV remaining PR-A3-top Kaqjay
 「カクハイの上で立っていないさい」

(8.10.1-14) q-o-q'ax ch-u-wi' siwan (30)
 H-B1PL-pass PR-A3-top ravine
 「我らは谷を越えよう」(人称Bの1人称複数oの場合、kがqに変化する)

(8.10.1-15) q-o-k'uk'u'm-aj, qa-kir-a' q-iq-a'n (18)
 H-B1PL-feather-IV A1PL-untie-IMP A1PL-bear-N
 「羽根飾りをしよう、我らの荷をほどこう」

不規則な命令形として「行く」「来る」がある。

(Flores: 138) (Torresano: 105) (GK: 82)

ujin jin/ojin 「私を行かせ」 jin

ujat/jat jat/ojat 「行け」 jät

oj/ojoj 「彼が行くように」 oj

jo jo/ojo 「行こう」 jo'

jix jix/ojix 「あなたがた行きなさい」 jix

oj je/oje 「彼らが行くように」 je

(8.10.1-16) oj-ix (7) ~ uj-ix (39) 「汝ら行け」

(8.10.1-17) oj-an-qa-tuk-u' ru-pam qa-juyub'-al qa-taq'aj'-al (20)
 go-certainly-A1PL-dig-SUF A3-inside A1PL-hill-POS A1PL-plain-POS
 「我らの山と野の中を掘り返しに行こう」

(8.10.1-18) jo' x-e-cha Q'aq'awitz Saktekaw (22)
 go CMP-B3PL-say Q'aq'awitz Saktekaw
 「行こうとクァクァウィツとサクテカウは言った」

k-at-ojo 「来なさい *ven tu*」; k-ix-ojo 「あなたがた来なさい *venid vosotros*」 (Flores: 138)
 (8.10.1-19) k-at-ojo' (35)

ICP-B2-come

「来なさい」

8.10.2 否定命令

否定命令は, *ma, b'a, mani, maki* などの否定語が文頭に置かれる。根他動詞の場合は, 肯定命令の場合についた *-a'/-o'/-u'* という接尾辞がつかない。全人称の否定命令を挙げる。

- | 他動 <i>b'an</i> (する) | ak'axaj(聞く) | 単動 | 受動 | 自動 <i>wär</i> 「眠る」 |
|---------------------|--------------|--------------|--------------|--------------------|
| m-Ø-in-b'an | miw-ak'axaj | min-ak'axan | min-ak'axax | m-in-wär |
| m-Ø-a-b'an | m-aw-ak'axaj | m-at-ak'axan | m-at-ak'axax | m-at-wär |
| m-Ø-u-b'an | ma-r-ak'axaj | m-Ø-ak'axan | m-Ø-ak'axax | ma-Ø-wär |
| ma-Ø-qa-b'an | maq-ak'axaj | m-oj-ak'axan | m-oj-ak'axax | m-oj-wär |
| m-Ø-i-b'an | m-iw-ak'axaj | m-ix-ak'axan | m-ix-ak'axax | m-i-wär |
| ma-Ø-ki-b'an | ma-k-ak'axaj | m-e-ak'axan | me-ak'axax | m-e-wär |
- (Flores: 284) (Flores: 285) (Flores: 285) (Flores: 285) (Flores: 286)
- (8.10.2-1) mab'an 「しないように」 *no lo hagas* (Flores: 286)
- (8.10.2-2) maki k-in-a-k'ül (40)
 NEG ICP-B1-A2-receive
 「汝は我を受け入れるな」
- (8.10.2-3) maki k-in-a-kam-isa-j (29)
 NEG ICP-B1-A2-die-CAUS-TV
 「我を殺すなかれ」
- (8.10.2-4) maki q-oj-a-kam-isa-j (27)
 NEG ICP-B1PL-A2-die-CAUS-TV
 「我々を殺さないで」
- (8.10.2-5) mani k-ix-wär, k-ix-ch'ak-atäj wi (9)
 NEG IMP-B2PL-sleep IMP-B2PL-win-CPAS FM
 「汝ら眠らないよう (負かされないよう), 打ち負かされてしまわないよう」
- (8.10.2-6) mani k-ix-yeq'-etäj wi (12)
 NEG IMP-B2PL-trample-CPAS FM
 「辱めを受けて (踏みつけられて) しまわないよう」
- (8.10.2-7) b'-ix-yeq'-etäj r-uma (12)
 NEG-B2PL-trample-CPAS A3-cause
 「彼によって汝らは踏みつけられてしまわないように」

8.11 動詞の名詞化

8.11.1 自動詞の名詞化 -em/-am

自動詞の名詞化接尾辞に -em/-am がある。-am は非常に少数である。-im は wa'im (37) 「食」にみられる。ツトゥヒル語の文法を書いた Dayley によると、不定詞 (infinitives) または動詞から派生した名詞 (verbal nouns) としているが、-iim のつくのは wa'iim (“to eat”) だけというので、おそらくカクチケル語でも wa'im だけと思われる (Dayley 1985: 104)。

ok-em (入), apon-em (着), xuk-ul-em (跪く xuk-e, xukul), k'ul-an-em (結婚く k'ule, k'ulan)。petem (来), b'enam (行) は pe と b'e の名詞化で、少し不規則な形となる。

所有化はあとに -ichin を置き, apon-em w-ichin (私の到着) とする場合や, 人称 A が用いられ, nu-b'enam (私が行くこと) のようになるというが (Flores: 247-248), 『カクチケル年代記』では人称 A がもっぱら用いられている。

(8.11-1) mi-x-Ø-nu-ya' el i-q'inom-al iw-ajaw-ar-em (7)

REC-CMP-B3-A1-give out A2PL-rich-POS A2PL-lord-IV-N

「私は汝らの富, 汝らの王権を与えた」

(8.11-2) mani t-Ø-uche'-ë-x ik'o-w-em pe ch-u-wi' palow (15)

NEG ICP-possible-SF-PAS pass-E-N coming PR-A3-top sea

「海の上を渡ってくることはできない」

(8.11-3) xawi k'a xere qa-chol-a-n-em oq x-oj-pe pa Tulan (16)

also then only A1PL-order-SF-AP-N when CMP-B1PL-come PR Tulan

「我々がトゥランから来たとき, 同じように我々は秩序だった」

8.11.2 自動詞扱いの動詞の名詞化 -ik

自動詞, 受動詞, 単動詞の名詞化接尾辞は -ik であり, 所有化されると -ik となる。本来的自動詞で -ik がつくものとして, Flores は kos-ik (「疲れ」), yawaj-ik (病気), kam-ik (死) をあげているが (Flores: 247), 少数に限られる。受動詞の名詞化は -ik だけであるが, 単動詞の名詞化は, -ik とともに, 上例 (8.11-3) のように, -em もみられる。

(8.11.2-1) ru-kam-ik ajaw Sitan K'atu' (65)

A3-die-N lord Sitan K'atu'

「シタン・カトゥ王の死」(自動詞)

(8.11.2-2) ke re' k'a ru-qaj-ik tinamit chi Jolom ri' (97)

like this then A3-descend-N town PR Jolom D

「このようにしてホロムの町の陥落があった」(自動詞)

- (8.11.2-3) x-mi'er oq k'a ti-Ø-tik-ër ru-pe-t-ik aj lab'al (10)
 CMP-a.while.ago PLUP then ICP-B3-begin-IV A3-come-E-N AG war
 「戦士の到来が始まったのは少し前であった」(自動詞)
- (8.11.2-4) ke re' k'a ru-b'an-ik winäq ri' (5)
 like this then A3-do(PAS)-N man D
 「このようにして人間の創造があった」(受動)
- (8.11.2-5) xa k'a mani x-Ø-ki-mes-ta-j ru-tzij-o-x-ik (5)
 just then NEG CMP-B3-A3PL-sweep-SF-TV A3-word-SF-PAS-N
 「彼らは言われたことを決して忘れなかった」(受動)
- (8.11.2-6) x-Ø-tan-e' k'a ru-patan-i-x-ik q'opoj k'ajol (170)
 CMP-B3-stop-IV then A3-tribute-AS-PAS-N girl boy
 「そして乙女や若者が貢納されることがやんだ」(受動)
- (8.11.2-7) x-Ø-tik-ër qa-tij-o-x-ik k-uma qa-tata'
 CMP-B3-begin-IV A1PL-teach-SF-PAS-N A3PL-cause A1PL-father
 Santo Domingo (175)
 Saint Domingo
 「サント・ドミンゴ 会の我らの父による教化が始まった」(受動)
 (我らが教化されるのであり、所有人称Aのqaは受動詞のtijoxの意味上の主語の役目)
- (8.11.2-8) kanij nawipe x-Ø-tan-e' por-o-x-ik jitz'-a-x-ik (170)
 soon moreover CMP-B3-stop-IV burn-SF-PAS-N hang-AF-PAS-N
 「さらにすぐに火あぶりにされ、絞首刑にされることがやんだ」(受動)
- (8.11.2-9) x-Ø-tan-e' k'a qup-un-ik pa taq b'ey r-uma castilan winäq (170)
 CMP-B3-stop-IV then snatch-AP-N PR PL road A3-cause Spanish people
 「それからスペイン人による道でも略奪がやんだ」(単動)
- (8.11.2-10) x-Ø-utz-i-n k'a ki-pop-o-n-ik (17)
 CMP-B3-good-SF-AP then A3PL-mat-AF-AP-N
 「彼らが集まって相談することはよくなった(終わった)」(単動)
- (8.11.2-11) k'a qi-tzij k'a chi nim ki-xajan chi r-e k'ul-ub'ik (43)
 then true-word then PR great A3PL-sin PR A3-to marry-N
 「結婚することに対する彼らの禁忌は確かに大きかった」
- (8.11.2-12) maki xaloq' t-Ø-u-kis pe tzij chi r-ij wa'e'
 NEG useless ICP-B3-A3-resolve coming word PR A3-back here
 qa-k'oj-eb'ik (229)
 A1PL-exist-N
 「我らの状態に対して熟考するのは無駄ではない」

最後の2例は k'ul-e と k'oj-e いういわゆる位置体勢動詞の名詞形である。CVC-e' という形をとる位置体勢動詞では -Vb'ik となる (Flores: 246)。

8.11.3 根他動詞の名詞化接尾辞は -oj/-uj である。

Flores は動詞の過去形で訳しており、動作が終わったことに対する名詞化のようである。

nu-tz'et-uj 「私が見たこと *lo que ví*」, nu-k'am-uj 「私が取ったこと *lo que tomé*」, 所有詞なしの例として nima bi'-ij wae 「これは大きく言ったこと *grande dicho es este*」が挙げられている (Flores: 229)。しかしこれは根他動詞の単動詞形 tz'et-o, k'am-o の名詞化である。

- (8.11.3-1) i-tzuq-uj, i-q'o'-oj-e' (7)
 A2PL-bring.up-N A2PL-feed-N-D
 「汝らの育てたもの、汝らの養ったもの」
- (8.11.3-2) ru-b'an-uj Fray Pedro (190)
 A3-do-N fray Pedro
 「ペドロ神父の行い」
- (8.11.3-3) x-Ø-potz' kuch-uj r-uk'in ju-winäq wo-lajuj tostones
 CMP-B3-divide(PAS) collect-N A3-with one-twenty five-ten tostones
 kaman (223)
 community field
 「共有地の35トストーンとともに集金は分けられた」

8.11.4 そのほかの名詞化接尾辞

8.11.4.1 -Vb'äl

-ib'äl は場所や手段を表わすもので、Flores によると、b'inib'äl 「行くために役立つもの」、kosib'äl 「疲れる場所」、qajib'äl 「降りるために役立つもの、階段」という自動詞に接尾辞化された例が挙げられている (Flores: 247)。しかし、nu-tz'et-obal missa 「私がミサをきくために役立つものと con lo que sirve para oir missa」 とあり、後ろに目的語が生起した他動詞にも使われている (Flores: 227)。所有詞がつくと -Vb'äl は -Vb'al と緊音化する。

- (8.11.4.1-1) saq-er-ib'äl (39)
 white-IV-LOC
 「夜が明ける場所」

(8.11.4.1-2) war-ab'äl (81)

sleep-LOC

「寝室」

(8.11.4.1-3) ri ya-b'äl ki-ixjayil wa'e' (53)

D give(PAS)-I A3PL-wife here

「ここで妻達が与えられること」

(8.11.4.1-4) x-Ø-käm k'a pa xim-ob'äl jay ch-u-lajuj ik' noviembre 1582

CMP-B3-die then PR jail-LOC house PR-A3-ten month November 1582

años (214)

years

「彼は牢獄で1582年の11月10日に死んだ」

(8.11.4.1-5) ki-kam-ib'al ajaw-a' wa'e' (86)

A3PL-die-LOC lord-PL here

「ここ王たちの死に場所」

(8.11.4.1-6) k-ul-ib'al castilan winäq Xe wa'e' (144)

A3PL-arrive-I Spanish people Tutul here

「スペイン人のここシェトゥルルへの到着」

(8.11.4.1-7) ch-u-k'is-ib'al wa'e' jun-a' (217)

PR-A3-end-I this one-year

「この年の終わりに」

8.11.4.2 -(ä)y/-(ö)y

-(ä)y/-(ö)y は「～する人」という意味で、目的語は A-ichin で表わされる。不定詞のような振る舞いをみせる場合もある。

(8.11.4.2-1) k-e-cha' ri kan-öy k-ichin (54)

ICP-B3-say D seek-AG A3PL-for

「彼らを探している人は言う」

(8.11.4.2-2) oq x-Ø-b'e k'a wo'-much' achij-a' kam-isä-y r-ichin K'eche'

when CMP-B3-go then five-eighty man-PL die-CAUS-AG A3-for K'eche'

winäq (147)

people

「それから400人の男がケチェの人々を殺しに行った」

(8.11.4.2-3) x-Ø-b'e achij-a' kam-isä-y r-ichin (98)

CMP-B3-go man-PL die-CAUS-AG A3-for

「戦士達は彼を殺しに行った」

(8.11.4.2-4) r-onojel k'ulel-a'-äy r-ichin castilan winäq (145)

A3-all enemy-SF-AG A3-for Spanish people

「すべてスペイン人に楯突く人だった」

Flores は目的語は -ichin で表わされるというのが (Flores; 220), そうとも限らないと思われる例が『カクチケル年代記』にみられる。その違いはわからないが, より動詞と結びつく語の場合が多いようである。

(8.11.4.2-5) maki e ak'ax-äy tzij (83)

NEG B3PL advice-AG word

「彼らはことばを聞く人ではない>彼らは言うことを聞く人ではない」

(8.11.4.2-6) xa maki je mes-tä-y tzij (29)

just NEG EMPL sweep-SF-AG word

「彼らはことばを忘れる人ではない」

(8.11.4.2-7) oq x-e-b'e kan-öy r-ana' (38)

when CMP-B3PL-go seek-AG A3-sister

「姉を探しに行ったときに」

(8.11.4.2-8) e b'an-öy cuenta ch-u-wi' jay wawe'

B3PL do-AG count PR-A3-top house here

Santa María Asunción Tzolola' (202)

Santa María Asunción Tzolola

「彼らはここサンタ・マリア・アスンシオン・ツォロラで家を数える人であった」

8.11.4.3 -öl/-ül

同じく「～する人」を表わす接尾辞に -öl/-ül がある。事例は他動詞である。

(8.11.4.3-1) b'an-öl cuenta ch-u-wi' jay wawe' Santa María Asunción Tzolola' (209)

do-AG count PR-A3-top house here Santa María Asunción Tzolola

「ここサンタ・マリア・アスンシオン・ツォノラで家の数を数える人」

(8.11.4.3-2) je nawipe yak-öl ch'a'oj chi r-ij ki-te'

EMPL furthermore provoke-AG dispute PR A3-back A3PL-mother

ki-tata' (232)

A3PL-father

「さらにまた彼らの母, 彼らの父に対してくちごたえをする人であった」

(8.11.4.3-3) k'am-öl patan (53)

take-AG tribute

「貢納を集める人」

(8.11.4.3-4)tzuk-ül r-ichin ajaw (80)

sustain-AG A3-for lord

「王を養う人」

Flores は目的語が続く場合、-ichin がある場合と、-ichin が必要でない場合の両方が許されると述べている。その使い方の違いは不明であるが、先の -(ä)y/-(ä)y と同じであろう。

(8.11.4.3-5)in tz'et-öl aw-ichin (Flores: 226)

B1 see-AG A2-for

「私は君を見る人」

(8.11.4.3-6)in b'an-öl jay (Flores: 226)

B1 do-AG house

「私は家を作る人」

8.11.4.4 -el

-el は単動形（絶対逆受動形 absolutive antipassive）や受動形につけられ、行為者や行為対象者を表わす。

(8.11.4.4-1)in loq'-o-n-el (Flores: 225) loq'-o-x-el (Flores: 229)

B1 love-SF-AP-AG love-SF-PAS-AG

「私は愛する人だ」（単動） 「愛されるべき人 el que ha de ser amado」

（受動）

(8.11.4.4-2)toq x-Ø-pe ram-on-el chi r-ij Tuquche' (103)

when CMP-B3-come cut-AP-AG PR A3-back Tuquche

「トゥクウチェの背後に切り崩し隊が出たとき」

(8.11.4.4-3)xawi k'a ja juna' mi-x-Ø-ul chi(k) wi jun

same then EMP year REC-CMP-B3-reach more FM one

q'at-on-el castilan (195)

cut-AP-N Spanish

「この年に、スペインのもう 1 人の裁判官がやってきた」

q'atonel~q'atöl 「判決をする人」

8.12 移動詞・方向詞

自動詞の中に、b'e「行く」、ul~o/u~to/u「来る」、ik'o「過ぎる」という方向・移動動詞と呼べるものが、動詞の前に生起することがある。「～しに行く」「～しに来る」などの複合動詞を形成するように思われる。これを移動詞ということにする。これらとは別に、ok「中へ」やqa「下の方へ」などの自動詞由来の小辞が動詞のあとに生起して、

動詞の意味するものに方向性を与える場合もある。これを方向詞ということにする。まず現代カクチケル語の例を挙げ、それを参照にして、『カクチケル年代記』の文例を検討することにする。

相辞と動詞の間に生起するものに, b'e, ul, ik'o の3つがある。x-oj-wa'(CMP-B1PL-eat)「我らは食べた」を例にすると次のようになる。

(8.12-1) x-oj-b'e-wa' (GK: 190)

CMP-B1PL-go-eat

「我らは食べに行った」

(8.12-2) x-oj-ul-wa' (GK: 190)

CMP-B1PL-arrive/come-eat

「我らは食べに来た」

b'ewa'「食べに行く」, ulwa'「食べに来る」という複合動詞を形成しているようにみられる。ところが根他動詞の場合は、次のようになる。

(8.12-3) x-oj-b'e-ru-tz'et-a' (GK: 191)

CMP-B1PL-go-A3-see-SUF

「彼は我らを見に行った」

(8.12-4) x-e-b'e-ru-loq'-o (GK: 191)

CMP-B3PL-go-A3-buy-SUF

「彼はそれらを買に行った」

b'e「行く」は自動詞のような振る舞いをするが、他動詞とともに使われるとき、b'eの前の人称Bは他動詞の目的語を表わす。カクチケル語は能格言語であり、人称Bは自動詞の主語とともに他動詞の目的語を表わすので、人称Bがあるのは問題ない。しかし、複合動詞であると、*x-oj-ru-b'e-tz'et-a'や*x-e-ru-b'e-loq'-oのように、b'etz'etやb'eloq'となっていていいはずである。自動詞につく場合であると、複合語を形成しているとみてよさそうであるが、他動詞の場合であると、移動詞と他動詞の間に人称Aが入るので、複合動詞とみるのは躊躇したくなる。必ず、人称B-移動詞-人称A-他動詞となる。b'eがまだ自動詞的な機能を捨て切れていないので、その前に人称Bを要求し、人称Aがあつてはならない制約があるからなのであろうか。そのため複合動詞としてみるなら、その結びつきは弱いといわなければならない。

動詞のあとに方向詞が使われることがある。それらは自動詞から派生した小辞であり、次の7つである。それらのもととなる自動詞が、それら方向詞とともに使われる例と一緒に挙げてみよう。動詞句と分けてしるされるのは、分けて発音され、独立語とみられるからである。それに対応する古典カクチケル語も添える。ulは古典カクチケル語では使われるが、現代カクチケル語にはない。

現代カクチケル語			古典カクチケル語
pe	「こちらへ」	x-oj-pe pe	「我らはこっちへ来た」 pe
apo	「あちらへ」	x-oj-apon apo	「我らはあちらへ着いた」 apo
qa	「下へ」	x-oj-qaj qa	「我らは下へ降りた」 qa
aq'anij	「上へ」	x-oj-aq'an aq'anij	「我らは上へ昇った」 aq'anij
el	「外へ」	x-oj-el el	「我らは外へ出た」 el
ok	「中へ」	x-oj-ok ok	「我らは中へ入った」 ok
kan	「残る」	x-oj-kanäj kan	「我らは居残った」 kan
			ul 「こちらへ (着く)」

上記の動詞の後ろに生起するものと動詞の前に生起するもの (b'e, ul~to, ik'o) の形は現代カクチケル語では異なるが、古典カクチケル語では一致するものがある。それはulであり、以下古典カクチケル語のul「こちらへ着く」を用いた例を挙げる。

- (8.12-5) k-at-ul-nu-tz'et-a (Flores: 216)
ICP-B2-arrive.here-A1-see-SUF
「私はあなたを見に来る」“Te vengo a ver”
- (8.12-6) x-in-ul-a-kam-isa-j (Flores: 167)
CMP-B1-arrive.here-A2-die-CAUS-SF-TV
「あなたは私を殺しに来た」“Me veniste a matar”
- (8.12-7) oq x-Ø-pe ul K'eché winäq (91)
when CMP-B3-come hither K'eché people
「ケチェ人が着いたとき」(peが自動詞, ulが方向詞)

これらの例をみると、ulが動詞の前にも後にも生起するとみなすことができ、接頭辞的であるとともに語としても使われているのであるから、自動詞とはみず、接語として機能しているとみる方がふさわしいように思われる。

古典カクチケル語の移動・方向詞について、最初に動詞のあとにくる方向詞から扱うことにする。次に動詞の前にくる移動詞やそれと同等の振る舞いをする動詞について述べていく。

8.12.1 方向詞 directionals

方向詞は動詞のあとに生起する。方向詞は方向を含意する自動詞由来のものである。自動詞としてのpe, ul, aponについては8.2.4で扱っているが、自動詞として使われる場合と方向詞として使われる場合の両例を示すことにする。方向詞には、「話者の方へ (来るpe)」(coming), 「向こうへ (着くapon)」(thither), 「こちらへ (着くul)」(hither), 「うちへ (入るok)」(in), 「外へ (出るel)」(out), 「上へ (昇るaq'anij)」(up), 「下へ (下るqa)」(down) という方向性を示す語とともに、「留まるkan」(remaining) という

方向性のないものもある。方向詞は方向性を示す接語であるが、方向性が薄れた使い方もみられる。なお『カクチケル年代記』には aq'anij と qa の例は見いだせなかったが、qa は Flores の文法書にふれられている。

- (8.12.1-1) oq x-Ø-ya' pe ri q-iqua'n (6)
 when CMP-B3-give(PAS) coming D A1PL-burden
 「我らの荷が与えられたとき」(pe が方向詞として使われている例)
- (8.12.1-2) oq x-oj-pe pa Tulan (3)
 when CMP-B1PL-come PR Tulan
 「我々がトゥランから来たとき」(pe が自動詞として使われている例)
- (8.12.1-3) oq x-Ø-pe ul K'eche' winäq (91)
 when CMP-B3-come hither K'eche people
 「ケチェ人が着いたとき」(pe が自動詞, ul が方向詞)
- (8.12.1-4) x-Ø-ul k'a chi ri' pa saq-er-ib'äl (40)
 CMP-B3-arrive.here then PR D PR white-IV-I
 「夜明けのあの場所にやってきた」(ul が自動詞として使われている)
- (8.12.1-5) t-Ø-i-b'an-a' apon qa-tz'aq q-ib'aj (39)
 IMP-B3-A2PL-do-IMP thither A1PL-wall A1PL-foundation
 「汝らは我らの壁, 我らの基礎を作れ」(apon が方向詞として使われている)
- (8.12.1-6) x-e'-apon chik ch-u-wi' juyu' Wal-wal Xuk-xuk ru-b'i' (17)
 CMP-B3PL-arrive.there more PR-A3-top hill fan-fan hook-hook A3-name
 「さらにワルワル・シュクシュクという名前の山の頂に着いた」(apon は自動詞として使われている)
- (8.12.1-7) ja k'a oq x-oj-ok apon (20)
 EMP then when CMP-B1PL-enter thither
 「そこに我々が入り着いたとき」(ok が自動詞, apon が方向詞)
- (8.12.1-8) x-Ø-u-ch'ij chi(k) ok ri chi te' chi nam (40)
 CMP-B3-A3-force more in D PR mother PR in-law
 「姻戚関係(母と義理)に入ることを強いた」(ok が方向詞)
- (8.12.1-9) k-Ø-el k'a el ajaw-a' ch'aka ya' (154)
 IMP-B3-leave then out lord-PL other water
 「王たちは川を越えて行け」(el が自動詞と方向詞の両方に使われている)
- (8.12.1-10) x-in-apon apon r-uk'in (Flores: 293-294)
 CMP-B1-arrive.there thither A3-with
 「私は彼のもとに着いた」(apon が自動詞と方向詞の両方に使われている)

- (8.12.1-11) Porto Kawayo t-Ø-el wi pe juku', (171)
 Puerto Caballo ICP-B3-leave FM coming ship
 「カバリヨ港で船から出てきた」(elが自動詞, peが方向詞)
- (8.12.1-12) xa x-i-k'oj-e' kan chi ri', (20)
 just CMP-B1-exist-IV remaining PR D
 「あちらに私はとどまった」(kanが方向詞)
- (8.12.1-13) ke re' k'a x-oj-kan-aj wi kan chi meb'a'-il ri' (130)
 like this then CMP-B1PL-stay-IV FM remaining PR poor-N D
 「そのため孤児として我らは残った」(方向詞kanとそのもととなるkanajが使われている)
- (8.12.1-14) x-Ø-el k'a pa tinamit, x-Ø-u-tol-ob'a kan (156)
 CMP-B3-leave then PR town CMP-B3-A3-empty-TV remaining
 「町を離れて、空っぽにした」(elが自動詞, kanが方向詞)
- (8.12.1-15) x-Ø-qaj pe ch-u-wi' juyu' (93)
 CMP-B3-descend coming PR-A3-top hill
 「山の上から下りてきた」(qajが自動詞, peが方向詞として)
- (8.12.1-16) oq x-Ø-qa pe K'eché winäq (93)
 when CMP-B3-descend coming K'iche people
 「ケチエ人が下ってきたとき」(qaが自動詞, peが方向詞として)
- (8.12.1-17) x-Ø-b'e-k'am-ar qaj (Flores: 293)
 CMP-B3-go-take-IV down
 「下ろしながらもっていった」*Se fue a traer bajando*,
 (qajが方向詞として使われるが, jはふつう省略されqaとなるとFloresは記している)

8.12.2 複合動詞的に使われる移動(助動)詞

古典カクチケル語では, b'e「行く」, ul~o/u「来る」, ik'o「過ぎる」のほかに, 相と動詞の間に用いられる語として, kanaj「留まる」, ok「入る」, k'is「終わる」がみられた。b'e, ul~o/u, ik'oは接語とみる方がふさわしいとみたが, kanaj, ok, k'isは, 根他動詞の後には接尾辞がつかない違いをみせているところから, 自動詞として働いているとみたい。日本語に「し始める」や「～し終わる」という複合動詞があることを思えば, 複合動詞を形成するとみたい。しかしこれらの動詞と後続する動詞の間に小辞(k'a「それから」, nawipe「さらに」, ya「すでに」など)が生起することがあり, 密接に結びつく複合動詞ではなく, 緩やかな結びつきしかないと指摘しておきたい。

移動詞が先に現れ, 次に動詞がくる。その構造には, つぎのような種類がある。

- a) 相-人称B-移動詞-人称A-根他動詞 -a'/o'/u'

- b) 相-人称 B-移動詞-人称 A-派生他動詞
- c) 相-人称 B-移動詞-自動詞
- d) 相-人称 B-移動詞-受動詞
- e) 相-人称 B-移動詞-單動詞

ここで現代カクチケル語と古典カクチケル語の移動詞の比較をしておく。

古典カクチケル語		現代カクチケル語
b'e	「行く」	b'e
ul ~ o/u	「来る」	ul/to
ik'o	「過ぎる」	ik'o
kanaj	「留まる」	
k'is	「終わる」	
ok	「入る」	

8.12.2.1 移動詞が動詞の前に生じし、根他動詞に接尾辞 -V' がつく

根他動詞だけ接尾辞がつく。根他動詞の母音が a, i, e の時は -a' であり、o の時は -o', u の時は -u' となる。移動詞には、現代カクチケル語と同じように、b'e 「行く」、ul ~ o/u 「来る」、ik'o 「過ぎる」がある。人称 A は根他動詞の行為者を表わす。人称 B は 3 人称単数の場合は零であるので、移動詞の行為者を表わし、行為者は同一のように思えるが、1 人称単数の場合でも零である。

(8.12.2.1-1) ti-Ø-b'e-w-etam-a-j el juyu' Kaqchekel (94)

ICP-B3-go-A1-know-SF-TV out hill Kaqchekel

「私はカクチケルの山を知りに行く」

もし b'e が自動詞なら k-i-b'e-w-etam-a-j となってもいいはずであるが、そうではなく ti-Ø-b'e-w-etam-a-j であるということは他動詞の目的語であることを示している。3 人称単数以外では人称 B は零ではなく存在するが、その場合は、明らかに他動詞の目的語であることがわかる。すると b'e は自動詞ということにはならず、方向を示す接語であり、その間に人称 A が入るものの、複合動詞を形成する形態素ということができる。

(8.12.2.1-2) x-Ø-b'e-ru-tz'et-a' (26)

CMP-B3-go-A3-see-SUF

「彼は見に行った」

(8.12.2.1-3) x-Ø-ul-ki-yak-a' el achij-a' (137)

CMP-B3-arrive-A3PL-guard-SUF out man-PL

「男達が守りに来た」

- (8.12.2.1-4)mi-x-Ø-u-ru-b'an-a' justicia oidor (227)
 REC-CMP-B3-come-A3-do-SUF justice oidor
 「聴訴官が裁判をやりに来た」
- (8.12.2.1-5)x-Ø-ik'o-ru-tz'et-a' pe ru-chi' juyu' Ajaw Pa Tulül (190)
 CMP-B3-pass-A3-see-SUF coming A3-mouth hill lord Pa Tulul
 「アハウ・パ・トゥルル山の麓を見ながら通りすぎた」
- (8.12.2.1-6)ke re' b'ila' x-Ø-b'e-qa-toq'-o' (20)
 like this anyone CMP-B3-go-A1PL-stab-SUF
 「こうして我らは誰彼なく突き刺しにいった」
- (8.12.2.1-7)ja k'a wuj x-Ø-b'e-ru-k'ut-u' qa-loq' tata' (231)
 EMP then book CMP-B3-go-A3-show-SUF A1PL-holy father
 「それは我らの敬愛する神父が示した本である」
- kanaj 「留まる」は、現代カクチケル語にはみられないが、b'e や ul などと同じような
 使われ方がされる。
- (8.12.2.1-8)ti-Ø-kanaj-nu-tij-a' na (31)
 ICP-B3-stay-A1-try-SUF still
 「まず私は留まって試みる」
- この1例しか見いだせないため、根他動詞の命令文につく -a' の可能性も否定できない
 が、上例の方向詞と動詞の文と同じ形式をとっている。

8.12.2.2 移動詞に派生他動詞が後続

派生他動詞が後続する場合は、接尾辞がつかない。

- (8.12.2.2-1)chi eleq'-al x-Ø-b'e-ru-k'ut-u-j u-título gobernador
 PR rob-N CMP-B3-go-A3-ask-SF-TV A3-title governor
 ch-u-wäch ajaw visitador (221)
 PR-A3-face lord visitador
 「巡察使の前で、総督の称号をこっそり求めに行った」
- (8.12.2.2-2)x-in-ul-a-kam-isa-j (Flores: 167)
 CMP-B1-arrive here-A2-die-CAUS-SF-TV
 「あなたは私を殺しに来た」“Me veniste a matar”
- (8.12.2.2-3)xk-e-b'e-nu-tij-o-j ala-b'on (Flores: 167)
 POT-B3PL-go-A1-teach-SF-TV child-PL
 「私は子供達を教えに行く」“Iré a enseñar a los muchachos”

8.12.2.3 移動詞のあとに自動詞

移動詞のあとに生起する動詞が自動詞の場合は、接尾辞はつかない。移動詞の前に人称 B がつき、移動詞の後の自動詞には人称 B がつかないので、複合動詞を形成しているようにみえる。

(8.12.2.3-1) x-Ø-ik'o-käm apon Atakat (150)

CMP-B3-pass-die thither Atakat

「アタカットは死去した」

(8.12.2.3-2) x-Ø-b'e-tik'-e' el Tuquche' Chi Awär (104)

CMP-B3-go-rise-IV out Tuquche Chi Awar

「トゥクチェがチワルに行って出世した」

8.12.2.4 移動詞に受動詞が後続

移動詞に受動詞が後続する場合も、受動詞には接頭辞も接尾辞もつかない。

(8.12.2.4-1) x-e-b'e-tz'et (26)

CMP-B3PL-go-see(PAS)

「彼らは見られに行った」

(8.12.2.4-2) x-e-b'e-tij-o-b'ë-x ru-k'ajol gobernador (221)

CMP-B3PL-go-teach-SF-I-PAS A3-son governor

「首長の子供たちが教えを受けに行った」

8.12.2.5 移動詞に単動詞が後続

単動詞の場合は -o/-u(根他動) または -Vn(派生他動) がつく。人称 B は移動詞の行為者とともに、単動詞の行為者となっている。

(8.12.2.5-1) x-Ø-b'e-tz'et-o k-ichin (26)

CMP-B3-go-see-AP A3PL-for

「それらを見に行った」

(8.12.2.5-2) x-Ø-o-wik-a-n ru-b'i' juyu' ri Ch'itab'al (22)

CMP-B3-come-spread-SF-AP A3-name hill D Ch'itab'al

「山の名前チタバルが拡がってきた」

8.12.3 移動詞以外の動詞連続文の場合

移動詞以外に、動詞が続く場合がある。それは k'is「終わる」、ok「入る」であるが、移動詞の場合と異なり、それに続く動詞が根他動詞の場合に接尾辞 -a'/'o'/'u' はつかない。他動詞の場合、人称 A がつくので動詞の所有化（名詞化）されたもので、「～することが終わった」のようにもそれそうだが、他動詞の名詞化接尾辞 (-oj/-uj) がないので、動

詞とみることにする。自動詞の場合も、名詞化接尾辞 (-ik) がないので、名詞化とすることは不適である。ちなみに kām の名詞化は kamik である。

8.12.3.1 k'is + 自動詞

(8.12.3.1-1) x-e-k'is-kām aj-pop-o' k-uma achij-a' (81)

CMP-B3PL-finish(PAS)-die AG-mat-PL A3PL-cause man-PL

「兵によってアフポップ（正王）達が死に絶えた」

kām「死ぬ」が自動詞でなく、名詞として使われる場合を参考までに挙げると、次のようになる。

(8.12.3.1-2) ja oq x-e-k'is chi kam-ik

EMP when CMP-B3PL-finish(PAS) PR die-N

qa-tata' qa-mama' Diego Juan (128)

A1PL-father A1PL-grandfather Diego Juan

「このとき我らの父、我らの祖父ディエゴ（と）フアンが死に絶えた」

(8.12.3.1-3) nab'ey k'a x-e-k'is-apon r-onojel aj lab'al, (35)

first then CMP-B3PL-finish(PAS)-arrive.there A3-all AG war

「最初にまずすべての戦士の到着が終わった」

この例では、apon は方向詞のようにもみえるが、自動詞として扱った。

これまで取りあげた k'is は、次の 2 例にみられる他動詞 k'is「終える」の受動形である。実際辞書には自動詞にあたるものはない。

(8.12.3.1-4) mi-x-Ø-qa-k'is kan wa'e' juna' (141)

REC-CMP-B3-A1PL-complete remaining this year

「我々はこの 1 年を終えた」

(8.12.3.1-5) maki xaloq' t-Ø-u-k'is pe tzij chi r-ij wa'e'

NEG useless ICP-B3-A3-resolve coming word PR A3-back here

qa-k'oj-eb'ik (229)

A1PL-exist-N

「我らの状態に対して熟考するのは無駄ではない」

他動詞 k'is のあとに生起する kan, pe は方向詞である。

次の例では pe と ul が生起しているが、pe は自動詞で、ul は方向詞と思われる。

(8.12.3.1-6) ti-Ø-k'is-pe ul r-achij-il-al ajaw (94)

ICP-B3-finish(PAS)-come hither A3-man-N-N lord

「王の戦士が来終わるように」

pe の次に ul という方向詞があることで、pe は方向詞ではなく自動詞であろうが、Flores は次のような例を挙げており、pe も ul も方向詞の場合もある。

(8.12.3.1-7) t-Ø-aw-oy-o-j pe ul w-achpochel (Flores: 293)

IMP-B3-A2-call-SF-TVl coming hither A1-companion

「こっちに仲間を呼びに來い」 llama acá a mi compañero

とはいえ, k'is のあとの pe が自動詞であるとみることは次の例からも支持されよう。ok は方向詞ではなく, 明らかに監獄に「入る」という自動詞である。

(8.12.3.1-8) x-e-k'is-ok ajaw-a' pa xim-ob'al jay (223)

CMP-B3PL-finish(PAS)-enter lord-PL PR tie-L house

「王たちは監獄に入り終えた」

k'is が自動詞完了形と結びついて複合動詞として機能していると思われるのが次の例である。

(8.12.3.1-9) k'is-ik'o-w-inäq pe, r-onojel aj lab'al (25)

finish-pass-E-PER coming A3-all AG war

「戦士みんなは過ぎて來終わった」

k'is を tajan や tan と同じように不変化詞のようにみなすことの可能性を考えたが, 意味をなさない。それよりは k'is-ik'o という複合動詞とみる方がよいように思われる。それを支持する例がツトゥヒル語にある。

(8.12.3.1-10) x-in-ee-war-i (Dayley 1985: 99)

CMP-B1-go-sleep-SUF

「私は寝に行った, 行って寝た」 I went and slept.

(8.12.3.1-11) in ee-war-naq (Dayley 1985: 99)

B1 go-sleep-PER

「私は行って寝ている」 I have gone and slept.

(8.12.3.1-12) x-in-uj-war-i (Dayley 1985: 99)

CMP-B1-come-sleep-SUF

「私は来て寝た, 寝に來た」

(8.12.3.1-13) in uj-war-naq (Dayley 1985: 99)

B1 come-sleep-PER

「私は来て寝ている」

Dayley は ee, uj を接頭辞と分析しているが, 複合動詞を形成する形態素とみたい。

8.12.3.2 k'is + 他動詞

他動詞が後続する例を挙げる。k'is のあとに生起する動詞は所有詞がついているので, 他動詞の名詞化のようにみえないこともないが, 名詞になると -oj/-uj という接尾辞がつくはずであり, 他動詞であり, 人称 A はその主語を表わすと考えられる。

(8.12.3.2-1) x-Ø-k'is-ru-k'äm ajaw r-onojel wuj (223)

CMP-B3-finish(PAS)-A3-take lord A3-all book

「すべての書類を王が受け取ることが終わった」

(8.12.3.2-2) x-e-k'is-r-el-esa-j chi mun-il k-alab'il

CMP-B3PL-finish-A3-leave-CAUS-TV PR captive-N A3PL-slavery

castilan winäq (179)

Spanish people

「スペイン人の奴隷や捕虜をとることが終わった」ここでの e は、(8.12.3.1-1)～(8.12.3.1-3)などで主語を表わすのと異なり、目的語に照応する。

(8.12.3.2-3) maki xti-Ø-k'is-qa-q'ajar-tisa-j (20)

NEG POT-B3-finish(PAS)-A1PL-exalt-CAUS-TV

「我々が褒め称えることは終わらないだろう」

8.12.3.4 k'is + 受動詞

k'is のあとには動詞がくるだけなので、人称 B の 3 人称形 Ø を仮定でき、受動形とみなすことができる。派生他動詞に受動形接尾辞の -x がついているので、(8.12.3.4-1) (8.12.3.4-2) は根他動詞 ya', töj の受動形であることがわかる。

(8.12.3.4-1) x-Ø-k'is-ya' costa (223)

CMP-B3-finish-give(PAS) cost

「費用が払われ終わった」(根他動詞の受動形)

(8.12.3.4-2) x-Ø-k'is-toj r-onojel oficial je castilan winäq (223)

CMP-B3-finish-pay(PAS) A3-all official EMPL Spanish people

「スペイン人の役人すべての支払いが終わった」(根他動詞の受動形)

(8.12.3.4-3) x-Ø-k'is-sip-ä-x ch-u-wäch r-onojel wuq amaq'

CMP-B3-finish(PAS)-offer-SF-PAS PR-A3-face A3-all seven tribe

aj lab'al (37)

AG war

「7つの部族と戦士みんなの前に連れ出された」(派生他動詞の受動形)

8.12.3.5 -k'is と動詞の間に小辞が入る場合

k'is と動詞の結びつきが弱いことを示す例として、間に小辞 (na, k'a, ya, nawipe) が生起する例を挙げる。

(8.12.3.5-1) x-e-k'is-na-pe ri wuq amaq' (9)

CMP-B3PL-finish(PAS)-before-come D seven tribe

「7つの部族が来るのがまず終わった」(自動詞)

(8.12.3.5-2) toq x-Ø-k'is-k'a-pe r-onojel (9)

when CMP-B3-finish(PAS)-then-come A3-all

「そしてすべてが終わったとき」(自動詞)

(8.12.3.5-3) x-Ø-k'is-k'a-ru-tük ru-pam choy, (38)

CMP-B3-finish(PAS)-then-A3-stir A3-inside lake

「そして湖の中の掻き混ぜ終わった」(他動詞)

(8.12.3.5-4) x-Ø-k'is-k'a-chol chi r-e ajaw

CMP-B3-finish(PAS)-then-explain(PAS) PR A3-to lord

ru-b'an-øj k-uma ajaw-a' (190)

A3-do-TV A3PL-cause lord-PL

「王達によって侯(メヒア博士)に彼のやることが説明され終わった」受動

(8.12.3.5-5) x-Ø-k'is-ya-pe r-onojel ri' (10)

CMP-B3-finish(PAS)-already-come A3-all D

「すべて来終わった」

(8.12.3.5-6) x-Ø-k'is-nawipe-ru-tz'ët r-onojel ru-chi' choy (190)

CMP-B3-end(PAS)-furthermore-A3-see A3-all A3-mouth lake

「さらに湖の縁ですべてを見終わった」(名詞は tz'etoj)

8.12.3.6 k'is のあとに名詞が続く場合。

k'is には名詞が続く場合がある。

(8.12.3.6-1) mi-x-Ø-k'is ru-wuq juna' (196)

REC-CMP-B3-finish(PAS) A3-seven year

「(6) 7 番目の年が終わった」(名詞)

他動詞の主語を表わす場合人称 A がつくが、人称 A は所有も表わす。そのため、所有 + 他動詞は名詞とみなされる可能性も考えられたのであるが、そうではなく、他動詞とその主語であるとみたのは、自動詞が続く場合や、移動詞の諸例からであった。

8.12.4 ok 「入る」との動詞連続

ok の場合、次の例は動詞の連続であるが、それ以外は方向詞か自動詞か区別が難しい例が多い。

(8.12.4-1) x-Ø-ok-k'am K'iche' (119)

CMP-B3-enter-take(PAS) K'iche

「キチュは取られ(始め)た」(受動)

以下の例は方向詞として使われているのか、自動詞として使われているのか判断が難しい例であるが、方向詞として解釈している。

- (8.12.4-2) toq x-Ø-ok apon, x-e-ya'-är chi kam-ik
 when CMP-B3-enter arrive.there CMP-B3PL-water-IV PR die-N
 Aqajal winäq (97)
 Aqajal people
 「着いて入ったとき、アクァハルの人々は死に至った」
- (8.12.4-3) tzatz teleche' x-Ø-ok pe k-uma i-mama' (124)
 lots captive CMP-B3-enter coming A3PL-cause A2PL-grandfather
 「汝らの祖父達によってたくさん捕虜になった」
- (8.12.4-4) k'i'y nawipe teleche' x-Ø-ok pe ch-u-kojol ri
 many furthermore captive CMP-B3-enter coming PR-A3-among D
 nim-a'q lab'al (126)
 big-PL war
 「さらに多くの捕虜が大戦争の中に入り来た（で捕えられた）」
- (8.12.4-5) x-Ø-ok chi(k) pe xoq'ojaw Xq'eqak'üch Xtz'ikinajay (135)
 CMP-B3-enter more coming queen Xq'eqak'uch Xtz'ikinajay
 「シクエクアクッチ・シュツイキナハイ（ツイキナハイの女性のシクエク
 アクッチ）が王妃になった」
- (8.12.4-6) x-Ø-ok pe Pa Yan Ch'oköl (220)
 CMP-B3-enter coming Payan Ch'okol
 「パヤン・チョコル（サン・マルコス・ラ・ラグーナ）に来て入った」

8.12.5 スペイン語動詞との動詞連続

スペイン語の動詞が使われるときはb'an + スペイン語動詞となる。k'is「終わる」も使われる。(8.12.5-4)のように、スペイン語が前置される場合もある。

- (8.12.5-1) kani k'a x-Ø-u-b'än recusar Alonso Barientos (226)
 soon then CMP-B3-A3-do accuse Alonso Barientos
 「すぐにアロンソ・バリエントスは忌避を申し立てた」
- (8.12.5-2) toq x-Ø-b'an notificar ch-u-wäch ajaw-a' alcaldes regidores (223)
 when CMP-B3-do(PAS) notify PR-A3-face lord-PL alcaldes regidores
 「族長、司法行政官、参事に対して通告されたとき」
- (8.12.5-3) ti-Ø-qa-b'an-a' apelar (224)
 ICP-B3-A1PL-do-IMP appeal
 「我らは上訴しよう」

(8.12.5-4) mani notificar x-Ø-b'an ch-u-wäch winäq (224)
 NEG notify CMP-B3-do(PAS) PR-A3-face people
 「人々の前で通達がなされなかった」

(8.12.5-5) ja k'a oq x-Ø-k'is notificar (223)
 EMP then when CMP-B3-finish(PAS) notify
 「そして通告は終わった」

8.12.6 動詞文の連続

次のような例は一見 2 動詞文ように見られるが、二つの独立した文と解釈すべきであろう。

(8.12.6-1) je kaw-täl x-e-b'e x-e-tz'et k'a r-uma
 EMPL adorn-ST CMP-B3PL-go CMP-B3PL-see(PAS) then A3-cause
 Poqom-a' (26)
 Poqom-PL
 「着飾って彼らは行った。そして彼らはボクォムによって見られた」

8.13 aj 動詞

aj 動詞文の場合も動詞が後続する場合がある。もともと aj~ajo「望む、欲する」は不規則他動詞である。受動形は ajöx である。

(8.13-1) ru-yon ulew x-Ø-r-aj ok (5)
 A3-only earth CMP-B3-A3-want DIM
 「ただ土を欲しただけであった」

(8.13-2) x-Ø-r-ajo' aj-pop-ol (39)
 CMP-B3-A3-want AG-mat-N
 「アフポップの役目を欲した」(pop に抽象化の接尾辞 -ol がついて役割を表わす名詞となる。マツトは王が座るもので、aj pop は「族長」である)

(8.13-3) maki x-Ø-aj-öx chi r-e (39)
 NEG CMP-B3-want-PAS PR A3-to
 「彼らには望まれなかった」

(8.13-4) B'ak'ajol tan ti-Ø-r-ajo' aj-pop-ol (39)
 Bak'ajol ACT ICP-B3-A3-want AG-mat-N
 「バカホルはアフポップの役を望んでいた」

aj 動詞に動詞が続く場合、Flores によると、4 つのパターンがある。以下その分類にそって『カクチケル年代記』から例を引く。

8.13.1 aj~ajo' もその次に来る動詞もどちらにも相辞と人称がつく (Flores: 92-95, 150-153)。

不完全相 t- の場合の構造を挙げると、

t-B-A-aj + t-B-A-TV(他動詞) ~ t-B-A-aj + k-/t-B-IV(自動詞, 単動詞, 受動詞) となる。

主語となる人称は, aj につく主語も, 後の動詞につく主語も同じである。

(8.13.1-1) t-Ø-aw-aj t-Ø-a-loq'-o-j (Flores: 150)

ICP-B3-A1-want ICP-B1-love-SF-TV

「君は(彼を)愛したい」(他動)

(8.13.1-2) t-Ø-aw-aj k-at-loq'-o-n (Flores: 151)

ICP-B3-A1-want ICP-B1-love-SF-AP

「君は愛したい」(単動)

(8.13.1-3) t-Ø-aw-aj k-at-loq'-ö-x (Flores: 151)

ICP-B3-A1-want ICP-B1-love-SF-PAS

「君は愛されたい」(受動)

(8.13.1-4) t-Ø-aw-aj k-at-k'oj-e' (Flores: 92)

ICP-B3-A1-want ICP-B1-be-IV

「君は居たい」(自動)

(8.13.1-5) x-Ø-aw-ajo' x-at-k'oj-e' (Flores: 94)

CMP-B3-A2-want CMP-B2-be-IV

「君は居たかった」(自動)

以上 Flores の古典カクチケル語の文法から示したが, 完全相の場合 (8.13.1-5), x-aw-ajo' となっている。以下『カクチケル年代記』から例を取り出そう。

(8.13.1-6) x-Ø-r-ajo' x-Ø-u-tz'ët k'a r-onojel wuq amaq' (38)

CMP-B3-A3-want CMP-B3-A3-see then A3-all seven amaq'

「7 部族のすべてを彼は見ることを望んだ」

(8.13.1-7) k'oj x-Ø-r-ajo' x-Ø-u-qa-s-aj taj ru-q'ij

someone CMP-B3-A3-want CMP-B3-A3-descend-CAUS-TV IRR A3-day

Tz'utujil-e' (38)

Tz'utujil-PL

「ツトゥヒルたちの運を下降させることを望むものがいた」

(8.13.1-8) xax maki chi(k) wi x-Ø-r-ajo' x-Ø-q'il (100)

naturally NEG again FM CMP-B3-A3-want CMP-B3-hamper(PAS)

「当然のことながら彼は2度と妨害されることを望まなかった」

(8.13.1-9) oq x-Ø-r-aj k'a x-Ø-q'ax chik ri Saktekaw
 when CMP-B3-A3-want then CMP-B3-pass another D Saktekaw
 maki k'a x-Ø-q'ax, x-Ø-tzaq qa pa siwan, (30)
 NEG then CMP-B3-pass CMP-B3-fall down PR ravine
 「それからサクテクアウは越えたかった（越えようとした）が、越えられず、谷に落ちた」

xraj のあとに小辞 k'a があるためかどうか確かでないが、xrajo' になっていない。

次の2例は xrajo' が後置された文である。どちらも ta/taj という非現実を表わす不変化詞があるのは、望むことが実現されていないことを表わしているのであろう。

(8.13.1-10) xa ta k'a x-Ø-kām ri ixöq x-Ø-r-ajo' K'eche' winäq (82)
 just IRR then CMP-B3-die D woman CMP-B3-A3-want K'eche people
 「しかしそれからケチェ人はその女性が死ぬのを望んだ」

(8.13.1-11) x-e'-el-aj taj ajaw-a' x-Ø-r-ajo' K'eche' winäq (82)
 CMP-B3-surrender-IV IRR lord-PL CMP-B3-A3-want K'eche people
 「王たちが屈服することをケチェ人は望んだ」

Townsend(1961: 79) によると、後ろに文 x-oj-ru-kol がくる場合と名詞化形 qa-kol-ik がくる場合の違いは次のようであり、参考になる。

dios xrajo x-oj-ru-kol *God wanted to save us (and did)*

dios xrajo qa-kol-ik *God wanted to save us (it is not said whether he did or not)*

8.13.2 tirajo' のあとに来る動詞句に相辞があるが、主語は異なる。

次の2例は tirajo' であり、後にくる動詞句にも相辞があるが、主語は tiraj の主語とは異なる。

(8.13.2-1) ti-Ø-r-ajo' t-Ø-in-loq'-o-j (Flores: 160)
 ICP-B3-A3-want ICP-B3-A1-love

「私は愛したい」tiraj は後ろの動詞の主語と呼応していない。Yo quisiera amar.

(8.13.2-2) ti-Ø-r-ajo' ti-Ø-ki-b'än chuwaq we mani k-e-q'il-itäj (Flores: 160)
 ICP-B3-A3-want ICP-B3-A3PL-do tomorrow if NEG ICP-B3PL disturb-CPAS
 「彼らは邪魔さないのなら、明日したい」

これに相当する例は『カクチケル年代記』には見出されなかった。これはのちに述べる raj を使った構文と相似である。

8.13.3 tiraj/xraj に相辞のつかない動詞句が接続

ti-Ø-r-aj(ICP-B3-A3-want) に、人称 A がついた動詞が生起する。根他動詞の場合は、根母音が a, e, i のときは -a, o のときは -o, u のときは -u の接尾辞がつく (Flores: 154-155)。

tiraj の主語と後続の動詞句の主語は一致していない。tiraj は一つの不変化詞のように機能している。

tiraj + A-TV

(8.13.3-1) ti-Ø-r-aj a-loq'-o-j (Flores: 154)

ICP-B3-A3-want A2-love-SF-TV

「君は愛したい」

(8.13.3-1) ti-Ø-r-aj nu-ban-a' tij (Flores: 154)

ICP-B3-A3-want A1-do-SUF meal

「私は食事を作りたい」

(8.13.3-1) ti-Ø-r-aj a-mes-a' ru-pam jay (Flores: 154)

ICP-B3-A3-want A2-sweep-SUF A3-inside house

「君は家を掃除したい」

(8.13.3-1) ti-Ø-r-aj qa-loq'-o' jun jay (Flores: 155)

ICP-B3-A3-want A1PL-buy-SUF one house

「我々は一軒家を買いたい」

(8.13.3-1) ti-Ø-r-aj ki-qup-u' nu-sut (Flores: 155)

ICP-B3-A3-want A3PL-remove-SUF A1-scarf

「かれらは私の肩掛けを奪いたい」

古典カクチケル語文法をしるした Flores は上記のような例を挙げているが、『カクチケル年代記』には tiraj という形はなく、x-Ø-r-aj(CMP-B3-A3-want) と x-e-r-aj(CMP-B3PL-A3-want) という形しかない。また根他動詞の場合にも接尾辞 -a'/-o'/-u' がつかない。

以下 xraj に他動詞, 自動詞, 単動詞, 受動詞, 受動完了がつく例を挙げる。

8.13.3.1 xraj に他動詞が後続

(8.13.3.1-1) xa x-Ø-r-aj-ru-mäj ajaw atzij winäq Aj Moxnay (105)

just CMP-B3-A3-want-A3-depose lord Atzij Winaq AG Moxnay

「モシュナイのアツィフ・ウィナックの王位を篡奪したかった」

(8.13.3.1-2) xa x-Ø-r-aj-ru-yäk lab'al ajaw (66)

just CMP-B3-A3-want-A3-start war lord

「王は戦争を始めたかった」

(8.13.3.1-3) ka-winäq na'eq x-Ø-r-aj-ki-töj (223)

two-twenty although CMP-B3-A3-want-A3PL-pay

「しかしながら彼らは40支払わなければならなかった」

- (8.13.3.1-4) x-Ø-r-aj-qa-mes-ta-j ri qa-ch'a-b'äl (24)
 CMP-B3-A3-want-A1PL-sweep-SF-TV D A1PL-speak-I
 「我らは自分たちの言葉を忘れるところだった」
- (8.13.3.1-5) x-Ø-r-aj-ru-jiq'-u-j aj-pop-ol (39)
 CMP-B3-A3-want-A3-wish-SF-TV AG-mat-POS
 「アフポップの役目をたいそう望んだ」
- (8.13.3.1-6) xa k'a x-Ø-r-aj-ki-jitz'-a-j ki-k'ajol ajaw (64)
 just then CMP-B3-A3-want-A3PL-hang-SF-TV A3PL-son lord
 「王の子供達はほとんど首つりになりそうだった」

8.13.3.2 xraj に自動詞が後続

- (8.13.3.2-1) mi-x-øj-raj-käm r-uma kab'raqän nik'aj aq'a' (208)
 REC-CMP-B1PL-want-die A3-cause earthquake half night
 「夜中に地震で我らは死にそうになった」
- 地震で死にたいのではなく、死にそうになったことは自明であり、øj が raj-käm の主語になっている。ということは r-aj というより、raj が複合動詞を構成するとみた方がよいと思われる。
- (8.13.3.2-2) chi ri' k'a x-Ø-raj-saq-ër wi Tz'utujil-e' pa Tz'ala' (41)
 PR D then CMP-B3-want-white-IV FM Tz'utujil-PL PR Tz'ala
 「あちらのツァラでツトゥヒルたちは夜明けを迎えようとしていた」
- (8.13.3.2-3) ke re' k'a x-e-raj-käm wi k-uma ajaw-a' ri' (64)
 like D then CMP-B3PLwant-die FM A3PL-cause lord-PL D
 「このため王たちのせいで彼らは死にそうになった」
- (8.13.3.2-4) Aqajal winäq x-Ø-raj-q'aq'-är chik chi ri' (110)
 Aqajal people CMP-B3-want-fire-IV more PR D
 「アカハル人はあちらで力を得ようとした」

8.13.3.3 xraj に単動詞 (absoluto) 後続

- (8.13.3.3-1) audiencia x-Ø-raj-b'an-o sentencia Pan Q'än (215)
 Audiencia CMP-B3-want-do-AP sentence Pan Q'an
 「行政司法院がバンクァンで判決を行おうとしていた」

8.13.3.4 xraj に受動後続

- (8.13.3.4-1) xa k'a x-Ø-raj-qup ru-way ixöq
 just then CMP-B3-want-uproot(PAS) A3-tortilla woman
 r-uma jun achi' ki-k'ak'al ajaw-a' K'iche' (82)
 A3-cause one man A3PL-save lord-PL K'iche
 「しかし女のトルティリャがキチエの臣下の一人の男により力尽くで奪われようとした」

- (8.13.3.4-2) x-e-raj-jitz'-ä-x, x-e-raj-por-ö-x (215)
 CMP-B3PL-want-hang-SF-PAS CMP-B3PL-want-burn-SF-PAS
 「首つりと火あぶりにされるところであった」

すでに指摘しているが、訳例でわかるように、raj はいつも「～したい」ではなく、「～するところであった」という意味と取る必要がある場合がある。

8.13.3.5 xraj に結果受動後続

- (8.13.3.5-1) kanij x-Ø-raj-jitz'-atäj achi (82)
 soon CMP-B3-want-hang-CPAS man
 「すぐに男は縛り首になりそうだった」
- これらは b'e 「行く」や ul 「来る」 ik'o 「過ぎる」などの移動詞に後続する動詞の扱いと同じである。ただし、根他動詞には -a'/'o'/'u' がつくことはない。そのため違う扱いをしなければならない。しかし次例にみられるように、raj のあとに移動詞がある場合は -V' がつく。これは移動詞 (b'e, ik'o) が要求する接尾辞であることはいうまでもない。
- (8.13.3.5-2) ti-Ø-r-aj-b'e-nu-tz'et-a' yawa 「私は病人を見に行きたい」
 x-Ø-r-aj-b'e-nu-ch'olij 「私は叱りに行きたかった」
 xti-Ø-r-aj-b'e-ru-waraj 「彼は見回りに行きたい」 (Flores: 166-168)
- (8.13.3.5-3) x-Ø-r-aj-ik'o-ru-k'am-a' r-ana' (38)
 CMP-B3-A3-want-pass-A3-bring-SUF A3-sister
 「彼の姉を連れて通り過ぎることを望んだ」

8.13.4 raj

4 つめは、raj が不変化詞のような働きをする場合である。tajin や tan などの使い方と一見よく似ているが、tajin や tan に続くのは k-/t- のついた動詞句であるのに対し、raj では相辞が変化するので異なる。

- (8.13.4-1) raj k-at-nu-loq'-o-j (Flores: 156) 「私は君を愛したい」
 raj x-i-ru-kam-isa-j (Flores: 156) 「彼は私を殺したかった」
 raj x-in-ul-ru-kam-isa-j (Flores: 168) 「彼は私を殺しに来たかった」
 raj k-at-b'e-nu-tij-o-j (Flores: 168) 「私はおまえを教えに行きたい」
- (8.13.4-2) je chi(k) k'a raj x-Ø-ki-b'än lab'al (139)
 EMPL again then want CMP-B3-A3PL-do war
 「彼らはまた戦争をしようと望んだ」
- (8.13.4-3) raj x-Ø-el chi fiscal-il (225)
 want CMP-B3-leave PR fiscal-N
 「税務官吏をやめたかった」
- (8.13.4-4) raj k-e'-el ru-siw-il (231)
 want ICP-B3PL-leave A3-gather.firewood-N
 「薪拾いが去りたがる」

8.14 間接構成素

間接構成素のひとつである道具格の場合、動詞に-b'eという接尾辞がつき、道具句は動詞の前に生起するのであるが、-b'e接尾辞がつかない場合もみられる。その場合は、wiという分詞が動詞のあとに生起する(8.8-22, 8.8-23, 8.8-25, 9.2参照)。基本語順は、自動詞-主語、他動詞-目的語-主語という動詞先行の語順であるので、このwiをもとにすると、動詞の前に生起する名詞句が副詞的な役割を果たすと解釈される。

- (8.14-1) xa ch-u-jiq'-ul ki-k'u'x k'ul-patan-i' x-e-k'ul-e'
 just PR-A3-covet-N A3PL-heart receive-tribute-PL CMP-B3PL-marry-IV
 wi el (229)
 FM out
 「徴税使がたいへん望んで、彼らは結婚した」

副詞前置の標識としてwiが動詞のあとに生起していると解釈した。

- (8.14-2) k'iy chi maki xt-Ø-iw-ok-esa-j x-e-kol-o
 many that NEG POT-B3-A2PL-enter-CAUS-TV CMP-B3PL-save-AP
 wi k-i' (20)
 FM A3PL-self
 「汝らが受け入れない多くのもののお蔭で、彼らは助かった」

前半の文「汝らが受け入れない(信じない)多くのこと」をwiが副詞句化していると解釈した。

- (8.14-3) xa Jun Toj, Wuqu' B'atz' x-e-patan-ij wi wuq-amaq'
just Jun Toj Wuqu Batz' CMP-B3PL-tribute-IV FM seven amaq'
nim-a'q achi' (85)
big-PL man

「フン・トフとウクウ・バッツに7つの部族とニマック・アチ（新参家臣）は
貢納を払った」

wiがあるから、フン・トフとウクウ・バッツは間接構成素になると解釈される。通常なら chi -e のような間接目的語を表わす前置詞がつくが、それがいないということは、何もつかない裸の古い形と解釈した。

次の例は chi + re + 名詞という形の間接目的語が動詞のまえに生起する場合である。

- (8.14-4) xa chi r-e chiköp je ri Loxpin Ch'upichin ki-b'i'
just PR A3-to animal EMPL D loxpin ch'upichin A3PL-name
x-Ø-qa-k'üt wi (23)
CMP-B3-A1PL-show FM

「ただロシュピンとチュピチンという名前の動物に我らは示した」

次の2例は chi + re + 名詞という形の間接目的語が動詞のあとに生起する場合である。

- (8.14-5) xa k'a maki x-Ø-ya' ri ixöq chi r-e K'eché' winäq
just then NEG CMP-B3-give(PAS) D woman PR A3-to K'eché' people
chi r-e k'a achij-a' k-uma qa-mama' Jun Toj Wuqu' B'atz' (82)
PR A3-to then man-PL A3PL-cause A1PL-grandfather one Toj seven Batz'

「しかし我らが先祖フントフとウクバッツによってその女性はケチェ人と男たちに与えられなかった」

- (8.14-6) xa maki x-Ø-u-ya' wäy ixöq chi r-e k'ak'al (82)
but NEG CMP-B3-A3-give tortilla woman PR A3-to vassal

「女はトルティリヤを臣下に与えなかった」

「～に」格にあたる表現は、chi -e によるが、所有による表現もできる。

- (8.14-7) xt-Ø-in-ya' el i-q'inom-al iw-ajaw-ar-em (9)
POT-B3-A1-give out A2PL-wealth-POS A2PL-lord-IV-N

「私は、汝らに富、汝らに王権を与えよう」

たいへんおもしろい文が81章に対として出てくる。(8.14-8) は所有による表現に対し、(8.14-9) は chi ke による表現である。

- (8.14-8) x-Ø-u-ya' k'a k-ajaw-ar-em k-aj-pop-ol achij-a' (81)
CMP-B3-A3-give then A3PL-lord-IV-N A3PL-AG-mat-POS man-PL

「彼は兵士達に王位とアフポップ位を与えた」(所有による間接目的表現)

(8.14-9) x-Ø-u-ya' kan q'aq'-al tepew-al chi k-e achij-a' (81)

CMP-B3-A3-give remaining fire-N majesty-N PR A3PL-to man-PL

「彼は兵士達に権力と威厳を与えた」(chi 以下が間接目的になっている)

ちなみに間接目的語になんのマークもつかない場合も観察される。

(8.14-10) t-Ø-a-ya' wäy jetaq ala-bon (Flores: 56)

ICP-B3-A2-give tortilla DISTRIPL boy-PL

「あなたは子供達の一人ずつにトルティリヤパンをあげる」jetaq は jutaq (一人ずつ、一つずつ) の複数

9 不変化詞

不変化詞は意味を取りにくく、たいへん訳出の難しいものである。もっともよく出現する k'a, wi, xa, ja, chik について少し詳しく述べることにする。

9.1 k'a

k'a にはいろいろな意味があり、たとえば、Matyöx k'a ri' のように、「ありがとう Matyöx, それじゃあね k'a ri'」のごとくに訳せるものから、「それから」とか「まだ」「まで」などの意味もあり、その本質を捉えることはなかなか難しい。現代語から例をあげると、(9.1-1) では、k'a ri' がある節の方が前の出来事を表わしており、「フアンさんが来てから」という意味になろう。(9.1-2) では「まだ」といった意味になる。

(9.1-1) x-Ø-pe k'a ri' ma xwan, x-Ø-u-ch'ol-i-j
CMP-B3-come then D Mr. Juan CMP-B3-A3-scold-SF-TV
ri r-alk'wal (FP: 248)

D A3-son

「フアンさんが来て息子を叱った」

(9.1-2) k'a man jani' t-Ø-pe (FP: 248)
still NEG how ICP-B3-come

「まだ彼は来ていない」

以下に古典カクチケル語の例を挙げる。

(9.1-3) wuq amaq' k'a nab'ey x-Ø-pe ul pa Tullan, k-e-cha'
seven tribe then first CMP-B3-come hither PR Tullan ICP-B3PL-say
k'a xamb'ey x-oj-pe (8)
then successor CMP-B1PL-come

「7つの部族が最初にトゥリヤンから来た、と彼らはいう。それから次に我らはやって来た」

ツトゥヒル語の文法を書いた Dayley によると, k'aa には, 「そう, それから, ~まで well, then, until, up to」といった意味があるが, 談話で新しいトピックを導入する場合に k'aa(r) と k'ii(r) が使われるという (Dayley 1985: 258, 365)。カクチケル語の k'a はそれと同源であろう。

k'a の前後に, いろいろな語が生起して, 意味の違いが表わされる。k'a te(それから, 少し前, すぐ, とうとう), k'a te k'a(さっき), ja k'a(強調, それが), k'a lo(少しの内に, 今日), などさまざまな語と結びついて出てくる。

(9.1-4) nu-tz'et na missa, k'atek'a k-i-b'e (Flores: 134)

A1-see still Mass later ICP-B1-go

「ミサを聞いて, それから出かける」

(9.1-5) k'atek'a oq x-Ø-ch'ok-ob'ä-x ch-u-wi' ch'akät (32)

later when CMP-B3-sit-TV-PAS PR-A3-top chair

「それから彼は椅子の上に座った」

(9.1-6) we ta k'a b'ila achoq ixjail chi q-e (Flores: 292)

if IRR then someone whose wife PR A1PL-to

「もしたまたま我らの誰かの妻なら」*y si por dicha fuera mujer de alguno de nosotros.*

(9.1-7) we ta k'a mi-x-Ø-iw-iq-a-j xit pwäq

if IRR then REC-CMP-B3-A2PL-load-SF-TV turquoise gold

q'uq' raxom (9)

quetzal green feather

「もし汝らがトルコ石, 金, ケツァル, 緑羽を運んだのなら」

9.2 wi

wi は場所や手段, 理由, 原因等を表わす語句や間接目的語が動詞の前に出されるとき, 動詞のすぐあとに置かれる。いずれも主語や目的語である直接構成素以外の構成素が前置される場合であるを一括できる。直接構成素は, 動詞句内の人称 A または人称 B と照応する。ただし自動詞の主語や他動詞の目的語となる人称 B の 3 人称単数形はないので, 分析では Ø として照応しているものとみなしているが, 実際には独立語句に照応するものが動詞句内にない。そのため解釈に問題が生じることがあるが, 逆に wi があることで, 動詞句の前に生起する語句が直接構成素でないことを示す役目を果たしている。そのほか人称 B の 3 人称単数形が Ø であることによる問題は 8.6~8.8 等で扱っている。それ以外を間接構成素とすると, 場所, 手段, 理由, 原因, 主題, 時を表わす語句や間接目的語となる。まず現代カクチケル語の wi の使い方を述べたのち, 古典カクチケル語の wi について検討する。

9.2.1 現代カクチケル語の wi

wi は現代カクチケル語にもよくみられる。主語が定のときに限られ、不定のときは wi は生起しない。その条件は次のようになる。

- 1) cuando el sujeto de la oración es definido (algunas veces también si el objeto directo es definido) 文の主語が定るとき (直接目的語が定るときもありうる)
- 2) cuando es información compartida por los interlocutores (hablantes y oyentes) 話者聴者ともに共有している情報であるとき (GK: 349-361)

(9.2.1-1) wawe' y-e-muxan q'än ki-wi' (自動詞主語不定, 一般)
 here ICP-B3PL-swim yellow A3PL-head
 「ここでアメリカ人 (q'än ki-wi') が泳いでいる」 “Aquí nadan gringos”

主語不定では wi を用いた *wawe' y-e-muxan wi q'än kiwi' は不適格文となる。

(9.2.1-2) wawe' n-Ø-muxan wi ri xta Ixkaj (自動詞主語定)
 here ICP-B3-swim FM D CL Ixkaj
 「ここでイシュカフが泳いでいる」 “Aquí nada Ixkaj”

(9.2.1-3) pa k'ayib'al e k'oj k'iy winäq (状態動詞主語不定)
 PR market B3PL exist many people
 「市場に人がたくさんいる」 “En el mercado hay gente.”

(9.2.1-4) pa k'ayib'al e k'oj wi ri nu-me'al (状態動詞主語定)
 PR market B3PL exist FM D A1-daughter
 「市場に私の娘達がいる」 “En el mercado están mis hijas”

(9.2.1-5) Iximche' n-Ø-u-tij-o-j wi r-i' ri xta Ixq'i'n (他動詞主語定)
 Iximche ICP-B3-A3-study-SF-TV FM A3-self D CL Ixq'i'n
 「イシムチェ (という町) でイシュクインが自習している」 “En Iximche' estudia Ixq'i'n”

ここまでは場所を表わす語句が前置されるとき例であるが、主語が定であると wi が動詞のあとに置かれる。場所格のほか、共格や道具格、与格等、間接構成素が前置される場合も wi が動詞のあとに必要となる。

(9.2.1-6) r-uk'in ri qa-te' x-Ø-b'e wi ri xta Ixmukane (共格)
 A3-with D A1PL-mother CMP-B3-go FM D CL Ixmukane
 「我らの母と一緒にイシュムカネは行った」 “Con nuestra madre se fue Ixmukane”

(9.2.1-7) r-uk'in pak'ach y-e-wa' wi la moso'-i' (道具格)
 A3-with spoon ICP-B3PL-eat FM D ladino-PL
 「スプーンでそのラディーノ達は食べる」 “Con servidas comen los ladinos”

- (9.2.1-8) chi r-e ri xta Ixchel x-Ø-u-sip-a-j wi ri wuj ri a Pala's (与格)
PR A3-to D lady Ixchel CMP-B3-A3-give-SF-TV FM D book D CL Palas

「イシュチェルにパラスはその本をあげた」“A Ixchel le regaló el libro Pala's”

- (9.2.1-9) chi r-ij ri ch'ab'äl y-oj-ch'o wi (主題)
PR A3-back D word ICP-B1PL-talk FM

「ことばについて我らは語っている」“Del idioma estamos hablando.”

目的語が不定であると、場所が前置されても wi は生起しないが、定であると生起する。それは疑問文でも否定文でも同じである。自動詞の主語と他動詞の目的語が同じに扱われる能格言語の特徴をみせている。

- (9.2.1-10) wawe' Iximche' n-Ø-u-b'än jun jay ri a Waqi' Kej (目的語不定, 平叙文)
here Iximche ICP-B3-A3-do one house D CL Waqi' Kej

「ここイシムチェでワクィケフが家を建てる」“Aquí en Iximche' construye una casa Waqi' Kej”

- (9.2.1-11) la wawe' Iximche' n-Ø-u-b'än jun jay ri a Waqi' Kej (目的語不定, 疑問文)
Q here Iximche ICP-B3-A3-do one house D CL Waqi' Kej

「ここイシムチェでワクィケフは家を建てるのか」

- (9.2.1-12) akuchi n-Ø-u-b'än jun jay ri a Waqi' Kej (目的語不定, Wh 疑問文)
where ICP-B3-A3-do one house D CL Waqi' Kej

「どこでワクィケフは家を建てるのか」

- (9.2.1-13) man wawe' ta Iximche' n-Ø-u-b'än jun jay ri a
NEG here IRR Iximche' ICP-B3-A3-do one house D CL
Waqi' Kej (目的語不定, 否定文)
Waqi' Kej

「ここイシムチェではワクィケフは家を建てない」

- (9.2.1-14) wawe' Iximche' n-Ø-u-b'än wi ri r-ochoch ri a Waqi' Kej (目的語定)
here Iximche ICP-B3-A3-do FM D A3-house D CL Waqi' Kej

「ここイシムチェでワクィケフが自分の家を建てる」

“Aquí en Iximche' construye su casa Waqi' Kej”

これは同系のすぐ隣で話されているツトゥヒル語でも同じであり、その例を挙げる (García Ixmata': 367)。

- (9.2.1-15) waawee' Xe' Tok'or n-Ø-uu-b'an jun jaay jar aa Waqii' Keej
here Xe' Tok'or ICP-B3-A3-do one house D Mr. Waqii' Keej

「ここシェトコルでワクィ・ケーフさんは家を建てる」

(9.2.1-16) waawee' Xe' Tok'or n-Ø-uu-b'an wi ja r-oochooch jar aa Waqii' Keej
 here Xe' Tok'or ICP-B3-A3-do FM D A3-house D Mr. Waqii' Keej
 「ここシェトコルでワクィ・ケーフさんは自分の家を建てる」

しかし、1) で述べたことと少し異なり、目的語が定るときは義務的であるが、不定のときはwiをつけてもつけなくてもいいようである。カクチケル語やツトゥヒル語の文法書の例では、目的語が不定の場合はwiが用いられない例しか挙げられていないが (GK: 354, García Ixmata 1997: 367), Filibertoによると、不定の場合でもwiを用いることができるという。

(9.2.1-17) chi r-e ri xta Ixchel x-Ø-u-sip-a-j wi jun wuj ri a Pala's
 PR A3-to D CL Ixchel CMP-B3-A3-give-SF-TV FM one book D CL Palas
 「イシュチュエルにパラスは一冊の本をあげた」(目的語不定) (Filibertoに教示された例)

参考までに、密接な系統関係にあるキチェ語の場合を挙げると、目的語が定るときwiは義務的で、不定のときは随意的であることは同じであるが、疑問文、否定文では、不定のときでもwiは義務的に用いられ (Dominga López 1997: 354-359), カクチケル語やツトゥヒル語との違いをみせている。wiの適用範囲の拡大と考えられる。

(9.2.1-18) waraal Q'uma'rkaaj k-Ø-u-b'an (wi) jun jaa ri a
 here Q'uma'rkaaj ICP-B3-A3-do (FM) one house D Mr.
 Waqii'b' Keej
 Waqii'b' Keej
 「ここクマルカーフでワクィーブ・ケーフさんは家を建てる」(キチェ語)

(9.2.1-19) la waraal Q'uma'rkaaj k-Ø-u-b'an wi jun jaa ri
 Q here Q'uma'rkaaj ICP-B3-A3-do FM one house D
 a Waqii'b' Keej
 Mr. Waqii'b' Keej
 「ここクマルカーフでワクィーブ・ケーフさんは家を建てるか」(疑問文)

(9.2.1-20) jawi k-Ø-u-b'an wi jun jaa ri a Waqii'b' Keej
 where ICP-B3-A3-do FM one house D Mr. Waqii'b' Keej
 「どこでワクィーブ・ケーフさんは家を建てるのか」(Wh疑問文)

(9.2.1-21) man waraal taj Q'uma'rkaaj k-Ø-u-b'an wi jun jaa ri a Waqii'b' Keej
 NEG here IRR Q'uma'rkaaj ICP-B3-A3-do FM one house D Mr. Waqii'b' Keej
 「ここクマルカーフではワクィーブ・ケーフさんは家を建てない」(否定文)

9.2.2 古典カクチケル語の wi

前節で現代カクチケル語のwiの使い方の例を示したが、以下『カクチケル年代記』や

古典文法書に現れる *wi* を分類して記述する。いずれも主語や目的語である直接構成素以外の構成素が前置される場合であると一括できる。主語を表わす独立語句が動詞のあとに生起する場合、それが限定かどうか確かでない場合があるが、現代カクチケル語は限定または既知であることを考慮して訳を検討する。しかし以下にみられるように、よく似た構造の文でありながら、一方は *wi* が使われるが (9.2.2-1, 3, 5), もう一方は使われない例 (9.2.2-2, 4, 6) を 3 組挙げたが、このように *wi* の有無の条件を特定することはむずかしい場合がある。作者、読者に共有された情報かどうかという点で異なるのかもしれないが、それを確かめるのは難しい。*wi* の存在は、動詞の前に副詞的に機能する語句があることを示すとはいえ、現状ではまだ不明な点があることを断っておきたい。

- (9.2.2-1) ch-u-koj-ej q'ij ik' julio mi-x-Ø-ul wi qa-taxasión
PR-A3-four-FUT day month July REC-CMP-B3-arrive FM A1PL-assessment
r-umal Diego de Paz de Quiñones (205)
A3-cause Diego de Paz de Quiñones
「7月4日、ディエゴ・パス・デ・キニョネスによって、我らの貢納評価が到着した」
- (9.2.2-2) ch-u-koj-ej q'ij ik' mayo mi-x-Ø-al-ä-x Juana
PR-A3-four-SUF day month May REC-CMP-B3-bear-SF-PAS Juana
ru-mi'al Pedro Ramirez (206)
A3-daughter Pedro Ramirez
「5月4日、ペドロ・ラミレスの娘、ファナが生まれた」
- (9.2.2-3) ma ja oq t-Ø-eta'm-ä-x wi ki-wäch (144)
NEG EMP when ICP-B3-know-SF-PAS FM A3PL-face
「彼らの顔はまだ知られていなかった」
- (9.2.2-4) ma ja oq ti-Ø-pax Aqajal winäq (64)
NEG EMP when ICP-B3-separate Aqajal people
「そのときまだアクァハルの人々は分裂していなかった」
- (9.2.2-5) ch-u-pam juna' x-Ø-ul wi ch'ich' campana (181)
PR-A3-in year CMP-B3-arrive FM metal bell
「この年に、鉄の鐘が到着した」
- (9.2.2-6) ch-u-pam k'a juna' x-Ø-käm aj-tz'ib' Juan Pérez (180)
PR-A3-in then year CMP-B3-die AG-write Juan Perez
「この年に、書記のファン・ペレスが死んだ」

9.2.2.1 場所を表わす語句を動詞の前に置く場合

(9.2.2.1-1) chi tinamit chi jay k'o wi Aj Suywa' chi la'
 PR town PR house exist FM AG Suywa' PR D
 r-el-eb'al q'ij (20)
 A3-leave-LOC sun

「町に、家にあちらの東のスイワの人がいた」

(9.2.2.1-2) xa pa ya' x-Ø-u-köl wi r-i' (20)
 just PR water CMP-B3-A3-save FM A3-self

「水の中で彼は自分を救った」

(9.2.2.1-3) chi ri' x-oj-k'uk'um-aj wi el (20)
 PR D CMP-B1PL-feather-IV FM out

「あちらで我々は羽根をつけた」

9.2.2.2 手段を表わす語句を動詞の前に置く場合

(9.2.2.2-1) xa chi tz'aq-b'al tzij
 just PR lie-ADJ word
 x-Ø-ki-k'ul-uba' wi ru-tzij qa-loq' tata' ru-tzij
 CMP-B3-A3PL-advice-TV FM A3-word A1PL-love father A3-word
 k'a rey (231)
 then king

「嘘について彼らは我らが愛する神父、そして王に答えた」

(9.2.2.2-2) chi ru-tzij k'a Padre nik'aj x-Ø-to' wi ajaw-a' chi
 PR A3-word then Father half CMP-B3-help(PAS) FM lord-PL PR
 r-e pena (223)
 A3-to fine

「神父のことばによって、王たちは罰金を半分に使われた」

(9.2.2.2-3) kaj-i' x-Ø-pe wi winäq pa Tulan (4)
 four-SUF CMP-B3-come FM person PR Tulan

「人々は4つにわかれてトゥランから来た」

(9.2.2.2-4) xawi k'a pa ki-juku' aj Nonowalkat x-oj-ok wi (20)
 also then PR A3PL-boat AG Nonowalkat CMP-B1PL-enter FM

「そしてそれからノノワルカットの人のカヌーに我らは乗った」

(9.2.2.2-5) xa ru-jomet-al che' x-oj-k'as-e' wi (42)
 just A3-bark-RS tree CMP-B1PL-live-IV FM

「ただ我らは木の皮でのみ生きのびた」

9.2.2.3 共格

- (9.2.2.3-1) kani k'a k-uk'in Padre x-Ø-wär wi ajaw Alonso Rodríguez (224)
soon then A3-with father CMP-B3-sleep FM lord Alonso Rodriguez
「すぐに神父達のもとで（とともに）アロンソ・ロドリゲス侯は泊まった」

9.2.2.4 目的を表わす語句を動詞の前に置く場合

- (9.2.2.4-1) chi r-e ki-tij-ox-ik al-ab'on x-Ø-iw-oy-o-j pe wi
PR A3-to A3PL-teach-PAS-N child-PL CMP-B3-A1-call-SF-TV coming FM
jun aj-tij (Flores: 350)
one AG-teach
「子供を教えてもらおうと（子供達が教えられるように）私は1人の教師を呼んだ」
(Floresは「私が呼んだ」としているが、iwは「あなた方」とも同一であり、あなた方とも訳せる)

- (9.2.2.4-2) chi r-e qa-kam-ik q-oj-al-ä-x wi (Flores: 350)
PR A3-to A1PL-die-N ICP-B1PL-child-SF-PAS FM
「我らは死ぬために生まれる」

9.2.2.5 理由

- (9.2.2.5-1) xa ch-u-jiq'-ul ki-k'u'x k'ul-patan-i' x-e-k'ul-e'
just PR-A3-covet-N A3PL-heart receive-tribute-PL CMP-B3PL-marry-IV
wi el (229)
FM out
「徴税使らがたいへん望んだため、彼らは結婚した」
- (9.2.2.5-2) ru-k'oxoman-ik k'a Domingo mi-x-e-k'ul-e' wi el (229)
A3-echo-N then Domingo REC-CMP-B3PL-marry-IV FM out
「ドミンゴに応じて彼らは結婚した」
- (9.2.2.5-3) r-umal ru-loq'-ox-ik Dios xk-i-kol-otaj wi (Flores: 350)
A3-cause A3-love-PAS-N God CMP-B1-save-CPAS FM
「神を愛する（神が愛される）ことによって私は救われる」

- (9.2.2.5-4) r-uma k'a ru-pus ru-nawal
 A3-cause then A3-divining power A3-transforming power
 ru-q'aq'-al ru-tepew-al x-Ø-elaj-i-b'ë-x wi ru-wäch
 A3-fire-N A3-majesty-N CMP-B3-promise-SF-I-PAS FM A3-face
 qa-tata' qa-mama' (37)
 A1PL-father A1PL-grandfather

「靈力と魔力，栄光と威厳によって，我らの父，我らの祖先は懇願された」

- (9.2.2.5-5) xa k'a ti-Ø-qa-sëq ru-xe' qa-ch'ame'y
 only then ICP-B3-A1PL-smell A3-root A1PL-staff
 ti-Ø-kuq-ër wi qa-k'u'x r-uma (42)
 ICP-B3-seat-IV FM A1PL-heart A3-cause

「ただ我らは我らの杖の根をかくことで，我々の心はそれによって慰められる」

上例は，*ruma* の目的語 *ruxe' qach'ame'y* が前置されたために *wi* が動詞のあとに置かれていると解釈する。*ti-Ø-kuq-ër qa-k'u'x r-uma ru-xe' qa-ch'ame'y* という文が，*ti-Ø-qa-sëq ru-xe' qa-ch'ame'y* という文と 1 つになり，*ru-xe' qa-ch'ame'y* を修飾する関係節を構成する例とみる。それは，ツトゥヒル語に前置詞（関係名詞）が残り，前置詞の目的語が前置される例がみられるからである。以下 3 例はツトゥヒル語の例であるが，*rmaal ja ya* の *ja ya'*，*chwe inin* の *inin*，*rxiin jar aa Leencho* の *jar aa Leencho* が前置された例である。大きな違いは，カクチケル語では *wi* が使われるが，ツトゥヒル語では使われないことである。

- (9.2.2.5-6) ja ya' x-in-yawaj r-maal (Dayley 1985: 328)
 EMP water CMP-B1-get sick A3-cause
 「私が病気になったのは水のせいだ」

- (9.2.2.5-7) inin x-Ø-yaa'-i ja paq ch-w-e (Dayley 1985: 328)
 C1 CMP-B3-give(PAS)-SUF EMP money PR-A2-to
 「私にお金が与えられた」

- (9.2.2.5-8) jar aa Leencho b'iis x-Ø-kam-sa-n r-xiin (Dayley 1985: 328)
 EMP youth Lencho sadness CMP-B3-die-CAUS-AP A3-for
 「レンチョを悲しみが殺した」

上例のツトゥヒル語の例と構造的に似ている例を以下に挙げる。ただし道具格前置を示す *b'e* が動詞についた例である (*b'e* については 8.8 を参照されたい)。ツトゥヒル語の例から考えると，*k-uma chiköp k'el kuyuch'* の *chiköp k'el kuyuch'* が前置されたと考えられる。

- (9.2.2.5-9) xa k'a chiköp k'el, kuyuch' x-Ø-u-lab'al-i-b'e-j
 just then animal parrot parrakeet CMP-B3-A3-war-SF-I-TV
 r-ochoch ri K'axtok' k-uma (46)
 A3-house D K'axtok' A3PL-cause
 「オウムとインコを使うことでカシュトックの家を争った」

次の例は2つの文章と考えられるが, kuma mani kikowil の mani kikowil が前置されたとしても解釈に問題ない。

- (9.2.2.5-10) mani ki-kow-il x-Ø-joye-w-atäj ru-wäch winäq k-uma, (72)
 NEG A3PL-strong-N CMP-B3-beg-E-CPAS A3-face people A3PL-cause
 「彼らは強くはなかった。彼らによって同情された。＞彼らは強くはなかった
 ので哀れであった」

動詞のあとに wi が生起するが, 動詞の前には, ke re' があり, 文末に ri' が生起する例, 形式的にいうと, ke re'...wi...ri' となる文が, テキストに40例ほど生起する。前文の理由を述べる文であり, 「そのため, だから」といった意味があると考えられる。

- (9.2.2.5-11) ke re' k'a x-Ø-u-b'ina'-a-j wi Toj-oj-il ri' (20)
 like this then CMP-B3-A3-nominate-SF-TV FM Tojojil D
 「だからトホヒルとなづけたのだ」

ke re' の次に動詞があり, そのすぐあとに wi が生起して, そのあとに名詞, そして ri' があるのが定型であるが, しかし wi のあとに名詞がなく, いきなり ri' が生起している文もある。これが ke re'...wi...ri' 文と同じ機能を果たすのか定かではないが, 文脈から判断して, 同等の文とみられる。

- (9.2.2.5-12) ke re' k'a x-e-k'as-e' wi ri' r-uma Tepew (51)
 like this then CMP-B3PL-live-IV FM D A3-cause Tepew
 「こうしてテペウのお蔭で生きた」

9.2.2.6 時の前置

- (9.2.2.6-1) ch-u-pam nu-ch'utin-al x-i-tij-o-x wi chi r-e
 PR-A3-in A1-little-N CMP-B1-teach-SF-PAS FM PR A3-to
 ru-ch'ab'al Dios (Flores: 347)
 A3-word God
 「私の子供の時教理を教えられた」

(9.2.2.6-2) toq x-Ø-ch'ik-e' k'a q'ij x-Ø-b'an wi yujuj
 when CMP-B3-fix-IV then day CMP-B3-do(PAS) FM revolt
 r-uma ajaw Ka'i' Junajpu' (101)
 A3-cause lord Kai Junajpu

「カイ・フナフブ王によって、反乱がなされる日が決まったとき」

この wi は、関係副詞節として後文の間接構成素の q'ij「日」が前置されるからとみなされる。

(9.2.2.6-3) ch-u-wi' wa'-im x-Ø-ya' wi firmas r-uma
 PR-A3-top food-N CMP-B3-give(PAS) FM sign A3-cause
 r-onojel ajaw-a' (223)
 A3-all lord-PL

「食事のあと、すべての王たちによって署名された」

9.2.2.7 間接目的語または与格名詞句を表わす語句の前置の場合

(9.2.2.7-1) xa chi r-e chiköp je ri' Loxpin Ch'upichin ki-b'i'
 just PR A3-to animal EMPL D Loxpin Ch'upichin A3PL-name
 x-Ø-qa-k'üt wi (23)
 CMP-B3-A1PL-show FM

「ただロシュピンとチュピチンという名前の動物に我らは示した」

(9.2.2.7-2) xa Jun Toj, Wuq-u' B'atz' x-e-patan-ij wi
 just one Toj seven-SUF Batz' CMP-B3PL-tribute-IV FM
 wuq amaq', nim-a'q achi' (85)
 seven amaq' big-PL man

「フン・トフとウクウ・パッツに7つの部族と新参家臣（ニマック・アチ）は貢納を払った」

wi があることで、Jun Toj, Wuqu' B'atz' は直接構成素でなく、与格にあたることが示されていると解釈した。(9.2.2.7-1) では chi re と与格を示す前置詞があるが、それより古い形ではなかろうか (8.8-18~19参照)。

9.2.2.8 強調の wi

そのほか強調のために、nawipe「さらに、そして」、xax... wi「当然」、ja... wi「確かに～だ」、mani... wi「決して～ない」、qitzij wi(chi)「確かに」、jun chi wiなどにみられるように、wi が用いられる。ちなみに wi が続くとき chik は chi になる (Flores: 298)。

mani...wi

(9.2.2.8-1) mani k-ix-wär wi (12)

NEG IMP-B2PL-sleep FM

「汝らは眠らないように」

(9.2.2.8-2) x-mani wi ti-Ø-pe wi t-Ø-echa'-äx ti-Ø-k'üx ti-Ø-wa-ix

CMP-NEG INI ICP-B3-come FM ICP-feed-PAS ICP-B3-crunch ICP-B3-eat-PAS

ti-Ø-uk'a'-äx (42)

ICP-B3-drink-PAS

「養うもの、かむもの、食べるもの、飲み物もなかった」

(9.2.2.8-3) mani nawipe ti-Ø-pe wi ti-Ø-q'u'-ü-x

NEG furthermore ICP-B3-come FM ICP-B3-cloth-SF-PAS

t-Ø-ichin-ä-x (42)

ICP-B3-possess-SF-PAS

「さらに身を覆うものはなかった。持ち物もなかった。」ti 動詞句は名詞的に機能

ja...wi

(9.2.2.8-4) ja x-Ø-ik'atz-i-n wi ri kaq-a che' (16)

EMP CMP-B3-need-SF-AP FM D red-ADJ tree

「その赤い木は確かに役に立った」

jun chi wi の例

(9.2.2.8-5) jun chi(k) wi k'a chi k'ab'owil (4)

one more INT then PR idol

「さらにもう 1 つは、カボウィルから」

na-wi-pe の例

(9.2.2.8-6) x-Ø-ki-k-öt nawipe Kaqchekel-e' Sotz'il Tuquche' (54)

CMP-B3-happy-DUP-IV furthermore Kaqchikel-PL Sotz'il Tuquche

「カクチケル、ソツイル、トゥクチェの人々も喜んだ」

xax...wi の例

(9.2.2.8-7) xax r-uk'in wi k'a x-Ø-kaq-o ru-wäch (100)

naturally A3-with INT then CMP-B3-red-AP A3-face

「当然それでもって彼は羨んだ」

(9.2.2.8-8) xax maki chi(k) wi x-Ø-r-ajo' ajaw (100)

naturally NEG already INT CMP-A3PL-want lord

「当然王は望まなかった」

qitzij wi の場合、qitzij だけの場合や、qitzij wi, qitzij chi, qitzij wi chi などの言い方がみ

られる。おそらく単独の場合より、語が増えることに強めになっていくのであろう。

qitzij だけの場合

(9.2.2.8-9) qit-tzij ützi mi-x-Ø-ul chi ri' Iximche' (84)
true-word good REC-CMP-B3-arrive PR D Iximche
「あそこのイシムチェに首尾よく着いた」

(9.2.2.8-10) qit-tzij k'a tan ti-Ø-q'aq'-är ajaw K'iqab' (76)
true-word then ACT ICP-B3-fire-IV lord K'iqab
「確かにキクァブ王が力を発揮していた」

qitzij wi の場合

(9.2.2.8-11) qit-tzij wi ti-Ø-xib'-i-n k-e-achij-ir (76)
true-word INT ICP-B3-fear-SF-AP ICP-B3PL-man-IV
「確かに恐れられる戦士になった」

(9.2.2.8-12) qit-tzij wi k'a k'oj chik ki-pus ki-nawal (76)
true-word INT then exist again A3PL-magical power A3PL-transforming power
「確かに魔力を持つであろう」

qitzij chi の場合、Flores によると、「とても早く、素早く muy de prieza o muy presto」というが (Flores: 276)、強調や誇張のときに使われるともしている。その例として、*qitzij wi chi nima maijab'al wae* 「確かにこれは驚異だ por cierto que es una maravilla」を挙げている (Flores: 297)。chi は、通常前置詞であるが、節を導く英語の that、スペイン語の que にあたるとも考えられる。

(9.2.2.8-13) qit-tzij chi k'iy ki-tinamit ki-juyub'-al x-Ø-ux (60)
true-word PR much A3PL-town A3PL-mountain-POS CMP-B3-be
「彼らの町、彼らの村がたいへんたくさんあった」

qitzij wi chi の場合

(9.2.2.8-14) qit-tzij wi chi xamb'ey chik x-oj-pe ul pa Tulan (10)
true-word INT PR last again CMP-B1PL-come hither PR Tulan
「最後の最後に我らはトゥランから去った」

(9.2.2.8-15) qit-tzij wi chi k'iy-a juyu' x-oj-ik'o wi (20)
true-word INT PR many-PL hill CMP-B1PL-pass FM
「我らはとてもたくさんの山を通り過ぎた」

Flores は、カクチケル語には最上級がないので、それにあたる表現として、*mai, tij, ja, xoo* などを用いると書いている (Flores: 274-5)。*mai chi jeb'el* 「とてもきれいな」、*tij chi tew* 「とても寒い」として、chi が用いられている。この用法にあたるのは、先に挙げた *qitzij chi* や *qitzij wi chi* であろう。

9.3 kan と xa の違い

kan と xa の違いは、現代文法書に、次のような興味深い例が挙げられているところから、好ましい、望んだとおりの場合は kan、逆に好ましくない、願いとは違った場合は xa のようである。

(9.3-1) kan pa ch'ich' x-at-pe wi (Rodríguez Guaján 1994: 160)

INT PR iron CMP-B2-come FM

「君はバスで来た」

(9.3-2) xa chi aw-aqän x-at-pe wi (Rodríguez Guaján 1994: 160)

INT PR A2-foot CMP-B2-come FM

「君は徒歩で来た」

kan も xa も強調の役目があり、分布は同じであり得るが、心情的にそれぞれプラスとマイナスの意味が付加されるようである。

García Matzar らの現代カクチケル語の文法書 (GK) によると、xa は、「行為の参加者が知られているか話者に近縁のとき、少しの量または正しくない行いにも言及。言及するものが既知であることを含意して、単に、もっぱら、という意味を持つ」という (GK: 224)。強調に使われるが、ほかの語と結びついた例を挙げると、

xa rumal 「それによって」、xa jun 「ひとつだけ」、xa jun ok 「ただひとつだけ」、xa qi 「～だけれど、～ではなく」 (Flores: 297), xa wi 「おなじ、もまた」、xa k'a 「しかし、だけれど」 (SS), xa k'axan 「とうとう」 (OS)

xa には we と同じ「もし」という意味もあるようで、次のような例が標準文法書 (GN) に挙げられている (GN: 106, 207)。

we の利用：

(9.3-3) we xt-Ø-u-b'ij ch-w-e la nu-mama' y-i-samäj (GN: 207)

if POT-B3-A3-say PR-A1-to D A1-grandfather ICP-B1-work

「もしおじいさんが私に言うのなら、私は働きます」Trabajaré, si me lo dice mi abuelo.

xa の利用：

(9.3-4) y-i-samäj, xa xt-Ø-u-b'ij ch-w-e nu-mama' (GN: 207)

ICP-B1-work if POT-B3-A3-say PR-A1-to A1-grandfather

「もしおじいさんが私に言うのであれば、私は働きます」Trabajo, si es que me lo dice mi abuelo.

- (9.3-5) xa ta ri xtän x-Ø-apon iwir,
if IRR D young woman CMP-B3-arrive yesterday
x-Ø-xajo' ta. (GN: 207)
CMP-B3-dance IRR

「もしその子が昨日着いていたなら、踊ったでしょう」

- (9.3-6) xa xt-Ø-a-löq' jun a-kej, t-Ø-a-k'ul-b'e-j
if POT-B-A3-buy one A2-horse ICP-B3-A2-receive-I-TV
ri tat (GN: 106)
D father

「もしあなたが馬を買うのなら、お父さんに相談しなさい」

その用例にそのような例を『カクチケル年代記』から挙げてみる。

- (9.3-7) xa pe kani xq-o-wär, xq-o-ch'ak-atäj (15)
if perhaps soon POT-B1PL-sleep POT-B1PL-defeat-CPAS

「もしすぐに眠ると、我らは打ち負かされるだろう」

kanにも「行為の実現または実現しないことを確言する。誰が行為を受けるか実現するかを確言する。行為が実現される瞬間、場所、方法を確言する」といい、確言、強調の機能がある。しかし xa とは違い、感嘆、称賛の意味が込められるという (GK: 224)。Flores は強調の意味があるという。

- (9.3-8) ojer 「昔」, ojer kan (Flores: 268) 「とても昔」
(9.3-9) ch-u-xe kan x-Ø-nu-b'i-i-j wi ch-iw-ichin (Flores: 301)
PR-A3-root INT CMP-B3-A1-say-SF-TV FM PR-A2PL-for

「最初に君達に言った」

- (9.3-10) qi wi ru-chi' kan ajaw K'iqab' (81)
true INT A3-mouth INT lord K'iqab'

「確かにキクァブ王の命令であった」

- (9.3-11) tik'-il chi(k) kan tinamit oq x-e-käm ajaw-a' (86)
fill-POADJ already INT town when CMP-B3PL-die lord-PL

「王たちが死んだとき、町はすでに一杯だった」

- (9.3-12) ja chi ox-lajuj Iq' x-Ø-tol-e' kan tinamit Chi Awär (84)
EMP PR three-ten Iq' CMP-B3-empty-IV remaining town Chi Awar

「13イックの日、チアワルの町が放棄された」

動詞のあとに生起する kan は方向詞 (directional) である。

- (9.3-13) maki x-Ø-ajil-ä-x kan (216)
NEG CMP-B3-count-SF-PAS remaining

「数えられないままであった」

9.4 ja について

ja は 3 人称単数独立人称として用いられる。さらに強調を示す不変化詞 ja もある。項の中で 1 項を強調するために使われる (GK: 223)。その複数は je である。maj, tij, xoo と同じように、「とても、たいへん」という意味や「確かに、そのため」といった意味もある (Flores: 275)。

- (9.4-1) ja', ja rija' x-Ø-loq'-o (GK: 223)
yes, EMP he CMP-B3-buy-AP
「そうです、彼が買ったのです」
- (9.4-2) ja sib' (SS, Flores: 275) 「たくさんの煙」, ja tew (SS) 「とても寒い」
- (9.4-3) ja r-uma ri' xt-Ø-iw-iq-a-j re' (9)
EMP A3-cause D POT-B3-A2PL-load-SF-TV D
「なぜなら、汝らがこれを運ぶから」

9.5 chik について

chik は、終わっている、もうおこらない場合、もうできている、もう存在している場合、また起こっている場合に使用され、「すでに、さらに、もう、また」などの意味がある。後ろに, taj や k'a や oq や wi などがあると, chi taj, chi k'a, chi oq, chi wi となり、前置詞の chi と同形となる。

- (9.5-1) in raxwinäq chik toq x-Ø-ul aj q'un (Flores: 66)
B1 well already when CMP-B3-arrive.here AG cure
「医者が来たとき私はもう元気になっていた」
- (9.5-2) x-e-cha' chi(k) k'a k-onojel aj lab'al (20)
CMP-B3PL-say again then A3PL-all AG war
「戦士みんなが再び言った」
- (9.5-3) maki chi(k) taj x-Ø-jit-o ri al-k'ajol
NEG more IRR CMP-B3-promise-AP D son-son
x-Ø-r-ajo' K'eche' winäq (79)
CMP-B3-A3-want K'eche people
「ケチェの人が望んだ臣下は何も約束しなかったであろう」
- (9.5-4) oq x-e-k'ul-u chi(k) k'a k-i'
when CMP-B3PL-encounter-AP again then A3PL-self
ch-u-wi' juyu' Oronik Käq-jay (28)
PR-A3-top hill Oronik Kaqjay
「オロニック・カクハイの山の上で、ふたたび彼らが集まったとき」

9.6 oq について

oq には「より前のとき」（過去完了 pluperfect/pluscuamperfecto と古典文法家は記述）と接続詞の「～のとき」という意味がある。その一部を7.2で扱ったが、もう少し詳しく検討する。

9.6.1 Flores の文法書にみる oq

最初の例は「より前のとき」を表わしている。oq は人称 B と名詞の中間に生起しているが、それに続く toq 節より前のときを表わしている。

(9.6.1-1) ix oq yawa-i toq x-in-ul (Flores: 65)

B2PL PLUP sick-PL when CMP-B1-arrive

「私が着いたときあなた方は病気であった」

過去完了は oq だけの場合や chi(k) oq でも表わされるが、chik だけの場合もある。

(9.6.1-2) at q'ab'-ar-inäq chi oq toq x-at-rap-ä-x (Flores: 125)

B2 drink-IV-PER already PLUP when CMP-B2-whip-SF-PAS

「あなたが叩かれたときすでに酔っていた」

(9.6.1-3) x-Ø-in-tz'ib'-a-j chik (/oq/chi oq) wuj, toq x-Ø-ul

CMP-B3-A1-write-SF-TV already book when CMP-B3-arrive

aj tz'ib' (Flores: 126)

CL write

「書記が来たとき私はもう書類を書いていた」

(9.6.1-2) では oq と toq が同一文に現れており、機能が違うことがわかるが、もう一例挙げる。

(9.6.1-4) x-tan oq t-Ø-in-tz'ib'-a-j wuj

CMP-ACT PLUP ICP-B3-A1-write-SF-TV book

toq mi-x-Ø-ul samajel (Flores: 171)

when REC-CMP-B3-arrive messenger

「使者が着いたとき私は本を書いていた」

oq が toq 「～のとき」と同じ働きを示す場合もある。(9.6.1-5) は toq, (9.6.1-6) は oq が使われている。

(9.6.1-5) in raxwinaq chik toq x-Ø-ul aj q'un (Flores: 125)

B1 well already when CMP-B3-arrive CL medicine

「医者が来たとき私はもう元気になっていた」

(9.6.1-6) majani ti-Ø-k'am-är residencia chi r-ij oq mi-x-Ø-käm (221)

never ICP-B3-carry-IV residencia PR A3-back when REC-CMP-die

「彼が死んだとき政治審問はまだ始まって（取られて）いなかった」

ちなみに k'am-är は, Dayley(1985: 25) は受身の古形 (“It was taken,” archaic passive) というが, Sáens Santa María は *k'amar* 「始まる (comenzar)」 という意味を記している。

次の例は, 最初の oq が「より前のとき」(過去完了), 2 番目の oq が「~のとき」という接続詞として機能していると解釈できる。

- (9.6.1-7) k'a oj oq ch'uti'-q k'ajol-a' oq x-øj-kanaj
 then B1PL PLUP small-PL son-PL when CMP-B1PL-stay
 kan q-onojel (130)
 remaining A1PL-all
 「我らみんなが残ったとき, まだ小さな子供であった」

状態文のとき, oq があると, 言及以前のときを表わすが, 同じ形が命令文でも使われることが Flores にしるされている。完了の意味が加わるという (Flores: 70)。

- (9.6.1-8) in utz toq x-at-ul (Flores: 61)
 B1 good when CMP-B2-arrive
 「あなたが来たとき私は元気だった」(toq 以下の節と同じ時)
- (9.6.1-9) ix oq yaway toq x-in-ul (Flores: 65)
 B2PL PLUP sick when CMP-B1-arrive
 「私が来たときあなた方は病気であった」(toq 節より前の出来事)
- (9.6.1-10) at oq utz (Flores: 64)
 B2 PLUP good
 「元気であれ」
- (9.6.1-11) ix oq utz (Flores: 64)
 B2PL PLUP good
 「君達元気であれ」

9.6.2 時を指定する語句に oq が使われる場合

a) 時を指定する語句 + oq に k-/t- (不完全相) 動詞文があり, そのあとに oq/toq 節が続くが, 動詞は x- (完全相) という形式をまず挙げる。

- (9.6.2-1) k'a wo'-winäq oq k'a k-e-käm ajaw-a' Jun Iq' Lajuj No'j,
 then five-twenty PLUP then ICP-B3PL-die lord-PL Jun Iq' Lajuj Noj
 oq x-e-chap chik ajaw-a' Kaji' Imox B'elej-e' K'at (136)
 when CMP-B3PL-take(PAS) more lord-PL Kaji Imox Beleje K'at
 「フン・イック王とラフフ・ノフ王が死んで20日月で5ヶ月後, カヒ・イモシユとベレヘ・カットが王位に就けられた」

(9.6.2-2) x-ka-winäq oq ti-Ø-tik-ër yawab'-il
 CMP-two-twenty PLUP ICP-B3-begin-IV sick-N
 toq x-e-käm qa-tata' qa-mama', (129)
 when CMP-B3PL-die A1PL-father A1PL-granfather
 「病気が始まる20日月で2ヶ月, 我らの父, 我らの祖父が死んだ>病気が始ま
 って20日月で2ヶ月後, 我らの父, 我らの祖父が死んだ」

(9.6.2-3) k'a b'elej-ej-er oq ti-Ø-b'an toq
 then nine-FUT-PAST PLUP ICP-B3-do(PAS) when
 mi-x-Ø-ul chik
 REC-CMP-B3-arrive.here again
 ru-loq'-ob'al qa-nim-a tata' Santo Padre pa Roma (216)
 A3-love-I A1PL-big-ADJ father Santo father PR Roma
 「それ(月食)が起こるのが9日前父ローマの教皇の聖なる我らが偉大なる父
 が着いた>月食が起こって9日後, 我らが偉大なるローマの教皇の聖なる神
 父が着いた」

(9.6.2-4) x-la'uj-ej-er oq q-o-pax pa tinamit
 CMP-B3-ten-FUT-PAST PLUP ICP-B1PL-split PR town
 oq (q)i x-Ø-tik-ër lab'al r-uma Tunatiw (156)
 when true CMP-B3-begin-IV war A3-cause Tunatiw
 「我らが町から離散するのは10日前であった。トゥナティウによって戦いが始ま
 った。>我らが町から離散して10日後, トゥナティウによって戦いが始まった」

時を指定する語句に x- がついている場合とつかない例をそれぞれひとつずつ挙げたが,
 x- がつけられるのはおそらく過去の時を強調する意味が付加されるものと思われる。

次の2例は後半に oq 節が使われている例と, 使われていない例である。

(9.6.2-5) x-jun-ab'-ir oq k'a r-uk'in ju-winäq,
 CMP-B3-one-year-ago PLUP then A3-with one-twenty
 ti-Ø-tol-e' kan r-uma Tunatiw oq x-Ø-ul
 ICP-B3-abandon-IV remaining A3-cause Tunatiw when CMP-B3-reach
 chik castilan winäq, Chi Xot (160)
 again Spanish people PR griddle
 「トゥナティウによって町が放棄されるのが1年と1ヶ月前それからスペイン
 人はチ・ショット(現在のコマラパ)に着いた>トゥナティウによって町が
 放棄されて1年と1ヶ月後, スペイン人はチ・ショットに着いた」

- (9.6.2-6) x-jun-ab'-ir oq k-e-käm i-mama'
 CMP-one-year-ago PLUP ICP-B3PL-die A2PL-grandfather
 chi kab'-lajuj Toj x-oj-k'am-o ixöq. (142)
 PR two-ten Toj CMP-B1PL-carry-AP woman
 「1年前に汝らの祖父達が死んだ。12トフの日に、我らは妻をめとった。＞汝
 らの祖父たちが死んで1年後の12トフの日に我らは妻を娶った」

b) 先に主文があつて、時の記述が後に生起する

a) の例とは語順が逆の例である。

- (9.6.2-7) x-Ø-pe Mexico k'a iwir oq t-Ø-ik'o
 CMP-B3-come Mexico then yesterday PLUP ICP-B3-pass
 q'ij, circumcision, (183)
 day circumcision
 「昨日割礼の日が過ぎたが（割礼祭、主の命名日は1月1日）メキシコから来
 た＞主の命名日の次の日にメキシコから来た」

- (9.6.2-8) x-Ø-q'os-ï-x r-ochoch Pedro Ramírez r-uma koqolojay
 CMP-B3-strike-SF-PAS A3-house Pedro Ramirez A3-cause lightning
 x-koj-ej-er oq ti-Ø-käm ru-mam Pablo Ximénez (201)
 CMP-B3-four-FUT-PAST PLUP ICP-B3-die A3-grandchild Pablo Ximenez
 「ペドロ・ラミレスの家が落雷にあった。4日前にパブロ・ヒメーネスの孫が
 死んだ＞パブロ・ヒメーネスの孫が死んで4日後、ペドロ・ラミレスの家が
 落雷にあった」

c) oqが含まれる節にk-/t-を伴う動詞がない状態文であり、そのあとにoq節が続く場合

- (9.6.2-9) k'a oj oq ch'uti'-q k'ajol-a', oq x-oj-kan-aj
 then B1PL PLUP small-PL son-PL when CMP-B1PL-stay-IV
 kan q-onojel. (130)
 remaining A1PL-all
 「我らみんなが残ったとき、まだ小さな子供であつた」

d) 時の語句 + oq のあとにx-動詞文が生起する形式

- (9.6.2-10) xa ru-b'elej-winäq chik oq x-Ø-k'at chi
 just A3-nine-twenty more PLUP CMP-B3-burn(PAS) PR
 Iximche', (122)
 Iximche'
 「9ヶ月（180日）後に、イシムチェで火事があつた」

(9.6.2-11) wuq-u-b'ix oq pascua x-i-chap-atäj chik chi
 seven-SUF-FUT PLUP CHristmas CMP-A2PL-take-CPAS again PR
 yawab'-il, (190)
 sick-N

「クリスマスが7日先, 私は病気に陥った>クリスマスの7日前私は病気に陥った」

(9.6.2-12) kab'-ij oq al-a-x-ib'äl pascua x-Ø-b'an. (218)
 two-FUT PLUP born-SF-PAS-I Christmas CMP-B3-do(PAS)

「クリスマスが2日先, それは起こった>クリスマスの2日前に起こった」

(9.6.2-13) koj-ej oq San Juan x-Ø-käm (223)
 four-FUT PLUP San Juan CMP-B3-die

「4日先がサンファンの日に死んだ>サンファンの4日前に死んだ」

(9.6.2-14) pa lunes x-kaj-lajuj oq chi q'ij ik' octubre oq x-Ø-käm, (183)
 PR Monday CMP-four-ten PLUP PR day month October when CMP-B3-die

「彼が死んだのは, 10月14日月曜日であった」

(9.6.2-15) ch-u-kaj-laj ik' agosto, chuwa'q oq ru-q'ij
 PR-A3-four-ten month August tomorrow PLUP A3-day
 Santa María Asunción x-e-raj-jitz'-ä-x,
 Santa Maria Asuncion CMP-B3PL-want-hang-SF-PAS
 x-e-raj-por-ö-x (215)

CMP-B3PL-want-burn-SF-PAS

「8月14日, 明日が聖母被昇天日サンタ・マリア・アスンシオンの日に, 首つりと火あぶりにされる場所であった」

明日を指す chuwa'q のあとに oq があるので, PLUP といいがたいが, 全体が過去のことを表わすので, oq が使われているとみなしたい。7.2 で扱った限定未来の先駆けとなる例といえるのではなかろうか。

e) 時の語句 + oq のまえに x-動詞文が生起する形式

d) の文とは語順が逆になる例である。

(9.6.2-13) x-Ø-ul wawe' Santa María Asunción Tzolola'
 CMP-B3-arrive.here here Santa Maria Asuncion Tzolola
 chuwa'q oq nima-q'ij San Lucas ch-u-wuq-laj q'ij ik' octubre (215)
 tomorrow PLUP big-day San Lucas PR-A3-seven-ten day month October
 「明日がサン・ルカスの祭り (10/18) の10月17日にここサンタ・マリア・アスンシオン・ツォノラに着いた」

次の文も主文が先行して, 時はそのあとに生起する。しかし iwir 「昨日」に oq がついた

例である。

- (9.6.2-14) wawe' x-Ø-kām wi ajaw Don Juan Xwarez, chi ju-wināq
 here CMP-B3-die FM lord Don Juan Juarez PR one-twenty
 wo'o' q'ij ik' junio ch-u-pam sábado iwir oq
 five day month June PR-A3-in Saturday yesterday PLUP
 San Juan Bautista nim-a-q'ij (200)
 San Juan Baptist big-ADJ-day

「昨日の土曜日の洗礼者聖ヨハネの誕生日の祭りのあとの6月25日、ここで、
 族長のドン・ファン・ファレスがなくなった」

f) 時の語句 + oq だけで、そのあとに oq/toq 節が生起

- (9.6.2-15) x-ka-wināq oq ru-b'elej-a',
 CMP-two-twenty PLUP A3-nine-year
 oq x-e'-ul castilan wināq xe Pit Xe Tulul, (144)
 when CMP-B3PL-arrive.here Spanish people under Pit under zapote
 「(2) 9年目の2x20日月後にスペイン人がシェ・ピット、シェ・トゥルルに
 到着した」

- (9.6.2-16) chuwa'q oq q'ij Visitation toq x-e'-ul (182)
 tomorrow PLUP day Visitation when CMP-B3-arrive.here
 「やって来たのは、明日がビシタシオン（聖母訪問の祝日、7月2日）の日で
 あった」

g) oq の他の使い方

oq は maja oq や tajin oq のように、否定語や継続の語の後にも使われる。

- (9.6.2-17) ma ja oq t-Ø-etam-ä-x wi ki-wäch (144)
 NEG EMP when ICP-B3-know-SF-PAS FM A3PL-face
 「彼らの顔はまだ知られていなかった」
- (9.6.2-18) k'a tajin oq ti-Ø-q'ijal-ö-x che', ab'äj (144)
 then CNT PLUP ICP-B3-adorn-SF-PAS tree stone
 「そのときまで木石が崇められていた」

10 副詞，副詞句

時や頻度，場所や方向，様態や程度など，動詞や文全体を修飾する語句がある。

10.1 時

iwir 「昨日」, chuwaq 「明日」の他, kab'ij 「明後日」, b'elejejer 「9日前」, b'elejej 「9

日後, 9 日以内に」, junab'ir 「1 年前」など, 数に関連した過去や未来のことを述べた文は, 7.2 で扱ったので, それ以外について記述する。

wakami 「今日, 今」

- (10.1-1) wakami wo-lajuj chi q'ij ik' mayo (226)
 now five-ten PR day month May
 「今日 5 月15日」

tik'il q'ij 「正午」

- (10.1-2) oq mi-x-Ø-k'at r-ochoch Dios pa nim-a-q'ij
 when REC-CMP-B3-burn(PAS) A3-house God PR big-ADJ-day
 tik'il q'ij (206)
 middle day
 「祭日の正午に教会が燃えたとき」

chaq'a 「夜に」

- (10.1-3) ti-Ø-jul-j-üt k-e-k'oj-e' wi ch-aq'a ke re' ri q'aq' (52)
 ICP-B3-shine-DUP-IV ICP-B3PL-exist-IV FM PR-night like this D fire
 「火のように燃えて輝き夜に彼らは過ごす」
- (10.1-4) toq x-e-pixab'-a-n k-i' ajaw-a' ch-aq'a' (83)
 when CMP-B3PL-order-I-AP A3PL-self lord-PL PR-night
 「王たちは夜に相談しあったとき」
- (10.1-5) xa k'a x-Ø-b'e-eleq'-ä-x el ki-xet ch-aq'a' (53)
 just then CMP-B3-go-steal-SF-PAS out A3PL-topknot PR-night
 「しかし彼らの髪房は夜に盗まれた」

mak'ajan 「早く」 ru-mak'ajan-il 「早く」, mier mak'ajan 「今日朝」

- (10.1-6) ma k'a jan oq k'a ti-Ø-b'e ajaw (223)
 NEG-then-when PLUP then ICP-B3-go lord
 「朝早く王が行く」
- (10.1-7) k'a ru-mak'ajan-il pa viernes x-Ø-muq (217)
 then A3-early-POS PR Friday CMP-B3-bury(PAS)
 「それで金曜日の早く埋葬された」

ri xq'eqal 「夜になって、日が沈んで」

- (10.1-8) mi-x-Ø-kām ajaw Don Joseph de Santa María gobernador
 REC-CMP-B3-die lord Don Joseph de Santa Maria governor
 aj Tz'ikinajay Santiago Tz'utujil pa jueves ri x-q'eq-al (215)
 AG Tz'ikinajay Santiago Tz'utujil PR Thursday D CMP-black-N
 「アフ・ツイキナハイ・サンティアゴ・ツトゥヒルのドン・ホセ・デ・サン
 タ・マリア首長が木曜日の夜に死んだ」

- (10.1-9) ri x-q'eq-al k'a x-Ø-k-ajil-a-j ordenanzas (223)
 D CMP-black-N then CMP-B3-A3PL-count-SF-TV order
 「夜になって、法令を公にした」

pa viernes 「金曜日に」

- (10.1-10) k'a pa viernes x-Ø-muq ajaw (215)
 then PR Friday CMP-B3-bury(PAS) lord
 「そして金曜日に氏は埋葬された」(10.1-7 に続く文)

mi'er oq/xmi'er oq 「すこしまえ」

- (10.1-11) mi'er oq Santa Catalina r-aq'ab'-al k'a x-Ø-al-äx wi (215)
 recent PLUP Santa Catalina A3-night-POS then CMP-B3-son-SF-PAS FM
 「サンタ・カタリーナの夜の少し前に彼は生まれた」

- (10.1-12) x-mi'er oq k'a ti-Ø-pe wuq amaq'. (10)
 CMP-a while ago PLUP then ICP-B3-come seven amaq'
 「そしてほんの少し前7部族がやって来た/7部族がやって来たのはほんの少
 し前であった」

ojer 「ずっと前、そのとき」

- (10.1-13) k-e-cha' qa-tata' qa-mama' ojer (14)
 ICP-B3PL-say A1PL-father A1PL-grandfather ago
 「ずっと前に我らの父、我らの祖父が言った」

- (10.1-14) ki-b'i' ri e qa-mama' x-e'-ajaw-är ojer (65)
 A3PL-name D B3PL A1PL-grandfather CMP-B3PL-lord-IV ago
 「昔支配していた我らの祖父達の名前」

- (10.1-15) je k'iy-a Yaki' x-e'-ul ojer (118)
 EMPL many-PL Yaki CMP-B3PL-arrive ago
 「たくさんさんのヤキ（メキシコ人）がそのとき到着した」

k'a te 「少し前，とうとう，結局のところ」

- (10.1-16) wa k'ate ch-u-pam juna' oq qi x-e'-ul castilan winäq (144)
now soon PR-A3-in year when true CMP-B3PL-arrive Spanish people
「この年に突然スペイン人がやって来た」

- (10.1-17) mi-x-Ø-keq-är ik', k'ate x-Ø-q'eq-är (216)
REC-CMP-B3-red-IV moon, a little while ago CMP-B3-black-IV
「月が赤くなった。少し前に黒くなった。＞月が黒くなったあと赤くなった」

k'a te k'a 「あとで，のちほど」

- (10.1-18) k'atek'a x-Ø-u-k'äm chik r-iqua'n aj lab'al (6)
later CMP-B3-A3-take more A3-burden AG war
「そのあと戦士も荷を受け取った」
- (10.1-19) k'atek'a x-Ø-ul-b'an el poder wawe' ch-u-pam cabildo (224)
later CMP-B3-arrive-do(PAS) out power here PR-B3-in cabildo
「のちにここ議会の中で権威が発揮されに来た」

k'a runaj 「しばらくして un poco más tarde(時間的に遠い lejanía en tiempo)」

- (10.1-20) k'a runaj k'a x-Ø-kanay ri xok (5)
then later then CMP-B3-be found D hoe
「しばらくして木鋤が見つかった」

- (10.1-21) k'a runaj x-Ø-ul wawe' (189)
then later CMP-B3-arrive here
「しばらくしてここに来た」

k'a naqaj 「近く，の頃」

- (10.1-22) k'a naqaj oq k'a t-Ø-ul Ajaw Doctor Quexata (183)
then near when then ICP-B3-arrive lord Doctor Quesada
「ケサーダ博士が着くころ」

junalik 「いつも，連続的に」

- (10.1-23) junalik ru-kaj-ichal r-al ki-ch'a' x-Ø-ok
continually A3-four-together A3-son A3PL-bow CMP-B3-enter
ch-u-wa(ch) ru-pop Chukuy B'atz'in r-uma achij-a' (102)
PR-A3-face A3-mat Chukuy Batz'in A3-cause man(warrior)-PL
「戦士たちによって，チュクイ・バツインのむしろの前で，続けて彼女らの弓
の矢の4つが刺さった」

jupalik 「いつも」

- (10.1-24) xa qi jupalik ti-Ø-muq-u-n kan chi r-ij (232)
 just true always ICP-look-SF-AP remaining PR A3-back
 「いつも後ろのほうを見る」

10.2 場所

場所の副詞は動詞の前でも後ろでも置かれるが、場所の副詞が動詞の前に生起する場合、動詞のあとに wi が必要となる。

chi kaj/ajsik 「上の方で」

- (10.2-1) oq x-Ø-oq' chi(k) k'a pe jun chiköp chi kaj (14)
 when CMP-B3-cry again then coming one animal PR sky
 「空で一匹の動物が鳴いた」

- (10.2-2) k'oj x-Ø-b'e chi kaj, k'oj x-Ø-qa pan ulew (20)
 someone CMP-B3-go PR sky someone CMP-B3-descend PR earth
 「空の方に行くもののあれば、地に下るものもあった」

chuxe(< chi ru-xe') 「下の方で」

- (10.2-3) jala' chi(k) ok x-Ø-k'oj-e' ru-saq-il ch-u-xe' (216)
 little again DIM CMP-B3-exist-IV A3-white-POS PR-A3-root
 「ほんの少し下の方に白いものがあっただけであった」

chi la' 「そこ」

- (10.2-4) k'a chi la' t-Ø-i-k'äm wi (9)
 then PR D ICP-B3-take FM
 「そちらで汝らは受け取る」

chi ri' 「あそこ」

- (10.2-5) chi ri' k'a x-øj-pe wi ch-u-qaj-ib'al q'ij (4)
 PR D then CMP-B1PL-come FM PR-A3-down-LOC sun
 「そしてあちらの西から我々は来た」

- (10.2-6) chi jun Q'anel x-Ø-käm K'eche' winäq chi ri' (144)
 PR one Q'anel CMP-B3-die K'eche people PR D
 「1 クァネルの日に、ケチェの人々はあそこで死んだ」

wawe' 「ここ」

- (10.2-7) xawi wawe' qa-mol-o' chi(k) wi q-i' (19)
 also here A1PL-gather-IMP again FM A1PL-self
 「ここでもた我らは集まろう」

chi najt 「遠くから」

- (10.2-8) xa wuq amaq' chi najt x-Ø-tz'et wi (26)
only seven amaq' PR far CMP-B3-see(PAS) FM
「ただ7つの部族が遠くから見られた」

ch-u-xokon (< chi u xokon) 「左側」

- (10.2-9) ch-u-xokon k'a Tullan x-Ø-k'oj-e' wi ri wuq amaq' (6)
PR-A3-left then Tulan CMP-B3-exist-IV FM D seven amaq'
「トゥランの左側に7つの部族がいた」

chi r-iqi q'a' 「右側」

- (10.2-10) chi r-iqi-q'a' k'a Tullan x-Ø-k'oj-e' wi
PR A3-right-hand then Tulan CMP-B3-exist-IV FM
ri x-Ø-chol-e' wi aj lab'al (6)
D CMP-B3-line-IV FM AG war
「そしてトゥランの右側には、整列した戦士がいた」

chi r-el-eb'al q'ij 「東に」

- (10.2-11) k'o jun lab'al chi la' chi r-el-eb'al q'ij (12)
exist one war PR D PR A3-leave-LOC sun
「東のあちに戦いがある」

ch-u-qaj-ib'al q'ij 「西に」

- (10.2-12) chi ri' k'a x-oj-pe wi ch-u-qaj-ib'al q'ij (4)
PR D then CMP-B1PL-come FM PR-A3-down-LOC sun
「そしてあちらの方の西から我々は来た」

b'ala 「ある場所で」

- (10.2-13) we b'ala k'o chi(k) wi qa-lab'al (20)
if somewhere exist again FM A1PL-war
「どこかで我らの戦いがあるなら」

- (10.2-14) b'ala x-e-pe wi (45)
somewhere CMP-B3PL-come FM
「彼らは名も知らぬところから来た」

b'ila tux 「どこか」

- (10.2-15) b'ila t-Ø-üx re' qi-tzij ti-Ø-xib'-i-n k'o wi (35)
where ICP-B3-be D true-word ICP-B3-fear-SF-AP exist FM
「どこにいるかわからぬ。確かに恐ろしい」

- (10.2-16) b'ila' k'a t-Ø-üx ri Tolk'om (37)
 where then ICP-B3-be D Tolk'om
 「トルコムはどこにいるのだろう」

10.3 様態

chanin/aninäq 「すぐに、急いで」

- (10.3-1) r-umal pascua aninäq chik x-Ø-b'e Pan Q'an (221)
 A3-cause Easter quickly again CMP-B3-go Pan Q'an
 「クリスマスのためにすぐにパンクァンへ行った」

amaq'el 「絶え間なく」

- (10.3-2) maki saq k'o wi ru-k'u'x r-uma amaq'el yawa' (229)
 NEG white exist FM A3-heart A3-cause constant sick
 「絶え間ない病のせいで彼の心ははっきりしていない」

jukumaj 「早く、すぐに」

- (10.3-3) jukumaj x-Ø-qa pe chi k'ot-oj (93)
 quickly CMP-B3-desend coming PR dig-N
 「素早く塹壕に降りた」

kanij ~ kani 「すぐさま、今すぐ、今さっき」

- (10.3-4) kanij x-Ø-raj-jitz'-atäj achi (82)
 soon CMP-B3-want-hang-CPAS man
 「すぐさま男は縛り首になりそうだった」

- (10.3-5) kani x-Ø-el k'am-öl b'ey (91)
 soon CMP-B3-leave bring-AG road
 「すぐに指導者は去った」

runaj 「ゆっくりと despacio」 tarde (García Matzar 2003) 遅れて

- (10.3-6) runaj k'a x-Ø-il-itäj Chi Q'al-ib'al ru-b'i' juyu' (34)
 slowly then CMP-B3-find-CPAS PR gather-I A3-name hill
 「クァリバルという名の山でゆっくりと見つかった」

- (10.3-7) runaj x-Ø-käm (98)
 slowly CMP-B3-die
 「ゆっくりと死んだ」

chi ewan 「隠れて」

- (10.3-8) x-e-yal-oj ch-u-pam pek chi ewan (53)
 CMP-B3PL-delay-IV PR-A3-in cave PR hide-AP
 「彼らは隠れて洞窟に留まった」

chi eleq'al/xa eleq'al 「こっそりと」

- (10.3-9) chi eleq'-al x-Ø-b'e-ru-k'ut-u-j ru-título gobernador
PR rob-N CMP-B3-go-A3-ask-SF-TV A3-title governor
ch-u-wäch ajaw visitador (221)
PR-A3-face lord visitador

「巡察使の前で、総督の称号をこっそり求めに行った」

- (10.3-10) xa eleq'-al x-Ø-b'e-sel el ki-xet tan k-e-wär (53)
just rob-N CMP-B3-go-cut(PAS) out A3PL-topknot ACT ICP-B3PL-sleep
「彼らが寝ていたとき、こっそり髪髻を切り取られた」

10.4 肯定

ütz 「よい、よく」

- (10.4-1) ütz mi-x-Ø-pe (95)
good REC-CMP-B3-come
「よく来た」

qitzij 「たしかに」 ciertamente

- (10.4-2) wa'e' qi-tzij xti-Ø-käm Tunatiw (155)
here true-word POT-B3-die Tunatiw
「ここで本当にトゥナティウは死ぬであろう」

qitzij のあとに chi がきて、chuq'a 「強い」や anim 「早い」がくると、「とても強く qitzij chi chuq'a, とても早く qitzij chi anim」と強調されるというのが (Flores: 276), それに類する例を挙げると、

- (10.4-3) qi-tzij chi nim-a ajaw (25)
true-word PR big-ADJ lord
「真に偉大なる王」

- (10.4-4) qi-tzij wi chi k'iy-a juyu' x-oj-ik'o wi (20)
true-word INT PR many-PL hill CMP-B1PL-pass FM
「我らはとてもたくさんの山を通り過ぎた」

10.5 否定

majani/maja 「まだない」

- (10.5-1) majani oq ti-Ø-laq'ab'ë-x wa'e' juyu' taq'aj (1)
NEG when ICP-B3-settle-SF-I-PAS here hill plain
「まだここ山や野が住まれ始まるずっと以前に」

- (10.5-2) ma ja oq t-Ø-eta'm-ä-x wi ki-wäch (144)
 NEG EMP when ICP-B3-know-SF-PAS FM A3PL-face
 「彼らの顔はまだ知られていなかった」

mani 「～ない」 存在を否定

- (10.5-3) mani notificar x-Ø-b'an ch-u-wäch winäq (224)
 NEG notify CMP-B3-do(PAS) PR-A3-face people
 「人々の前で通達がなされなかった」

- (10.5-4) mani nu-mak (226)
 NEG A1-fault
 「私の罪はない」

- (10.5-5) mani nu-kaman, mani k'a w-ochoch (231)
 NEG A1-common field NEG then A1-house
 「私には共有地も家もない」

- (10.5-6) x-mani wi ti-Ø-pe wi q'aq' (31)
 CMP-NEG FM ICP-B3-come FM fire
 「決してこれまで火を噴かなかった」

maki 「～ない, たぶん」

- (10.5-7) maki ajil-am x-Ø-käm (93)
 NEG count-N CMP-B3-die
 「数え切れないくらい死んだ」
- (10.5-8) maki k'a x-Ø-nu-k'ut-u-j taj maki nawipe w-ajo-w-ab'al taj (232)
 NEG then CMP-N3-A1-ask-SF-TV IRR NEG furthermore A1-want-E-I IRR
 「私は願ったのではなかったし, 私の望みでもなかった」
- (10.5-9) maki pe ma ja ti-Ø-q'il qa-juyub'-al (15)
 NEG Q (perhaps) NEG EMP ICP-B3-A1PL-find A1PL-hill-POS
 「我々はまだ居住地を見つけていない」

10.6 量

k'iy 「たくさん」

- (10.6-1) qi-tzij k'iy ru-kam-isa-m ri Saqik'oxol (21)
 true-word many A3-die-CAUS-PER D Saqik'oxol
 「確かにサクイコシヨルは多くを殺した」
- (10.6-2) qi-tzij chi e k'iy ajaw-a' x-Ø-ux (60)
 true-word PR B3PL many lord-PL CMP-B3-be
 「確かにたいへんたくさんの王たちがいた」

(10.6-3) je k'a k'iy castilan winäq x-e-käm (156)
 EMPL then many Spanish people CMP-B3PL-die
 「たいへんたくさんのスペイン人が死んだ」

(10.6-4) k'iy x-Ø-ul-ru-b'an-a' el wawe' (190)
 many CMP-B3-A3-do-SUF out here
 「多くのことをここでやりに来た」

jalal 「すこし」

(10.6-5) wa'e' xti-Ø-nu-tz'ib'-a-j jalal ki-tzij (1)
 here POT-B3-A1-write-SF-TV little A3PL-word
 「ここに私は彼らの言葉を少しばかり書き記そう」

10.7 不確定

kami 「たぶん」

(10.7-1) xa kami w-el-ik x-Ø-ki-k'u'x-la'-a-j (222)
 just perhaps A1-leave-N CMP-B3-A3PL-heart-SUF-SF-TV
 「たぶん彼らは私の退去を熟考したのであろう」

10.8 限定

xere' 「それだけ、しかし、まったく」

(10.8-1) xa xere' r-iq-a'n aj Rax Ch'ich' aj Min poqom ri' (26)
 just only A3-burden-N AG Raxch'ich' AG Min severe D
 「ただラシュチッチとミンポコムの荷であった」

juk'isik/xere yuk'isik 「それだけ」

(10.8-2) mani naqla kakaw xa yuk'isik ri' (228)
 NEG whatever cacao just only D
 「なにもカカオなく、それだけ」

(10.8-3) je yuk'isik x-e-b'e (51)
 EMPL only CMP-B3PL-go
 「彼らだけで行った」

na wi pe 「さらに」

(10.8-4) kani nawipe x-Ø-b'an tz'aläm k'oxnun k-uma
 soon furthermore CMP-B3-do(PAS) wood fortress A3PL-cause
 qa-mama' (84)
 A1PL-grandfather
 「さらにすぐに我らの祖父によって木製の防壁が造られた」

- (10.8-5) je nawipe ajaw Wo'o' Imox Roqel B'atz'in x-e-b'an-o (93)
 EMPL furthermore lord Woo Imox Roqel Batz'in CMP-B3PL-do-AP
 「さらにウォオ・イモシュとロクエル・バツィン王がしたのである」

ruyon 「ただ」

- (10.8-6) ru-yon ulew x-Ø-r-aj ok (5)
 A3-only earth CMP-B3-A3-want DIM
 「ただ土を欲しただけであった」

10.9 副詞句

次に挙げる kamisäy や taqöl は動詞に -äy や -öl という行為者を表わす接尾辞がついたもので、「殺す人」、「派遣する人」という意味になるが、文の意味的には「～するために」という不定詞構文のような役目をする場合がある。

- (10.9-1) oq x-Ø-b'e k'a wo'-much' achij-a'
 when CMP-B3-go then five-eighty man-PL
 kam-is-äy r-ichin K'eche' winäq (147)
 die-CAUS-AG A3-for K'eche people
 「それから400人の男がケチェの人々を殺しに行った」

- (10.9-2) x-Ø-pe ru-samaj-el Tunatiw k-uk'in ajaw-a' taq-öl
 CMP-B3-come A3-work-N Tunatiw A3PL-with lord-PL send-AG
 r-ichin achij-a' (147)
 A3-for man-PL
 「トナティウの使いが王のところに戦士を求めてやって来た」

同じように、chi という前置詞のあとに動名詞がくることで、「～するために」という副詞句が形成される文が次の例である。

- (10.9-3) x-e-taq k-onojel ch-u-chap-ik Tolk'om (35)
 CMP-B3PL-send(PAS) A3PL-all PR-A3-capture(PAS)-N Tolk'om
 「彼らはみんなトルコムが捕まえられるために送られた」

11 疑問詞

疑問詞については、「誰」、「何」「どちら」「どこ」、「いつ」、「どのように」、「なぜ」、「いくつ」などがどのように表現されるのかをみる。疑問詞の変化は激しく、現代カクチケル語はそれぞれに違った語彙が与えられ、区別されている。しかし『カクチケル年代記』では、「誰」も「何」も区別なく、naq または chinaq が使われる。そこで参考までに古典カクチケル語と現代カクチケル語で、疑問詞にはどのようなものかを挙げる。辞書

にあるすべてを挙げてはいないし、またそれらの使われ方を確かめる十分な例がないものが多く確かさに欠けるが、変化を読み取ることができる。「誰に」とか「誰と」とかは、後ろに関係名詞または chi + 関係名詞がついて区別される。la や pe がついているものがあるが、これらは平叙文を疑問文にする小辞であり、それが利用されているものと思われる。

	TC(17c.)	SS(17c.)	Flores(18c.)	GK(現代)	GN(現代)
「誰」	naq	naq, naqipe naqtux	naq, anaq, achinaq	achike	achike
「誰ら」				aku'ux	aku'x
「何」	naq	naq	naq	atux	atux
「どこ」	b'a	b'a		akuchi	akuchi', ape' pache
「いつ」	jani k'al xjani k'al	jan, jaruj janla, janpe jarujpe, janij	jan, jampe, jaruj	jampe'	jampe' jarupe'
「どの様に」	inche'el b'iche'el	b'iche'el	naq pe cheel b'iche'el	achike, atux achike rub'anik atux nab'an che	akwi' achike rub'anik
「なぜ」	naq r-umal	naq cheel naqchoq umal naqchoq naq r-umal	naq r-umal naq tux r-umal	achike r-uma atux r-uma, aruma	achike r-uma atux r-uma achiq r-uma
「どれ位」	jani jaru	jani, jarupe janipe arujaq	jaru jani, janipe	jarupe achi'el janpetäq	achi'el, ajani' janipe', jarupe' ajantäq
「誰の」		achiq ichin naq achiq	achiq ichin	achiq ichin	achike chi k-e
「誰のために」		naq choq naq ru-wach	naq choq ichin	achiq ichin achiq chin	achiq r-ichin
「何のために」		naqcheel naqchi		achike nk'atzin	
「誰に」		naq chi ichin naq chi r-e	naq chi r-ichin	achiq che	achiq chi r-e
「誰を」	naq		naq...wi		

「誰と」	achok r-ik'in	naq r-uk'in	achok r-uk'in	achok r-ik'in
	achok r-ik'in	achok k'in		
「何でもって」			achok uk'in	achok r-ik'in
「誰に対して」	naq chi r-ij	naq chi r-ij	achok chij	achok chi r-ij
「何について」			achok chi rij	
「誰によって」	naq r-umal			

11.1 naq, chinaq 「誰」, 「何」

『カクチケル年代記』では、主語や目的語を問う疑問詞は、naq または chinaq であり、文頭におかれる。現代カクチケル語では achike 「誰」、aku'ux 「誰々」と単複を区別し、ものは atux 「何」であり、異なる。

(11.1-1) chinaq k-at-üx (35)

who ICP-B-be

「お前は誰だ」(主語)

(11.1-2) naq mi-x-Ø-k'am-o pe w-ana' (38)

who REC-CMP-B3-take-AP coming A1-sister

「誰が私の姉を連れて来たのか」(主語)

動詞は焦点化逆受動と呼ばれる形であるので、主語を問うていることがわかる。k'am は「連れていく、連れてくる、取る」といった意味があるが、方向性を含まないで、それぞれ文脈にあった取り方をする必要がある。この場合 pe という方向詞が添えられているので「連れてくる」とした。

(11.1-3) naq mi-x-in-ixow-a-n (232)

who REC-CMP-B1-hate-SF-AP

「だれが私を嫌ったのか」(主語)

(11.1-4) naq t-Ø-ajo'-on (31)

who ICP-B3-want-AP

「誰が望んでいるのか」(主語)

(11.1-5) chinaq q-øj-uche'-e-n (15)

who ICP-B1PL-call-SF-AP

「誰が我らと呼ぶのか」(主語)

(11.1-6) chinaq la k'a ti-Ø-r-ajo' chi q-e (54)

what Q then ICP-B3-A3-want PR A1PL-to

「我らに対し彼は何を望むのか」(動詞は他動詞なので目的語を問うている)

- (11.1-7) chinaq ti-Ø-qa-b'än (18)
 what ICP-B3-A1PL-do
 「ここで何を我々はすべきか」(目的語)
- (11.1-8) chinaq ti-Ø-q-ik'o-w-i-b'e-j (15)
 what ICP-B3-A1-pass-E-SF-I-TV
 「何でもって我らは渡るのか」(動詞に-b'eがあるので手段を問うている)
- (11.1-9) chinaq ti-Ø-q-uche-e-j (29)
 what ICP-B3-A1PL-say-SF-TV
 「我らは何を語るのか」(目的語)
- (11.1-10) naq na k'a t-Ø-uche'-ë-x (35)
 what still then ICP-B3-do-SF-PAS
 「何が語られるのか」(受動主語)

Flores は naq とともに, achinaq, anaq という a のついた形も与えているが、『カクチケル年代記』にはその形はみられない。

- (11.1-11) naq k-at-ux (Flores: 48)
 who ICP-B2-be
 「お前は誰だ」
- (11.1-12) achinaq x-Ø-el-esa-n (Flores: 48)
 who CMP-B3-leave-CAUS-AP
 「誰が取り出したか」
- (11.1-13) anaq x-Ø-k'am-o (Flores: 48)
 who CMP-B3-take-AP
 「誰が取ったか, 連れてきたか」*Quién lo tomó?*

11.2 疑問詞に関係名詞が接続

「誰の」「誰に」「誰を」「誰と」「誰によって」は次のようになる。疑問詞に関係名詞がついてその区別がなされる。

- (11.2-1) achoq(naq choq) ichin wae q'uq' (Flores: 48)
 who for here squirrel
 「このリスは誰のもの」*Cúya es esta ardilla?*
- (11.2-2) naq chi r-ichin t-Ø-in-ya wi (Flores: 48)
 who PR A3-for ICP-B3-A1-give FM
 「私はそれを誰にやろう?」*A quién se lo doy?*

- (11.2-3) naq chi k-ichin x-Ø-a-jach wi (Flores: 48)
 who PR A3PL-for CMP-B3-A2-deliver FM
 「君は誰に渡したのか」 *A quién lo entregastes?*
- (11.2-4) naq chi k-e x-Ø-a-k'ul-b'e-j wi ru-tzij (Flores: 48)
 who PR A3PL-to CMP-B3-A2-ask-I-TV FM A3-word
 「君は誰に相談したのか」 *A quién consultaste?*
- (11.2-5) naq chi r-ij x-Ø-a-k'ulela-a-j wi (Flores: 48)
 who PR A3-back CMP-B3-A2-quarrel-SF-TV FM
 「誰に対して君はけんかしたのか」 *Contra quién peleaste?*
- (11.2-6) naq r-uk'in (achoq r-uk'in) k'o wi Pedro (Flores: 48)
 who A3-with exist FM Pedro
 「ペドロは誰といるのか」 *Con quién está Pedro?*
- (11.2-7) naq r-umal x-Ø-b'an-atäj wi (Flores: 49)
 who A3-cause CMP-B3-do-CPAS FM
 「誰によってなされたのか」 *Por quién se hizo?*

これらの表現は『カクチケル年代記』にはみられないが、理由を問う naq rumal は使われている。

- (11.2-8) naq r-umal maki t-Ø-i-ya' puwäq chi w-ichin (152)
 what A3-cause NEG ICP-B3-A2PL-give gold PR A1-for
 「なぜ汝らはわしに金を出さないのか」
- (11.2-9) naq r-umal t-Ø-a-chaj-i-j b'ey (22)
 what A3-cause ICP-B3-A2-guard-SF-TV road
 「なぜおまえが道を見張るか」
- (11.2-10) naq r-uma ti-Ø-ki-k'äm pe w-ana' (38)
 what A3-cause ICP-B3-A3PL-take coming A1-sister
 「なぜ彼らは私の姉を連れてくるのか」
- (11.2-11) naq r-uma xt-Ø-i-b'än lab'al w-uk'in (148)
 why A3-cause POT-B3-A2PL-do war A1-with
 「なぜお前たちはわしと戦いをしようとするのか」

11.3 b'a「どこ」

「どこ」は b'a であるが、現代カクチケル語では、akuchi' であり、ape', pache もみられる。場所を問うので、動詞のあとに場所前置を知らせる wi が生起する。

(11.3-1) b'a x-a-kol-o' wi aw-i' (20)

where CMP-B2-save-AP FM A2-self

「どこで汝は助かったのか」

(11.3-2) b'a x-Ø-cha' wi w-ana' (38)

where CMP-B3-say FM A1-elder.sister

「私の姉はどこで言ったか」

(11.3-3) b'a tan e k'o wi (54)

where DUR B3PL exist FM

「彼らはどこにいるのか」

11.4 inche'el「どのように」

『カクチケル年代記』では inche'el(「どのように」) がみられるが, Coto の辞書では, inche'el のほか, b'iche'el, b'i qi che'el, b'i la k'a qi che'el, b'i pe che'el が登録されている。現代カクチケル語では akwi' であるが, achike ru-b'an-ik(「何 その-される-こと」) もみられる。

(11.4-1) inche'el x-Ø-b'e-i-tz'et-a' (26)

how CMP-B3-go-A2PL-see-SUF

「汝らはどのように見に行ったのか」

(11.4-2) inche'el tan t-Ø-u-b'an yawa (TC: 102)

how ACT ICP-B3-A3-do patient

「病人はどんな具合か」“Cómo está el enfermo?”

(11.4-3) b'iche'el x-Ø-a-b'an ri ch'a'oj, ma utz, ma itzel (TC: 102)

how CMP-B3-A2-do D dispute no good no bad

「争いはどんな具合だった? よかった? わるかった?」“Cómo quedó o en qué paró el pleito?”

(11.4-4) xt-Ø-in-b'ijj, xt-Ø-in-q'alaj-isa-j ch-iw-ichin

POT-B3-A1-say POT-B3-A1-clear-CAUS-TV PR-A2PL-for

ri b'ipecheel x-Ø-winaq-ir-isä-x xa nab'ey tata

D how CMP-B3-man-IV-CAUS-PAS just first father

r-umal Dios (TC: 102)

A3-cause God

「どのように人間がつくられたか, 私はお前達に言い, 明らかにしよう」“Yo os diré y os declararé cómo fue al creación del hombre.” Coto の辞書では x-winaqirisaq となっているが, xwinaqirisax に訂正した。

- (11.4-5) b'ilak'aqiche'el mani a-b'an-om ri mi-x-Ø-in-b'iij ch-aw-e (TC: 102)
 how NEG A2-do-PER D REC-CMP-B3-A1-say PR-A2-to
 「君に言ったことを君はどうしてしていないのか」“*Cómo no has hecho lo que te dije?*”
- (11.4-6) maki pe utz a-mes-om taj jay
 NEG Q good A2-sweep-PER IRR house
 ri naqcheel x-Ø-in-b'i?-i-j ch-aw-ichin (Flores: 259)
 D how CMP-B3-A1-word-SF-TV PR-A2-for
 「私が君に言ったように家を掃除していないのはよくない？」“*Fuera bueno haber barrido la casa según te lo dije?*”

たいへん興味深いことに、目的語を問うとき、ふつうなら、動詞は、他動詞のままで、主語を問うとき、単動詞（行為者焦点化逆受動）になるはずであるが、1753年のFloresの文法書ではwiという小辞が後に付けられている。これは道具句前置にもみられた手法とよく似ている。この頃wiが大幅に使われるようになったと思われる。

- (11.4-7) naq x-Ø-a-chäy wi (Flores: 48)
 who CMP-B3-A2-hit FM
 「誰を君は叩いたのか」*A quién golpeaste?*

11.5 「いつ」「どれくらい」

『カクチケル年代記』では「いつ」「どれくらい」を表わす語を見いだせなかったため、Cotoの辞書から例文をいくつか拾うことにする。

- (11.5-1) jaruj pe k-a-b'e (TC: 451)
 when Q ICP-B2-go
 「いつ君は行くの」“*Cuándo te irás?*”
- (11.5-2) jani kakao x-Ø-in-ya' chi r-e Pedro (TC: 452)
 how many cacao CMP-B3-A1-give PR A3-to Pedro
 「私はペドロにカカオをいくつあげたか」“*Cuánto o qué tanto cacao daré a Pedro?*”となっており、未来としているが、例文はxt-ではなくx-となっており、過去のことである。
- (11.5-3) jaru chi pe ik' cuaresma wakami (TC: 452)
 how many PR Q month Lent now
 「いまから四旬節まで何ヶ月か」“*Cuánto hay de aquí a cuaresma?*”

11.6 平叙文の疑問文化

平叙文を疑問文にする場合、peやlaが使われる。

- (11.6-1) t-Ø-aw-ajo' pe k-at-nu-por-o-j, k-at-nu-jitz'-a-j (152)
 ICP-B3-A2-want Q ICP-B2-A1-burn-SF-TV ICP-B2-A1-hang-SF-TV
 「わしがお前を焼き、首つりにすることをお前は望むのか」

la は文頭に生起するが、疑問詞があり、さらに la が使われる場合、疑問詞のあとに la は生起する。

- (11.6-2) la x-Ø-utz-i-n tiij (Flores: 190)
 Q CMP-B3-good-SF-AP food
 「料理は作り終わったか」

- (11.6-3) chinaq la k'a ti-Ø-r-ajo' chi q-e (54)
 what Q then ICP-B3-A3-want PR A1PL-to
 「我らに対し彼は何を望むのか」

12 連結文

古典カクチケル語の資料においては、現代文のように、大文字と小文字の区別がなされておらず、また句読点も適切に施されていないため、どこで文を切るべきか、なかなかわかりづらい場合がたくさんある。文の連続を切る手がかりとして、行為者焦点化文に見られる動詞の接尾辞や、動詞の後につく wi や、対句などがあるが、それらについてはすでに扱った。それらの手がかりに加え、文脈を頼りにしなければならない場合がたくさんあるが、内容の難しさゆえ、文脈さえ理解しがたい場合もある。言語というものは多義かつ曖昧で、内容を知らなければ、適切な訳ができず誤訳してしまう場合が多々あるものであり、『カクチケル年代記』でも、これまでの訳とは異なる訳をしている箇所があるが、それらが誤訳である可能性は否定できない。ここでは、文の連続として、主節、従属節について触れておきたい。従属節は主節の前にもあとにも生起する。そのため従属節が、前後のどちらの文につくか判断の難しい場合もある。

12.1 時の従属節 toq/oq

toq または oq は時の従属節を導く不変化詞である。主節の前にも後ろにもきて、従属節内の語順は特別な扱いを受けず、普通文と変わらない。oq は、過去完了 (pretérito pluscuamperfecto = pluperfect) と古典文法家が名付ける「その時点までにあったこと、または起こった出来事」を示す役割も持つ。すでに9.6で扱ったが、これには xax...wi が使われることもある (Flores: 63-65)。

- (12.1-1) at eleq'on oq toq x-in-ul (Flores: 65)
 B2 thief PLUP when CMP-B1-arrive
 「私が着いたとき君は泥棒であった」(toq 節が主節の後にあり, 主節に oq が
 あることで toq 節より前の出来事を表わしている)
- (12.1-2) ix oq yawa-y toq x-in-ul (Flores: 65)
 B2PL PLUP sick-PL when CMP-B1-arrive
 「私が着いたとき貴女方は病気であった」(toq 節が主節の後にあり, 主節に oq
 があることで toq 節より前の出来事を表わしている)
- (12.1-3) xax in alcalde wi toq x-Ø-ul corregidor (Flores: 64)
 necessarily B1 mayor INT when CMP-B3-arrive judge
 「代官が来たとき私は村長であった」(toq 節が節文の後にあり, 主節には oq
 の代わりに xax...wi が用いられている)
- (12.1-4) at q'abar-ināq chi oq toq x-at-rap-ä-x (Flores: 65)
 B2 drink-PER already PLUP when CMP-B2-flap-SF-PAS
 「君が叩かれたときすでに酔っていた」(toq 節が主節の後, 主節には chi oq が
 あり, toq 節より前の出来事を表わしている)
- chi oq は chik oq の略である。oq をとって chik だけでもよい。
- (12.1-5) in raxwināq chik toq x-Ø-ul aj q'un (Flores: 66)
 B1 well already when CMP-B3-arrive AG cure
 「医者 came とき私はもうよくなっていた」(toq 節が主節の後, 主節には oq
 のかわりに chik があり, toq 節より前の出来事を表わしている)
- (12.1-6) k'a oj oq ch'uti'-q k'ajol-a', oq x-oj-kanaj
 then B1PL PLUP small-PL son-PL when CMP-B1PL-stay
 kan q-onojel (130)
 remaining A1PL-all
 「我らみんなが残ったとき, まだ小さな子供であった」(oq 節が主節の後, 主
 節には oq があり, oq 節より前の出来事を表わしている)
- (12.1-7) toq x-Ø-kam-i-sä-x k'a ri chiköp utiw
 when CMP-B3-death-SF-CAUS-PAS then D animal coyote
 x-Ø-poch' el ch-u-pam ri ixim (5)
 CMP-B3-burst(PAS) out PR-A3-in D maize
 「動物のコヨテが殺されたとき, トウモロコシがそこから割れて出てきた」(toq
 節が主節の前)

- (12.1-8) toq x-Ø-ul k'a chi k-e alcaldes regidores
 when CMP-B3-arrive then PR A3PL-to alcaldes regidores
 qi-tzij an mani pwäq (232)
 true-word INT NEG gold
 「司法行政官と役職者のもとに着いたとき、確かにお金はなかった」(toq 節が主節の前)
- (12.1-9) x-Ø-q'aj-an campana toq x-Ø-ok ajaw-a' r-onojel (224)
 CMP-B3-ring-IV bell when CMP-B3-enter lord-PL A3-all
 「王達がすべて入ったとき、鐘が鳴った」(toq 節が主節の後)

12.2 条件節 we

- (12.2-1) we k'a maki t-Ø-i-ya' chi ri',
 if then NEG ICP-B3-A2PL-give PR D
 t-Ø-iw-eta'm-a-j k'a nu-k'u'x (153)
 ICP-B3-A2PL-know-SF-TV then A1-heart
 「もしあちらで(金を)出さないのであれば、汝らはわしの心を知るだろう」
- (12.2-2) we k'a at k'axtok', k-a-jitz'-ä-x k-a-pej (216)
 if then B2 idol ICP-B2-hang-SF-PAS ICP-B2-cut.in.pieces(PAS)
 「もし汝が詐欺師なら、汝は首をくぐられ、ばらばらにされるであろう」
- (12.2-3) we taj xt-Ø-i-k'ul-ub'a' kan maki ütztz nu-tzij
 if IRR POT-B3-A2PL-reply-TV remaining NEG good A1-word
 t-Ø-i-taq-e-j (83)
 ICP-B3-A2PL-obey-SF-TV
 「たとえ私のよくないことばに応えなければならないとしても、汝らは従いなさい」

we(pe) には「～か(または)」を表わす場合がある。

- (12.2-4) ab'aj we che' (Flores: 292)
 stone or tree
 「石か木か」
- (12.2-5) ala we pe xtan (Flores: 292)
 boy or Q girl
 「男の子か女の子か」

それと「もし」が混じり合ったような使い方が次の例である。最初に we が生起しているが、次の we とあわせて、(12.2-4) (12.2-5) と同じく「どちらかと」いうことを言

っているようで、3つ目の *we* もそのように解釈できないこともないが、「もし」と訳すほうがよいように思われる。どの *we* も何かを選択することを仮定しているのが原意のように思われる。

- (12.2-6) *we k-in-ul we maki chik k-in-ul,*
if ICP-A1-arrive.here if NEG again ICP-B1-arrive.here
we in kamel wa'e' xk-i-b'e (96)
if B1 mortal here POT-B1-go
 「私は来るべきか、来ないべきか、もし死ぬのを免れないなら行こう」

12.3 原因・理由節 *ruma/rumal*

- (12.3-1) *r-uma x-e-ru-q'os-i-j aj ch'amiya',*
A3-cause CMP-B3PL-A3-hit-SF-TV AG Ch'amiya
x-Ø-ki-q'os-i-j Don Martín (190)
CMP-B3-A3PL-hit-SF-TV Don Martin
 「権威杖をもつ人達を叩いたから、彼らはドン・マルティンを叩いた」
- (12.3-2) *mi-x-Ø-kām don Juan Hernández ru-k'ajol q'etzām don Jorge*
REC-CMP-B3-die Don Juan Hernandez A3-son deceased Don Jorge
k'a r-uma k'ajan-il pa viernes x-Ø-muq (217)
then A3-cause early-N PR Friday CMP-B3-bury(PAS)
 「故ドン・ホルへの息子ドン・フアン・エルナンデスが死んだ。それで金曜日の早く埋葬された。」
- (12.3-3) *öj juwi chi aj lab'al xa r-uma ri' nīm ki-pus ki-nawal (36)*
B1PL entire PR AG war just A3-cause D big A3PL-magic A3PL-nahual
 「我らは完全なる戦士である。なぜなら彼らの魔術、彼らの変身術は偉大であるから」
- (12.3-4) *ke re' x-e-tz'ap-i-x wi jukumaj,*
like this CMP-B3PL-lock-SF-PAS FM early
r-uma mani chojm ki-tzij x-Ø-üx (223)
A3-cause NEG direct A3PL-word CMP-B3-be
 「彼らのことばは真実でなかったから、こちらで彼らはすぐに幽閉された」
ke re' は「このように、ここらあたりで、～のように」という意味がある。現代カクチケル語から2例挙げる。
- (12.3-5) *ke re' t-Ø-a-b'an-a' chi r-e (GK: 134)*
like this ICP-B3-A2-do-IMP PR A3-to
 「このように彼に対してやりなさい」

(12.3-6) ke re' k'o wi ri r-ochoch (GK: 134)

like this exist FM D A3-house

「ここらあたりに彼の家がある」

次の例は古典カクチケル語の文法書からの例であるが, ix chiköp 「君達は動物である」という文全体が「～のようだ」にかかっているようである。英語でいえば, it sounds like とか it looks like にあたろう。

(12.3-7) ke re' ix chiköp (Flores: 18)

like this B2PL animal

「君達は獣みたいだ」"sois como animales"

同様に次の2例も ke re' 以下の文全体が「～ように」が受け取っている。

(12.3-8) ja ri itzel winaq xax mani wi k-e-b'e chi kaj

EMP D bad man naturally NEG FM ICP-B3PL-go PR sky

ke re' tan tz'ib'-atal ch-u-pam loq'-olaj tz'ib' (Flores: 259)

like this ACT write-ST PR-A3-in love-INT write

「聖書に書かれているように, 悪人は決して天国に行かれない」

(12.3-9) maki q'alaj k-e-ch'a'-o ke re' xa e mem (24)

NEG clear ICP-B3-speak-AP like this just B3PL mute

「彼らは啞者のごとくははっきりとしゃべらなかった」

しかし5章でも挙げたように, 次の2例は, 前の文をうけて, kere'...wi...ri' で, その理由, 原因を述べている文と解釈できる。

(12.3-10) xa x-i-kol-o w-i' ajsik ch-u-pam jun amaq', x-Ø-cha'

just CMP-B1-save A1-self high PR-A3-in one amaq', CMP-B3-say

ke re' k'a x-Ø-u-b'i'na'-a-j wi ajsik amaq' ri' (20)

like this then CMP-B3-A3-nominate-SF-TV FM high amaq' D

「私はアマック (町) の中の上の方で助かった, と彼は言った。だからアフ・シック・アマックと名付けた。」

(12.3-11) maki k'a x-Ø-q'ax x-Ø-tzaq qa pa siwan

NEG then CMP-B3-pass CMP-B3-fall down PR ravine

ke re' k'a x-Ø-käm wi kan jun qa-mama' ri' (30)

like this then CMP-B3-die FM remaining one A1PL-grandfather D

「越えられず, 谷に落ちた。このため我らの祖父の一人が死んだ。」

12.4 接続詞の不在

まったく接続詞がないが, 接続詞があるかのように訳さなければならない文章がたくさんある。通常は次例のように並列であるが, (12.4-2) のような文であると, 「～のと

き」と訳した方が適切である。

- (12.4-1) kani k'a x-e-jitz'-ä-x x-e-käm ri Q'alel Xajil
soon then CMP-B3PL-hang-SF-PAS CMP-B3-die D Q'alel Xajil
Ajuchan Xajil (55)

Ajuchan Xajil

「すぐにクアレル・シャヒルとアフチャン・シャヒルは首を絞められ、死んだ」

- (12.4-2) x-Ø-tiker-inäq tz'aq x-Ø-ul (39)
CMP-B3-begin-PER wall CMP-B3-arrive

「着いたとき壁（の建設）は始まっていた」

2文が並列されているが、前文は、完了-inäqであり、着いたときにはもう始まっていたことを表わすことは明らかである。同様に、実際に起こっていることを表わすtanがあると、「～しているとき」と訳せよう。

- (12.4-3) xa eleq'-al x-Ø-b'e-sel el ki-xet tan k-e-wär (53)
just steal-N CMP-B3-go-cut(PAS) out A3PL-topknot ACT ICP-B3PL-sleep

「彼らが寝ていたとき、こっそり髪房を切り取られた」

次の3文は同じようなことを表わした文と思われるが、oqの不在文、ja oqまたはtoqが存在する文である。接続詞がなくても接続詞があるように訳す必要がある場合があることを立証する例である。

- (12.4-4) tan in mayordomo x-Ø-b'an (218)
ACT B1 majordomo CMP-B3-do(PAS)
「それが起こったとき私は執事であった／私が執事のときそれは起こった」

- (12.4-5) tan in mayordomo ja oq x-Ø-b'an (220)
ACT B1 mayordomo EMP when CMP-B3-do(PAS)
「それが起こったとき私は執事であった」

- (12.4-6) tan in mayordomo toq x-Ø-b'an ch-uw-e (222)
ACT B1 mayordomo when CMP-B3-do(PAS) PR-A1-to
「私になされたとき私は執事だった」

13 文解釈の曖昧性

文解釈の曖昧性についてはいくつか触れた。たとえば、所有関係と同格の区別は、文の前後に表われる情報を考慮に入れなければ、単に文法的な解釈では誤訳をうむことになるということについては(3.4-1～6)で触れた。また節が前の文章にかかるのか後ろの文章にかかるのかといった曖昧性については前章で扱った。

文解釈が文法通りに行かず、ピリオドやコンマが文解釈の有力な手がかりになること

について、また、文が扱っている情報を越えた言語外の知識、たとえば歴史的な知識などがなければ、正しい文理解には到達しないことについて、例を挙げてみよう。

13.1 コンマとピリオド

『カクテケル年代記』の手書きのテキストにはコンマとピリオドが使われているが、現在の使われ方と異なる。また期待されるべき所になかったり、ある必要のないと思われるところにあったりして、決して使われ方は一定していない。コンマの使い方でもっとも多いのが、文の終わりと、並列や同格を表わす場合である。

最初の例4つは並列の場合で、コンマのある例とコンマのない例を挙げる。

- (13.1-1) x-e-b'e k'a ri qa-mama' ka'i' No'j, Ka'i' B'atz'
 CMP-B3PL-go then D A1PL-grandfather two Noj two Batz'
 r-uk'in Tepew, (51)
 A3-with Tepew
 「それからテペウのもとに我らの祖父カイ・ノフとカイ・バッツが行った」
- (13.1-2) qi k'a e ch'uti'-q k'ajol-a' ri qa-mama' Ka'i' No'j
 true then B3PL little-PL son-PL D A1PL-grandfather two No'j
 Ka'i' B'atz', (47)
 two Batz'
 「我らが祖父カイ・ノフとカイ・バッツは、確かに小さな子供であった」
- (13.1-3) k-e-cha' ri qa-mama' Q'aq'awitz, Saktekaw (15)
 ICP-B3PL-say D A1PL-grandfather Q'aq'awitz Saktekaw
 「我らの祖父、クァクァウィツとサクテカウが言う」
- (13.1-4) k-e-cha' ri Q'aq'awitz Saktekaw (10)
 ICP-B3PL-say D Q'aq'awitz Saktekaw
 「かのクァクァウィツとサクテカウが言う」

2人の異なる人物 Ka'i' No'j と Ka'i' B'atz', Q'aq'awitz と Saktekaw が、コンマがある場合 (13.1-1) (13.1-3) とない場合 (13.1-2) (13.1-4) の例をそれぞれ1つずつあげたが、このようにコンマの使われ方は一定していない。

次例以下は同格であり、同一人物の言い換えである。

- (13.1-5) oq x-Ø-jitz'-ä-x ajaw Ajpo Sotz'il, kaj-i' Imox, (172)
 when CMP-B3-hang-SF-PAS lord Ajpo Sotz'il four-SUF Imox
 「アフボ・ソツィルの王、カヒ・イモシュが絞首刑にされた」
- (13.1-6) oq x-Ø-käm ajaw Ox-lajuj Tz'i', qa-mama (114)
 when CMP-B3-die lord three-ten dog A1PL-grandfather
 「我らが祖父オシュラフ・ツイ王が死んだとき」

- (13.1-7) tan ti-Ø-q'aq'-är ajaw Ich'alkan Chikumkuwat, r-ajaw-al
 ACT ICP-B3-fire-IV lord Ich'alkan Chikumkuwat A3-lord-POS
 Aqajal winäq. (63)
 Aqajal people
 「アクアハルの人々の王, イチャルカン・チクムクワット王は力を発揮している」
- (13.1-8) x-e'-ul Yaki' ru-samaj-el ajaw Moktesumatzin r-ajaw-al
 CMP-B3-arrive Yaki A3-work-N lord Moctezumatzin A3-lord-POS
 aj Mexiku. (117)
 AG Mexico
 「メキシコの王のモクテスマツイン王の使者ヤキが到着した」

同格を表わすコンマが, 上例の (13.1-7) ではあるが, (13.1-8) ではない例であり, このようにコンマの使い方は決して一定していない。ピリオドが文の最後に使われることもあるが, このような例はまれである。

次例の Aqajal winäq のあとのコンマは主語前置を際立たせるためと思われる。

- (13.1-9) Aqajal winäq, x-Ø-raj-q'aq'-är chik chi ri' (110)
 Aqajal people CMP-B3-want-fire-IV more PR D
 「アクアハルの人々はそこで再び力を得ようと望んだ」
- (13.1-10) Xe Palika', x-e-ya'-är wi chi kam-ik, (112)
 Xepalika CMP-B3PL-water-IV FM PR die-N
 「シェパリカで彼らは死に至った」
- (13.1-10) は場所の前置を表わす wi が動詞のあとにあるにも拘わらず, Xepalika' のあとにコンマが使われている。それは Xepalika' を際立たせるためと思われる。この文の終わりにはコンマがおかれているが, 文の終わりにコンマがおかれることが多い。
- (13.1-11) x-Ø-b'e-tik'-e' wi el, r-onojel k'a r-achij-il-al Tuquche',
 CMP-B3-go-put-IV FM out A3-all then A3-man-N-POS Tuquche'
 x-Ø-ok-ib'e-n tinamit, (101)
 CMP-B3-enter-I-AP town
 「トゥクウチェの兵すべてが, 立ち上がって, 町に侵入した」

(13.1-11) のコンマは r-onojel k'a r-achij-il-al Tuquche' が両方の動詞に係っていることを表わしているようであり, 絶妙の使い方と思われる。これがなければ, 後ろの文が関係節と取られうる。

- (13.1-12) maki k'a x-Ø-el ki-chi' ajaw-a', chi k-e
 NEG then CMP-B3-leave A3PL-mouth lord-PL PR A3PL-to
 Ka'i' No'j, Ka'i' B'atz' (53)
 Kai Noj Kai Batz'

「王達のことばはカイ・ノフとカイ・バツツに届かなかった」

(13.1-12) の ajaw-a' のあとのコンマは必要のないものであるが、chi ke 以下が従であることをより際立たせるためにおかれたと推察される。Ka'i' No'j と Ka'i' B'atz' の間のコンマは、並列を表わすコンマと考えられる。

- (13.1-13) ajpop k'amajay, Xajil q'alel Xajil (59)
 ajpop k'amajay Xajil, q'alel Xajil (62)

「アフ・ポップ・カマハイ・シャヒルとクァレル・シャヒル」

上例のように、2 つは同じことを表わしているが、コンマの打ち方が異なる。上の方 (59) が間違った打ち方と思われる。同じような例を以下に挙げる。(13.1-14) の chi kaji' Kamey が通常の書き方である、(13.1-15) の chi kaji', Kamey は間違ったコンマの打ち方である。

- (13.1-14) chi kaj-i' Kamey x-Ø-u-por-o-j kan
 PR four-SUF Kamey CMP-B3-A3-burn-SF-TV remaining
 tinamit, (158)
 town

「4 カメイの日 (1526.2.9) に町を焼いた」

- (13.1-15) chi kaj-i', Kamey x-Ø-tik-ër qa-kam-ik r-uma
 PR four-SUF Kamey CMP-B3-begin-IV A1PL-die-N A3-cause
 castilan winäq, (156)
 Spanish people

「4 カメイの日 (1524.9.7) にスペイン人によって我らの死が始まった」

ピリオドは、文や節の終わり、語を強調する場合などに使われるが、コンマより一層定まりがなく、その使い方の法則や傾向を挙げることはできない。それを示すために、(13.5-16) ではテキストの転写も掲げたが、数字の前後と、節の終わりにピリオドが使われている。(13.5-17) では mayo と años のあとに使われている。

- (13.1-16) ra3abal Sancta C^a chu. 25. y4 no / viembre
 r-aq'ab'-al Santa Catalina ch-u 25 ik' noviembre
 A3-night-POS Santa Catalina PR-A3 25 month November
 1583 as.
 1583 años. (215)
 1583 years

「1583年11月25日のサンタ・カタリーナの夜に」

- (13.1-17) wo'-o' q'ij ik' mayo. 1582 años. (214)
 five-SUF day month May 1582 years

「1582年の5月5日に」

このようにコンマやピリオドの使われ方は一定しておらず、その使い方から文の理解ができるとは限らないが、その使われ方を検討することで、文の理解がより深まる場合がたくさんあり、随意的とみなして軽んじることはできない。

13.2 言語外情報による文の曖昧性の解消

言語は文法的解釈だけでは理解できない曖昧な部分が多い。その例は、たとえば (3.4-1~4) や (8.2.4-10~13) で扱い、前後の文脈から解釈すると、文法的な解釈とは別な解釈をしなければならないことを示した。言語は言語外の事実がその理解の下敷きになっていることが多い。それについては (8.2.4) で指摘した。そこでいまひとつ、前後の文脈から解釈できないものの、歴史的事実と照らし合わせると、素直な文法的な解釈とは異なる解釈をしなければならない例を挙げてみたい。

『カクチケル年代記』の185章に次のような文がみられる。

ox-lajuj winäq wa'e' juna'
 three-ten twenty here year

この年の20日月の13ヶ月 (260日) に

toq x-Ø-ik'o q'ij Santiago toq x-Ø-ul Pan Q'än
 when CMP-B3-pass day Santiago when CMP-B3-arrive Pan Q'an

サンティアゴの祭りが過ぎたとき、パンクァンに来たとき

ja chi jun Tz'ikin ch-u-pam qa-q'ij
 EMP PR one Tz'ikin PR-A3-in A1PL-day

我らの暦で1 ツィキンの日に

a oq x-Ø-b'an nim-a kikot-em k-uma castilan winäq Pan Q'än.
 EMP when CMP-B3-do(PAS) big-ADJ happy-N A3-cause Spanish people Pan Q'an

パンクァンでスペイン人によって大きな祝いが催された

ja oq x-Ø-ok k-ajaw-al chila' Castilan
 EMP when CMP-B3-enter A3PL-lord-POS there Spain

あちらのスペインで彼らの王位に就いたときであった

ja oq x-Ø-ok ajaw Don Felipe Emperador,
 EMP when CMP-B3-enter lord Don Felipe Emperor

ドン・フェリッペ王が皇帝に就いたときであった

e ox-i' ajaw-a tan e k'oj Ramírez, Doctor Mexía, Lowaysa,
 B3PL three-SUF lord-PL ACT B3PL exist Ramires Doctor Mejia Loaiza

三人の王がいた。ラミレス、メシア博士とロワイサ

je tan e k'oj k-e-q'at-on Pan Choy, oq x-Ø-b'an,
 EMPL ACT B3PL exist ICP-B3PL-sentence-AP Pan Choy when CMP-B3-do(PAS)

彼らはパンチョイで言い渡そうとしていた、それが起こったとき。

サンティアゴの祭りは7月25日であり、我らの暦で1 ツィキンにあたるというのが、その日はマヤ暦で11.16.17.17.15 1 Men 13 Popであり、西暦に直すと1557.7.25となり、一致する（カクチケル暦の1 ツィキンはマヤ暦の1 メンにあたる）。グアテマラの市会がフェリッペ (Felipe II, 在位1556.1.16-1598.9.13) が皇帝 (rey de Castilla y de Leon y de las Indias) となったことを宣したのは1557.7.26という (Recinos 1980: 116)。e ox-i' ajaw-a「3人の王」は、Pedro Ramirez de Quiñones, Antonio de Mejia, Garcia Jofre de Loaizaという聴訴官 oidorである。ja oqは時の強調であるが、「そのとき」とは文法的に解釈するとフェリッペが皇帝についた1556.1.16のように思われるが、文脈からは、祝いが催された7月26日でなければならない。こうした情報がないと次のような訳ができない。括弧で文脈外の情報を付加した。

「この年の20日月の13ヶ月後（前章で前年の11月25日に58年目が終わったことがしるされているが、その日から数えて242日が7月25日にあたり、20日月暦で13ヶ月過ぎた日となる）、パンクアンで、我らの暦で1 ツィキンの日（1557.7.25）であったサンティアゴ（使徒聖ヤコブの日7.25）の祭が過ぎて（次の日の7.26）、パンクアンでスペイン人によって大きな祝いが催された。祝いが催されたとき、あちらのスペインで彼らの王が王位に就いた、ドン・フェリッペが皇帝に就いたと、ラミレス、メシア博士とロワイサの3人の聴訴官が、パンチョイで伝えたのであった。」

本論では、『カクチケル年代記』を理解するために必要な文法記述を試みてきたが、最後に文法的な理解だけでは文は正しく理解できないことを指摘した。古典の内容の理解を妨げるのは、廃語になり今ではわからない語があることに加え、文の構造の曖昧性である。言語表現の限界といってもいいが、それを乗り越えるためには、文に現れていな

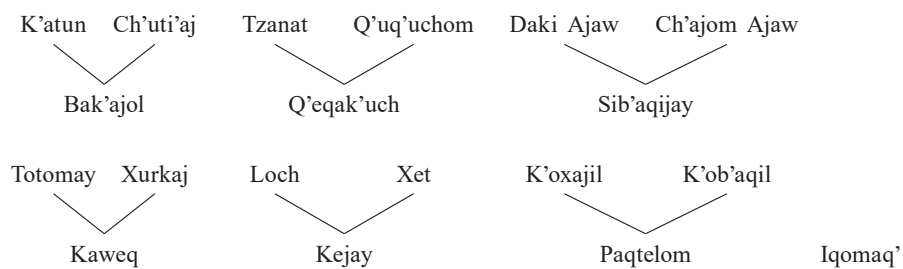
い、その他の知識が必要である。古典の訳が難しいのは、その内容が現代の我々には理解できないことをたくさん取り扱っており、周辺知識が欠けているためである。いかに文法的な知識を増やしても、また文脈を深く理解しようとしても、限界があり、誤訳をうむ危険性が高くなる。

誤訳を救う唯一の方法は、扱っている事柄に対する知識の量であるが、それが古典ではどうしても欠ける。『カクチケル年代記』でも、いくつか翻訳が試みられてきたが、文法的な取り違いによる明らかに誤訳といえるもののほか、さまざまな解釈ができる例がたくさんみられ、どれが正訳か判断が難しい場合がたくさんある。それは言語の曖昧性に起因している。

単語の多義性に加え、単純な規則は、多義をうむ。そして曖昧性を増加させる。それは、言語がもともと話し言葉であり、話される状況に支えられ、言語を成り立たせる規則があまり複雑化しないようにしていることと大いに関係していると考えられる。話し言葉は、記憶負担を減らすためであろうが、単純な規則によつて文が無限に創出されるようになっている。事実の複雑さは、多くの場合、状況に依存して表現する必要がない。言い間違いや誤解があれば、すぐさま訂正できるし、言い換えができるようになっている。わからないときには言い換えをすることで、理解が進む。しかし文章は、そうはいかない。そうしたところにも文章理解の限界がある。文法の限界といってもよいであろう。

附録

1. 系 図



Aj PoXajil

K'ulawi K'anti

Saqtekaw

K'omaqa(43)=Q'aq'awitz (d.1410頃)

B'ubatz'=Ka'i' No'j

Ka'i' B'atz'=Ikxiw

Sitan K'atu

(Ajpap Xajil) (Ajuchan Xajil) (Ajpap K'amajay) (Q'alel Xajil)

²Kotb'al Kan ³Alinam ⁴Xt'amer Sakentol ⁵Ch'iyok Kej Aj Q'uc' ⁶Q'alel Xajil Xulu K'atu

Xitayul Jax

Rajamun

Sitan Tijax Kab'ljaj (Sitan K'atuの孫, Wuqu Batz'の父)

Wuqu B'atz'=XImox

?=¹Oxlajuj T'zi' (d.1508.7.23)=Maquxq'ujay

²Kablajuj Batz' ³Chopena Tojin ⁴Chopena Tz'ikin Uk'a
⁵Chopena Kej ⁶Nima Ajin ⁷Ajin ⁸Ka'oq ⁹K'atu'

⁵Imox ⁶Noj

²Waqaqi Ajmaq

³Noj

Xq'eqakuch Xtz'ikinajay = **'Jun Iq'**(d.1521.4.16)=Chu'y Tz'ut

⁴Rajpop Achi Tz'i'an ⁵B'alam ⁶Aj Tz'alam Jun Ajpu
Francisco

¹Rajpop Achi B'alam

²Ajmaq³Tojin

Don Pedro Solis (1580-d.1584)

Francisco Hernández Arana (b.1505, d.1581)

Diego

Rafael

Kaji Imox(Sinakan)

⁴B'eleje K'at (Sakachul)(a.1521.8.13,d.1532.9.26)

(a. 1521. 8.13, d.1540.5.28)

Francisco Ajpop Sotzil (d.1555)

Don Jorge Kab'lajuj Tijax (a.1532, d.1565)=Catalina (d.1559)

Don Juan Juan
(d.1570.6.25) |

Jorge Taueta
(Jorge de Vera)

Don Xpov

Don Juan Hernández
(Ajpo Xajil,1584- d.1585)

Luis Pérez

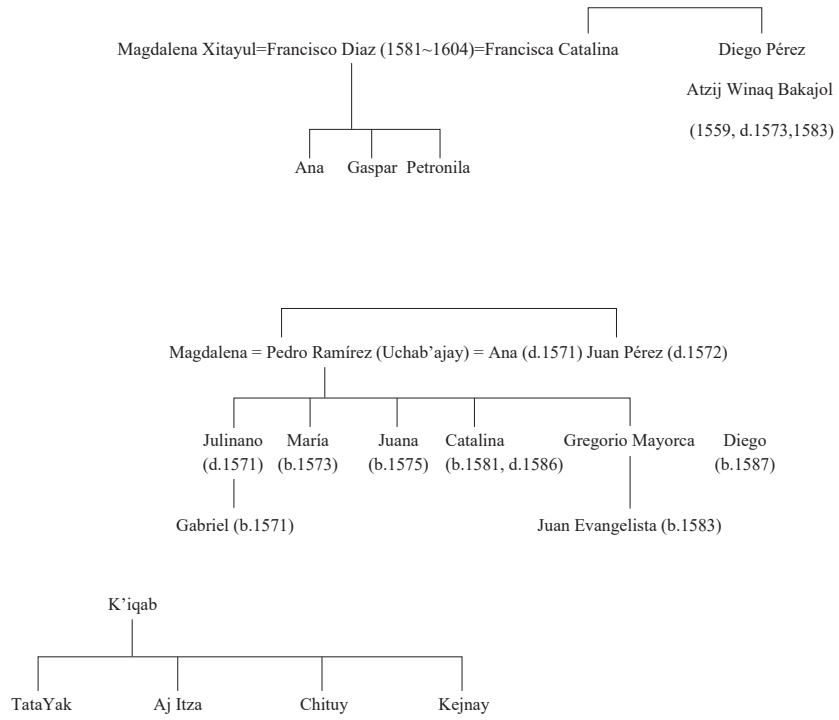
Don Ambrosio

Fermoyawa

Don Juan Cortés

Agustin

de Castellano (~1602)



b. 誕生, a. 即位, d. 死

2. カクチケルの暦

2-1 カクチケル年暦 (400日暦)

『カクチケル年代記』では、1月(20日)を winäq, 1年(400日)を juna, 20年を may とするしている。古代マヤの暦やユカタンの暦などメソアメリカで使われた365日が一年の暦と異なり、『カクチケル年代記』の歴史の記録に用いられている暦の1年は400日からなる。

カクチケル年暦の基準は11アフ (1493年5月20日)であり、そこから数える簡略暦が使われている。それは13年(400日×13)ごとに11アフとなる循環暦であり、そのため、西暦のいつにあたるかは不明である。しかし、古代マヤ人達が用いていたマヤ暦とうまく符合する。その基本的な仕組みは、バクトゥン、カトゥン、トゥン、ウィナル、キンという5つの単位を用いて暦元の日から数える絶対暦と呼べる暦に、260日暦と365日暦という循環暦がついたもので、長期暦と呼ばれる。西暦との変換は、マヤ長期暦の最初の日(ユリウス暦で前3114.9.6)がユリウス数で584,283となる変換式 (GMT = Goodman-Martinez-Thompson 説) を用いた。それが後半でよく出てくる曜日とうまく合うからである (Thompson 1971: 303-310)。

カクチケル年暦の基準となる11アフを長期暦に直すと、11.13.12.15.13 11Ben 16Muanとなる。11アフはマヤ長期暦のうちの260日暦の11ベンにあたる。マヤ人は13の数字と20の日を組み合わせ260日を一周期とする暦を古代マヤ文明時代からもっていたが、カクチケル人も日の名前は異なるものが多いものの、基本的に同じ仕組みの260日暦を使っている。以下に暦表記の基準として使われてきたユカテク語の20日の名前と、『カクチケル年代記』や Barea の辞書で見いだした日の名前の表記と、それを現代表記に改めたものを記す。なおカクチケル人はこの260日暦を ch'ol q'ij と称していたようである。

ユカテク語	原典	現代表記
Imix	ymox	Imox
Ik	i3	Iq'
Akbal	akbal	Aqb'al
Kan	4at	K'at
Chicchan	can	Kan
Cimi	camey	Kamey
Manik	queh	Kej
Lamat	3anal	Q'anel
Muluc	toh	Toj
Oc	4'i	Tz'i'
Chuen	batz	B'atz'
Eb	ey	Ey
Ben	ah	Aj
Ix	Ix/Balam	見いだせなかったがIx または B'alam であろう
Men	4'iquin	Tz'ikin
Cib	ahmak	Ajmaq
Caban	noh	Noj
Eonab	tihax	Tijax
Cauac	caok	Kaoq
Ahau	hunahpu	Junajpu

基準となる11アフ（1493年5月20日）は、トゥクチェ族のカイ・フナフプがカクチケルの王に反逆した年であり、それを基準にして歴史が書かれている。この反逆（変）は失敗に終わったが、カクチケルの中心支族ソツィルの力を強固にして、王国内の結束を強めるのに寄与したところから、その年が選ばれたようである。

基準となる11アフから400日経った日は8アフとなる。400-260=140であり、260日暦が1周して140日後が1年目となる。140÷13=10…10であり、11から10進むと21であるが、数は13で一周するので（21-13=8）、8となる。日の方は20日で一周するので、140は割り切れて、アフとなり、400日経った日は8アフとなる。この8アフを用いて、つまり終わりの日でもって、それまでの400日の1年を呼ぶのである。

この暦は101章から226章まで用いられた。しかしその間、この暦と西暦のずれが大きくなったためか、何度か暦の再解釈が行われている。

187章に1557年という記述が見られ、内乱から59年目のここから西暦が混じってくる。

基準日から62年の終わりの日は7アフ（マヤ長期暦で11.17.1.13.13 7Ben 16Kankin, 西暦で1561.4.13）である。終わる日でもってその前の400日と呼ぶ暦であったので、7アフの年は、1560.3.10～1561.4.13のはずである。しかし7アフを1560年としている。終わりの日を始めの日と解釈したのは、カクチケル暦が西暦からずれたのを修正するためであったと考えられる。191章のここから暦の混乱が始まる。

内乱（変）から71年は6アフ（マヤ長期暦で11.17.11.13.13 6Ben 6Ceh, 西暦で1571.2.20）であるが、200章からはさらに計算が崩れ、6アフであるべきところが、内乱から71年が8アフの日と記述され、1569年とされている。西暦からのずれが大きくなったので、修正したのであろう。8アフは、内乱から1年目の年と同じであり、修正にあたって、それを選んだものと思われる。71年目に変更した8アフは、マヤ長期暦では11.17.9.14.13 8Ben 16Mac（1569.3.22）または11.17.10.9.13 8Ben 11Mol（1569.12.4）にあたる。次章以降の日付から考えて本書では前者をとることにした。これ以後西暦の年をもとに、その1年間にあった出来事を記述している。もはやカクチケル暦は機能せず、ただ計算に従ってあげられているに過ぎなくなる。この数え方で記された歴史記述は1594年の226章で終わりである。

以下カクチケル年暦とマヤ暦と西暦の関係と主な出来事を記す。

0 11Aj（マヤ暦 [11.13.12.15.13 11Ben 16Muan] 1493.5.20）

トゥクチェのカイ・フナフプ王による反乱（101,102章）トゥクチェの敗北（103章）

9K'aoq（[11.13.13.7.19 9Cauac 17Yaxkin] 1493.12.12）キチェ Yaxon Tz'ul の死（104章）

11Kan（[11.13.13.15.4 11Kan 2Muan] 1494.5.6）Sinajitoj の死（105章）

11Aqb'al（[11.13.13.17.3 11Akbal 1Kayab] 1494.6.14）Atzij Winaq Aj Moxnay 絞首刑（106章）

1年 8Aj 了（1494.6.24）[11.13.13.17.13 8Ben 11Kayab]（106章）

（8アフの日が1年の終わりの日であり、その日までの400日を1年と数える暦である。）

1Ajmak（[11.13.15.0.16 1Cib 9Cumku] 1495.7.12）（107章）ツトゥヒルの敗死

Aj Tz'ikinajay の Wo'o' Ka'oq 王がカクチケルに反抗

2年 5Aj 了（1495.7.29）[11.13.15.1.13 5Ben 1Pop]

3年 2Aj 了（1496.9.1）[11.13.16.3.13 2Ben 16Uo]

3Kej（1496.9.15/1497.6.2）[11.13.16.4.7 3Manik 10Zip/11.13.16.17.7 3Manik 10Pax] キチェでトゥクウチェの反乱（108章）

- 4年 12Aj 了 (1497.10.6) [11.13.17.5.13 12Ben 11Zotz']
7Kamey(1497.12.18) [11.13.17.9.6 7Cimi 4Mol] Aj Mixkuの町が陥落 (109章)
Aqajalの王は、Aj Tz'ikinajayのWo'o' Ka'oq王と同盟 (110章)
アクァハルの多くが死亡 (111章)
- 5年 9Aj 了 (1498.11.10) [11.13.18.7.13 9Ben 6Xu]
- 6年 6Aj 了 (1499.12.15) [11.13.19.9.13 6Ben 1Mol]
- 7年 3Aj 了 (1501.1.18) [11.14.0.11.13 3Ben 16Chen]
13Ajmak(1501.2.10) [11.14.0.12.16 13Cib19Yax] ツトゥヒルの死亡。Saqb'in Ajmaq
の敗北 (112章)
- 8年 13Aj 了 (1502.2.22) [11.14.1.13.13 13Ben 11Zac]
- 9年 10Aj 了 (1503.3.29) [11.14.2.15.13 10Ben 6Mac]
8Imox(1504.4.20) [11.14.3.17.1 8Imix 9Kankin] イシムチェに7部族到着 (113章)
- 10年 7Aj 了 (1504.5.2) [11.14.3.17.13 7Ben 1Pop]
- 11年 4Aj 了 (1505.6.6) [11.14.5.1.13 4Ben 16Pax]
- 12年 1Aj 了 (1506.7.11) [11.14.6.3.13 1Ben 11Cumku]
- 13年 11Aj 了 (1507.8.15) [11.14.7.5.13 11Ben 1Uo]
13Tz'ikin(1508.5.3) [11.14.8.0.15 13Men 3Muan] Wo'o' Kej 皇后の死 (114章)
3Ajmak(1508.7.23) [11.14.8.4.16 3Cib 4Uayab] Oxla'uj Tz'ir'の死
- 14年 8Aj 了 (1508.9.18) [11.14.8.7.13 8Ben 16Zip] (115章)
Jun Iqの即位。
4Ey(1509.2.4) Kab'lajuj Tijax 死亡 (116章)
- 15年 5Aj 了 (1509.10.23) [11.14.9.9.13 5Ben 11Zec]
Lajuj Noj 王位継承 (117章)
1Toj(1510.7.6) メキシコのMontezumaの使者がイシムチェに到着
- 16年 2Aj 了 (1510.11.27) [11.14.10.11.13 2Ben 6Yaxkin] (118章)
クルワカンのヤキが到着, Jun Iq' と Lajuj Noj が支配
8Q'anel(1511.5.14) キチェに対する戦争が始まる (119章)
- 17年 12Aj 了 (1512.1.1) [11.14.11.13.13 12Ben 16Yax]
- 18年 9Aj 了 (1513.2.4) [11.14.12.15.13 9Ben 16Yax]
3Ka'oq(1513.3.22 [11.14.12.17.15 3Cauac 2Mac]) カワラ鳩の襲来 (120章)
1Iq'(1513.7.3 [11.14.13.5.2 2 Ik 5Cumku]) イナゴの襲来 (121章)
4Kamey([11.14.13.14.5 3Chicchan 3Ch'en] 1514.1.2) イシムチェ焼失 (122章)
- 19年 6Aj 了 (1514.3.11) [11.14.13.17.13 6Ben 11Ceh]
キチェとの戦争続く, キチェの敗北 (123章)
- 20年 3Aj 了 (1515.4.15) [11.14.15.1.13 3Ben 6Kankin]
- 21年 13Aj 了 (1516.5.19) [11.14.16.3.13 13Ben 1Pax] 第2サイクルの始まり (124章)
8Q'anel(1517.1.29 [11.14.16.16.8 8Lamat 11Yax]) Kaqjayでの戦争 (125章)
- 22年 10Aj 了 (1517.6.23) (火) [11.14.17.5.13 10Ben 16Kayab] (126章)
カクチケルはキチェを破る
- 23年 7Aj 了 (1518.7.28) [11.14.18.7.13 7Ben 6Pop]
- 24年 4Aj 了 (1519.9.1) (木) [11.14.19.9.13 4Ben 1Zip]
イシムチェでベストの流行 (127章)
- 25年 1Aj 了 (1520.10.5) [11.15.0.11.13 1Ben 16Zotz']

- 5Aj(1521.3.14) [11.15.1.1.13 5Ben 16Ceh] 戦争が³アタカットで始まった (128章)
 12Kamey(1521.4.16) [11.15.1.3.6 12Cimi 9Kankin] フンイック王の死 (129章)
 2日後 (4.18), 我らの父, アフポップ・アチ・バラムも汝らの祖父も死 (130章)
 Raj Pop B'alam が³Jun Iq' の長男 (131章), 以下子供達, 妻達の情報 (132~135章)
 1Kan(1521.8.13) [11.15.1.9.5 1Chicchan 3Uo] Kaji Imox と B'eleje' K'at が³王位に就いた (136章)
 10Kej(1521.9.4) [11.15.1.10.7 10Manik 5Zip] Ajtz'ikinajay で内乱, Aj Tz'ikinajay と K'isijay の王が³イシムチェに逃亡 (137章)
 11Imox(1521.9.18) [11.15.1.11.1 11Imix 19Zip] 反乱者ツトゥヒル, ツィキナハイ 敗北死, 首長達は家に戻る (138章)
 カクチケルに助けを求める (139章)
- 26年 11Aj 了 (1521.11.9) [11.15.1.13.13 11Ben 11Xul]
 9Batz'(1521.11.7) [11.15.1.13.11 9Chuen 4Xul] Laqam Ab'aj に死をもたらしたのは Kaji Imox, B'eleje' K'at(140章)
 我らの父, 祖父が³瘡で亡くなった (141章)
 12Toj(1522.5.24) [11.15.2.5.9 12Muluc 7Pax] 我らは妻をめとった (142章)
- 27年 8Aj 了 (1522.12.14) [11.15.2.15.13 8Ben 6Mol]
 キチェとの戦争終結 (143章)
- (第2部)
- 28年 5Aj 了 (1524.1.18) [11.15.3.17.13 5Ben 1Yax]
 スペイン人がシェトゥルルに到着 (144章)
 1Q'anel 月曜日 (1524.2.22月 [11.15.4.1.8 1Lamat 16Zac]), スペイン人によるキチェの虐殺
 スペイン人が³シェラフツに到着 (145章), グマルカーフに侵攻 (146章)
 4K'at(1524.3.9) [11.15.4.2.4 4Kan 12Ceh] にアフポップとアフポップカマハイ王はトゥナティウにより火刑 (147章)
 1Junajpu(1524.4.14) [11.15.4.4.0 1Ahau 8Kankin] にスペイン人がイシムチェの町にやって来た (148章)
 7Kamey(1524.4.20) [11.15.4.4.6 7Cimi 14Kankin] に, トゥナティウによってツトゥヒルは殺された (149章)
 2Kej(1524.5.11) [11.15.4.5.7 2Manik 15Muan] にアタカットはスペイン人によって死んだ (150章)
 10Junajpu(1524.7.23) [11.15.4.9.0 10Ahau 3Pop] Alvarado はクスカトランから帰ってきた (151章)
 スペイン人が³金を要求 (152,153章)
 7Ajmak(1524.8.28) [11.15.4.10.16 7Cib 19Uo] カシュトックを持つ男がスペイン人殺害計画 (154章)
 カクチケルの首長達はイシムチェを放棄 (155章)
 4Kamey(1524.9.7) [11.15.4.11.6 4Cimi 9Zip] にスペイン人によって我らの死が始まった (156章)
- 29年 2Aj 了 (1525.2.21) [11.15.5.1.13 2Ben 16Zac]
 戦争が³続き, スペイン人はイシムチェを放棄し Xepau 消失 (157章)
 4Kamey(1526.2.9) [11.15.6.1.6 4Cimi 4Zac] 町を焼いた (158章)。

- カクチケルはホロム・バラムに (159章)
- 30年 12Aj 了 (1526.3.28) [11.15.6.3.13 12 Ben 1Mac]
1Ka'oq(1526.7.12) [11.15.6.8.19 1Cauac 17Cumku] に ChiXot でスペイン人による
カクチケル人虐殺 (160章)
- 31年 9Aj 了 (1527.5.2) [11.15.7.5.13 9Nem 6Muan]
カクチケルは ChiXot を放棄, スペイン人は B'ulb'uxya' 占拠 (161章)
6Tz'i'(1528.1.14) [11.15.8.0.19 6Oc 18Ch'en] に貢納が始まった。私の息子ディエゴ
が生まれた (162章)
- 32年 6Aj 了 (1528.6.5) [11.15.8.7.13 6Ben 1Kayab]
6Aqb'al(1529.6.30) [11.15.9.9.3 6Akbal 6Cumku] に Aj Tun Kuk Tijax が死んだ
(163章)
- 33年 3Aj 了 (1529.7.10) [11.15.9.9.13 3Ben 16Cumku]
7Ajmak([11.15.10.6.16 7Cib 14Muan] 1530.5.9)
カクチケルの首長 Ajpoptzotzil と Ajpopxajil はスペインに服従 (164章)
8Noj([11.15.10.6.17 8Caban 15Muan] 1530.5.10) パンチョイに到着
- 34年 13Aj 了 (1530.8.14) [11.15.10.11.13 13Ben 6Uo]
- 35年 10Aj 了 (1531.9.18) [11.15.11.13.13 10Ben 1Zotz']
重税 (165章)
7Kej(1532.9.26) [11.15.12.14.7 7Manik 10Zotz'] B'eleje' K'at が死んだ (166章)
- 36年 7Aj 了 (1532.10.22) [11.15.12.15.13 7Ben 16Zec]
Don Jorge の息子 Don Juan Juárez がカクチケルの首長に任命される (167章)
- 37年 4Aj 了 (1533.11.26) [11.15.13.17.13 4Ben 11Yaxkin]
Kaji Imox が Almolonga に行って居住 (168章)
- 38年 1Aj 了 (1534.12.31) [11.15.15.1.13 1Ben 6Chen]
アルバラードがスペインへ。Tzutzumpam と Choloma を征服 (169章)
- 39年 11Aj 了 (1536.2.4) [11.15.16.3.13 11Ben 1Zac]
11Noj([11.15.16.8.17 11Caban 5Pax] 1536.5.18) 木曜日 Maldonado 着 (170章)
(Presidencia de Alonso de Maldonado 1542-1548)
- 40年 8Aj 了 (1537.3.10) [11.15.17.5.13 8Ben 16Ceh]
- 41年 5Aj 了 (1538.4.14) [11.15.18.7.13 5Ben 11Kankin]
トナティウがスペインから帰ってきた (171章)
11Ajmak 金曜日 ([11.15.19.8.16 11Cib 9Muan] 1539.5.2) に書記が叩かれた。
- 42年 2Aj 了 (1539.5.19) (月) [11.15.19.9.13 2Ben 6Pax]
13Q'anel([11.16.0.10.8 13Lamat 16Pax] 1540.5.28) トウナティウによって Kaji Imox
は Kiyawit Ka'oq とともに絞首刑にされた (172章)
- 43年 12Aj 了 (1540.6.22) [11.16.0.11.13 12Ben 1Cumku]
4Kan([11.16.1.6.5 4Chicchan 3Ceh] 1541.3.1) Chu'uy Tz'ikinu' がシャヤで絞首刑
(173章)。
8Iq'([11.16.1.7.2.8Ik 5Mac] 1541.3.18) チクバル王が Namab'aj Kej Chun とともに
絞首刑
トナティウ Akajutla で建設の艦隊で Especieria 島へ遠征, Xuchipillan(Nochistlan) で死
- 44年 9Aj 了 (1541.7.27) [11.16.1.13.13 9Ben 11Pop]
2Tijax([11.16.1.15.18 2Etnab 16 Zip] 1541.9.10土) フナフブの山から土砂崩れ (174

- 章)
(Efemerides によると1541.9.11未明日曜日アグア火山土石流)
12B'atz' ([11.16.2.5.11 12 Chuen 9Zac] 1542.2.10) サント・ドミンゴの我らの父による教化が始まった。Pedro de Angulo, Juan de la Torre 到着 (175章)
- 45年 6Aj 了 (1542.8.31) [11.16.2.15.13 6Ben 6Zip]
46年 3Aj 了 (1543.10.5) [11.16.3.17.13 3Ben 1Zec]
47年 13Aj 了 (1544.11.8) [11.16.5.1.13 13Ben 16Xu]
サント・ドミンゴとサン・フランシスコの交替 (176章)
- 48年 10Aj 了 (1545.12.13日) [11.16.6.3.13 10Ben 11Mol]
49年 7Aj 了 (1547.1.17月) [11.16.7.5.13 7Ben 6Yax]
ファン・ロセル学士が到着 (177章)
7Ka'oq (1547.10.30) [11.16.8.1.19 7Cauac 7Xu] Solola の町の基礎工事が始まった。(178章)
- 50年 4Aj 了 (1548.2.21火) [11.16.8.7.13 4Ben 1Ceh]
51年 1Aj 了 (1549.3.27) [11.16.9.9.13 1Ben 16Mac]
Alonso López Cerrato 到着 (179章) (Presidencia de Alonso López de Cerrato 1548-1555)
- 52年 11Aj 了 (1550.5.1) (木) [11.16.10.11.13 11Ben 11Muan]
53年 8Aj 了 (1551.6.5) (金) [11.16.11.13.13 8Ben 6Kayab]
12Tijax (1552.1.16) (土) [11.16.12.6.18 12Etznab 6Yax] に書記のファン・ベレスが死んだ。(180章)
9Aj (1552.3.31) (木) [11.16.12.10.13 9Ben 1Kankin] に火山噴火。
- 54年 5Aj 了 (1552.7.9) (土) [11.16.12.15.13 5Ben 1Uayab]
3Junajpu 金曜日 (1552.12.23) [11.16.13.6.0 3Ahau 3Ch'en] に、いまだにある鐘が到着した (181章)
2Kan 火曜日 (1553.1.17火) [11.16.13.7.5 2 Chicchan 8Yax] に教会がラミレスによって侵された。
- 55年 2Aj 了 (1553.8.13) [11.16.13.17.13 2Ben 11Uo]
12Tz'ikin (1554.7.1) [11.16.14.15.15 12Men 13Cumku] イナゴ襲来。(182章)
- 56年 12Aj 了 (1554.9.17) [11.16.15.1.13 12Ben 6Zotz']
2Junajpu (1555.1.2) [11.16.15.7.0 2Ahau 13Ch'en] に、ケサーダ博士到着 (183章) (Presidencia de Antonio Rodriguez de Quezada 1555-1558), セラートの死 (1555.5.5) 1Kan (1555.10.14月) [11.16.16.3.5 1Chicchan 13Zec] ドン・フランシスコ・アフボップ・ソツィル死
- 57年 9Aj 了 (1555.10.22) [11.16.16.3.13 9Ben 1Xu]
Domingo de Vico がアカラで殺された。(184章)
- 58年 6Aj 了 (1556.11.25) (水) [11.16.17.5.13 6Ben 16Yaxkin]
12Q'anel (1557.5.19) [11.16.17.14.8 12Lamat 11Pax] の日にアロンソ・デ・パスが死んだ。(185章)
1Tz'ikin (1557.7.25) [11.16.17.17.15 1Men 13Pop] サンティアゴ祭。フェリッペ皇帝王位就任祝賀祭
聖フランシスコの日の月曜日 (10/4) に、我らの暦で 7Kamey (1557.10.4) に、ラミレスによる布告 (186章)

- 教理問答書が万霊節の日、月曜日に出た。(1557.11.1月 [11.16.18.4.14 9Ix14Xu])
(187章)
- 1557年という記述が見られ、187章のここから西暦が混じってくる。
- 59年 3Aj 了 (1557.12.30) (木) [11.16.18.7.13 3Ben 11Chen]
5Ey 木曜日 ([11.16.18.13.12 5Eb 10Muan] 1558.4.28) ラカンドン征服の遠征 (188章)
- 60年 13Aj 了 (1559.2.3) (金) [11.16.19.9.13 13Ben 6Zac]
3K'at([11.17.0.2.4 3Kan 12Zip] 1559.9.2) 王室の議長がパンクエンに着 (189章)
(Presidencia de Juan de Landecho 1559-1563)
1Aqb'al(1559.7.23/1560.4.8) ドン・ディエゴ・ペレスが王位に就いた
([11.17.0.13.3 1Akbal 11Kankin] 1560.4.8/[11.17.0.0.3 1Akbal 11Pop] 1559.7.23)
- 61年 10Aj 了 (1560.3.9) (土) [11.17.0.11.13 10Ben 1Mac]
10Aj の日に反乱から61年経った (190章)
- 62年 7Aj (1561.4.13) [11.17.1.13.13 7Ben 16Kankin]
反乱から62年、1560年 7Aj(191章) (西暦に合わせる必要を感じたのか、ここから暦の混乱が始まる。7Ajの年は、1560.3.10~1561.4.13であり、最終の日4.13が7アフ(マヤ暦の7ベン)の日である。しかし7アフを1560年としている。もっとも次の章に63年目が終了とあり、終わりの日の大事さがまだ認識されている。)
- 63年 4Aj (1562.5.18) [11.17.2.15.13 4Ben 11Pax]
反乱から63年が始まる。1561年が4Aj(1561.4.14~1562.5.18) (191章)
63年目が終了 (192章)
8月の2日前 (7.30) ドン・ホルヘ・アフボ・シャヒルが結婚
- 64年 1Aj (1563.6.22) [11.17.3.17.13 1Ben 6Cumuku]
1Ajの日を64年目が終わりの日ではなく始めの日と解釈1562年 (192章)
反乱から64年が完了 (193章)
- 65年 11Aj (1564.7.26) [11.17.5.1.13 11Ben 16Pop]
65番目の年が11アフに始まった。終わりをはじめと解釈 (194章)
反乱の日から65年が完了した
- 66年 8Aj (1565.8.30) [11.17.6.3.13 8Ben 11Zip]
次の年が始まった。反乱から66番目の年で、8アフの日 (1565.8.30木) であった。1564年、終わりをはじめと解釈 (194章)
- 67年 5Aj (1566.10.4) [11.17.7.5.13 5Ben 6Zec]
終わりをはじめと再解釈
1565.8.28司教のドン・ベルナルディノがパンクエンに到着 (196章)
(Bernardino de Villalpande, Obispo de Guatemala 1564-1569)
- 68年 2Aj (1567.11.8) [11.17.8.7.13 2Ben 1Yaxkin]
終わりをはじめと再解釈
(1566.) 12.16ファン・ファレスの妻のマリアが亡くなった (197章)
- 69年 12Aj (1568.12.12) [11.17.9.9.13 12Ben 16Mol] 1567年
(1567.) 12.30秘跡を受けた。(198章)
- 70年 9Aj (1570.1.16) [11.17.10.11.13 9Ben11Yax] (199章) 1568年
- 71年 6Aj (1571.2.20) [11.17.11.13.13 6Ben 6Ceh]
(200章のここからさらに計算が崩れる。6Ajであるべきところが、反乱から71年が8ア

フの日と記述され、1569年である。マヤ長期暦では11.17.9.14.13 8Ben 16Mac (1569.3.22) または11.17.10.9.13 8Ben 11Mol(1569.12.4) にあたる。次の章の日付から考えて前者をとることにする。西暦からのずれが大きくなったので、修正したのであろう。それとともに西暦の年をもとに、その1年間にあった出来事を記述することになっている。)

1569.11.7贖宥

1.7パロボのシャヒル・バツツインがツトゥヒルの人達に殴られた

6.25土曜日 ([11.17.10.1.8 12Lamat 11Cumku] 1569.6.25土) ドン・ファン・ファレスが死亡

72年 3Aj (1572.3.26) [11.17.12.15.13 3Ben 1Kankin]

反乱から72年を5Ajと記述 ([11.17.10.16.13 5Ben 11Muan] 1570.4.26) (201章) 1570年
7.30ペドロ・ラミレスの家に落雷

73年 13Aj (1573.4.30) [11.17.13.17.13 13Ben 16Muan]

2Ajと記述 ([11.17.12.0.13 2Ben 6Kayab] 1571.5.31) (202章) 1571年

2.28ペドロ・ラミレスの妻アナが死んだ。

8.19ペドロ・ラミレスがマグダレナと結婚した。

8.31ペドロ・ラミレスの孫、ガブリエルが生まれた。

9.2ペドロ・ラミレスの息子のフリアノが死んだ

11.19判事のファン・オロスコ・アヤラがやってきた。

12.25山が噴火した

74年 10Aj (1574.6.4) [11.17.15.1.13 10Ben 11Kayab]

12Ajと記述 [11.17.13.2.13 12Ben 1Uayab] 1572.7.4 (203章) 1572年

3.18ペドロ・ラミレスの弟ファン・ペレスの死

12.8マルティン・クァネル・シャヒルの死

12.15聴聞使のマテオ博士の着

75年 7Aj (1575.7.9) [11.17.16.3.13 7Ben 1Pop]

9Ajと記述 [11.17.14.4.13 9Ben 11Uo] 1573.8.8 (204章) 1573年

1.8ペドロ・ラミレスの娘 MARIA が生まれた

2.9議長のドン・ペドロ・ビリャロボス博士が到着

3.10火曜日ドン・ディエゴ・ペレスが死んだ ([11.17.13.5.2 11k 5Mac] 1573.3.10 火)

4.5パフロ・ヒメネスの息子ペドロ・エリアスが生まれた

76年 4Aj (1576.8.12) [11.17.17.5.13 4Ben 16Uo]

8Ajと記述 (6Ajの間違い) [11.17.15.6.13 6Ben 6Zotz] 1574.9.12 (205章) 1574年

7.4貢納評価が来た

77年 1Aj (1577.9.16) [11.17.18.7.13 1Ben 11Zotz]

3Ajと記述 [11.17.16.8.13 3Ben 1Xu] 1575.10.17 (206章) 1575年

3.3アロンソ・フエラ、祈祷師が到着

3.16ドン・ヘロニモ・ゴメス・デ・コルドバ司教が到着

5.4ペドロ・ラミレスの娘、ファナが生まれた

5.28ドン・ディエゴ・デ・ラ・セルダ判事が到着

6.18土曜日 [11.17.16.2.12 11Eb 5Cumku] 1575.6.18 (土) 判事がバスンに到着

10.17ドン・ヘロニモ・ゴメス・デ・コルドバ氏が到着

- 78年 11Aj (1578.10.21) [11.17.19.9.13 11Ben 6Xul]
 13Aj と記述 [11.17.17.10.13 13Ben 16Yaxkin] 1576.11.20 (207章) 1576年
 2.4参事たちが鞭打ち
 5.9指導者アンドレス・デ・ラ・ベガが死亡
 9.17貢納評価
- 79年 8Aj (1579.11.25) [11.18.0.11.13 8Ben 1Mo]
 10Aj と記述 [11.17.18.12.13 10Ben 11Chen] 1577.12.25 (208章) 1577年
 5.1水曜日、十字架が雷に打たれた (1577.5.1水)
 10.27サン・クリスティアンが焼けた
 11.8金曜日 (1577.11.8 (金) [11.17.18.10.6 2Cimi 4Yaxkin]) 煙を出す星が見えた
 11.28夜中に地震
- 80年 5Aj (1580.12.29) [11.18.1.13.13 5Ben 16Chen]
 7Aj と記述 [11.17.19.14.13 7Ben 6Zac] 1579.1.29 (209章) 1578年
 (これまで何とか修正カクチケル暦と西暦の年数だけはあってきたが、ここに来て、カクチケル暦は1579年となり、年数だけを取りあげると、1年ずれることになった。しかしそのことにはもう何も気にすることなく、西暦の方を重視し、西暦の1年間に起こった出来事を記述することになっている。)
 1.27月曜 ([11.17.18.14.6 4Cimi 4Zac] 1578.1.27月) 修道女達がパロボを通り過ぎた
 2.15ケチェ人の王たちはむち打たれた
 2.18司法行政官のベレス・ロルマイ・コラションが死んだ
 3.1判事のバプロ・コタ・マヌエルが着いた
 9.1修道士のファン・マルティンが管区長
 (月曜とあるが、その日1578.9.1は [11.17.19.7.3 13Akbal 16Zip] 日曜日である)
 11.28パンクェンの議長のグレゴリオ・バルベルデが着
- 81年 2Aj (1582.2.2) [11.18.2.15.13 2Ben 11Zac]
 4Aj と記述 [11.18.0.16.13 4Ben 1Mac] 1580.3.4 (210章) 1579年
 2.20スペインの船が披露
 5.18スペイン兵士着
 10.12月曜日、サンティアゴの修道院長ファン・グラネロが死んだ。(1579.10.12月)
 10.13ドン・ヘロニモ・ゴメス・デ・コルドバ司教が到着
- 82年 12Aj (1583.3.9) [11.18.3.17.13 12Ben]
 1Aj と記述 [11.18.2.0.13 1Ben 16Kankin] 1581.4.8 (211章) 1580年
 2.27土曜日すべての建物の柱脚が壊れた ([11.18.0.16.7 11Manik 15Ceh] 1580.2.27土)
- 83年 9Aj (1584.4.12) [11.18.5.1.13 9Ben 1Muan]
 11Aj と記述 [11.18.3.2.13 11Ben 11Pax] 1582.5.13 (日) (212章) 1581年
 3.8水曜日ディエゴ・ラミレス判事が来た (1581.3.8水 [11.18.1.17.2 9Ik 5Mac])
 7.3月曜日ガスバル・デ・ロサレスが刺された。(1581.7.3月 [11.18.2.4.19 9Cauac 2Uayab])
 7.6木曜日財務官の首と頭が刎ねられた (1581.7.6木曜日)
 1581.12.5フエゴ山が火を噴いた
- 84年 6Aj (1585.5.17) [11.18.6.3.13 6Ben 16Pax]

- 8Ajと記述 [11.18.4.4.13 8Ben 6Cumku] 1583.6.17 (月) (213章) 1582年
 1582.4.16ペドロ・ラミレスが検事から解任 (214章)
 1582.5.5管区長グレゴリオ・メンデス修道士が死んだ
 1582.11.9-10アロンソ・ウチャバハイが死んだ
 1582.11.13属管区長ファン・マルティネスがメキシコに行った
 1582.11.15サンタ・クララで彫られたカヌーが着いた
 (11.25) ドン・クリストバル・ルビオが死んだ
- 85年 3Aj (1586.7.1) [11.18.7.5.13 3Ben 11Cumku]
 5Ajと記述 [11.18.5.6.13 5Ben 16Pop] 1584.7.21 (火) (215章) 1583年
 1583.5.8フランシスコ会修道院長がメキシコからやって来た
 8.14フランシスコ・マロキンの息子とアフ・サアンドレス・キオフが首つりと火あぶりにされるところであった。
 1583.9.12木曜日ホセ・デ・サンタ・マリア総督が死んだ
 1583.10.5土曜日判事のファン・デ・ロサレスが到着
 10.17木曜日サンタ・マリア・アスンシオン・ソノラに着
 10.18パンクァンに行った
 1583.11.25月曜日ファン・エバンヘリスタが生まれた
- 86年 13Aj (1587.8.5) [11.18.7.3.13 3Ben 11Cumku]
 2Ajと記述 [11.18.6.8.13 2Ben 1Zip] 1585.8.25 (水) (216章) 1584年
 2.2木曜日、聖母マリアの清めの祝日、グレゴリオ暦に変えよという命令 (グアテマラは、グレゴリオ暦を採用して1584年1月19日を29日とした。以後グレゴリオ暦の日付。
 2/2はJでは日曜日、Gでは木曜日)
 (1584.2.4) 土曜日、教会の前の十字架に雷
 1584.2.18ペドロ・マルティンが杖を取った
 1584.3.23ファン・マルティネス神父がやって来た
 1584.4.9ファン・エルナンデス、アフボ・シャヒルが王位に就けられた。
 4.26サン・マルコス、バヤン・チョコルでミサが執り行われた
 1584.8.13ファン・カセロ神父がやって来た。ファン・マルティネスが到着
 1584.11.14別の神父達がパンクァンに到着した。
 (11.16) 金曜日に15人が到着した
 1584.11.17土曜日、月食
 9日後、スペイン人が教書を持ってきた
 1584.12.21鐘が与えられ、みぞれが降った
- 87年 10Aj (1588.9.8) [11.18.9.9.13 10Ben 16Zip]
 12Ajと記述, [11.18.7.10.13 12Ben 6Zec] 1586.9.29 (木) (217章) 1585年
 (1585.) 1.16地震
 3.6灰がもたらされた (Gregorian 1585.3.6水であり、灰の水曜日のことであろう)
 3.23レタブロ (祭壇画) が我らの町のために届いた。いま土曜日 (1585.3.23土曜日)
 5.11 (木) 論争は解決した。金曜日確定判決
 5.23ファン・デ・メルガ神父が到着。ディエゴ・ロベス・パカルが死んだ
 6.29祭壇画が開けられた。土曜日であった (1585.6.29土曜日)
 7.26ガスバル・マンリケ・カウイナイが死んだ
 10.10ガスバルが死んだ

- 11.9クアレル・ウチャバハイら5人が捕まえられた
12.8秘跡が聖教会であった。
- 88年 7Aj (1589.10.13) [11.18.10.11.13 7Ben 11Zec]
9Ajと記述, [11.18.8.12.13 9Ben 1Yaxkin] 1587.11.3 (金) (218章) 1586年
(1586.) 1.14ママ・パカルが選ばれた
2.20ドン・アンブロシオは導民役(税務官吏)になった
首長のドン・フランシスコ・ベレス・アフトゥン・クックが死んだ。
2.23 ママパカルが指導者になった
2.22土曜日, 判事のアントニオ・ロドリゲスが着いた。
3.17ヘロニモ・ゴメス・デ・コルドバ司教がメキシコからきた。
6.7土曜日, ペドロ・ラミレス・ウチャバハイの娘, カタリーナが死んだ
6.24アロンソ・ボンセ神父が着いた
12.5 (火とあるがこの日は金曜日) 地震によってバンクァンの家は倒れた。(クリスマスの22日前というのであるから12.2 (火) では?)
- 89年 4Aj (1590.11.17) [11.18.11.13.13 4Ben 6Yaxkin]
8Ajと記述 (6Ajの間違い) [11.18.9.14.13 6Ben 16Mol] 1588.12.7 (土) (219章) 1587年
1.18日曜日贖宥。神父がローマから到着 (1587.1.18日曜日)
2.9月曜日ペドロ・ラミレスの子が生まれた (1587.2.9月曜日)
2.11灰の水曜日
8.1土曜日ディエゴ・エルナンデス・シャヒルが死んだ (1587.8.1土曜日)
9.14火の玉が落ちるのが見られた
9.15サン・アグスティンでミサ
9.7月曜日サン・ルカス・シェスバ判事が書いた (1587.9.7月曜日)
9.27法王教書がツォロラにもたらされた。
11.13金曜日, 王室代理官ベルナルデーノ, アントニオ・ロドリゲスらがツォロラに着いた (1587.11.13)
11.20 8人の証人
- 90年 1Aj (1591.12.22) [11.18.12.15.13 1Ben 1Chen]
3Ajと記述, [11.18.10.16.13 3Ben 11Yax] 1590.1.11 (日) (220章) 1588年
3.14土曜日 (実際は月曜日), 月が赤くなった。(1588.3.14月)
3.19判事のファン・デ・モラレスが到着
3.20日曜, 判事のフランシスコの孫が洗礼を受けアナと名をつけた (1588.3.20日)
3.22火曜, 証人の証言の開陳が始まった (1588.3.22火)
3.24木曜, 判事はパン・パティに入った (1588.3.24木)
3.28月曜, 総督の証言の尋問が始まった (1588.3.28月)
4.1 金曜, 終了した (1588.4.1金)
4.2土曜日判事で同時にシェラフブの検分をする人が行った (1588.4.2土)
- 91年 11Aj (1593.1.25) [11.18.13.17.13 11Ben 16Yax]
13Ajと記述, [11.18.12.0.13 13Ben 6Ceh] 1591.2.15 (月) (221章) 1589年
3.2私の娘アナが生まれた
5.6土曜日オルガンが届いた (1589.5.6土)
7.22ドン・フランシスコがやってきた
9.17バルベルデ議長がバンクァンで死んだ

- 11.9総督は彼の孤児を送った
- 92年 8Aj (1594.3.1) [11.18.15.1.13 8Ben 11Ceh]
 10Ajと記述, [11.18.13.2.13 10Ben 1Kankin] 1592.3.21 (火) (222章) 1590年
 1590年2Tojにホセの娘マリア誕生 ([11.18.11.4.9 2Muluc 7Pax] 1590.5.7)
 1.3病気が始まった
 1.21日曜日サンタ・ルシアの人に対して裁判がなされた (1590.1.21日曜日)
 9.11ドン・アンブロシオ・デ・カステリャノはすべてのチョベンと論争を始めた
- 93年 5Aj (1595.4.5) [11.18.16.3.13 5Ben 6Kankin]
 7Ajと記述 [11.18.14.4.13 7Ben 16Muan] 1593.4.25 (水) (223章) 1591年
 10Aqbalに亡きホセフの息子のガスバルが誕生 (1591.3.7木 [11.18.12.1.3 10Akbal
 16Ceh])
 5.9木曜日, ディエゴ・サルバテ氏がここソロラに着いた。(1591.5.9木)
 5.11土曜日, 神父の家に首長が入った (1591.5.11土)
 8Kameyの日に着いた (1591.5.9木 [11.18.12.4.6 8Cimi 19Muan])
 9Kejの日紛争が始まった (1591.5.10金 [11.18.12.4.7 9Manik 0Pax])
 10Q'anel クァネルの日人々はワインについて苦情を言った (1591.5.11土)
 月曜日ワイン売りに対して判決が言い渡された (1591.5.13月)
 5.3水曜日, 族長たちは監獄に入った。(5.3は金曜日)
 5月の末, 金曜日, 司法行政官と議員はお金を戻した。(1591.5.31金)
 6月1日土曜日の次の日, 前の指導者の司法行政官と参事に判決 (1591.6.1土)
 6月4日火曜日, ディエゴ・ラックらが保証人になった (1591.6.4火)
 6月が終わる10日前の木曜日11Q'anelの日にガスバルが死んだ (1591.6.20木)
 サンファン (聖ヨハネの誕生日6/24) の4日前 [11.18.12.6.8 11Lamat (Q'anil)
 1Cumku]
 7月5日金曜日, 13Aqb'alにペトロニラの死 (1591.7.5金) [11.18.12.7.3 13Akbal
 16cumku]
 10月5日土曜に1Tz'ikin, 1591.10.5 (土) [11.18.12.11.15 1Men 3Zec]
 12月26日, 月食
- 94年 2Aj (1596.5.9) [11.18.17.5.13 2Ben 1Pax]
 4Ajと記述 [11.18.15.6.13 4Ben11Kayab] 1594.6.9 (224章) 1592年
 イシムチェの反乱勃発から94年, 4アフの日
 3博士の日 (1.6) パンクァンにすべての王がはせつけた
 6月1日市場で私は鞭打ちにあった
 6月16日10Ey ペドロ・アベトに着いた
 (1592.6.16 (火) [11.18.13.6.10 9Oc 18Kayab], 目で2日の狂い, 数で1日の狂い)
 (9Oc[Tz'i], 10Chuen[B'atz'], 11Eb[Ey])
 6月17日, 金曜日, 12Ajの日に, 娘達と息子達が集め始められ, 首長は結婚させた
 (1592.6.17 (水) [11.18.13.6.11 10Chuen 19Kayab] 2日の誤差アリ。
 1592.6.19 (金) [11.18.13.6.13 12Ben 1Cumku])
 6月23日水曜日 4Tijax 首長はサンタ・クルスに行った
 (1592.6.23 (火) [11.18.13.6.17 3Caban 5Cumku], 1日の誤差アリ,
 1592.6.24 (水) [11.18.13.6.18 4Etz'nab 6Cumku])
- 95年 12Aj (1597.6.13) [11.18.18.7.13 12Ben 16Kayab]

1Ajと記述 11.18.16.8.13 1Ben 1Pop 1595.7.14 (225章) 1593年
 96年 9Aj (1598.7.18) [11.18.19.9.13 9Ben 6Pop]
 11Ajと記述 [11.18.17.10.13 11Ben 16Uo] 1596.8.17 (226章) 1594年
 1月7日、共同体にお金が届いた
 1月22日、新しい王室代理官アロンソ・エスキバルがやってきた
 5月15日、私こと、フランシスコ・ディアス・ママ・バカルは到着した
 9月23日、トゥナルとシェ・ワカルの土地についての我らの争いが解決した
 内乱から96年の11アフの日に、ここでサン・シモンの日に私フランシスコ・ディアスは結婚。

これで『カクチケル年代記』は終わりであるが、手書き資料の pp.1～17には1591,1602,1603,1605,1614, 1586, 1594, 1595, 1597,1598,1599, 1600, 1604,1605, 1619の年がしるされている。そこで上記の続きとして1606年までのマヤ暦を与えておく。

96年 9Aj (1598.7.18) [11.18.19.9.13 9Ben 6Pop]
 (11Ajと記述 [11.18.17.10.13 11Ben 16Uo] 1596.8.17 (226章) 1594年)

97	8Aj	11.18.18.12.13 8Ben	11Zotz	1597.9.21日	1595
98	5Aj	11.18.19.14.13 5Ben	6Xul	1598.10.26月	1596
99	2Aj	11.19.0.16.13 2Ben	1Mol	1599.11.30火	1597
100	12Aj	11.19.2.0.13 12Ben	16Ch'en	1601.1.3 水	1598
101	9Aj	11.19.3.2.13 9Ben	11Zac	1602.2.7木	1599
102	6Aj	11.19.4.4.13 6Ben	6Mac	1603.3.14金	1600
103	3Aj	11.19.5.6.13 3Ben	1Muan	1604.4.22土	1601
104	13Aj	11.19.6.8.13 13Ben	16Pax	1605.5.22日	1602
105	10Aj	11.19.7.10.13 10Ben	11Cumku	1606.6.26月	1603
106	7Aj	11.19.8.12.13 7Ben	1Uo	1607.7.31火	1604
107	4Aj	11.19.9.14.13 4Ben	16Zip	1608.9.3水	1605
108	1Aj	11.19.10.16.13 1Ben	1 Zec	1609.10.8木	1606

227章からは内容が異なり、次のようになる。

227章1593年姉と娘達の喜捨の記録、氏族の支援の記録

228章1591年氏族を支えた記録、説教

229章フランシスコ・ディアス年代記

1564.1.5 援助が届いた

1583年のサン・シモンの日 (10/28) に、アツィフ・ウィナック・バカホルの娘と結婚

1594年ここで私はマグダレナ・シタユルと結婚。

230章1600年

6月28日、3イックの日に私はマリアと結婚した

(1600.6.28 水 [11.19.1.9.4 5Kan 12Cumku] 2日の誤差 /1600.6.26 月11.19.1.9.2 3Ik 10Cumku)

231章ベドロ・エリアス・マルティン年代記1584年

2月16日ドン・ベドロ・エリアスは今この書類を書いた

グレゴリウス暦への変換

(1584.2.16金 [11.18.4.17.9 4Muluc 17Ceh] (J) / [11.18.4.16.7 8Manik 15Zac] 木 (G)

232章1584年土曜日私は総督であった。

1584年サンファンの日（聖ヨハネの誕生日 6/24）私が貢納品を集めた
 1595年10月4日に鐘が完成（1595.10.4水 [11.18.16.12.15 5Men 3Zec]）
 1596年7月20日は自分の署名をしよう。私はドン・ペドロ・マルティンである。
 （1596.7.20土 [11.18.17.9.5 9Chicchan 8Pop]）

2-2 365日暦 (mayq'ij)

長期暦には260日暦と365日暦という循環暦がしるされているが、『カクチケル年代記』では、365日暦は、16世紀のカクチケルではほとんど重きをなさなくなっている。tacaxepevalが第9章、Uchumが89章にみられるが、あとは第18月と第19月という表現で示されているだけである。しかし1685年の記録とされる暦では18月全部がしるされている（La Farge 1934: 119; Thompson 1971: 106）。それと通常用いられるユカテクマヤの暦を併記してみる。ただしユカテクマヤの暦の順のどれにカクチケルの暦が合うかは不明である。ナワトル語の暦とは、PachtliとIzcalli, Tlacaxpehualiztliの3つがカクチケルの暦と符合し、またその順序も合うので、それに合わせると次のようになる。

Yucatec	Nahuatl	Kaqchikel(Cakchiquel)	
		(1685, after La Farge 1934: 119)	Varea
Pop	Tlaxochimaco	Li3in 3a	liquinca
Uo	Xocotlhuetzli	Nabe To3i 3	nabey to3ic
Zip	Ochpaniztli Rucab To3i 3	rucam to3ic	
Zoo	Teotleco/Pachtontli/Pachtli	Nabe Pach	nabey pach
Zec	Tepeilhuitl/Hueypachtli	Rucab Pach	rucam pach
Xul	Quecholli	Tziquin 3ih	4'iquin 3ih
Yaxkin	Panquetzaliztli	Cakan	
Mol	Atemoztli	Ybota(n)	
Ch'en	Tititl	Katic	
Yax	Izcalli	Yzczal	ytzcal
Zac	Atlachualo	Pariche	
Ceh	Tlacaxipehualiztli	Tacaxepual	tacaxepual
Mac	Tozoztontli	Nabe Tumuzuz	nabey tumuzuz
Kankin	Hueytozotli	Rucab Tumuzuz	rucam tumuzuz
Muan	Toxcatl	Cibixi 3	çibixic
Pax	Etzalcualiztli	Uchum	uchum
Kayab	Tecuilhuitontl	Nabe Mam	nabey mam
Cumku	Hueytecuilhuitl	Rucab Mam	rucam mam
Uayab	Nemontemi		tz'api q'ij(Coto)

Takaxepual が年の最初という記述とユカテクの暦で最初という Pop に合わせて並べ替えると次のようになる。ただしアステカ暦の最初は Atlachualo といわれているので一月ずれる。

Yucatec	Nahuatl	Reconstructed months of 365 day-almanac
Pop	2. Tlacaxipehualiztli	1. Takaxepual (es principio de año o tiempo de sembrar las primeras milpas)
Uo	3. Tozoztontli	2. Nabey Tumusus

Zip	4. Hueytozoztli	3. Rukam Tumusus
Zoo	5. Toxcatl	4. Sibixik
Zec	6. Etzalcualiztli	5. Uchum
Xul	7. Tecuilhuitontl	6. Nabey Mam
Yaxkin	8. Hueytecuilhuitl	7. Rukam Mam
Mol	9. Tlaxochimaco	8. Liq'in q'a
Ch'en	10. Xocotlhuetzi	9. Nabey Toq'ik
Yax	11. Ochpaniztli	10. Rukam Toq'ik
Zac	12. Teotleco/Pachtontli/Pachtli	11. Nabey Pach
Ceh	13. Tepeilhuitl/Hueypachtli	12. Rukam Pach
Mac	14. Quecholli	13. Tz'ikin Q'ij
Kankin	15. Panquetzaliztli	14. kaqan
Muan	16. Atemoztli	15. Ibota
Pax	17. Tititl	16. Qatik
Kayab	18. Izcalli	17. Itzkal
Cumku	1. Atlacahualo	18. Pariche
Uayab	Nemontemi	Tz'api q'ij

3. 支配者とその期間

1524年からの征服側の支配者とその期間

Pedro de Alvarado	1524.7.27-1525.10.4
Pedro de Valdivieso	1525.10.4-1525.10.12
Pedro de Alvarado	1525.10.12-1526.2.3
Gonzalo de Alvarado	1526.2.3-1526.8.20
Pedro de Alvarado	1526.8.20-156.8.26
Pedro de Portocarrero & Hernán Carrillo	1526.8.26-1527.3.20
Jorge de Alvarado	1527.3.20-1529.8.14
Francisco de Orduna	1529.8.14-1530.4.11
Pedro de Alvarado	1530.4.11-1533.1.20
Jorge de Alvarado	1533.1.20-1535.4.20
Pedro de Alvarado	1535.4.20-1536.3.2
Gonzalo de Alvarado	1536.3.2-1536.5.10
Alonso de Maldonado	1536.5.10-1539.9.16
Pedro de Alvarado	1539.9.16-1540.5.19
Francisco de la Cueva	1540.5.19-1541.8.29
Beatriz de la Cueva	1541.9.9-1541.9.11
Francisco Marroquín & Francisco de la Cueva	1541.9.17-1542.5.17
Alonso de Maldonado	1542.5.17-1542.11.20

高等行政司法院議長 (Presidente de Audiencia Real de los Confines/Guatemala)

Alonso de Maldonado	1542.11.20-1548.5.26
Alonso López de Cerrato	1548.5.26-1555.1.14
Antonio Rodríguez de Quesada	1555.1.14-1555.10
Pedro Ramírez de Quiñones	1555.10-1559.9.2
Juan de Landecho Núñez	1559.9.2-1563.5.30
Francisco Briseño de Coca	1563.5.30-1570.1.5
Antonio González	1570.1.5-1573.1.26
Pedro de Villalobos	1573.1.26-1578.2.4
García de Valverde	1578.2.4-1588.7.21
Pedro Mayén de Rueda	1588.7.21-1594.8.3
Francisco de Sandé	1594.8.3-1596.6.20
Alvaro Gómez de Abaúnza	1596.6.20-1598.9.19
Alonso Criado de Castilla	1598.9.19-1611.9.19

(Jones 1994: 269-270)

村長 (alcaldes, 司法行政官, 纏役, 取締役, 村役)

括弧の数字は就任年, たとえば57は1557の15を省いた数

司法行政官 alcaldes

187章	1557年	Juan Juárez, Francisco Pérez(57,58,65,71,76)
188	1558	Juan Juárez, Francisco Pérez(57,58,65,71,76), Martín Rajob Achi
189	1559	Diego Hernández Xajil(59,66,73,76,83,86), Francisco Hernández Q'alel B'ak'ajol
191	1560	Pedro Solís(60,68), Francisco Hernández(59,60,62,69)
191	1561	Andrés Ch'uk, Juan Pérez Lolmay K'oraxon(61,78)
192	1562	Francisco Hernández(59,60,62,69), Juan López Mama' Simaj(62,68,74,77)
194	1563	Martín Q'alel Xajil, Don Diego Pérez
194	1564	Pedro de Robles(64,67), Pedro Ramírez(64,67,72,75,84)
196	1565	Francisco Pérez(57,58,65,71,76), Martín Ma Ajaw
197	1566	Diego Hernández ma Xajil(59,66,73,76,83,86), Alonso Pérez ma Sib'acijay
198	1567	Pedro de Robles(64,67), Pedro Ramírez(64,67,72,75,84)
199	1568	Pedro Solís(60,68), Juan López ma Simaj(62,68,74,77)
200	1569	Gonzalo de Guzmán(69,89), Francisco Hernández Q'alel B'ak'ajol (59,60,62,69)
201	1570	Cristóbal Rubio(70,72,78,81), Francisco de Paz ma Matz'ar
202	1571	Jorge de Vera(71,90), Francisco Pérez(57,58,65,71,76)
203	1572	Cristóbal Rubio(70,72,78,81), Pedro Ramírez(64,67,72,75,84)
204	1573	Diego Hernández Xajil(59,66,73,76,83,86), Pedro Martín(73,82)
205	1574	Ambrosio de Castellano(74,77,82,85), Juan López ma Simaj(62,68,74,77)
206	1575	Gregorio de Guzmán, Pedro Ramírez(64,67,72,75,84)
207	1576	Francisco Pérez(57, 58, 65, 71, 76), Diego Hernández Xajil (59, 66, 73, 76, 83, 86)
208	1577	Ambrosio de Castellanos(74,77,82,85), Juan López ma Simaj(62,68,74,77)
209	1578	Cristóbal Rubio(70,72,78,81), Juan Pérez Lolmay K'oraxon(61,78)
210	1579	Bernabé Arana, Gaspar Chululan(79,90)
211	1580	Juan Hernández, Pablo Ximénez
212	1581	Cristóbal Rubio(70,72,78,81), Pedro Méndez(81,87,91,92)
213	1582	Ambrosio de Castellano(74,77,82,85), Pedro Martín Ratzij Winaq Achi' Xq'ujay
215	1583	Francisco Pérez(83,85), Diego Hernández Xajil(59,66,73,76,83,86)
216	1584	Pablo Hernández(84,87), Pedro Ramírez(64,67,72,75,84)
217	1585	Ambrosio de Castellano(74,77,82,85), Don Francisco Pérez(83,85)
218	1586	Diego Hernández Xajil(59,66,73,76,83,86), Francisco Arana Aj Moxnay (86,89)
219	1587	Pablo Hernández(84,87), Pedro Méndez Aju'(81,87,91,92)
220	1588	Miguel López(88,94), Gregorio Mayorca
221	1589	Francisco Arana(86,89), Gonzalo de Guzmán(69,89)
222	1590	Gaspar Chululan(79,90), Jorge de Vera(71,90), Juan Cortés
223	1591	Bernabé Xajil, Pedro Méndez B'ak'ajol(81,87,91,92)

224	1592	Francisco Díaz, Pedro Méndez(81,87,91,92)
225	1593	Juan Cortés, Mateo García
226	1594	Miguel López(88,94), Pablo Ximénez

警吏長 (alguacil mayor 見廻り役)

216章	1584年	Juan Luís
217	1585	Pedro Kaqrum
218	1586	Gregorio Mayorca, Pedro Martín Pérez
220	1588	Diego Sánchez, Jorge de Robles Ralabil Aju' Ch'intá Don Ambrosio de Castellano
221	1589	Mateo García
222	1590	Pedro Kaqrum, Francisco Ch'okojay
223	1591	Bernardino Q'eqak'uch, Juan Carasco Chululan
224	1592	Diego López, Francisco López
225	1593	Pedro Hernández Kaqrum, Francisco López
226	1594	Francisco Ch'okoj, Martín Ch'intá

書記 (escribano)

215章	1583年	Juan de Morales(スペイン人)
216	1584	Pablo Ximénez
217	1585	Francisco Pulcar(スペイン人)
218	1586	Mateo García
221	1589	Juan de Guzmán, Juan Ajsik' Ajaw
222	1590	Mateo García
223	1591	Baltasar Aju'
224	1592	Bernabé Sain Gaspar de Chinchilas(224)
225	1593	Esteban Martín
226	1594	Esteban Martín

書記 aj tz'ib'

171	aj tz'ib' Ka'oq
180	aj tz'ib' Juan Pérez
202	Luis Asetun raj tz'ib'
206	Gonzalo Marroquín chanciler rajtz'ib'
212	Antonio Xwarez raj tz'ib'
219	raj tz'ib' Cendeno
224	Alonso Rodríguez aj tz'ib' ruk'ajol Ropleto Alonso Rodríguez rajtz'ib' ajaw

ajaw 王, 族長, 侯, 氏

ajaw Aj Tun Kuk Tijax(163死)
ajaw Alinam(66)

ajaw Alonso Rodriguez(224)
 ajaw A(j)pop Tuj(126)
 ajaw Atzij Winaq Aj Moxnay(105, 106死)
 ajaw Atzij Winaq Bakajol(136)
 ajaw B'eleje' K'at(166死)
 ajaw B'eleje' Q'ij(98)
 ajaw Ch'ikb'al(148, 173)
 ajaw Ch'iyok Kej Aj Q'uq'(66)
 ajaw de la Cueva gobernador aj Mutzula San Juan Bautista ch'aqa Niwala'(217)
 ajaw Don Diego Pérez(189)
 ajaw Don Francisco Ajpop Sotz'il(183死) ajaw Don Francisco(184) , Don Francisco(209)
 ajaw Don Francisco Pérez Ajtun Kuk(218)
 ajaw Don Jorge(166, 167, 196, 216)
 ajaw Don Joseph de Santa María gobernador(215)
 ajaw Don Juan Hernández ajpo Xaijil(216)
 ajaw Don Juan Xwares(200)
 ajaw Don Pedro Solis(209, 211, 223) ajpo xajil e ruman ajaw Jun Iq'(211)
 ajaw Ich'al(94, 95, 96)
 ajaw Ich'al Amullak(73)
 ajaw Ich'alkan Chikumkuwat(63) Aqajal の王
 ajaw Ich'alkan(64)
 ajaw Jun Iq'(115, 117, 122, 129死, 131, 135, 136)
 ajaw Jun Toj(76, 82, 83, 84, 85, 86, 87)
 ajaw K'eche'(29)
 ajaw K'iqab'(67, 68, 70, 71, 73, 74, 75, 76, 78, 81, 82, 83, 84)
 ajaw K'otb'al Kan(66)
 ajaw Ka'i' Junajpu(101, 102)
 ajaw Kab'lajuj Batz'
 ajaw Kab'lajuj Tijax, (88, 89, 94, 97, 98, 100, 101, 107, 109, 113, 115, 116死, 117)
 ajaw Ka'i' Batz'(59, 60)
 ajaw Ka'i' Noj(58, 60, 61, 66, 75)
 ajaw Kaji Imox(168, 172死) Ajpo Sotz'il
 ajaw Lajuj Aj(87, 89)
 ajaw Lajuj Noj(96, 116, 117, 125, 136)
 ajaw Moteksumatzin(117)
 ajaw Oxlajuj Tz'i(88, 89, 94, 97, 98, 100, 101, 107, 113, 114, 115, 116)
 ajaw PanPetaq(81)
 ajaw Q'aq'awitz(47)
 ajaw Q'alel Xajil Xulu' K'atu, ajaw Xulu' K'atu(66)
 ajaw Sitan K'atu(60, 65死, 66, 75)
 ajaw Tepepul, Istayul(93)
 ajaw Tz'irin Iyu', Toxk'om Noj(100, 103)
 ajaw Waqaqi Ajmaq(127死)

ajaw Wo'o' Imox, Roqel Batz'in(93)
 ajaw Wo'o' Ka'oq AjTz'ikinajay(98, 107)
 ajaw Wo'o' Ka'oq(111)
 ajaw Wo'o' Ka'oq rajawal Aqajal winaq(110)
 ajaw Wuqu' B'atz'(75, 82, 83, 85, 86, 88)
 ajaw Xikitzal(70)
 ajaw Xitayul Jax(69)
 ajaw Xt'amer Sakentol(66)
 ajawa Aj Tz'ikinajay K'isijay(137)
 ajawa aj Xechipeqen(101)
 ajawa ajpop ajpop k'amajay(146, 147)
 ajawa Ajpop Sotz'il ajpop Xajil(163, 164)
 ajawa Ch'iyol Kej tajt'aj Aqb'al(66)
 ajawa Chuluk Xitamal Kej(82, 85)
 ajawa Jun Sunk'un Q'anel May ajaw Pusi Ajaw(55)
 ajawa K'iche
 ajawa Kaji Imox, Beleje K'at(136,148)
 ajawa Najtijay ajK'ibijay(107)
 ajawa Rajamun Xikitzal(73)
 ajawa Tepepul Aj Tz'ikinajay K'isijay(138)
 ajawa Xajila(231)
 ra-tzij winäq achi' ajaw Don Pedro Martín gobernador(216), Ajaw Don Martin(188)

スペイン人名に用いられる ajaw

ajaw Cerrado(179, 181, 183死)
 ajaw doctor Mexia(190)
 ajaw Don Diego Sarbata(223)
 ajaw Don Francisco visitador(222)
 ajaw Don Francisco visitador presidente audiencia Pan Q'an(221)
 ajaw Don Pedro Aveto oidor(224)
 ajaw Don Pedro Malente visitador(224,226)
 ajaw Don Peliphe(Felipe) Emperador(185)
 ajaw fiscal licenciado Tomás Espinosa(224)
 ajaw Fray Bernardino Sipriano comisario(226)
 ajaw licenciado Don Juan Roser(177, 178)
 ajaw licenciado Pedro Ramírez(179, 181), ajaw Pedro Ramírez(189), ajaw Ramirez(187, 188)
 ajaw Maldonado(169, 170, 172)
 ajaw obispo don Jerónimo Gómez de Córdoba(206, 210, 218)
 ajaw oidor Carbade(Sarbata) (221)
 ajaw presidente Balverde(221)
 ajaw presidente Cerrado(179)
 ajaw presidente doctor Quesada(183死)
 ajaw señor presidente je licenciado Balverde(231)

ajaw Tunatiw(171, 173)
tata ajaw provincial fray Gregorio Méndez(214)

役職名に ajaw

ajaw emperador castilan(181)
ajaw fiscal(224)
ajaw fiscal rey(220, 225, 232)
ajaw k'ak'a ajaw clerigo padre(221)
ajaw obispo(194), ajawa obispo(184)
ajaw obispo Panq'an(181)
ajaw oidor(223, 224)
ajaw presidente(221)
ajaw presidente real(189)
ajaw visitador(221)
nima ajawDios(189)

代官 Corregidor

197章	1567年	Antonio Carlos
207	1576	Hernando de Angulo
214	1582	Don Fernando
217	1585	Rodrigo de Quijano, Tecpán Atitlán Alonso Paez, Santiago Atitlan
219	1587	Don Bernardo, Tzolola Antonio Rodríguez, Santiago
222	1590	Don Carlos
223	1591	Alonso Verento
224	1592	Alonso Barientos
226	1594	Alonso Xkiba

首長 gobernador

196章	1565年	Don Pedro gobernador K'awinay Tz'utujil
209	1578	Don Hernando
211	1580	Don Pedro Solís, Don Pedro de Solís(231死)
215	1583	Don Joseph de Santa María
216	1584	Don Pedro Martín(216) (231) 1584 Don Pedro Elias Martín(232) 1595 in Don Martín(232) 1596 in Don Pedro Martín(232)
220	1588	Don Pedro Martín
222	1590	San Bernardino Pason

巡察使 (visitador, 朝集使)

199章	1568年	Don Francisco Briceño
------	-------	-----------------------

221/222 1589 Don Francisco
224 1592 Don Pedro Malente

聴訴官 Oidor

203章 1572年 Mateo doctor señor oidor
221 1589 Carbade(Sarbate)
224 1592 Don Pedro Avero(Aveto)

判事 Juez

202章 1571年 Juan Orozco de Ayaba
206 1575 Don Diego de La Cerda
207 1576 Juan de la Cueva
209 1578 Señor Pablo Cota Manuel
212 1581 Diego Ramírez
215 1583 Juan de Rosales
218 1586 Antonio Rodríguez
219 1587 San Lucas Xesuba
Francisco Perenya
220 1588 Juan de Morales
Francisco
Diego Ramírez

導民役 fiscal 1582年 (214章) 以降に出てくる

214章 1582年 Pedro Ramírez
218 1586 Pedro Méndez mama Aju'
Don Ambrosio
224 1592 Tomás Espinosa

王室検察官 fiscal rey

223/232 1591 ajaw fiscal licenciado Tomás Espinosa

司教 obispo

181章 1552年 ajaw obispo(Francisco Marroquin のことであろう)
194 1563 Don Francisco Marroquín 1563死亡
196 1566 Don Bernardino
206/210 1575 Don Jerónimo Gómez de Córdoba
218 1586 Don Jerónimo Gómez de Córdoba

修道士 fray

175章 1542年 fray Pedro Anculo, fray Juan de Torres/fray Pedro, fray Juan
184 1555 fary Domingo de Vico
padre fray Francisco de la Parra
190 1559 padre fray Pedro, fray Joseph

214	1582	fray Gonzalo Méndez
215	1583	padre fray Francisco Salcedo
216	1584	padre fray Juan de Mendoza/ fray Juan de Mendoza
217	1585	padre fray Martínez, fray Jerónimo, fray Diego de Libera, padre fray Juan de Mendoza, fray Juan de Torres
218	1586	fray Alonso Ponce
219	1587	padre fray Bonifacio, fray Jerónimo de Tapia
221	1589	fray Antonio Santiago
224	1592	fray Francisco de Figueroa, fray Gabriel de Sotomayor
226	1593	fray Bernardino Sipriano comisario fray Nicolas Custodio, fray Francisco de Figueroa
230	1600	fray Simon, fray Juan Dresó
231	1584	fray Diego Martín, fray Juan de Mendoza, fray Juan Martínez guardián
232	1584/1595	guardián fray Juan Martínez, fray Cristóbal de Olivera, fray Jorge

Provincial 管区長

209章	1578年	padre fray Juan Martín provincial
214	1582	padre fray Gonzalo Méndez
216	1584	padre fray Juan Casero provincial
219	1587	padre fray Pedro de Arboleta provincial

Guardián 修道院長

209章	1578	guardian fray Francisco de Figueroa(209,224)
210	1579	fray Juan Granero guardián(210)
214	1582	fray Juan Martinez, guardián(214)
215	1583	Padre guardián(215)
216	1584	padre fray Juan Martínez, guardián(216), guardián padre fray Juan de Mendoza (217) padre fray Martínez(217), Martínez guardián(231, 232), fray Juan Martinez (219, 232)
217	1585	padre fray Juan de Meelga guardián(217) Juan Martínez の後任
221	1589	guardián padre fray Cristóbal Olivera(221), padre fray Cristóbal guardián (221) fray Cristóbal de Olivera guardián(232)
223	1591	padre Francisco de Figueroa guardián(223, 224, 226)
230	1600	fray Simón, guardián(230)

4. 章立ての違いの対照表

Otzoy	Recinos	Brinton
174	174	174
175	175	174
176	175	175
177	175	176
178	176	176
179	177	177
180	178	178
181	179	179
182	180	180
183	181	181
184	182	182
185	183	183
186	183	183
187	183	183
188	184	184
189	185	185
190	186-190	
191	191	
192	192	
193	193	
194	194	
195	195	
196	196	
197	197	
198	198	
199	199	
200	200	
201	201	
202	202	
203	203	
204	204	
205	205	
206	206	
207	207	
208	208	
209	209	
210	210	
211	211	
212	212	

213	213
214	214
215	215
216	216
217	217
218	218 + p.9
219	219
220	220
221	221
222	222
223	223
224	224
225	225
226	226 + p.9
227	p.9, 11, 15, 8等で異なる章立て
228	
229	
230	
231	
232	

『カクチケル年代記』は96頁あるテキストの18～96頁を訳したものである。226章までがカクチケル年代記にあたり、それ以後は内容が異なる。17頁までにカクチケル年代記を補う部分があり、それを取り込んだのが、Recinos や Maxwell and Hill のものである。しかし Maxwell and Hill には章立てがない。

Brinton は164までテキストと翻訳があるが、165から185まで訳のみ。

Villacorta は Otzoy と同じ章立てで、225までテキストの転写と翻訳がある。226からはテキストの転写のみ。226～232章までと、1～17頁はテキストの転写のみである。写真版と比べると転写は正確ではないが、写真版で不明な部分は参考にした。

Recinos は227章以降はテキストの1～17頁部分から1604年までの歴史記述やその他を補い、全部で247章としている。省略が多い。

文献

[GN] [TC] などカギ括弧で示したものは、引用の際に利用した略号である。

- Acuña, René(ed.)
 1982 *Relaciones geográficas del siglo XVI: Guatemala*. México: Universidad Nacional Autónoma de México.
 2001 *Calepino maya de Motul* por Antonio de Ciudad Real. México: Plaza y Valdés.
- Ajsivinac Sián, Juan Esteban, Lolmay Pedro Oscar García Mátzar, et al.[GN]
 2006 *Gramática descriptiva del idioma maya kaqchikel*. Chimaltenango, Guatemala: Comunidad Lingüística Kaqchikel.
- Akkeren, Ruud van
 2000 *Place of the Lord's Daughter: Rab'in'al, its history, its dance-drama*. Netherlands: Research School CNWS, Leiden University.
- Alvarado, Pedro de
 1924 *An Account of the Conquest of Guatemala in 1524 by Pedro de Alvarado*. Ed. by Sedley J. MacKie. New York: The Cortes Society.
 1963 Primera relación conocida de Pedro de Alvarado. In *La Muerte de Tecun Uman*, pp. 29-51. Guatemala: Editorial del Ejército.
 1993 Two Letters of Pedro de Alvarado. In Patricia de Fuentes, ed., *The Conquistadores*, pp. 182-196. Norman, University of Oklahoma Press.
- Andrade, Manuel J.
 1946 *Materials on the Quiché, Cakchiquel and Tzutujil Languages*. Microfilm Collection of Manuscripts on Cultural Anthropology, No. 11. Chicago: University of Chicago.
- Angel Asturias, Miguel and J.M.Gonzales de Mendoza(Tr.)
 1937 *Anales de los xahil de los indios cakchiqueles*.(traducción de la versión francesa inédita del profesor Georges Raynaud) Guatemala: Tipografía Nacional.
- Anleo, Bartolome de(ed. by René Acuña)
 2002 *Arte de lengua 4 iché*. México: Universidad Nacional Autónoma de México.
- Bancroft, Hubert Howe
 1883 *History of Central America*. Vol.II 1530-1800. California: A.L. Bancroft & Company.
- Berlin, Heinrich
 1950 La historia de los Xpantay. *Antropología e Historia de Guatemala* 2(2): 40-53.
- Blair, Robert W., Kristine Campbell, Lyle Campbell, John S. Robertson, James J. Stone, Roger M. Thompson, Abraham Juracán, Enoe de Jesús Matzer, and Benton Smith.
 1969 *Cakchiquel Basic Course*. University of Chicago Library, Microfilm Collection of Manuscripts on Cultural Anthropology, Series 22, No. 121-122.
- Blair, Robert W., John S. Robertson, Larry Richman, Greg Sansom, Julio Salazar, Juan Yool, and Alejandro Choc
 1981 *Diccionario español-cakchiquel-inglés*. New York: Garland Publishing.
- Brinton, Daniel G.
 1884 A Grammar of the Cakchiquel Language of Guatemala. *Proceedings of the American Philosophical Society* 21: 345-412.

- 1885 *The Annals of the Cakchiquels*. Brinton's Library of Aboriginal American Literature, Philadelphia. (Reprinted in 1969. New York: AMS Press)
- Broadwell, George Aaron, and Lachlan Duncan.
- 2002 A New Passive in Kaqchikel. *Linguistic Discovery* 1(2): 26–43.
- Brown, R. McKenna, Judith M. Maxwell, and Walter E. Little
- 2006 *La ützwäch? Introduction to Kaqchikel Maya Language*. Austin: University of Texas Press.
- Campbell, Lyle
- 1977 *Quichean Linguistic Prehistory*. University of California Publications, Linguistics 81, Berkeley: University of California Press.
- Carrasco, Pedro
- 1967 Don Juan Cortés, cacique de Santa Cruz Quiché. *Estudios de Cultura Maya* 6: 251–266.
- Carmack, Robert M.
- 1973 *Quichean Civilization: The Ethnohistoric, Ethnographic and Archaeological Sources*. Berkeley: University of California Press.
- 1981 *The Quiché Maya of Utiatlán: The Evolution of a Highland Guatemala Kingdom*. Norman: University of Oklahoma Press.
- Carmack, Robert M., and James L. Mondloch
- 1983 *El Título de Totonicapán*. México: Universidad Nacional Autónoma de México.
- 1989 *El Título de Yax y otros documentos quichés de Totonicapán, Guatemala*. México: Universidad Nacional Autónoma de México.
- 2007 *Uwujil kulewal aj chwi Miq'ina': El Título de Totonicapán*. Guatemala: Cholsamaj.
- Chimalpahin Cuauhtlehuanitzin, Don Francisco de San Antón Muñón (tr. by S. Rendón)
- 1965 *Relaciones originales de Chalco Amaquemecan*. México: Fondo de Cultura Económica.
- Chinchilla Mazariegos, Oswaldo
- 1999 Título de los Nimak Achi de Totonicapán (1545). *Mesoamerica* 38: 77–84.
- Cojtí Macario, Narciso, Martín Chacach Cutzal, and Marcos Armando Calí [DK]
- 1998 *Diccionario kaqchikel*. Guatemala: Proyecto Lingüístico Francisco Marroquín.
- Comisión de Oficialización de los Idiomas Indígenas de Guatemala
- 1999 *Oficialización de los idiomas indígenas de Guatemala: propuesta de modalidad*. Guatemala: Proyecto Q'anil B.
- Comunidad Lingüística Kaqchikel
- 2004 *Variación dialectal en kaqchikel*. Guatemala: Academia de Lenguas Mayas de Guatemala y Comunidad Lingüística Kaqchikel.
- Contreras R., J. Daniel, and Jorge Luján Muñoz
- 2004 *El Memorial de Sololá y los inicios de la colonización española en Guatemala*. Guatemala: Academia de Geografía e Historia de Guatemala.
- Coto, Tomás de (ed. by René Acuña) [TC]
- 1983 (17c) *Thesavrvs Verborv: Vocabulario de la lengua cakchiquel vel guatemalteca, Nueuamente hecho y recopilado con summo estudio, trauajo y erudición*. México: Universidad Nacional Autónoma de México.
- Crespo M., Mario
- 1956 Título indígenas de tierras. *Antropología e Historia de Guatemala* 8(2): 10–15.

- Dayley, Jon P.
1985 *Tzutujil Grammar*. University of California Publications in Linguistics, Vol. 107. Berkeley: University of California Press.
- Edmonson, Munro S.
1965 *Quiche-English Dictionary*. New Orleans: Middle American Research Institute, Tulane University.
- Estrada Monroy, Agustín
1973 *Popol Vuh*: traducido de la lengua quiché a la castellana por el R. P. fray Francisco Ximénez (edición facsimilar). Guatemala: Editorial "Jose de Pineda Ibarra".
- Flores, Ildefonso Joseph
1753 *Arte de la lengua metropolitana del reyno cakchiquel ó guatemalico, con un paralelo de las lenguas metropolitanas de los reynos kiché, cakchiquel, y zutuhil, que hoy integran el reyno de Guatemala*. (<http://www.memoriachilena.cl/602/w3-article-8659.html>)
- Fox, John W.
1978 *Quiche Conquest: Centralism and Regionalism in Highland Guatemalan State Development*. Albuquerque: University of New Mexico Press.
- Gall, Francis
1961 *Diccionario geográfico de Guatemala*. Guatemala: Instituto Geográfico Nacional.
- García Aranda, María Angeles(ed.)
2011 *El arte y el vocabulario de la lengua cakchiquel de Benito de Villacañas*. Toledo: Diputación Provincial de Toledo.
- García Ixmátá, Pablo
1997 *Gramática Tz'utujil*. Guatemala: Cholsamaj.
- García Matzar, Pedro(Lolmay), and José Obispo Rodríguez Guaján(Pakal B'alam) [GK]
1997 *Gramática kaqchikel*. Guatemala: Cholsamaj.
- García Matzar, Pedro(Lolmay)
2003 Kaqchikel. in Yasugi Yoshiho(ed.), *Materiales de lenguas mayas de Guatemala, Tomo 4*, pp. 114-226.
- Guzmán, Pantaleón de(ed. by René Acuña) [PG]
1984 *Compendio de nombres en lengua cakchiquel*. México: Universidad Autónoma de México.
- Hendrick Krueger, Roberta Anne
1986 *The Verbal Category System of Cakchiquel Mayan*. Ph.D. Diss. University of Chicago.
- Herbruger, Jr., Alfredo, and Eduardo Díaz Barrios
1956 *Método para aprender a hablar, leer y escribir la lengua cakchiquel*. Guatemala: Tipografía Nacional.
- Hernández Arana Xajilá, Francisco, and Francisco Díaz Gebuta Quej (see Villacorta 1934)
1934 *Memorial de Tecpán-Atitlán: Anales de los cakchiqueles*. Texto y traducción revisados con notas y estudios sobre lingüística Guatemalteca por J. Antonio Villacorta C. Guatemala: Tipografía Nacional.
- Hill, Robert M.
1984 *Chinamit and Molab: Late Postclassic Highland Maya Precursors of Closed Corporate Community*. *Estudios de Cultura Maya* 15: 301-327.
1989 *The Pirir Papers and other Colonial Period Cakchiquel-Maya Testaments*. Vanderbilt Uni-

- versity Publications in Anthropology No. 37.
- 1996 Eastern Chajoma (Cakchiquel) Political Geography: Ethnohistorical and Archaeological Contributions to the Study of a Late Postclassic Highland Maya Polity. *Ancient Meso-america* 7: 63–87.
- IIN(Instituto Indigenista Nacional)
- 1988 *Lenguas mayas de Guatemala: documento de referencia para la pronunciación de los nuevos alfabetos oficiales*. Guatemala: Instituto Indigenista Nacional y Ministerio de Cultura y Deportes.
- Jones, Jr., Oakah L.
- 1994 *Guatemala in the Spanish Colonial Period*. Norman: University of Oklahoma Press.
- La Farge, Oliver
- 1934 Post-Columbian Dates and the Mayan Correlation Problem. *Maya Research* 1(2): 109–124.
- Luján Muñoz, Jorge
- 1986 El reino pokomam de Petapa, Guatemala, hacia 1524. *Anales de la Academia de Geografía e Historia de Guatemala* 60: 159–174.
- Lutz, Christopher H.
- 1994 *Santiago de Guatemala, 1541–1773*. Norman: University of Oklahoma Press.
- Maxwell, Judith M. and Robert M. Hill II[M&H]
- 2006 *Kaqchikel Chronicles*. Austin: University of Texas Press.
- Miles, Suzanne W.
- 1957 The Sixteenth Century Pokom–Maya: A Documentary Analysis of Social Structure and Archaeological Setting. *Transactions of the American Philosophical Society* No 47, part 4 : 733–781.
- Molina, Alonso de
- 1977 *Vocabulario en lengua castellana y mexicana y mexicana y castellana*. México: Editorial Porrúa.
- Nance, C. Roger, Stephen L. Whittington, and Barbara E. Borg
- 2003 *Archaeology and Ethnohistory of Iximché*. Gainesville: University Press of Florida.
- Orellana, Sandra L.
- 1984 *The Tzutujil Mayas: Continuity and Change, 1250–1630*. Norman: University of Oklahoma Press.
- Otzoy, Simón
- 1999 *Memorial de Sololá*. Guatemala: Comisión Interuniversitaria Guatemalteca del Descubrimiento de América.
- Pardo, J. Joaquín
- 1942 Efemérides para escribir la historia de la muy noble y muy leal ciudad de Santiago de los Caballeros del Reino de Guatemala. *Anales de la Sociedad de Geografía e Historia*, Vol. 18: 359–408.
- Patal Majzul, Filiberto[FP]
- 2007 *Rusoltzij ri kaqchikel* (Diccionario estándar bilingüe kaqchikel-español). Guatemala: OKMA and Cholsamaj.
- Pérez Mendoza, Francisco and Miguel Hernández Mendoza
- 1996 *Diccionario tz'utujil*. Guatemala: Proyecto Lingüístico Francisco Marroquín.

- Raynaud, Georges, tr. by Miguel Angel Asturias and J. M. González de Mendoza.
 1937 *Anales de los xahil de los indios cakchiqueles*. Guatemala: Tipografía Nacional.
- Recinos, Andrián
 1950 *Memorial de Sololá, Anales de los cakchiqueles*. México: Fondo de Cultura Económica.
 1953 *The Annals of the Cakchiquels*. (Third printing: 1974) Norman: University of Oklahoma Press.
 1957 *Crónicas indígenas de Guatemala*. Guatemala. Editorial Universitario.
 1980 *Memorial de Sololá, Anales de los Cakchiqueles*. Guatemala: Piedra Santa.
- Rodríguez Guaján, José Obispo(Pakal B'alam)
 1994 *Rutz'ib'axik ri kaqchikel (Manual de redacción kaqchikel)*. Guatemala: Cholsamaj.
- Ruyán Canú, Déborah, and Rafael Coyote Tum[DC]
 1991 *Diccionario cakchiquel central y español*.
 Guatemala: Instituto Lingüístico de Verano de Centroamérica.
- Sáenz de Santa María, Carmelo[SS]
 1940 *Diccionario cakchiquel-español*. Guatemala: Tipografía Nacional.
- Simeon, Remi
 1977 *Diccionario de la lengua nahuatl o mexicana*. México: Siglo Veintiuno.
- Smailus, Ortwin[OS]
 1989 *Vocabulario en lenguas castellana y guatemalteca que se llama cakchiquel chi*. Hamburg: Wayasbah.
- Swezey, William R.
 1985 Cakhay: la ubicación original de Tecpán-Atitlán(Sololá). *Mesoamerica* 9: 154-169
 1998 El primer informe de Cakhay. *Mesoamerica* 35: 7-26.
- Tichoc Cumes, Rosalio, Juan Esteban Ajsivinac Sian, Lolmay Pedro Oscar García, Ixchel Carmelina Espantay, Martin Chacach Cutzal, and Estela Alonso Guajan[GN]
 2006 *Gramática normativa del idioma maya kaqchikel*. Guatemala: Academia de Lenguas Mayas de Guatemala y Comunidad Lingüística Kaqchikel.
- Thompson, J. Eric. S.
 1971 *Maya Hieroglyphic Writing: An Introduction*. 3rd Edition. Norman: University of Oklahoma Press.
- Torresano, Estevan.
 1754 Arte de lengua cakchiquel. Ms.(http://www.famsi.org/research/mltdp/item_54/)
- Townsend, W. Cameron
 1961 Cakchiquel Grammar. In Benjamin Elson(ed.), *Mayan Studies I*, pp. 1-79. Norman: Summer Institute of Linguistics.
- Varea, Francisco de(ed. by Judy Garland de Butler)
 1997 *Calepino en lengua cakchiquel*. Guatemala: Universidad Mariano Galvez de Guatemala.
- Vicente Méndez, Miguel Angel
 2007 *Cholaj Tz'ijb'al Li Uspanteco: Diccionario bilingüe uspanteko-español*. Guatelama: OKMA y Cholsamaj.
- Vico, Domingo de
 n.d. Vocabulario de la lengua cakchiquel. Ms.

- Villacorta C., J. Antonio(see Hernández Arana Xajila and Diaz Gebuta Quej1934)
- 1934 *Memorial de Tecpán-Atitlán: Anales de los cakchiqueles*. Texto y traducción revisados con notas y estudios sobre lingüística Guatemalteca por J. Antonio Villacorta C. Guatemala: Tipografía Nacional.
- Ximénez, Francisco(ed. by Carmelo Sáenz de Santa María)
- 1985 *Primera parte del tesoro de la lenguas Cakchiquel, Quiché y Zutuhil, en que las dichas lenguas se traducen a la nuestra, española*. Guatemala: Academia de Geografía e Historia de Guatemala.
- Ximénez, Francisco(ed. by Helena Chinchila M.)
- 1993 *Arte de las tres lenguas kaqchikel, k'iche'y tz'utujil*. Guatemala: Academia de Geografía e Historia de Guatemala.
- Yasugi, Yoshiho
- 2001 Endangerment in Mayan Languages. Norio Shibata and Toru Sihionoya (eds.), *Languages of the South Pacific Rim*. 文部科学省科学研究費補助金特定領域研究 (A) 『環太平洋の『危機に瀕した言語』に関する緊急調査研究』 Vol. 1: 191-200.
- 2006 El enfoque de agente en los idiomas mayas. Kazuyasu Ochiai(ed.), *El mundo maya: miradas japonesas*, pp. 63-84. Mérida: Universidad Nacional Autónoma de México.
- 2012 A head-marking grammar for applicative constructions. Wataru Nakamura and Ritsuko Kikusawa (eds.), *Objectivization and Subjectivization: A Typology of Voice Systems*, pp. 7-22. Senri Ethnological Studies 77. Osaka: National Museum of Ethnology.
- Yasugi, Yoshiho(ed.)
- 2003 *Materiales de lenguas mayas de Guatemala, 4 Tomos*. Endangered Languages of the Pacific Rim Publications Series A1-007. Osaka: Osaka Gakuin University.
- 八木谷涼子
- 2003 『キリスト教歳時記』 東京：平凡社新書。
- 八杉佳穂
- 1989 「中米諸語の数体系」『国立民族学博物館研究報告』 14(3)：519-670。
- 1990 「中米諸語の序数詞」『国立民族学博物館研究報告』 15(1)：205-263。
- 1997 「古典ユカテクマヤ語の逆受動についての一考察」『国立民族学博物館研究報告』 22(3)：491-525。
- 2003 「中米の危機言語の現状と問題点——マヤ諸語を中心に」 崎山理編『消滅の危機に瀕した言語の研究の現状と課題』(国立民族学博物館調査報告39) pp. 147-167, 大阪：国立民族学博物館。

索 引

A

- Agustin 338, 394, 412, 525, 552
 Agustín Ch'inta' 459, 473
 Aj Ch'amiya' 600, 671
 Aj Ch'umilajay 30, 176
 Aj Chaqi'jya' 197
 Aj Chi Choy 463, 464
 Aj Chi Kaqix 395
 Aj Choloma' 296
 Aj Guasacapán 375, 376
 Aj Itz'iyule' 192, 198
 Aj Itza 180, 183
 Aj K'ib'ijay 236
 Aj Kanalaqam 136
 Aj Kejayi' (Aj Kejay) 12, 80, 85, 87, 124, 174
 Aj Kuluwakan 245
 Aj Kupilkat 136, 137, 158, 159, 285, 600
 Aj Mexiku 245, 681
 Aj Mim Poqom (Min Poqom, Nim Poqom) 76, 77, 177, 666
 Aj Moxnay 234, 235, 386, 477, 631
 Aj Muqche' 77
 Aj Mutzula 383
 Aj Nonowalkat 53, 54, 524, 568, 585, 642
 Aj Pa Saqi'uilew 209
 Aj Pa Sik'aya' 464
 Aj Pa Wakal 264
 Aj Q'ale'aj 209
 Aj Q'inona' 209
 Aj Rax Ch'ich' 76, 77, 269, 666
 Aj Raxaqän 209, 231, 232
 Aj San Andrés K'ioj 363
 Aj San Antonio Palopo' 416, 493
 Aj San Gregorio 197
 Aj Santiago 355, 366, 395-398
 Aj Santiago Atitlán 380
 Aj Säq K'üch Ab'äj (Aj Saq K'uch Abaj) 198
 Aj Sisiya' 464
 Aj Tib'ak'oy 209, 231-233
 Aj Tun Kuk Tijax 289
 Aj Tz'alam Aju' 421, 452
 Aj Tz'alam Ch'uk 383
 Aj Tz'alam Jun Ajpu 258
 Aj Tz'alam Kaqrum 383
 Aj Tz'alam Xinku 383
 Aj Xe kaqa ab'äj 263
 Aj Xe'Ab'äj (Ab'aj) 198
 Aj Xechipeqen 228, 231, 579
 Aj Xiwanul 197
 Aj Xiwiki' 238
 Aj Xulpiti 53, 54, 568, 585
 Aj Yaki 395
 Ajaw de la Cueva (gobernador aj Mutzula San Juan Bautista ch'aqa Niwala') 383
 Ajin 201, 202
 Ajmaq 236, 240, 242, 243, 253, 257, 279, 280, 290, 299, 434, 440, 571, 579
 Ajpo Sotz'il (Ajpop Sotz'il, po Sotz'il) 101, 107, 108, 188, 194, 215, 225, 226, 241, 245, 269, 289, 290, 295, 300, 314, 680
 Ajpo Xajil (Ajpop Xajil, poXajil) 107, 108, 153, 155, 188, 194, 215, 225, 226, 230, 269, 289, 290, 329, 356, 371, 500, 564, 579
 Ajpop k'amajay 32, 74, 153, 156, 268, 269, 567, 598, 604, 682
 Ajsik'ajuj 216
 Aju Ch'inta Don Ambrosio de Castellano 403
 Aju Ch'inta' 403
 Ajuchan Xajil 140, 143, 152, 154, 155, 158, 679
 Alinam 165
 Alom 18, 469
 Alonso Barientos 439, 440, 447, 450, 512, 627
 Alonso de Maldonado 296
 Alonso de Vides 357, 402
 Alonso Juera 346, 546
 Alonso López de Cerrato 308, 313
 Alonso Paez 380
 Alonso Pérez ma Sib'aqija 335
 Alonso Ponce 389, 390
 Alonso Rodriguez (Alonso Rodriguez Caxeco, Rotriquez) 420, 442, 443, 643
 Alonso Vásquez 399
 Alonso Verento 430
 Alonso Xitayul 440
 Alonso Xquibal (Alonso Xquibel) 450
 Ambrosio de Castellano 345, 350, 359, 376, 378, 403, 412, 449
 Ana 340, 383, 401, 405, 454-456, 458, 461,

525

Andrés Ch'uk 328
 Andrés de la Vaga 349
 Andrés Nimapam 452
 Andrés Patzan Koyol 440
 Andrés Rastun 422
 Antonio Carlos 335
 Antonio de Morales 494
 Antonio de Rodas 487, 489
 Antonio Gonzalez 345
 Antonio Julajuj 440
 Antonio Rodriguez (Antonio Rodríguez de Quesada) 388, 398, 549
 Antonio Santiago 406
 Antonio Xwarez (Juarez) 357
 Apop Tuj 252
 Aqajal (Aqajal winäq, Ajqajal) 30, 59, 127, 160-163, 171, 213, 219, 220, 224, 225, 238, 239, 520, 530, 559, 565, 568, 627, 632, 641, 681
 Aqalajay 59, 62
 Atakat 201, 254, 275, 622
 atzij winäq 225, 234, 235, 261, 344, 405, 466, 473, 495, 631

B

B'ak'ajol 11, 32, 33, 87, 121-125, 137, 140, 142, 150, 261, 323, 337, 344, 363, 405, 418, 466, 473, 495, 526, 541, 565, 628
 B'akaj 31, 63, 64, 73, 107, 108, 531
 B'akaj Poq (B'akal Poqoj) 31, 64, 107, 108, 531
 B'akaj Xajil 31, 64, 107, 108, 531
 B'alam 69, 123, 138, 246, 251, 256-260, 285, 545, 598
 B'ejele' K'at (Sakachul) 243, 244, 260, 261, 264, 271, 285, 293, 294, 589, 653
 B'elej Chi Junajpu' 70
 B'elej Chi Q'aq' 70
 B'elej Tulul 113
 B'ejele' Q'ij 221, 222
 B'itol 16, 18, 578, 601
 B'oko' 288, 463, 464
 B'ub'atz' 148
 B'ulb'uxi Ya' 177
 Baltasar Aju' 418
 Baltasar K'um 459
 Balverde (Gregorio Balverde) 353, 358, 407, 408, 473, 485
 Bernabé Arana 354
 Bernabé Chowaj 461

Bernabé Sain 437
 Bernabé Xajil 413, 418
 Bernardino Q'eqak'uch 419, 452
 Bernardino Sipriano (Bernartino Çipriano) 452
 Bernardo 398, 462, 549
 Bonaventura Quizquina 461
 Bonaventura Wit 461
 Bonifacio 393

C

Carlos, Don 417, 419
 Catalina 327, 358, 362, 363, 367, 375, 390, 455, 659, 683
 Cendeno 394
 Cerrado 308, 309, 311, 313, 314, 589
 Ch'ajom Ajaw 11
 Ch'anach'a' 415, 459
 Ch'ikb'al 273, 301, 523
 Ch'inta' (Ch'inta'i') 288, 385, 403, 412, 413, 454, 459, 473
 Ch'inta' Kej 288
 Ch'iyok Kej Aj Q'ua' 165
 Ch'o'ok Takatik 216
 Ch'okoya 343, 567
 Ch'ol 71
 ch'ol q'ij 23, 27, 519
 Ch'opitzel 89
 Ch'umilajay 176
 Ch'uti Pakal 414, 416, 433, 434, 445
 Ch'uti' Tinamit 160
 Ch'uti'aj 11
 Chachux 116, 441, 468
 Chakachil Tz'ul Ajaw 73
 Chetejaw 114
 Chi Ab'aq 63, 65
 Chi Awar (Awär) 160, 166-168, 174, 177, 191 -194, 233, 577, 607, 622, 650
 Chi Ismachi' 168
 Chi Jolom 162, 171, 177, 213, 220, 610
 Chi Junajpu' 70
 Chi K'otoj 252
 Chi Q'al 334
 Chi Q'alib'al 100, 663
 Chi Q'aq' 65, 66, 70, 248, 310, 358
 Chi Q'osib'al Koqolajay 252
 Chi Taq'aj 58
 Chi Tulul 113, 264, 463
 Chi Xot 286, 287, 289, 654, 564
 Chi Yol 63, 65
 Chik'eletat 128
 Chikuchin 324

chinamit 33, 81, 88, 127, 142, 149, 151, 353,
396, 477, 479, 480, 483, 491, 496, 499,
500, 523
Chopena' 458
Chopena' Kej 201
Chopena' Tojin 201
Chopena' Tz'ikin Uk'a' 201
Chu'uy Tz'ikinu' 301
Chu'uy Tz'ut 259
Chu'uy Tz'ut (Chu'y Tz'ut) 259
Chukuy B'atz'in 230, 660
Chuluk 185, 193, 199
Chuluk B'alam 123
Chuwi' La'y 441
Chuwi' Popo' Ab'äj 63, 531
Chuwi' Sub'a 324, 336, 405
Chuwi' Xilom 160
Cosme Roqikej 486
Cristóbal Olivera / Xpowal de Olivera 406,
407, 410, 411, 488, 489
Cristóbal Rubio / Xpowal Rubio 342, 351,
357, 362, 469
Cristóbal Xub' 426

D

Daki Ajaw 11
Diego 254, 288, 422, 464, 623
Diego B'atz'u 413
Diego Cota Chuy 417
Diego de La Cerda 346
Diego de Libera 384
Diego de Paz de Quiñones 345, 641
Diego Hernández Xajil (Diego Hernández ma
Xajil, (H)ernández) 323, 335, 343, 348,
362, 376, 386, 393, 473, 476
Diego Karab'aj 426
Diego Lăq (Diego Laq) 430, 431
Diego López 434, 438
Diego López Ma Nimapam 477
Diego López Pakal 382, 414, 467
Diego Lopiқ 440
Diego Manuel Díaz 419
Diego Martín 472
Diego Pakal 414
Diego Pérez 322, 330, 344, 363
Diego Piq 457
Diego Ramírez 357, 393, 403
Diego Sanchez 400
Diego Sarbate 419, 430
Diego Somok' 459
Diego Tz'islaq 421

Diego Xajil 473, 480, 482
Diego Xt'amer 440, 451
doctor Bara 331
doctor don Pedro Villalobos 344, 349
doctor Mexia (Mejia) 318, 325, 324, 684
doctor Quesada (Quexata) 313, 314, 660
doctor Sánchez 490
Domingo Bernardino Q'eq'ak'uch 452
Domingo de Vico 316
Don Pedro Solís (Pedro de Solis) 257, 259,
328, 336, 352, 356, 369, 428, 434, 472,
565

E

Esteban Martín 421, 446, 454
Esteban Xjanel 440

F

Fabiana Pérez (Fapiana Perez) 461
Felipe Gutiérrez 486
Felipe Sik 422
Femoyawa 338
Fernando 361
Francisca Catalina 363
Francisco 258
Francisco Ajpop Sotz'il 226, 290, 579
Francisco Ajtz'alām Aju' 452
Francisco Arana (Aj Moxnay) 234, 235, 386,
404, 431, 477, 631
Francisco Atziz Wināq B'ak'ajol 473
Francisco Briceño (Francisco Briseño de Coca)
332, 336, 337
Francisco Ch'oko'j 454
Francisco Ch'okojay 409
Francisco Ch'uti Pakal 416
Francisco de Chávez Lomay 477
Francisco de Figueroa 353, 419, 430, 443,
448, 452
Francisco de la Cueva 301, 331
Francisco de la Parra (Para) 316, 505
Francisco de Paz Ma Matz'ar 339
Francisco de Quinea 380, 381
Francisco Diaz (Tiaz, mama Pakal) 363, 377,
385, 400, 405, 413, 421, 431, 433, 434,
437, 439, 440, 443, 445, 452, 454, 458,
466, 468, 495, 551, 524
Francisco Gómez (Xobobin) 414, 473
Francisco Hernández (Francisco Hernández
Arana, [(H)ernández]) 328, 329, 358
Francisco Hernández Q'alel B'ak'ajol [(H)
ernández] 323

Francisco Ka'oq 417
 Francisco López 434, 446
 Francisco Marroquín 331
 Francisco Martín (Martin) 363
 Francisco Mestan 452
 Francisco Pakal 414, 524
 Francisco Perenya 397
 Francisco Pérez 320, 321, 333, 339, 348, 362,
 376, 378, 385, 387, 477
 Francisco Pérez Ajtun Kuk 387
 Francisco Pulcar 381
 Francisco Q'ulum 426
 Francisco Salcedo 364
 Francisco Vásquez (Vaxquez) 383
 Francisco Xitayul 439

G

Gabriel 340, 443, 527
 Gabriel de Sotomayor 443
 Gaspar 383, 385, 419, 433
 Gaspar Chululan 353, 354, 409, 414, 431
 Gaspar de Chinchilas 439
 Gaspar de Livera 486
 Gaspar de Rosales 357, 546
 Gaspar Manrique K'awinay 333
 Gaspar Q'anel 385, 525, 546
 Gaspar Q'eq 379
 Gonzalo de Guzmán 404, 414
 Gonzalo Marroquín 331
 Granada 372
 Gregorio de Guzmán 345
 Gregorio Mayorca 367, 386, 400

H

Hernando ([H]ernando) 353
 Hernando de Angulo / ([H]ernando) 348

I

Ich'al (Ajaw Ich'al) 161, 162, 171, 213–217,
 681
 Ich'al Amolak (Ich'al Amullak) 171, 213, 219
 Ich'alkan Chikumkuwat (Ajaw Ich'alkan) 161,
 162, 681
 Ikxiw 148
 Imox 212, 241, 243, 260, 262, 264, 271, 285,
 295, 300, 589, 653, 667, 680
 Iqomaq' 13, 99–101, 159, 534
 Istayul 204, 211, 212
 Iximche' 191, 193, 195, 196, 199, 204, 207,
 213, 218, 219, 223, 240

J

Jerónimo 384, 394, 455
 Jerónimo de Tapia 394
 Jerónimo Gómez de Córdoba 346, 355, 389
 Jolom B'alam 285
 Jorge 293, 294, 327, 329, 333, 334, 338, 339,
 370, 371, 384, 409, 457, 491, 495, 564,
 677
 Jorge de Robles Ralabil 400
 Jorge de Vera 338, 339, 409
 Jorge Kab'lajuj Tijax 293
 Jorge Taueta 334
 José de la Torre (Joseph de la Torre) 399
 Joseph 325, 364, 399, 409, 419, 659
 Joseph de Santa María 364, 659
 Juan Aj Xit 421
 Juan Ajsik' Ajaw 404
 Juan Aqb'al 412
 Juan Carasco Chululan 419
 Juan Casero 372
 Juan Cortés 338, 414, 446, 495, 525
 Juan de Guzmán 404, 466
 Juan de la Cueva 348
 Juan de la Torre 384
 Juan de Landecho Núñez 324
 Juan de León 399
 Juan de Melga 381
 Juan de Mendoza 371, 382, 384, 472
 Juan de Morales (juez regidor) 365, 401, 403
 Juan de Rosales 365
 Juan de Torres 303
 Juan Dresó 469, 559
 Juan Evangelista 367
 Juan Gómez Ch'inta' 385
 Juan González 473
 Juan Granero 355
 Juan Hernández [(H)ernández] 334, 338, 356,
 371, 384, 467, 473, 476, 532, 677
 Juan Ik'o Ch'i'al 461
 Juan Iyu' 422
 Juan Jarakana 440
 Juan Juarez (Juan Xwarez) 294, 320, 321, 334,
 335, 338, 527, 545, 657
 Juan López ma Simaj (Juan López Mama'
 Simaj) 329, 336, 345, 350
 Juan Lopi'q 440
 Juan Luis 355, 368, 420, 423, 424, 445, 451,
 553
 Juan Orozco de Ayaba 341
 Juan Pérez 309, 342, 641

Juan Pérez Lolmay K'oraxon 328, 351
 Juan Pérez Xt'amer 422
 Juan Q'anel Tunal 414
 Juan Roser (Rogel) 306, 307, 595
 Juan Tum 421
 Juan Tz'utuj 459
 Juan Yaxon Iq' 414
 Juana 346, 454, 456, 546, 641
 Juliano 340, 525
 Jun Iq' 243, 245, 246, 248, 251, 255, 257,
 259, 260, 356, 555, 577, 653
 Jun Sunk'un Q'anel May Ajaw 147
 Jun Toj 170-172, 174, 175, 177, 185, 187,
 188, 190, 193, 194, 196, 198-200, 245,
 536, 596, 635, 646
 Junajpu' Tz'i'an (Junajpu' Tz'i'an,) 216
 Juqajik 219
 Juwarajb'ix 219

K

K'ab'owil 14, 272, 274, 507, 647
 K'ab'owil Ab'aj 114
 K'ab'owil Siwan 160
 K'ajolom 18
 K'alala' Pakay 99
 k'amajay 32, 74, 153, 156, 157, 159, 261,
 268, 269, 567, 598, 604, 682
 K'aqb'atz'ulu' 102, 106, 110, 113
 K'atb'a Yaki 193, 209
 K'atu' 157, 164, 165, 173, 175, 202, 246, 251,
 520, 610
 K'atun 11
 K'awinay 333, 383
 K'axk'an 177, 213
 K'axtok' 59, 134, 135, 138, 216, 278-280,
 374, 572, 587, 645, 676
 K'ayaxon K'iq 252
 K'eche' (K'eche' winäq, K'iche') 29, 43, 57,
 61, 82, 86, 128, 137, 165, 169, 176, 178
 -181, 184-188, 190, 192-197, 199, 203
 -205, 207, 208, 210-212, 214, 232, 233,
 237, 246, 249-252, 266-268, 270, 282,
 352, 389, 498, 538, 540, 550, 556, 563,
 571, 596, 603, 605, 613, 617-619, 626,
 630, 633, 635, 651, 661, 667
 K'iche' 184, 186, 204, 205, 208, 210, 212,
 237, 246, 498, 626, 633
 K'iqab' 166-170, 172-178, 182-184, 187,
 188, 190, 192, 194, 203, 242, 555, 557,
 586, 648, 650
 K'isijay 262, 263, 557

K'ob'aqil 13, 63, 64, 67, 77, 158
 K'omaqa' 133
 K'otb'al Kan 164
 K'oxajil 13, 63, 64, 67, 77, 158
 K'ub'ulajay 100, 101
 K'ul Chajom 83
 K'ul Ya' 83
 K'ulawi' K'anti' 101
 K'ulawi' Sochoj 101
 Ka'i' B'atz' 139, 142-144, 147, 150, 153-157,
 159, 175, 554, 680, 682
 Ka'i' Junajpu 225-227, 229, 232, 313, 646
 Ka'i' No'j 139, 142-144, 147, 149, 150, 153-
 159, 164, 173, 175, 554, 680, 682
 Ka'oq 202, 221, 222, 234, 236, 238, 239, 247,
 286, 299, 300, 307, 417
 Ka'oqe' 221, 222
 Kab'lajuj B'atz' 201, 303
 Kab'lajuj Tijax 203, 207, 212, 220, 221, 223-
 226, 228, 237, 244, 245, 589
 kab'raqän 144, 334, 351, 379, 391, 632
 Kaji Imox (Sinakan) 260, 271, 295, 653
 Kajib'aq 65
 kakaw (cacao) 23, 186, 455-459, 464, 507,
 543, 666
 Kalla' 160
 Kaqchikel 12, 32, 45, 58, 81, 112, 127, 151,
 193, 196, 203, 205, 208, 212, 236, 240,
 263, 282, 363, 365, 367, 498, 513, 540,
 571, 577, 581, 647
 Kaqix Kan 58, 532
 Kaqixajay 100, 101
 Kaqjay (cakay, Ka(j)ay) 82, 250, 514, 515,
 608
 kaqolajay (koqolajay) 278, 350, 370, 515
 Kaqtijaxik 128
 Karchaj 73
 Kaweq 12, 84, 86-88, 121, 122, 124, 135,
 150, 195, 225, 526
 Kawqe' 141
 Kejay 12, 80, 85, 87, 124
 Kejnay 180
 Kiyawit Ka'oq 300
 Ko'on 116-119, 129, 366, 401, 580
 Kumätz 18, 30, 114, 176, 523, 528, 601, 602
 Kuskatan (Cuscatá) 275, 561
 Kuta'm Chäj 61

L

Lajuj Aj 200, 202, 203, 227, 228, 233, 237,
 240, 241, 247, 250, 265, 285, 291, 292,

296, 300, 305, 306, 309, 312, 321, 324,
330, 336, 342, 348, 350, 357, 378, 405,
410, 454
Lajuj Noj 213, 218, 244, 245, 251, 260, 297,
577, 653
Lajuj Tijax 203, 207, 212, 214, 220, 221, 223–
226, 228, 233, 237, 242, 244, 245, 309,
589
Lakanton (Lakantun) 320, 326
Lamaq'i' 30, 176
Laqam Ab'äj 264, 462
Loch 12, 79, 84, 85, 590
Lowaysa 318, 684
Lucas Muela 383
Luis Asetun 341
Luis Pérez 334, 338, 339, 525

M

Magdalena 337, 340, 395, 417, 454–456, 468,
525
Magdalena Xitayul 468
Maldonado (Mantunalo) 296–298, 300, 581
Maqu' Xq'ujay 243
Marcos Díaz 422
María 335–337, 341–344, 347, 352, 355, 363,
364, 366, 368, 369, 471, 519, 557, 558,
586, 653
Martín 321, 325, 330, 333, 342, 343, 346,
353, 359, 363, 370, 376, 384, 386, 394,
396, 402, 414, 417, 419, 421, 422, 428,
446, 454, 461, 472, 495, 497, 541, 606,
677
Martín Ch'inta 454
Martín Cruz 422
Martín de Chávez Tay 414
Martín Ma Ajaw 333
Martín Q'alel Xajil 330, 342
Martín Rajob Achí 321
Martínez 361, 370–372, 376, 381, 384, 397,
472–474, 485, 488–494
Mateo 342, 386, 396, 404, 409, 446
Mateo García 386, 404, 409, 446
may q'ij 23, 27, 519
Me'ajaw 48, 61
Meme' Juyu' 61, 72, 524
Méndez 361, 387, 392, 418, 425, 437, 477,
495, 584
Mewak 74
Mexia 318, 324, 325, 684
Mexico (Mexiku) 245, 303, 313, 343, 344,
361, 363, 371, 389, 390, 452, 545, 560,

561, 655, 681
Miguel chi Meq'enya' 352
Miguel Laq 422
Miguel López 400, 453, 473, 477, 495
Min Poqom 76, 77, 666
Mixku' 198, 237
Moktesumatzin 245, 681
Molinxot 160
Molomik Che' 63, 176
Motzorey 137
Moxnay 234, 235, 386, 477, 631
Muqche' 77, 250
Muqulik Ya' 63

N

Najtijay 236
Nakuxkux 177
Nakxit 74, 75, 524
nawal 56, 96, 108, 112, 113, 141, 144, 147,
154, 164, 175, 188, 203, 211, 217, 530,
536, 644, 648, 677
Nawala' 407
Nicaragua (Mikarawa, Nigaraua) 371, 372
Nicolás Custodio 452
Niebla Chanchos 419
Nik'aj Ko'on 116, 118, 119, 580
Nim Kaq Ajpek 160, 163
Nim Poqom (Mim Poqom) 76, 177
nima ajaw Dios 322
Nima Ajin 201
Nima Pakal 414
Nimab'äj Kej Chun 301
Nimajay 121
Nimapam Xkakaw 186
Nimasajay 216
Nimxor 73
Niwala' 383
No'j (Noj) 139, 142–144, 147, 149, 150, 153–
159, 164, 173, 175, 213, 218, 225, 232,
243–245, 251, 260, 291, 297, 554, 577,
653, 680, 682
Nuestra Señora Asunción 488
Nuestra Señora Purificación Candelaria 471

O

Och'al 160, 161, 163, 564
Oloman 49, 56
Oronik Kaqjay 81, 567, 651
Oxlajuj Tz'i' 200–203, 207, 212, 214, 220,
221, 223–226, 228, 243

P

Pa Chal'ik B'aq 160
 Pa Chaqi'j Ya' 196, 197
 Pa Kaweq Kejil 121, 135
 Pa Ko'on 366, 401
 Pa Nima K'oxom 63
 Pa Q'inona' 160
 Pa Raxone' 121, 123, 135, 137, 139, 160
 Pa Raxtun Ya' 221, 223
 Pa Sib'aqul 121
 Pa Su'm 334, 347, 389
 Pa Tulul 264, 324, 376, 389, 395, 417, 463, 621
 Pa Xiwanul 196, 197
 Pa'b'al Käq Che' [Pabal Kaqche] 374
 Pablo Cota Manuel 352
 Pablo Hernández [(H)ernández] 368, 392, 414, 472, 473, 477, 482
 Pablo Ximénez 339, 344, 356, 368, 453, 495, 546, 655
 pakay 99, 162
 Palopo' 338, 351, 415, 416, 461, 462, 493
 Pan Aj 162, 171, 177
 Pan Ajachel 355
 Pan Amaq' 441
 Pan Amaq' Ya' 441
 Pan Atakat 201, 254, 274
 Pan Che' Chi Q'ojom 138, 152, 160
 Pan Choy 291, 299, 302, 318, 561, 684
 Pan Pati'(Santa Cruz La Laguna) 113, 366, 398, 401, 402
 Pan Paxil (Pam Paxil) 17
 Pan Petaq 182
 Pan Q'an (Pan Q'an) 292, 311, 313, 317, 322, 333, 353, 355, 361, 364, 366, 372, 374, 376, 390, 391, 396, 405, 407, 408, 410, 438, 442, 445, 447, 472, 475, 559, 632, 663, 683
 Pan Tzik 61, 121, 123, 135, 137, 160
 Paq 12, 644
 Pason 395, 396, 416
 Payan Ch'okol (San Marcos La Laguna) 365, 366, 371, 380, 401, 402, 627
 Pedro Angulo (Anculo) 303
 Pedro Avero (Aveto) 441, 444
 Pedro de Arboleta 394
 Pedro de Robles 331, 336, 400
 Pedro de Solís 434, 472, 565
 Pedro de Villalobos 344, 349
 Pedro Elias 344, 471

Pedro Hernández Kaqrum [(H)ernández] 446
 Pedro Kaqrum 378, 409, 414
 Pedro Malente 438, 450
 Pedro Martín 343, 359, 370, 376, 384, 386, 402, 414, 417, 419, 428, 497
 Pedro Martín (Pedro Elias Martin) 343, 359, 370, 376, 384, 386, 402, 414, 417, 419, 428, 497
 Pedro Martín Pérez 386
 Pedro Martín Ratzij Winäq Achi' Xq'ujay 359, 417
 Pedro Méndez (Pedro Mendez mama Aju', Pedro Méndez Aju') 387, 392, 418, 425, 437, 477, 495, 584
 Pedro Méndez B'ak'ajol 418
 Pedro Nimachi 440
 Pedro Ramírez (Uchab'ajay) 176, 308, 322, 331, 336, 339, 340, 342, 343, 345, 346, 358, 360, 361, 366–368, 376, 383, 390, 393, 472, 473, 477, 482, 519, 522, 525, 527, 546, 641, 655, 684
 Pedro Ramírez de Quiñones 684
 Pedro Rastun Xitayul 440
 Pedro Solís 257, 259, 328, 336, 352, 356, 369, 428
 Peliphe (Felipe) 317, 350, 420, 422, 486, 684
 peq 23, 457
 Petronila 433
 Petz'e' 160
 Poqom (Poqoma') 77, 177, 666
 Porto Kawayo (Puerto Caballo) 298, 619
 Pulch'ich' 120
 Pusb'al 160
 Pusi Ajaw 147

Q

Q'ale'aj 160, 209
 q'alel 140, 142, 143, 151, 152, 155–159, 165, 261, 323, 330, 337, 342, 679, 682
 Q'alel Xajil 140, 142, 143, 152, 155, 156, 158, 159, 165, 330, 342, 679, 682
 Q'alel Xajil Xulu K'atu' 165
 Q'aq'awitz 10, 11, 14, 20, 25, 32, 43, 45, 49, 57, 60, 61, 64, 67, 78, 82, 85, 87, 89, 91–95, 97, 103, 110, 114, 118, 119, 123, 133, 135, 139, 143, 154, 175, 524, 538, 540, 604, 608, 680
 Q'aq'xanul 90, 95, 98
 Q'eq'a Siwan 177
 Q'eqak'uch 11, 32, 33, 87, 122, 124, 140, 142, 150, 330, 417, 477, 541, 565, 627

Q'inona' 160, 209
 Q'ukumätz(Q'ukumatz) 58
 Q'umalkaaj 268, 640
 Q'uq'u Juyu'(Q'uq'ujuyu') 213, 220
 Q'uq'uchom 11

R

Rab'inale' 128, 553
 Rafael 329, 406, 552
 Rafael Francisco 406
 Rajamun 170, 171
 rajpop achi 212, 228, 231, 246, 250, 256-259, 261, 545
 Rajpop Achi B'alam 246, 251, 256, 257, 259
 Rajpop Achi Iq'ich 246, 251
 Rajpop Achi Tz'i'an (Francisco) 258, 259, 261
 Ralab'al Ik' 220
 Ramirez 308, 311, 316, 318-320, 322, 331, 336, 339, 340, 342, 345, 346, 357, 366-368, 376, 390, 393, 403, 472, 473, 477, 482, 519, 525, 527, 546, 641, 655, 684
 Ratz'amüt (Ratz'amut) 191, 193
 Rodrigo de Quijano (Quisano) 380, 384, 578
 Roqel B'atz'in 212, 667
 ruq'alel achi 212, 246, 250, 251
 ruq'alel achi K'atu' 246, 251
 Ruq'alel Achi Xinku' 383
 Ruq'alel Uchab'ajay 383
 Ruya'al Chay 463, 464

S

Sajkab' Tinamüt 160
 Sakatán 355
 Salik'ajol 160, 217
 San Agustín 394
 San Andrés 351, 354, 363, 493, 545
 San Bernardino Pason 416
 San Bernardo 462
 San Cristóbal (Xpowal) 395
 San Felipe (Pelope) 350
 San Francisco 304, 306, 311, 319, 361, 397, 493
 San Gregorio 197
 San Juan 338, 383, 395, 407, 433, 483, 545, 546, 656, 657
 San Juan Bautista (Bautista, Baptista) 338, 545, 657
 San Juan Bautista (Baptista) 383
 San Lucas 366, 396, 545, 583, 656
 San Lucas Xesub'a 396, 583
 San Marcos 371

San Mateo 396
 San Miguel 348, 376, 389
 San Simón 454, 466, 468
 Santa Catalina 362, 367, 375, 659, 683
 Santa Lucía 410, 433
 Santa María Asunción Tzolola' (Asumpción) 336, 341, 344, 347, 352, 363, 366, 369, 370, 372, 382, 389, 393, 471, 474, 493, 499, 524, 545, 560, 614, 656
 Santa María Concepción 342
 Santa María Magdalena 337, 395, 417
 Santiago 317, 318, 343, 350, 355, 364, 366, 380, 383, 390, 395, 396, 398, 406, 419, 441, 683
 Santiago Chancho 381
 Santiago Pérez 486, 597
 Santiago Tz'utujil 364, 390, 659
 Santo Domingo 303, 304, 306, 311, 456, 596, 611
 Santo Tomás 197, 358, 377, 385, 546
 Säq Choq' 98
 Saqb'in Ajmaq 240
 Saqijuyu' 61, 90, 539
 Saqik'ajol 163
 Saqik'oxol 66, 68, 575, 665
 Saqik'uwa 61, 73
 Saqitew 73
 Saqitz'unun 92-94, 589
 Saktekaw 10, 11, 14, 20, 25, 32, 43, 45, 49, 57, 60, 61, 64, 67, 78, 82, 85, 89, 119, 141, 154, 175, 513, 524, 538, 540, 608, 630, 680
 Saqtzuy 76
 Sebastián de Arana 414
 Selajay 210, 334
 Selajay Ya' 210
 Sesik Inup 98, 99
 Sib'acijay 11, 32, 33, 87, 121, 124, 140, 150, 201, 335, 541
 Simajijay 121, 135, 137, 160
 Simón 422, 469, 519, 539
 Simón Ch'i'al 422
 Simón Q'inom 457, 519
 Sinajijay 121
 Sinajitoj 234
 Sinpuwal Taxuch 75
 Sitan K'atu' 157, 164, 173, 175, 520, 610
 Sitan Tijax Kab'laj 173
 Soroch 219
 Sotz'il (Sotz'il winäq) 30, 57, 101, 107, 108, 112, 127, 151, 169, 172, 186, 188, 190,

194, 207, 215, 217, 225, 226, 230, 241,
262, 269, 289, 290, 295, 300, 314, 535,
553, 556, 579, 647, 680

Sotz'il Ya' 249

Sub'inal 73

Sukitan 71

Sunpanku 70

Suywa 37, 55, 642

T

Takna Juyu' 61, 72

Tamelto'j 219

Tapku 49, 56

Tata' Yak 180, 183

Tekpalan 70

Tekpan (Tecpán) 82, 380, 382, 471, 498

Tekpan Atitlan (Tecpán Atitlán) 380, 382, 471

Telom 12, 65

Tenoch Atitlan (Tenochtitlán, denuchtitlan)

390, 452, 561

Tepakuman 61

Tepepul 204, 211, 212, 263, 557

Tepew 141–145, 147–149, 151, 159, 520,
555, 556, 645, 680

Tepustan 70

Teyokuman 90

Tojin 201, 258, 259

Tojojil 57, 128, 206, 507, 645

Tolk'om 102–105, 109, 110, 112, 113, 520,
598, 663, 667

Tomás Ch'i'al 398

Tomas Espinosa (Xpinosa) 445, 490, 567

Toqojil 61

Totomay 12

Toxk'om No'j 225, 232

Tujal 444

Tujalajay 176

Tukuru' 30

Tukuru' Kaqixala 201

Tullan (Tulan) 14, 15, 20–23, 25, 26, 29, 30,
32, 37–39, 45, 46, 188, 530, 537, 575,
636, 662

Tunakotz'i'j 84

Tunali' 461

Tunatiw 206, 229, 267, 269–278, 280, 281,
284, 286, 290–293, 295, 296, 298–303,
535, 538, 540, 541, 543, 554, 560, 561,
566, 572–574, 583, 590, 591, 604, 606,
654, 664, 667

Tuquche'(Tuquche' wināq) 30, 58, 107, 108,
112, 127, 133, 151, 169, 172, 186, 188,

190, 207, 217, 224, 225, 227–230, 232,
233, 235, 237, 250, 262, 417, 477, 535,
548, 553, 556, 615, 622, 647, 681

Tz'ala' 128, 556, 632

Tz'aqol 16, 18, 578, 601

Tz'i'an 216, 258–261

Tz'ikinajay 115–119, 146, 148, 152, 221,
222, 236, 259, 262–264, 364, 507, 557,
627, 659

Tz'imaji' Pi'akulkan 216, 457

Tz'irin Iyu' 225, 232

Tz'is Laqi' 444

Tz'unua' 79, 92, 117, 129, 526, 551

Tz'unun Choy 70

Tz'unun Juyu' 70, 79

Tz'unun K'ajol 74

Tz'upitaq'aj (Tz'upitaq'aji') 160, 167, 168,
174, 193

Tz'utujil (Tz'utujile') 26, 115, 117, 119, 128,
232, 235, 236, 239, 262–264, 274, 282,
324, 333, 338, 364, 390, 394, 498, 526,
535, 606, 629, 632, 659

Tzam Chik'ib' 224

Tzanat 11

Tzolola' 330, 336, 341, 344, 347, 352, 355,
365, 366, 369, 370, 372, 384, 389, 390,
393, 394, 397, 398, 410, 417, 419, 445,
476, 524, 545, 560, 614, 656

Tzupam Jay 272

Tzutumpam (Tzutumpam) 296

U

Uchuk 426

Utzu' 160

W

Wa'il K'ajol 219

Walil K'ajol 74

Waqaqi' Ajmaq 243, 253, 288

Wo'o' Imox 212, 667

Wo'o' Ka'oq (ajaw Wo'o' Ka'oq Aj
Tz'ikinajay) 236, 237, 238

Wo'o' Kej 241

Wuchab'ajay 30

Wuqu' B'atz' 536, 635

Wuqu' Siwan. 177, 220

X

Xajil 11, 31, 64, 89, 107, 108, 133, 140, 142,
143, 152–156, 158, 159, 165, 183, 188,
194, 215, 225, 226, 230, 269, 289, 290,

323, 329, 330, 335, 338, 342, 343, 348,
 356, 362, 371, 376, 386, 393, 413, 418,
 420, 472, 473, 476, 477, 479, 480, 482,
 495, 500, 526, 531, 564, 565, 579, 603,
 679, 682
 Xajil B'atz'in 338
 Xaya' 301
 Xb'akaj 73
 Xe Amatal Chij 70
 Xe Chi B'jo'y 197
 Xe Chi Tuj 197
 Xe Chi Tukur 415
 Xe Inup 162, 239, 348, 389
 Xe Junache 415
 Xe Junakaw 216
 Xe K'atb'a Yaki' (Xe K'at B'a Yaki') 193
 Xe Kuku' Juyu' 70, 79
 Xe Nima Chäj 84, 86, 534
 Xe Palika' 681, 240
 Xe Paqay 162
 Xe Pit 267, 657
 Xe Poyom 128, 263
 Xe Rajapit 177, 220
 Xe Suj 70
 Xe Tokoy 70
 Xe Tulul 266, 267, 657
 Xe Uj 70
 Xe Wakal 453
 Xechipeqen 226, 228, 231, 579

Xelajub' (Xe Lajub') 268, 311, 341, 404, 439
 Xepaw (Xe Paw) 283, 284
 Xet 12, 79, 84, 85, 590
 Xib'alb'ay 14, 15, 25, 541, 588, 590
 Xikitzal 168, 170, 171
 Xiliwistan 70
 Ximb'al Xuk' 84
 XImox 201
 Xinikwil Junajpu' 296
 Xitamal Kej 185, 193, 199
 Xitayul 439, 440, 468
 Xitayul Jax 167
 Xob'ob'in 414
 Xpowal Tz'ik (Cristóbal Tz'ik) 459
 Xpowal, Don (Cristóbal) 334, 338, 339, 342,
 351, 357, 525
 Xq'eqaküch Xtz'ikinajay (Xq'eqakuch) 259,
 627
 Xt'amer Sakentol 165
 Xtz'ul 98
 Xuchipillan 301, 302
 Xumaq Cham 216
 Xurkaj 12, 87
 Yaki' 193, 238, 245, 275, 659, 681
 Yalab'ey 137
 Yaxon Tz'ul 234
 Yukite' Chajom 83
 Yutq'um 160

スペイン語の借用語

(人名、地名、聖人名を除く)

A

agosto 329, 340, 363, 371, 393, 656
 alcalde / albes 320, 321, 323, 328-331, 333,
 335-337, 339, 342, 343, 345, 348, 350-
 357, 359, 361, 362, 368, 378, 380, 381,
 385, 386, 392, 395, 400, 402, 404, 409,
 414, 418, 423-428, 435, 437, 445-448,
 472, 473, 477, 482, 483, 495, 553, 557,
 584, 592, 627, 675, 676
 alguacil / algaçil / alvaçil 368, 378, 386, 400,
 403, 404, 409, 414, 419, 438, 446, 454
 ánimas / animas 435
 año / aos 320, 323, 328-331, 333, 334, 337,
 342, 343, 345, 348, 350, 351, 356-365,
 367-373, 375, 377-380, 385, 392, 400,
 404, 409, 418, 437, 446, 453, 454, 460,
 461, 465, 466, 468, 469, 471, 482, 483,
 494, 497, 579, 613, 682, 683
 apelar 445, 627
 april 344, 360, 371, 389, 403, 404
 arco 486, 512
 audiencia / audiençia / audiência 349, 355, 358,
 360, 364, 370, 373-376, 379, 396, 401,
 403, 407, 445, 450, 487, 543, 632

B

bula 375, 397

C

cabildo / capilto 381, 438, 439, 660
 caja / caja / casa 428, 449, 482-485, 488, 492,
 639, 673
 campana / canpana / canpano 310, 311, 376,
 377, 439, 490-492, 494, 580, 641, 676
 campo / câpo 321
 candelas 368, 559
 capila / capilla 486, 597
 capitán / capitan 288, 364
 capítulo / capidulo / capitulo 410, 450
 cargo 426
 carta 484
 castilan / castillan / castilã / asti 266-268, 271,
 272, 274, 275, 278, 281-283, 285-287,
 295-298, 302, 303, 308, 310, 317, 332,
 345, 354, 355, 369, 373-375, 381, 391,

396, 399, 420, 432, 442, 445, 560, 561,
 563, 580, 581, 606, 607, 611, 613-615,
 625, 654, 657, 660, 666, 682-684
 castilla 372, 381, 417, 684
 chanciler / chançiler 346
 circuncisión / çircuncision 313, 323, 332, 334,
 655
 clérigo / clerigo / cleric 304, 397, 407
 comisario / comissario 371, 389, 390, 452
 comunidad / cominidad 428, 431, 449, 482-
 485, 488, 491, 492, 577
 concierto / conçierto / conçierto 470, 487,
 488, 490, 512
 confirmación / confirmaçion 389
 contador / contador 357
 corona 471
 corregidor / coresitor / coresidor / coregitor /
 goresitor / goresidor 335, 348, 361, 380,
 384, 387, 388, 398, 411, 417, 419, 430,
 439, 440, 445, 447, 450, 451, 494, 511,
 549, 578, 675
 costa 422, 432, 625
 cristiano / xptiano 480, 498, 529
 cruz 350, 370, 394, 422, 444
 cuaresma / quaresma 393, 673
 cuenta 341, 346, 352, 357, 403, 404, 428, 614

D

defensor / tepensor / depensor 394, 396, 401
 derrama 487
 diciembre / deçiembre / diciembre / deçiembre
 335, 341, 342, 358, 377, 384, 391, 416,
 435
 dios 304, 307, 311, 322, 325, 347, 350, 358,
 370, 384, 411, 424, 470, 475, 480, 485,
 486, 498, 512, 529, 533, 534, 539, 566,
 567, 569, 573, 590, 599, 630, 643, 645,
 658, 672
 doctor 313, 314, 318, 324, 325, 331, 342,
 344, 349, 490, 660, 684
 doctrina 304, 305, 320, 601
 domingo 303, 304, 306, 311, 316, 341, 362,
 379, 392, 401, 410, 434, 452, 456, 458,
 461, 467, 511, 596, 611, 643
 don 257, 259, 293, 294, 301, 306, 314, 315,
 317, 320-322, 325, 327-339, 342, 344-

353, 355-357, 359, 361-364, 369-371,
376, 378, 383-385, 387, 389, 398, 400,
403, 405, 407, 408, 412, 416-420, 425,
428, 430, 434, 438, 439, 441, 444, 446,
447, 449, 453, 459, 467, 469-473, 476,
477, 480, 495, 497, 515, 525, 527, 532,
537, 541, 545-547, 549, 564, 565, 583,
584, 589, 603, 606, 657, 659, 677, 684

E

emperador 310, 317, 684
enero 337, 343, 351, 379, 386, 392, 410, 449,
465, 597
escribano / escriuano / escrivano 365, 368,
381, 386, 404, 409, 418, 437, 439, 446,
454
español / español / spañol / spaño / spaños
364, 486-489
esponso 442
exaltación / exaltaçion 394

F

fanega / anega 345
febrero / ebrero / (f)ebrero 340, 343, 348, 352,
354, 356, 368-370, 387, 388, 393, 471,
539
fiador / fiator 431, 432
firma / pirma 435, 466, 497, 511, 514, 596,
646
fiscal / piscal / pixcal 360, 387, 401, 411, 421,
432, 439, 445, 447, 448, 450, 469, 490,
491, 515, 567, 634
fray 303, 304, 316, 325, 326, 353, 355, 361,
364, 370-372, 376, 381, 382, 384, 389,
390, 393, 394, 397, 406, 407, 410, 411,
419, 430, 443, 448, 452, 469, 472-474,
485, 488-494, 559, 612

G

general 371, 389, 390
gobernador / gor / gr / conuernador / covernator
/ gonuernador 331, 333, 353, 356, 364,
369, 370, 376, 383, 384, 402, 403, 406,
408, 416, 417, 419, 426-430, 435, 448,
472, 474, 475, 479, 480, 482, 485, 495,
496, 499, 513, 517, 541, 565, 572, 621,
622, 659, 664
guardián / guardian 353, 355, 361, 363, 370,
371, 376, 381, 382, 397, 406, 419, 443,
448, 469, 472, 485, 488, 489, 491, 492,
559

I

iglesia / yglesia 384, 478, 485
información / informaçion 399, 638

J

jubileo / supillio 337, 392
juez / juuez 341, 346-348, 352, 357, 365, 388,
395-397, 401-404, 484, 550, 583
julio 339, 345, 357, 358, 383, 407, 433, 496,
546, 641
junio 338, 347, 382, 390, 428, 431, 433, 439,
441, 443, 444, 469, 538, 545, 657
juramento / juramēto 440, 452
justicia / justiçia 348, 408, 410, 411, 413, 415,
416, 430, 435, 438, 440, 445, 453, 460,
475, 483, 491, 512, 567, 572, 621

L

lámpara / lambra 489
libro 495, 639
licencia / licençia 377, 487, 490, 553
licenciado / licençiado / liçençiado 306, 308,
311, 349, 374, 375, 445, 450, 473, 485,
490, 553, 567
limosma 492
lunes 314, 319, 320, 323, 332, 347, 352, 353,
355, 357, 367, 390, 393, 403, 421, 656

M

mandamiento / mantamiento 432, 490, 553
mandar 416
martes 311, 334, 344, 364, 367, 391, 402,
431, 539, 544
marzo / março 342, 344, 346, 357, 370, 379,
388, 400-403, 405, 538, 544, 546
mayo 346, 348, 350, 352, 355, 360, 363, 380,
381, 406, 419, 423, 425, 427, 452, 546,
561, 641, 658, 682, 683
mayordomo / mayortomo 377, 386, 400, 413,
423, 449, 460, 566, 578, 679
media 345
medio 482
memoria 420, 454, 458, 463, 464, 483
milagro 364
misa / missa 371, 382, 394, 474, 576, 607,
612, 637
monja 351
monumento 489

N

notificar / nodificar 398, 423, 442, 476, 512,
627, 628, 665
noviembre / nouiembre 337, 341, 350, 351,
353, 361, 362, 367, 372-375, 383, 397,
398, 408, 523, 565, 613, 683

O

obispo 311, 316, 331, 333, 346, 347, 355, 389
octubre 314, 347, 350, 355, 365, 366, 383,
434, 494, 545, 656
oficial / official 357, 401, 407, 432, 484, 625
oidor / oydor / ovidor / ovitor 342, 405, 407,
420, 424, 427, 428, 430-432, 441, 443,
444, 460, 512, 564, 578, 584, 621, 684
ordenanza / ordenança / ordinança 321, 432,
659
órgano / organo 406, 488
ornamento 424

P

padre / Pe 304, 316, 325, 326, 355, 363, 364
pago 484
pascua 316, 326, 327, 336, 341, 359, 360,
391, 405, 545, 547, 551, 656, 663
pascua de navidad 316
pena 422, 427, 429, 440, 445, 642
petición / petiçion 424, 485, 512
pila 486
pintor 495
platano / pullatano 541
poder 438, 439, 472, 660
pregonal / prego 388, 389
presidente / presitende / presidende 297, 308,
313, 322, 344, 345, 349, 353, 354, 358,
373, 407, 408, 450, 473-475, 485, 490,
511, 553
procesión / proçesion 371, 375
proceso / proçeso 396, 397, 443
provincial / prouinçial / provinçial 353, 361,
372, 394, 447, 448, 529
provisión / provision / prouision 396, 408,
442, 487
pulpita 493
purificación / purificaçion 368, 369, 471

Q

quintal 494

R

raya 402
real 322, 357, 401, 407, 445, 471, 484
regidor / residor / reçedor / resitor 348, 395,
403, 423, 426-428, 459, 477, 482, 483,
495, 511, 557, 627, 676
regular 450
residencia / residençia / resitençia 388, 408,
450, 652
retablo / retabla 375, 379, 382, 487
rey 360, 376, 377, 379, 380, 401, 450, 474-
477, 479, 480, 490, 491, 498, 499, 515,
543, 642, 684
rezador / reçador 346, 546
rezago / reçago / reçaco 401, 402, 438

S

sábado / sabado 338, 347, 356, 365, 370, 374,
375, 380, 382, 388, 390, 393, 400, 404,
406, 420, 428, 434, 474, 482, 545, 657
sacramento 336, 384, 392, 489
salario / xalario 388
santo / sancto 197, 303, 304, 306, 311, 320,
336, 358, 368, 375, 377, 384, 385, 392,
397, 456, 489, 546, 596, 611, 654
scriptura 490
secretario / segretario 349, 364, 407, 511
semana / semana / xemana 373, 441
sentencia / sentençia / sedençia 352, 364, 375,
421, 428, 429, 632
señor 342, 344, 349, 351-353, 358, 365, 373,
380, 417, 450, 473-475, 485, 490, 553
septiembre / setiembre / sediembre 333, 340,
349, 353, 364, 383, 394, 396, 397, 408,
412, 453
sermón 462
solar / xolar 330
steral 335

T

tasación / taxaçion / tasaçion 349, 360, 493
término / dermino 416
tesorero / desorero / desulero 357, 358, 402,
403, 438, 511, 522
testigo / destico / destigo 440, 469
título / titulo 370, 408, 409, 474-476, 479,
531, 605, 621, 664
tomin 360, 388, 426, 427, 440, 454-459, 461,
464, 482
toston / tso 345, 376, 380, 395-397, 406, 415,

422, 423, 426-431, 440, 445, 458, 459,
461, 464, 484, 485, 488, 489, 491-494,
543, 544, 612

V

vara / bara 331, 370, 388, 429, 440, 443, 475,
572
viernes 311, 350, 364, 372, 380, 384, 398,

403, 427, 433, 443, 474, 658, 659, 677
vigilia 377, 390
vino 421, 565, 579
visita 312, 390, 405, 441, 442, 444
visitar / visidar 381, 390, 394
visitador / visitor 332, 336, 407, 408, 416,
417, 438, 450, 621, 664
voluntario / voluntaria / volomtaria 429

著者紹介

八杉 佳穂 (YASUGI Yoshiho)

1950年、広島県福山市に生まれる。68年福山誠之館高校卒業、72年京都大学工学部卒業。75年同大学文学部卒業。80年国立民族学博物館助手、90年同助教授、97年同教授。2015年より国立民族学博物館並びに総合研究大学院大学名誉教授。文学博士。中米言語学、文字学、中米文化史専攻。著書に『マヤ文字を書いてみよう読んでみよう』（白水社）、『チョコレートの文化誌』（世界思想社）、『マヤ文字を解く』（中央公論新社）、“Native Middle American Languages: An Areal-Typological Perspective” (National Museum of Ethnology)、『マヤ興亡』（福武書店）、共著に『チョコレートの博物誌』（小学館）、編著に『茶の湯のものづくりと世界のわざ：千家十職×みんなばく』（河出書房新社）、『国立民族学博物館特別展「千家十職×みんなばく」を解剖する』（国立民族学博物館）、『マヤ学を学ぶ人のために』（世界思想社）、“Materiales de lenguas mayas de Guatemala” (ELPR)、『現代マヤ：色と織に魅せられた人々』（千里文化財団）、論文に「漢字仮名交じり表記考」（『国立民族学博物館研究報告』）、“Fronting of Nondirect Arguments and Adverbial Focus Marking on the Verb in Classical Yucatec” (*International Journal of American Linguistics*) などがある。